

令和3年度 全国学力・学習状況調査 報 告 書

令和3年10月

香川県教育センター

目 次

目次	1
はじめに	2
I 調査の概要	3
令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について	4
数値、グラフ等を見るうえでの留意点	6
II 調査結果（概論）	9
全体的な状況【小学校】	10
全体的な状況【中学校】	11
正答数分布、無解答率【小学校】	12
正答数分布、無解答率【中学校】	13
香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	14
香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	16
香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	18
Question 1 「学習意欲に関わる質問項目」	22
Question 2 「言語活動に関わる質問項目」	24
Question 3 「自尊意識等に関わる質問項目」	25
Question 4 「規範意識に関わる質問項目」	26
Question 5 「学校生活に関わる質問項目」	27
Question 6 「家庭学習に関わる質問項目」	28
Question 7 「メディアの利用に関わる質問項目」	29
特集1 「主体的・対話的で深い学び」	30
特集2 「新型コロナウイルス感染症の影響」	32
特集3 「カリキュラム・マネジメント」	34
III 教科に関する調査結果及び分析	35
1 小学校国語	36
2 小学校算数	44
3 中学校国語	52
4 中学校数学	60
「ICT 機器の積極的な活用を！」	68
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	69
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	70
2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ	75
3 学校質問紙 調査結果一覧	88
4 学校質問紙 回答結果グラフ	95

はじめに

昨年来、「新型コロナウイルス感染症への対応」、「新学習指導要領への準備・対応」、「GIGA スクール構想加速化への対応」と、3つの重大事が一気に学校現場に押し寄せています。私も前職が校長ですから、いつも今自分が校長だったという目で学校を見ます。どの学校も本当に大変だと思います。

そういった状況の中、「新しい生活様式」いわゆる「ニューノーマル」に係る取組をはじめ、不安定になった子どもへの配慮など、以前とは全く異なる日常において、日々教育活動の維持・工夫にご尽力いただいていることに、まずもって深く感謝申し上げます。

さて、全国学力・学習状況調査は、平成19年度の実施から早15年が経過しました。平成23年度と令和2年度は、やむを得ず実施が見送られましたが、この間、時代の変化や社会の要請とともに、いくつかの変更がなされてきました。今年度7月には、GIGAスクール構想や国際学力調査の流れなども踏まえ、令和6年度から順次CBT（コンピュータを利用したテスト）化を進めることなど、再編の方向性が示されました。

そういった流れの中で、コロナ禍により2年ぶりの実施となった本年度の調査では、小学校で新学習指導要領に基づく問題が出題されたほか、ICTに関する質問や一斉休校中の学習状況に関する質問も設定されました。コロナ禍で学校内外の状況は一変しましたが、そのような変化の中にあっても、学校現場において最も大事なことは、「調査問題を通じた学習指導の改善」や「学習状況の改善」が実際に図られることです。

例えば、「教科に関する調査」において、解答類型の反応率は、これまでの学習指導の「結果」です。学習指導の改善に当たっては、正答率だけにとらわれることなく、目の前の子どもたちにどのようなエラーが見られるのか、解答類型の反応率に着目し、エラーの様相を（過去調査にも照らして）把握することが大切です。そして、そのエラーに基づく授業を、調査学年で、また、その内容を学習する学年でも行うことが肝要です。

その際、正答とその過程を説明するといった「正しいことを正しく説明する」だけでなく、なぜその解答が誤りなのか、「間違いを間違いだと説明する」という学習活動を取り入れていくことも大切だと考えます。

本報告書では、本年度の全県的データのほか、**Question**として、過去調査と関連する内容も取り上げています。ただ、本報告書にお示ししたのは、本県全体の状況等であることから、各市町（学校組合）教育委員会及び各学校におかれましては、本報告書や「活用ツール」も活用いただき、市町（学校組合）教育委員会や自校の現状把握・分析・改善とともに、同一校区内の小・中学校間の連携にも取り組んでいただきますようお願いいたします。

当センターとしましても、指導主事が直接学校に出向き、状況の分析や改善について一緒に考えるなど、一層の学校支援に努めてまいりますので、どうぞ、ご相談ください。

最後になりましたが、本報告書の作成に関し、ご指導・ご助言を賜りました香川大学教育学部の佐藤 明宏 教授、松島 充 准教授、岡田 涼 准教授、経済学部の横山 佳充 教授に深く感謝の意を表します。

令和3年10月

香川県教育センター
所長 黒川 統夫

I 調査の概要

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象（全数調査）

- ① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校（公立大学附属学校）を含む。
 - ア（小学校調査）小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
 - イ（中学校調査）中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年
- ② 特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

(3) 調査事項

① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

【出題内容】
ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
【調査問題】
・上記アとイを一体的に問う。
・記述式の問題を一定割合で導入する。

② 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

(4) 調査実施日

令和3年5月27日（木）

(5) 調査を実施した本県の学校・児童生徒数

【小学校調査】

	学校数(校)	児童数(人)
市町立小学校	149	8,014
国立小学校	2	170

※ 本報告書では、国立、私立を除いた公立小・中学校の結果を掲載している。

【中学校調査】

	学校数(校)	生徒数(人)
市町立中学校	63	7,358
県立中学校	1	99
特別支援学校(中学部)	2	4
国立中学校	2	206
私立中学校	2	112

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれの結果として、以下の事項等を示す。

(1) 教科に関する結果

- ① 国語、算数・数学のそれぞれの教科（以下「各教科」という。）に係る問題の全体の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ② 各教科の平均正答数等の分布等が分かるグラフ
- ③ 各教科の設問ごとの正答率等
- ④ 各教科の設問ごとの解答類型別児童生徒数の割合

(2) 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果

- ① 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
- ② 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
- ③ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析

(3) その他、調査の目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のよう
な調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会及び学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の
成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力の基に適切に連携を図りなが
ら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
- ② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努め
るとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
- ③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校に
おける取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向
けた取組を進めること。
- ④ 文部科学省は、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教
育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこととする。また、各教育委
員会及び学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改
善に向けた全国的な取組を進めることとする。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児
童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り
扱うものとする。

その際、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活
動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにする
など教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

数値、グラフ等を見るうえでの留意点

■ 1 調査結果の推移について

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度より実施(平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度・令和 2 年度は未実施)されているが、本報告書では、令和 2 年度を除く過去 5 年間(平成 28 年度以降)の回答状況を分析している。

なお、平成 28 年度には、熊本県並びに宮崎県及び大分県の一部の小・中学校の調査結果の数値は含まれない。また、「全国的な学力調査の今後の改善方策について」(平成 29 年 3 月 29 日)では、「平均正答率については、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、国としては、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を提供することとする。」とされており、平成 29 年度から都道府県別の平均正答率については、国から整数値で提供されている。

■ 2 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

■ 3 散布図の見方

散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

【散布図の見方】

- は、児童生徒質問紙を示す
- は、学校質問紙を示す
- 数 / 数 は、(小学校の番号) / (中学校の番号) を示す

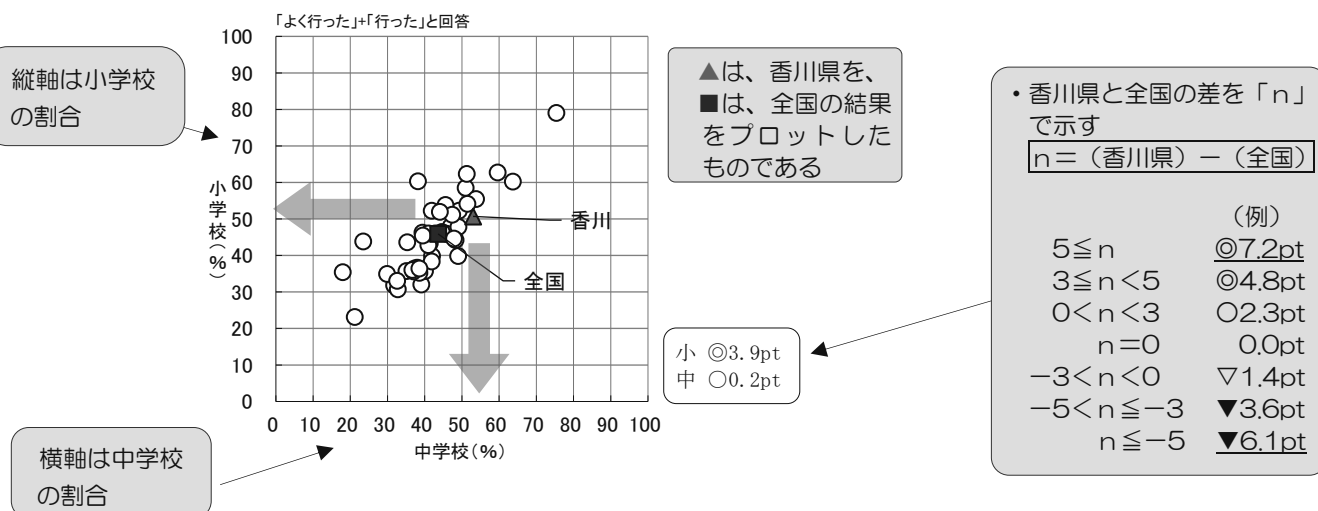
- 質問内容を簡潔にした見出しでは、児童生徒質問紙と学校質問紙を次のように文字の背景色で区別している

児童生徒質問紙 → ○○○○
学校質問紙 → ○○○○

【全国学力・学習状況調査の活用】

学校全体で、教育活動を改善するために活用

- 89/89 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



活用ツールで自校のデータを CHECK

本報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。
活用ツール（Excelファイル）を使えば、全国と香川県の状況に加え、自分の学校の状況をグラフや表に表示することができます。



① 活用ツールのダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール（Excelファイル）と使用説明（PDFファイル）をダウンロードします。

<https://www.kagawa-edu.jp/educ/htdocs>



② 学校データの用意

文部科学省指定のWebシステムからダウンロードした調査結果の電子データをコンピュータのデスクトップに展開します。

（別途文部科学省から送付されているはがきのパスワードが必要です。）



③ 活用ツールの起動

必要なファイル名を選び、実行すると表示されます。

※ 教科については、令和元年度から知識・活用を一体的に問う調査問題に変更になったため、平均正答率の経年比較は、令和元年度からとなります。

全問不正解率、無解答率は、平成 28 年度から平成 30 年度までの結果が A・B の区分ごとに表示されます。

児童生徒質問紙については、質問項目ごとに、全国・県・自校のデータをプロットした散布図と回答状況を示す帯グラフ、平成 28 年度からの経年変化を示す折れ線グラフが表示されます。

香川県教育センター 検索



香川県教育センター

令和3年度 全国学力・学習状況調査 香川県報告書活用ツール(小学校用)

集計結果(速報版)・活用ツール等を公開しています。

※ 報告書は、10月下旬公開予定です。

お知らせ

- 教育センター運営協議会のページを更新しました。
- 一部研修中止のお知らせを掲載しました。
- 令和3年度全国学力・学習状況調査活用ツールを掲載しました。
- 学習支援サイト紹介ページを更新しました。
- 令和3年度 全国学力・学習状況調査報告書の速報版を掲載しました。

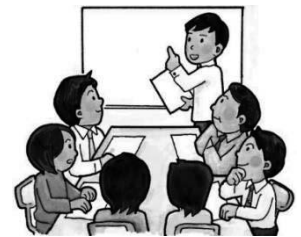
ここをクリック

学力・学習状況調査を活用した「カリキュラム・マネジメント」

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査からは、多様なデータを得ることができます。普段から気になっていることについて根拠を見付けたり、把握していなかった成果や課題に気付いたりすることができるようになります。

そこで、この二つの調査を学校にとっての定期健診（学校ドック）と考え、効果的に活用しましょう。

全国学力・学習状況調査では、国から届いた「各学校の結果データ」や「集計支援ツール」とともに、香川県教育センターが作成した「活用ツール」や「報告書」等を上手に使う、全国と香川県、そして各学校の状況を比較しながら、自校のよさや課題を明確にしましょう。



分析の際は、次のような観点から学校や児童生徒の状況を見ることで、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（カリキュラム・マネジメントの充実につなぐこと）が大切です。

- 今年度の結果だけでなく、経年変化によって児童生徒の変容を知る。
- 学校の取組と、児童生徒の意識の変化や教科に関する調査結果との関連を知る。
- 全国調査と県調査の結果を関連させて、PDCA サイクルを検証する。

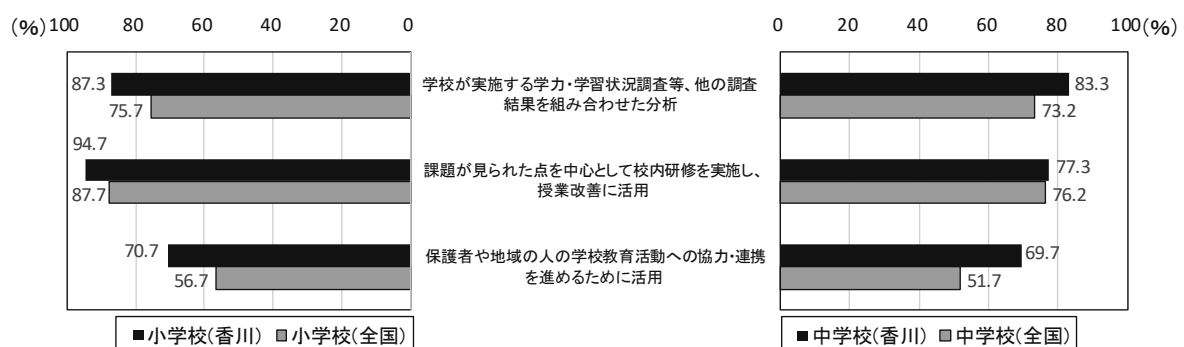
今回の学校質問紙の結果から、多くの学校で全国学力・学習状況調査の結果を活用していることが分かります。

■90 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか

【学校質問紙】



「はい」と回答した学校の割合



活用ツールの使い方だけでなく、調査結果の活用や調査結果を基にした取組等、各学校で困っていることがありましたら、教育センターの「研究相談」や「研修サポート」をご利用ください。

Ⅱ 調査結果（概論）

令和3年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況【小学校】

Point

・教科に関する調査結果については、国語で全国平均を下回り、算数で上回っている。

- ※ 都道府県の調査区分ごとの平成 29 年度以降の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示す。
- ※ 令和元年度より、知識と活用を一体的に問う調査問題が実施されるようになったため、A、Bの区分がなくなっている。
- ※ 令和 2 年度は、実施していないためデータなし。
- ※ 「県と全国との差(pt)」の欄の▲は、マイナスを表す。

【小学校調査】

平成 28 年度～令和 3 年度平均正答率

調査区分	国語		算数	
調査年度	R3	R 元	R3	R 元
県（公立） 平均正答率（%）	63	65	71	68
全国（公立） 平均正答率（%）	65 (64.7)	64 (63.8)	70 (70.2)	67 (66.6)
県と全国との差(pt)	▲2	1	1	1

調査区分	国語 A			国語 B		
調査年度	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県（公立） 平均正答率（%）	69	75	75.0	58	59	59.5
全国（公立） 平均正答率（%）	71 (70.7)	75 (74.8)	72.9	55 (54.7)	58 (57.5)	57.8
県と全国との差(pt)	▲2	0	2.1	3	1	1.7

調査区分	算数 A			算数 B		
調査年度	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県（公立） 平均正答率（%）	64	79	78.2	53	48	46.7
全国（公立） 平均正答率（%）	64 (63.5)	79 (78.6)	77.6	52 (51.5)	46 (45.9)	47.2
県と全国との差(pt)	0	0	0.6	1	2	▲0.5

令和3年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況【中学校】

Point

・教科に関する調査結果については、国語、数学ともに、全国平均を下回っている。

- ※ 都道府県の調査区分ごとの平成 29 年度以降の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示す。
- ※ 令和元年度より、知識と活用を一体的に問う調査問題が実施されるようになったため、A、Bの区分がなくなっている。
- ※ 令和 2 年度は、実施していないためデータなし。
- ※ 「県と全国との差(pt)」の欄の▲は、マイナスを表す。

【中学校調査】

平成 28 年度～令和 3 年度平均正答率

調査区分	国語		数学	
調査年度	R3	R 元	R3	R 元
県（公立） 平均正答率（%）	64	73	56	60
全国（公立） 平均正答率（%）	65 (64.6)	73 (72.8)	57 (57.2)	60 (59.8)
県と全国との差（pt）	▲1	0	▲1	0

調査区分	国語 A			国語 B		
調査年度	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県（公立） 平均正答率（%）	76	78	77.2	60	71	67.5
全国（公立） 平均正答率（%）	76 (76.1)	77 (77.4)	75.6	61 (61.2)	72 (72.2)	66.5
県と全国との差（pt）	0	1	1.6	▲1	▲1	1.0

調査区分	数学 A			数学 B		
調査年度	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県（公立） 平均正答率（%）	67	66	63.8	46	49	44.6
全国（公立） 平均正答率（%）	66 (66.1)	65 (64.6)	62.2	47 (46.9)	48 (48.1)	44.1
県と全国との差（pt）	1	1	1.6	▲1	1	0.5

令和3年度全国学力・学習状況調査

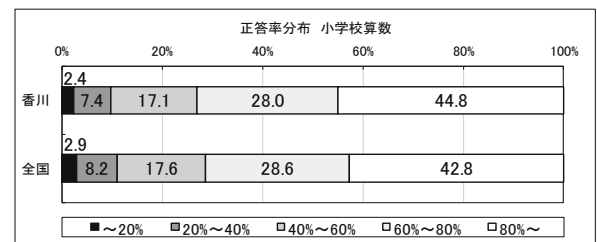
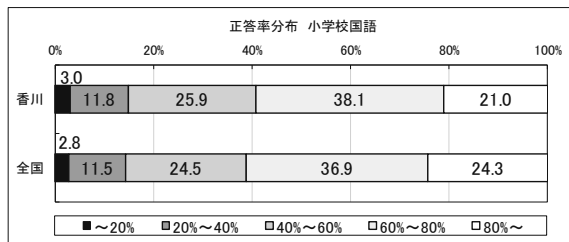
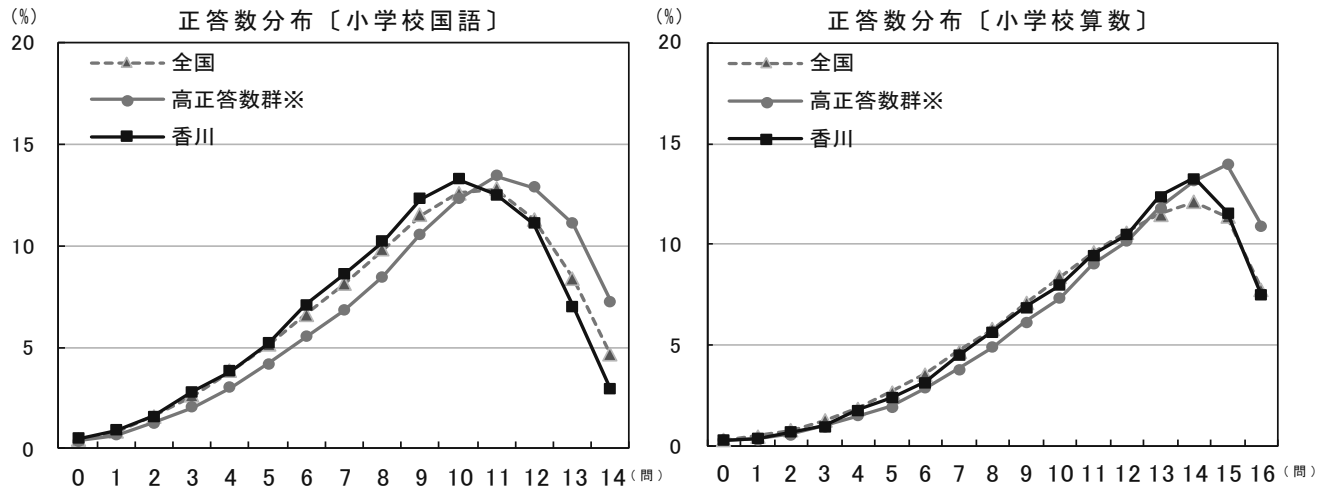
正答数分布、無解答率【小学校】

Point

1. 正答率が40%未満の児童の割合は、国語で全国を上回り、算数で下回っている。正答率が80%以上の児童の割合は、国語で3.3ポイント全国を下回り、算数で2.0ポイント上回っている。

2. 無解答率は、国語で57.1%、算数で12.5%の問題で全国を上回っている。

1 小学校正答数分布（※高正答数群：高正答数の5都道府県の平均）



2 無解答率が全国平均を上回る問題の割合

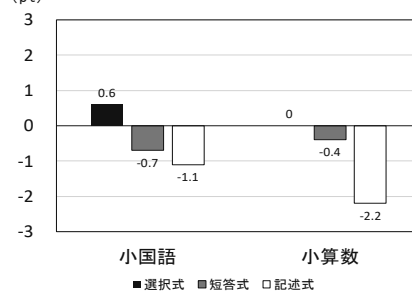
小学校	問題数(問)	全国平均を上回った問題数(問)	割合(%)
国語	14	8	57.1
算数	16	2	12.5

小学校	問題数(問)	全国平均を1pt以上上回った問題数(問)	割合(%)
国語	14	3	21.4
算数	16	0	0.0

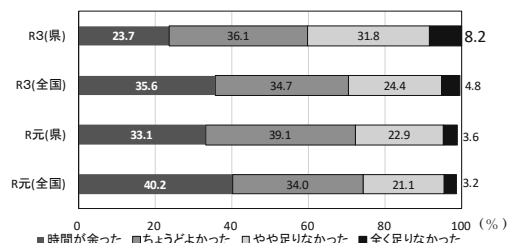
Column

問題形式別に無解答率を県と全国と比較すると、小学校では国語の選択式で全国を上回っていることが分かります。小学校国語で、全国より1pt以上上回った問題は全て選択式の3問で、そのうち2問が最後の問題でした。児童生徒質問紙の「解答時間は十分でしたか」という質問に「全く足りなかった」と答えた児童の割合が全国より3.4pt高く、令和元年度と比較しても増加しています。記述式の無解答率が全国を下回っていることから、無気力で無解答になったわけではなく、前から順に解答していった結果、時間が足りず、最後の2問が無解答となったことが考えられます。普段の授業から、児童生徒が粘り強く取り組む姿勢を大切にしながらも、解答に時間がかかりすぎているか、どこに課題があるのかをつかんで支援することが大切です。

問題形式別無解答率の県と全国との比較(R3)



□68 解答時間は十分でしたか(小学校国語)



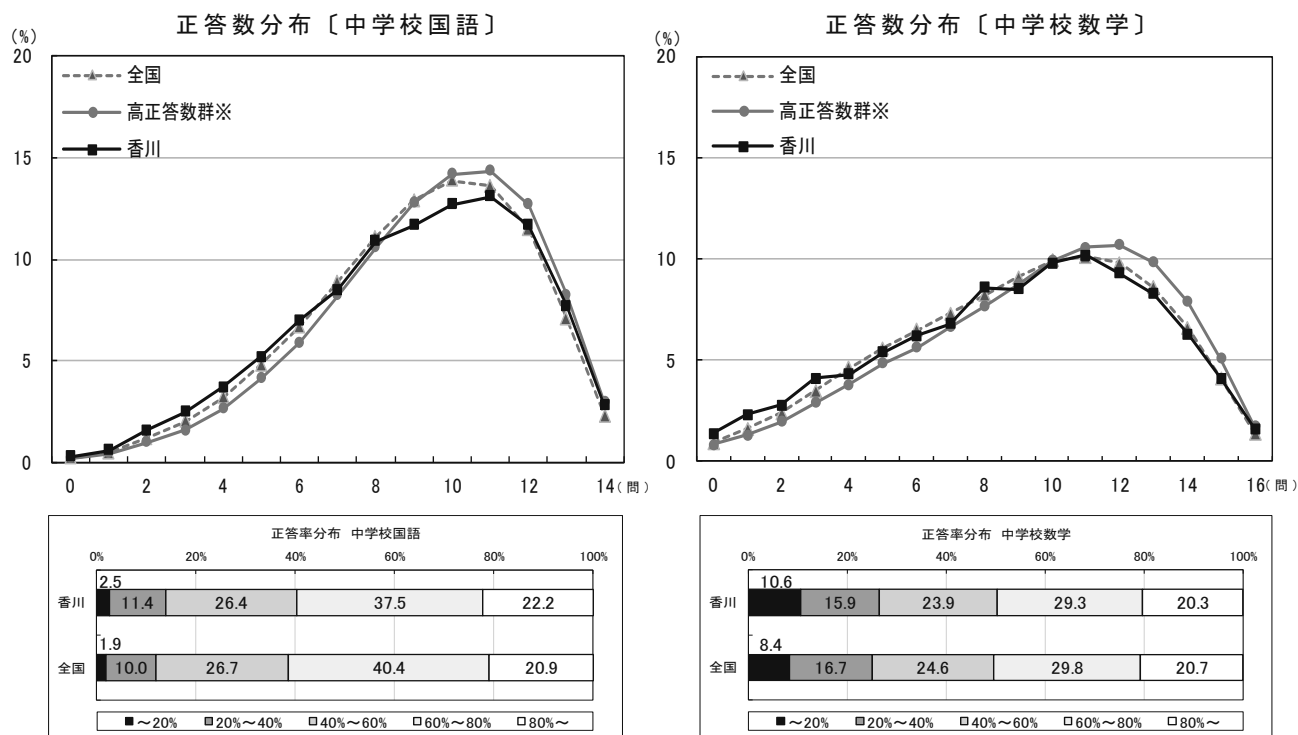
令和3年度全国学力・学習状況調査

正答数分布、無解答率【中学校】

Point

1. 正答率が40%未満の生徒の割合は、国語、数学ともに全国を上回っている。正答率が80%以上の生徒の割合は、国語で1.3ポイント全国を上回り、数学で0.4ポイント下回っている。
2. 無解答率は、国語で92.9%、数学で87.5%の問題で全国を上回っている。

1 中学校正答数分布（※高正答数群：高正答数の5都道府県の平均）



2 無解答率が全国平均を上回る問題の割合

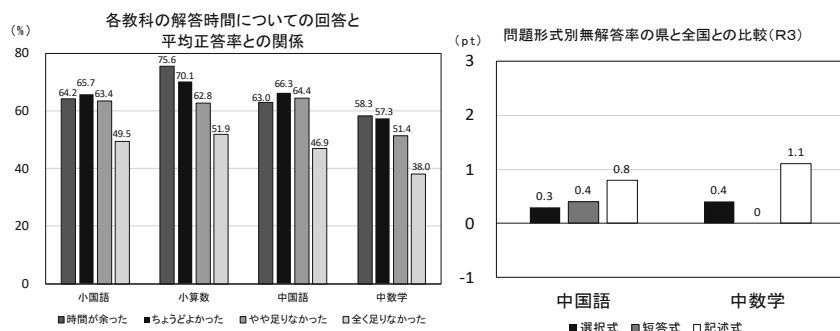
中学校	問題数(問)	全国平均を上回った問題数(問)	割合(%)
国語	14	13	92.9
数学	16	14	87.5

中学校	問題数(問)	全国平均を1pt以上上回った問題数(問)	割合(%)
国語	14	1	7.1
数学	16	9	56.3

Column

児童生徒質問紙の各教科における「解答時間は十分でしたか」という質問に対する回答結果と教科の平均正答率との関係を見ると、小・中学校ともに、国語では「時間が余った」と回答した児童生徒よりも、「ちょうどよかった」と回答した児童生徒の方が平均正答率が高くなっています。問題文を正確に読み、問われていることに適切に答えられているか、何度も見直しをするなど、丁寧な取組が求められます。

また、中学校では、無解答率が全国を上回った問題が多く見られ、特に記述式問題において、その割合が高くなっています。授業においては、問題解決に必要な情報を整理・共有する場面を設定したり、みんなで説明を練り上げていく活動を取り入れたりするなど、自分の考えを整理し、根拠を示しながら筋道立てて説明することができるよう指導を工夫することが大切です。



香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。

※ 「R元番号」欄の「新」は、R3年度新たに問われた質問。()は、類似質問。

【小学校】肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

質問番号	掲載P	R元番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
40	81	32	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	4.7	3.1
64	86	新	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	4.5	4.6

【小学校】肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問番号	掲載P	R元番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
68	87	57	解答時間は十分でしたか(国語)	-11.9	-10.5
43	82	37	国語の勉強は好きですか	-3.4	-6.1
48	82	(42)	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	-1.8	-3.6
39	81	31	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-3.4	-3.5
20	78	H29(17)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	1.5	-3.4
6	75	5	自分には、よいところがあると思いますか	-1.5	-3.0

【中学校】肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

質問番号	掲載P	R元番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
68	87	67	解答時間は十分でしたか(国語)	8.7	5.4

【中学校】 肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問 番号	掲載P	R元 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
39	81	34	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-10.9	-14.0
32	80	38	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	-5.0	-9.2
20	78	H29 (17)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	-3.9	-7.0
33	80	37	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	-7.4	-6.4
61	85	54	英語の勉強は好きですか	-4.4	-6.3
17	77	17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	-3.8	-5.9
52	83	49	数学の勉強は好きですか	-3.7	-5.9
4	75	H29 27	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-5.3	-5.7
38	81	新	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	-2.9	-5.7
48	82	(45)	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	-2.5	-5.4
40	81	35	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	-4.5	-4.1
57	84	H30 31	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	-2.3	-3.8
6	75	5	自分には、よいところがあると思いますか	-3.9	-3.6
54	84	51	数学の授業の内容はよく分かりますか	-3.0	-3.4
14	77	新	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	-4.0	-3.2
13	77	12	学校に行くのは楽しいと思いますか	-4.0	-3.1
44	82	41	国語の勉強は大切だと思いますか	-3.7	-3.0
49	83	(46)	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	-2.3	-3.0
65	86	新	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	-1.1	-3.0

令和3年度全国学力・学習状況調査

香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※調査区分全てにおいて、児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答1」>「回答2」>「回答3」>「回答4」>「回答5」>「回答6」の関係である調査結果を示す。ただし、質問項目22、64は「回答1」<「回答2」<「回答3」<「回答4」<「回答5」の関係。教科に関する質問、質問項目64と65の選択肢⑤を除く。

1【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)	
			国語	算数
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	① している	65.2	73.0
		② どちらかといえば、している	64.3	72.3
		③ あまりしていない	58.3	65.4
		④ 全くしていない	49.5	57.2
		※①～④	15.7	15.8
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	① している	64.7	72.3
		② どちらかといえば、している	63.4	71.3
		③ あまりしていない	57.2	65.5
		④ 全くしていない	44.6	51.0
		※①～④	20.1	21.3
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	① まちんと守っている	64.8	72.2
		② だいたい守っている	63.6	71.6
		③ あまり守っていない	59.0	68.0
		④ 守っていない	52.4	58.5
		⑤ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない	59.3	67.0
6	自分には、よいところがあると思いますか	⑥ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない	65.9	73.2
		※①～④	12.4	13.7
		① 当てはまる	67.0	74.2
		② どちらかといえば、当てはまる	62.9	70.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.8	67.7
8	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	④ 当てはまらない	57.0	65.3
		※①～④	10.0	8.9
		① 当てはまる	65.1	72.4
		② どちらかといえば、当てはまる	63.8	71.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	58.2	66.2
12	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	④ 当てはまらない	52.4	58.4
		※①～④	12.7	14.0
		① 当てはまる	64.4	71.9
		② どちらかといえば、当てはまる	60.9	69.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	53.7	63.0
13	学校に行くのは楽しいと思いますか	④ 当てはまらない	49.2	57.1
		※①～④	15.2	14.8
		① 当てはまる	64.9	72.7
		② どちらかといえば、当てはまる	63.6	70.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	58.6	67.1
14	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	④ 当てはまらない	55.2	63.4
		※①～④	9.7	9.3
		① 当てはまる	67.4	74.7
		② どちらかといえば、当てはまる	64.5	72.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.3	67.3
15	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	④ 当てはまらない	52.5	59.1
		※①～④	14.9	15.6
		① 当てはまる	67.4	75.2
		② どちらかといえば、当てはまる	63.9	71.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.6	67.8
16	友達と協力するのは楽しいと思いますか	④ 当てはまらない	53.2	60.9
		※①～④	14.2	14.3
		① 当てはまる	63.6	71.4
		② どちらかといえば、当てはまる	63.2	70.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.4	69.0
17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	④ 当てはまらない	59.0	62.6
		※①～④	4.6	8.8
		① よくしている	67.9	75.3
		② よくまわっている	63.0	70.3
		③ あまりしていない	60.0	68.5
22	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)	④ 全くしていない	53.7	63.4
		※①～④	14.2	11.9
		① 0～10冊	53.2	60.1
		② 11～25冊	59.5	66.3
		③ 26～100冊	64.3	72.1
23	新聞を読んでいますか	④ 101～200冊	66.8	74.7
		⑤ 201～500冊	68.2	76.6
		⑥ 501冊以上	68.3	77.0
		※⑥～①	15.1	16.9
		① ほぼ毎日読んでいる	70.2	76.5
25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	② 週に1～3回程度読んでいる	68.7	75.8
		③ 月に1～3回程度読んでいる	64.7	72.4
		④ ほとんど、または、全く読まない	61.6	69.6
		※①～④	8.6	6.9
		① 当てはまる	65.3	72.7
27	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	② どちらかといえば、当てはまる	64.7	72.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.5	70.5
		④ 当てはまらない	59.2	66.9
		※①～④	15.8	5.8
		① ほぼ毎日	64.9	72.0
28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	② 週1回以上	64.5	71.7
		③ 月1回以上	63.5	71.4
		④ 月1回未満	60.3	69.0
		※①～④	4.6	3.0
		① 役に立つと思う	64.1	71.8
30	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか	② どちらかといえば、役に立つと思う	62.0	69.7
		③ どちらかといえば、役に立たないと思う	58.5	66.6
		④ 役に立たないと思う	55.4	64.2
		※①～④	8.7	7.6
		① いつも話している	63.8	71.5
31	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	② ほとんどいつも話している	61.4	69.8
		③ ときどき話す	55.2	60.4
		④ 全く話さない	46.4	51.8
		※①～④	17.4	19.7
		① 伝えていた	67.9	74.8
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	② どちらかといえば、伝えていた	63.0	71.2
		③ どちらかといえば、伝えていなかった	57.1	65.0
		④ 伝えていなかった	49.0	56.6
		※①～④	18.9	18.2
		① 発表していた	69.2	76.8
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	② どちらかといえば、発表していた	65.1	72.7
		③ どちらかといえば、発表してなかった	59.3	67.4
		④ 発表してなかった	55.6	63.2
		⑤ 考えを発表する機会はなかった	46.3	54.1
		※①～⑤	22.9	22.7
34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめて、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	① 当てはまる	69.0	77.0
		② どちらかといえば、当てはまる	63.6	71.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	57.3	64.5
		④ 当てはまらない	47.7	56.4
		※①～④	21.3	20.6
35	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	67.0	75.0
		② どちらかといえば、当てはまる	65.2	72.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.6	67.6
		④ 当てはまらない	54.5	62.1
		※①～④	12.5	12.9
36	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか	① 当てはまる	66.7	74.7
		② どちらかといえば、当てはまる	63.0	70.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	56.6	64.6
		④ 当てはまらない	53.1	59.7
		※①～④	13.6	15.0
37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	① 当てはまる	64.4	71.7
		② どちらかといえば、当てはまる	62.5	70.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.7	63.7
		④ 当てはまらない	50.5	58.4
		※①～④	13.9	13.3
		① 当てはまる	67.1	74.6
		② どちらかといえば、当てはまる	64.1	71.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	57.3	65.1
		④ 当てはまらない	49.8	58.1
		⑤ 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	53.3	64.4
		※①～⑤	13.3	10.2

38	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	69.0 63.4 56.3 49.9 20.6	77.1 70.9 64.1 56.5 20.6
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	68.7 64.3 58.4 51.9 16.4	75.4 72.0 66.8 59.3 16.1
40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	67.7 62.9 58.7 54.9 12.2	74.2 71.0 66.5 64.5 9.5
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	64.9 63.6 61.2 58.1 8.8	72.5 71.4 69.0 65.9 6.6
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	65.4 63.4 57.9 56.2 8.2	72.3 71.2 67.2 65.1 11.4
64	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ 思い出せない 差①-⑤	62.6 63.1 63.4 66.1 60.0 3.5	69.5 71.1 71.7 74.6 68.0 5.1
65	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ 思い出せない 差①-⑤	67.5 64.4 59.6 59.0 60.0 10.5	75.5 71.8 67.5 64.9 67.8 10.6

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)	
			国語	数学
13	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	64.7 64.6 64.0 58.6 6.7	58.3 56.0 54.5 46.9 11.4
15	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	68.3 64.9 60.5 52.7 15.6	61.0 57.2 52.3 42.8 18.2
17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	① よくしている ② ときどきしている ③ あまりしていない ④ 全くしていない 差①-④	69.1 64.5 63.2 58.9 10.2	64.3 57.1 54.1 49.2 15.1
18	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	① 3時間以上 ② 2時間以上、3時間より少ない ③ 1時間以上、2時間より少ない ④ 30分以上、1時間より少ない ⑤ 30分より少ない ⑥ 全くしない 差①-⑥	66.7 66.3 65.3 62.0 57.6 51.6 15.1	62.1 59.7 57.6 53.1 46.1 37.6 24.5
19	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	① 4時間以上 ② 3時間以上、4時間より少ない ③ 2時間以上、3時間より少ない ④ 1時間以上、2時間より少ない ⑤ 1時間より少ない ⑥ 全くしない 差①-⑥	69.9 68.1 65.8 63.2 59.8 53.4 16.5	65.4 58.6 58.8 54.9 49.9 41.8 23.6
28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	① 役に立つと思う ② どちらかといえば、役に立つと思う ③ どちらかといえば、役に立たないと思う ④ 役に立たないと思う 差①-④	64.4 64.4 62.4 58.0 6.4	56.7 56.4 55.0 52.4 4.3
31	1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達と考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	① 伝えていた ② どちらかといえば、伝えていた ③ どちらかといえば、伝えていなかった ④ 伝えていなかった 差①-④	67.2 64.7 58.3 50.9 16.3	60.5 56.9 48.7 39.8 20.7
32	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	① 発表していた ② どちらかといえば、発表していた ③ どちらかといえば、発表してなかった ④ 発表してなかった ⑤ 考えを発表する機会はなかった 差①-⑤	68.3 67.2 62.3 57.2 55.7 12.6	63.2 59.8 54.2 46.6 45.9 17.3
33	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	69.2 65.5 57.4 50.9 18.3	65.3 57.5 46.4 38.4 26.9
34	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	66.1 65.8 63.1 57.0 9.1	60.9 57.8 55.1 47.0 13.9
35	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	66.9 65.3 60.5 54.9 12.0	61.4 57.7 50.9 42.8 18.6
36	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	64.7 63.8 60.2 52.0 12.7	56.8 56.1 54.4 43.3 13.5
38	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	70.1 65.7 58.7 52.4 17.7	66.0 58.4 47.9 39.6 26.4
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	66.0 65.4 63.3 60.0 6.0	59.9 58.0 55.0 50.0 9.9
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない 差①-④	66.5 64.0 57.8 53.4 13.1	59.3 55.9 49.6 42.7 16.6
64	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ 思い出せない 差①-⑤	63.3 65.0 65.0 66.0 58.2 2.7	55.8 56.5 57.7 59.1 48.7 3.3
65	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ 思い出せない 差①-⑤	67.3 64.2 62.5 62.5 57.3 4.8	63.5 60.6 55.6 53.0 47.0 10.5

香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。

※ 「質問番号」欄の()は、類似質問。「R元番号」欄の「新」は、R3年度新たに問われた質問。

【小学校】 肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	R元 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
25	(25)	98	26	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	21.9	12.1
C2-4	C2-4	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ④児童の自由研究や自主学習ノート等の学習	35.9	11.7
91	91	111	20	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	4.3	11.3
74	74	106	新	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ⑤児童が1人で活用する場面	-0.1	8.0
83	83	107	57	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(82)の質問にあるような、保護者や地域のひととの協働による活動を行いましたか	-1.9	7.3
66	66	105	49	前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか	14.2	6.1
C8	C8	116	新	新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 児童と教員の関係	0.2	5.7
30	30	98	H29 19	調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	1.0	5.1

【小学校】 肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	R元 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
C2-8	C2-8	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑧都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習	-13.1	-20.4
79	79	107	53	平成31年度(令和元年度)の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	-6.5	-19.4
39	(39)	100	新	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字(400字詰め原稿用紙2枚)程度で児童にまとめさせたことがありましたか	-2.8	-17.4
56	56	103	46	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-6.2	-15.8
67	67	105	新	教員は、学習履歴(スタディ・ログ)をはじめとした様々な教育データを、児童の状況に応じた指導に活用していますか	0.3	-14.6
77	77	106	51	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-6.3	-13.1
C5-6	C5-6	114	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑥市町村教育委員会や学校のシステム(センターサーバの容量等)が不十分だった	-9.4	-12.0
C2-5	C2-5	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑤学校が作成した学習動画等を活用した学習	-7.7	-11.2
C5-5	C5-5	114	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑤規則等(セキュリティポリシー等)が整っていなかった	-5.9	-10.8
70	70	105	新	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ①教職員間の連絡	-2.1	-10.7

50	50	102	40	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-5.1	-10.6
C5-8	C5-8	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑧家庭(受信側)のPC・タブレット等の端末(スマートフォンを含む)が不足していた	-3.8	-9.2
C5-10	C5-10	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑩家庭の通信環境(無線LAN等)が整っていなかった	-2.6	-9.0
C2-7	C2-7	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑦都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」・「復習ノート」等の教材(教育委員会のHPで配信されている場合を含む)を活用した学習	-4.5	-8.3
C5-4	C5-4	114	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ④学校のインターネット接続の通信速度が不十分だった	-3.4	-8.1
73	73	106	新	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ④教職員と家庭との連絡	-2.1	-7.6
C5-7	C5-7	114	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑦教職員のICT活用のスキルが不足していた	-2.3	-6.9
75	75	106	新	あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	-3.2	-6.6
C2-3	C2-3	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ③教科書会社その他民間が作成したプリント等を配布(電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む)	-0.5	-6.5
47	47	101	新	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか	-4.1	-6.4
C5-1	C5-1	113	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ①学校(送信側)のPC・タブレット等の端末が不足していた	-1.0	-6.2
C5-12	C5-12	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑫ICT活用に対して保護者からの支援を得るのが難しかった	-7.5	-6.1
C5-13	C5-13	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑬ICT活用に対して教育委員会が積極的ではなかった	-10.9	-5.9
C5-15	C5-15	116	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑮オンラインでの配信やWeb上での学習のための教材が不足していた	-1.0	-5.6
C10	C10	116	新	新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 教員の業務量	-12.0	-5.5

【中学校】 肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	R元 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
63	63	104	新	コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業(授業準備も含む)を行うための準備ができていますか	4.1	9.9
C2-4	C2-4	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課してきましたか ④生徒の自由研究や自主学習ノート等の学習	11.5	9.2
C10	C10	116	新	新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 教員の業務量	2.2	7.3
68	68	105	新	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	0.2	6.4
91	91	111	20	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	2.4	5.1

【中学校】 肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	R元 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
C2-8	C2-8	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑧都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習	-20.3	-30.5
74	74	106	新	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ⑤生徒が1人で活用する場面	-10.7	-21.7
40	40	100	H29 22	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか	-6.3	-20.5
56	56	103	47	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-9.4	-19.7
13	13	96	新	教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	-10.0	-19.2
C2-5	C2-5	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑤学校が作成した学習動画等を活用した学習	-13.0	-17.6
41	41	100	34	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	-10.3	-16.9
64	64	104	新	コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業を行うための準備ができていますか	-0.7	-16.8
C2-9	C2-9	113	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑨公的機関や民間の音声・動画コンテンツ等を活用した学習（(5)及び(8)を除く）	-9.8	-16.6
14	14	96	新	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	-5.6	-13.8
38	38	100	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか	-7.0	-13.1
39	39	100	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを1,200字(400字詰め原稿用紙3枚)程度で生徒にまとめさせたことがありましたか	-4.1	-13.1
70	70	105	新	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ①教職員間の連絡	-11.8	-12.4
78	78	107	66	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	-6.5	-12.1
69	69	105	新	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	-3.5	-11.2
36	36	99	37	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	-4.4	-11.1
30	30	98	H29 19	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	-10.6	-10.5
37	37	100	38	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	-10.8	-10.5
34	34	99	H29 41	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	-8.3	-10.2
87	87	108	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか(教科共通)	-6.1	-9.6
C5-11	C5-11	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑪ICT活用に対して教職員からの協力を得るのが難しかった	-15.3	-9.2
29	29	98	33	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	-6.3	-8.7
75	75	106	新	あなたの学校では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようになっていますか	-4.8	-8.6
57	57	103	48	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-6.9	-8.4

C5-10	C5-10	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑩家庭の通信環境(無線LAN等)が整っていなかった	-2.5	-8.3
82	82	107	70	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	-7.3	-8.1
21	21	97	19	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	-13.1	-7.9
66	66	105	63	前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行いましたか	-3.8	-7.5
C5-9	C5-9	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑨家庭の周辺機器(Webカメラ等)が不足していた	-5.6	-7.5
20	20	97	18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-6.4	-7.3
C5-2	C5-2	114	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ②学校の周辺機器(Webカメラやスキャナ等)が不足していた	-7.5	-7.3
C5-7	C5-7	114	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑦教職員のICT活用のスキルが不足していた	-7.5	-7.3
67	67	105	新	教員は、学習履歴(スタディ・ログ)をはじめとした様々な教育データを、生徒の状況に応じた指導に活用していますか	-1.6	-7.3
61	61	104	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導に当たって、前年度までに、英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う(対話的な)活動に取り組みましたか	-19.2	-6.9
C5-8	C5-8	115	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑧家庭(受信側)のPC・タブレット等の端末(スマートフォンを含む)が不足していた	-5.5	-6.6
C5-15	C5-15	116	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑮オンラインでの配信やWeb上での学習のための教材が不足していた	-3.0	-6.6
C2-7	C2-7	112	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑦都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」・「復習ノート」等の教材(教育委員会のHPで配信されている場合を含む)を活用した学習	-2.7	-6.5
32	32	99	H29 17	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-11.8	-6.3
50	50	102	41	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-3.0	-6.3
54	54	102	新	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか	-5.6	-6.3
72	72	106	新	あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ③生徒同士がやりとりする場面	-2.5	-6.1
C2-10	C2-10	113	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑩テレビ放送を活用した学習	-5.3	-6.0
18	18	96	15	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	-13.3	-5.8
C5-1	C5-1	113	新	C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ①学校(送信側)のPC・タブレット等の端末が不足していた	0.4	-5.8
47	47	101	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか	-7.3	-5.0

Question 1 学習意欲 に関わる 質問項目

本県の課題とされている「学習意欲」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのような課題が見られたか。また、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

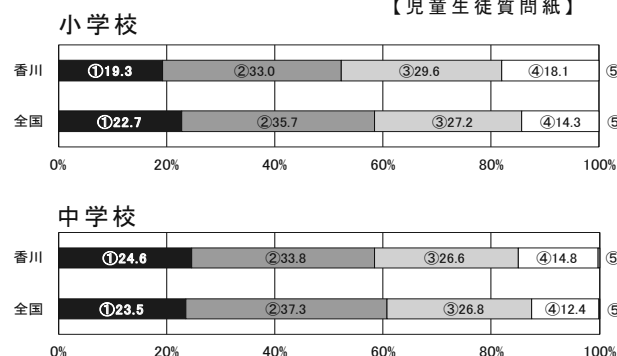
1. 「 $\square^{43}$ 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で全国を下回っており、令和元年度より減少している。中学校は、平成 28 年度から減少傾向だったが、今年度は増加している。また、「 $\square^{45}$ 国語の授業の内容がよく分かりますか」という質問に対する肯定的な回答の割合は、小学校で微増、中学校で増加している。
2. 「 $\square^{52}$ 算数（数学）の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で令和元年度より増加し、全国を上回っている。中学校は、令和元年度より減少し、全国を下回っている。同様に、「 $\square^{54}$ 算数（数学）の授業の内容がよく分かりますか」という質問に対する肯定的な回答の割合は、小学校で微増、中学校で減少している。
3. 「 $\square^{61}$ 英語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答している生徒の割合は、令和元年度より減少し、全国を下回っている。

1 国語に対する意識

P82

□43 国語の勉強は好きですか

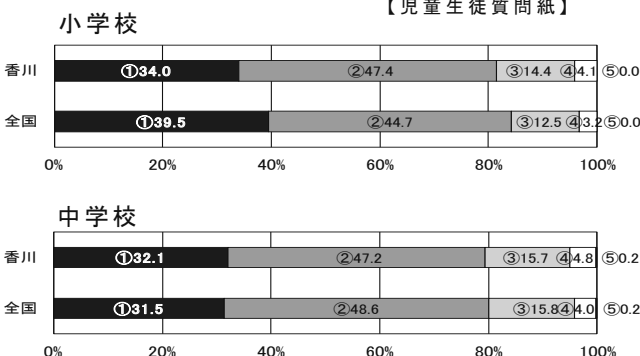
【児童生徒質問紙】



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

□45 国語の授業の内容はよく分かりますか

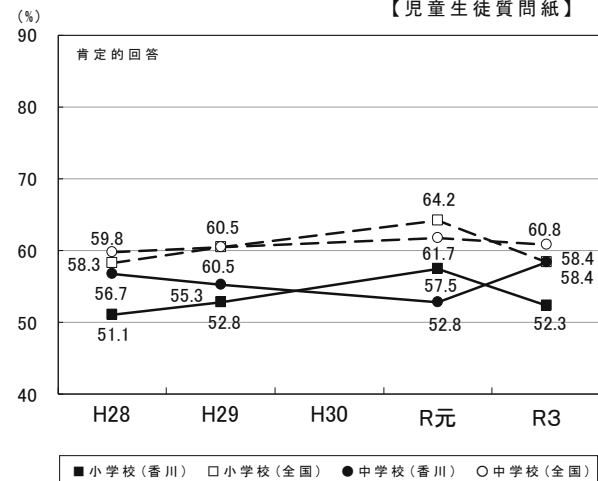
【児童生徒質問紙】



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

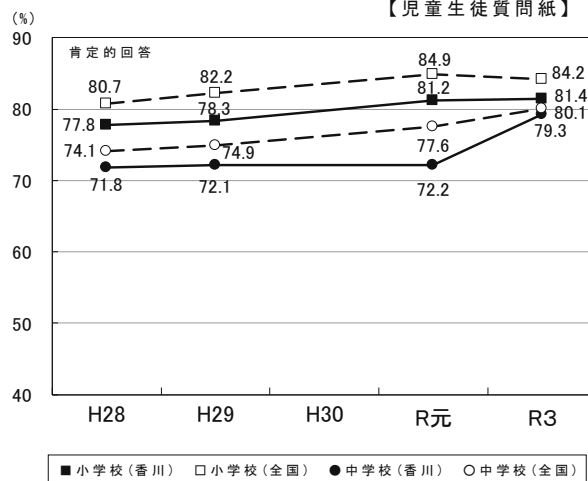
□43 国語の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□45 国語の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



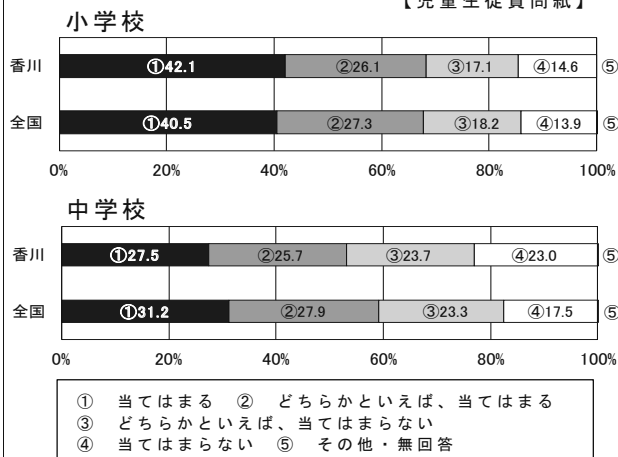
H30 は、国語に関しての質問なし

2 算数・数学に対する意識

P83、84

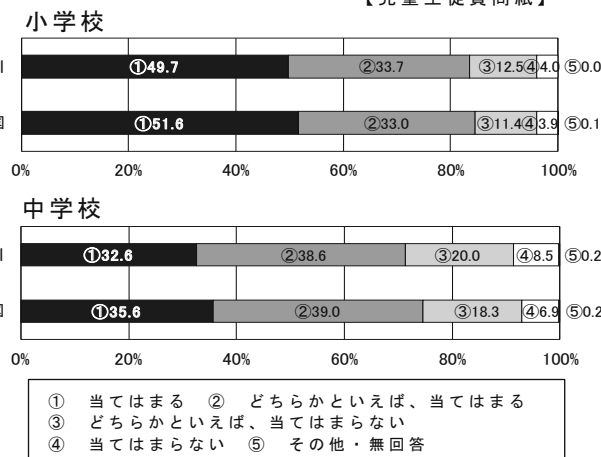
□52 算数（数学）の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



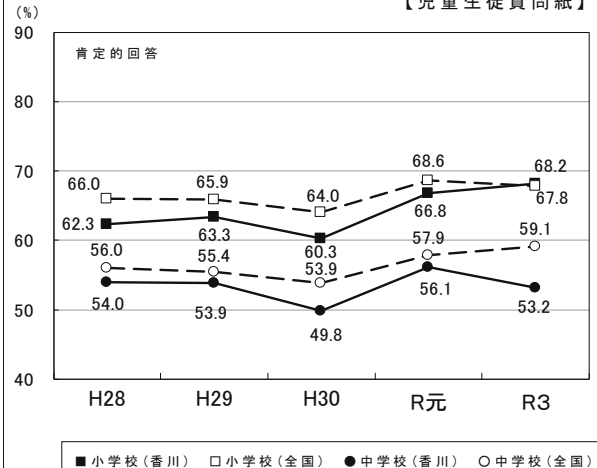
□54 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



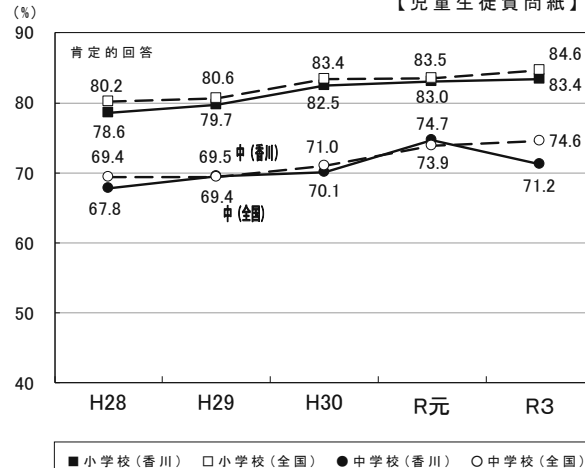
□52 算数（数学）の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□54 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】

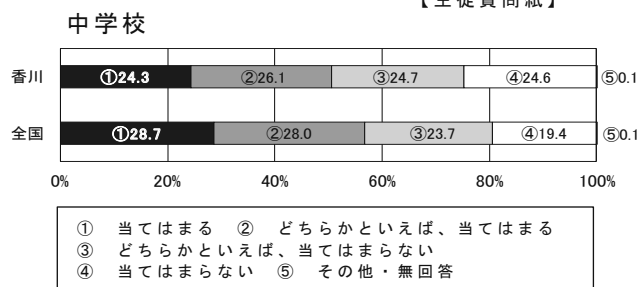


3 英語に対する意識（中学校のみ）

P85

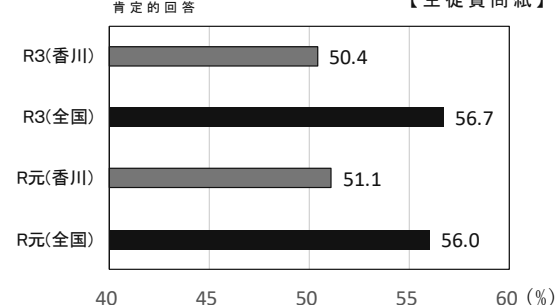
□61 英語の勉強は好きですか

【生徒質問紙】



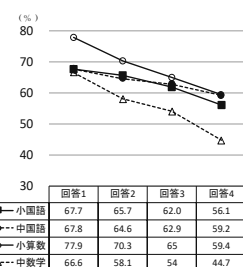
□61 英語の勉強は好きですか

【生徒質問紙】

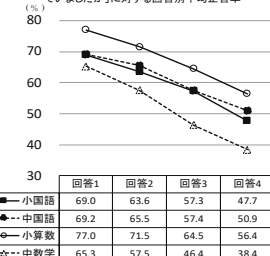


Column

「□43 国語(算数・数学)の勉強は好きですか」に対する回答別平均正答率



「□33 5年生(1、2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」に対する回答別平均正答率



グラフから、「教科が好きであること」や「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと」と平均正答率との間には相関があることが分かります。その教科を「好き」になるには、教科への興味関心を高める工夫が必要ですが、それには、自分で考え、取り組むことができる学習者主体の授業づくりが欠かせません。

その際、児童生徒が授業のどの場面でどのように考えるのかを具体的に想定しておき、何をどのように考えたから分かったのか、分からなかったのかという学習の過程の振り返りにつなぐことも大切です。

Question 2 言語活動 に関わる 質問項目

本県の課題とされている「言語活動」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られたか。また、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

- 「☐31 話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていた」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、80%を超えている。
- 「☐32 自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していた」「☐37 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っているものの、令和元年度より増加している。

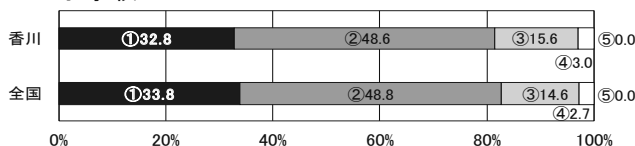
1 自分の考えの表現

P80

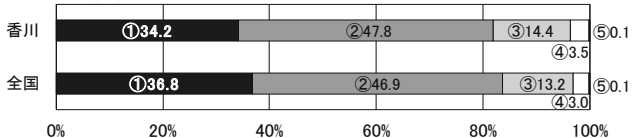
□31 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか

【児童生徒質問紙】

小学校



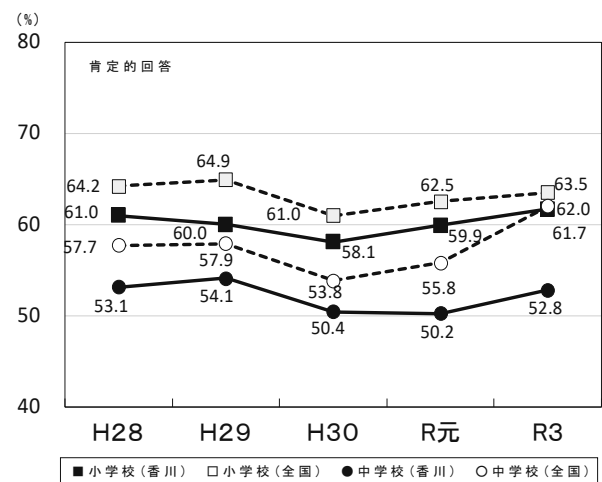
中学校



- ① 伝えていた ② どちらかといえば、伝えていた
③ どちらかといえば、伝えていなかった
④ 伝えていなかった ⑤ その他・無回答

□32 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

【児童生徒質問紙】



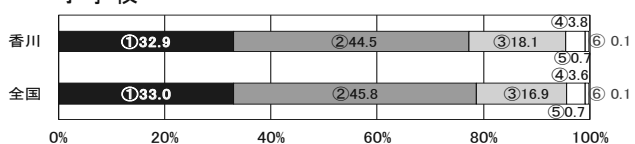
2 自分の考えの深化・拡張

P81

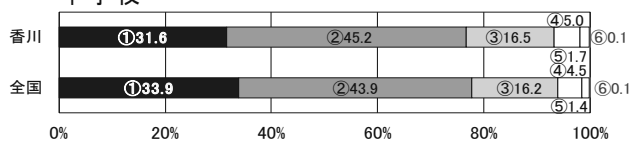
□37 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

【児童生徒質問紙】

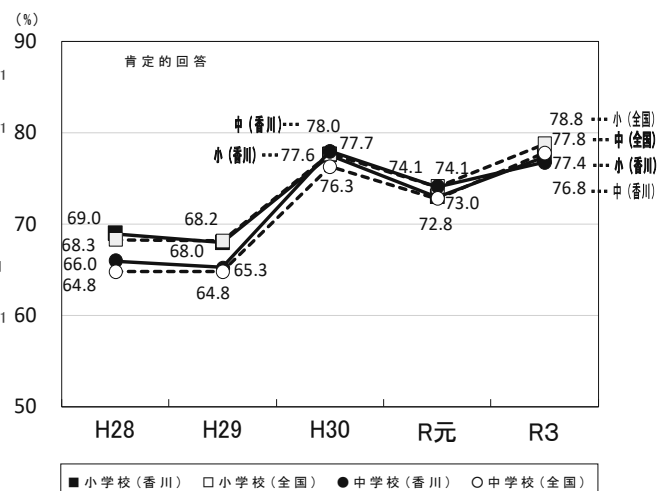
小学校



中学校



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を行っていない ⑥ その他・無回答



Question 3 自尊意識等 に関する 質問項目

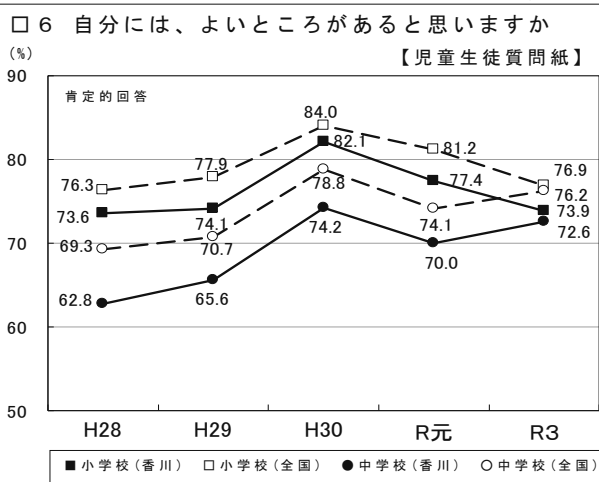
本県の課題とされている「自尊意識等」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られたか。また、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

- 「□⁶ 自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を下回っており、令和元年度と比較して小学校で減少し、中学校で増加している。
- 「□⁷ 将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校で全国をやや上回ったが、令和元年度より減少している。中学校では、全国を下回り、令和元年度より減少している。
- 「□⁹ 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の質問に対して肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を上回っているが、令和元年度より減少している。

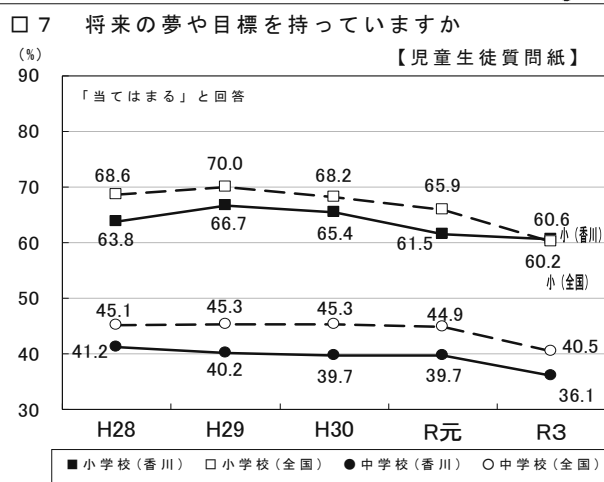
1 自分のよさ

P75



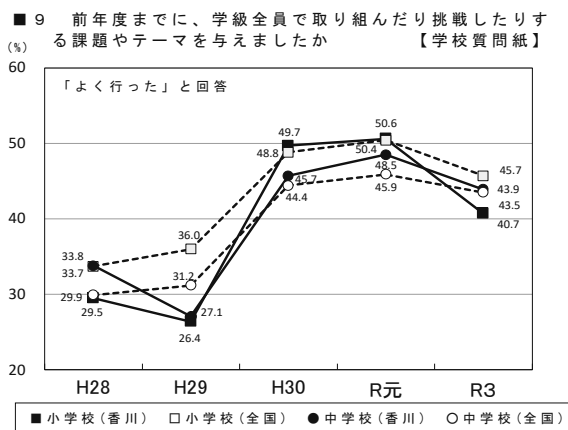
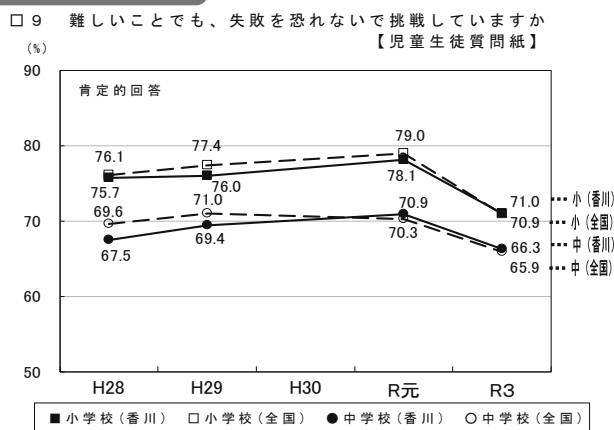
2 将来の夢や目標

P76



Close-up

P76、95



□ 9 の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、令和元年度と比較して、小学校で 7.1pt、中学校で 4.6pt 減少しています。■ 9 の質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、令和元年度と比較して、小学校で 9.9pt、中学校で 4.6pt 減少しています。コロナ禍により、人と交流する活動が制限され、学校行事等の多くが延期や縮小を余儀なくされることが、児童生徒の何事にも挑戦しようとする気持ちに影を落としている現状がうかがえます。□ 7 の結果からも、将来に夢や目標を抱きづらくなっている傾向がうかがえます。コロナ禍以前の児童生徒の本来の「姿」に一日も早く戻すために、効果的な課題やテーマを探り、時機を逸することなく意図的に仕掛けられるか、今後の取組が大切になってきます。

Question 4 規範意識 に関する 質問項目

「規範意識」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られたか。また、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

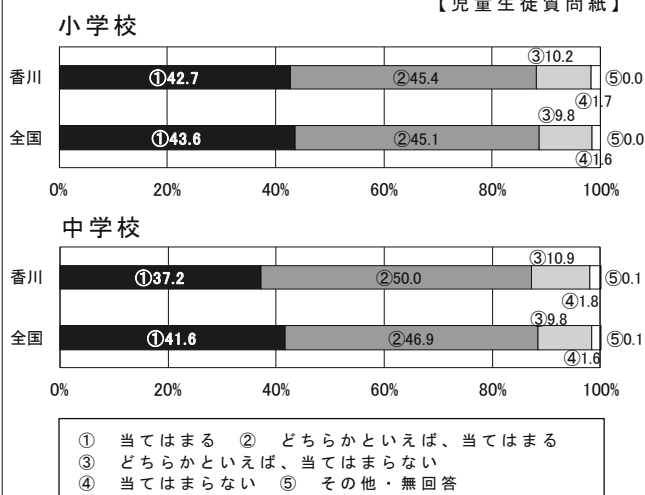
- 1.「 $\square^{10}$ 人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国をやや下回っている。
- 2.「 $\square^{12}$ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに令和元年度より増加し、全国を上回っている。
- 3.「 $\square^{11}$ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校は、令和元年度よりやや減少したものの、全国を上回っている。中学校は、全国を下回っているが、令和元年度より増加している。

1 人との関わり

P76

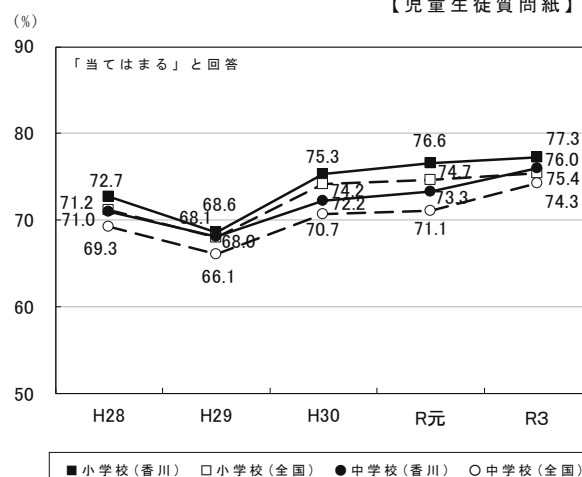
□10 人が困っているときは、進んで助けていますか

【児童生徒質問紙】



□12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【児童生徒質問紙】

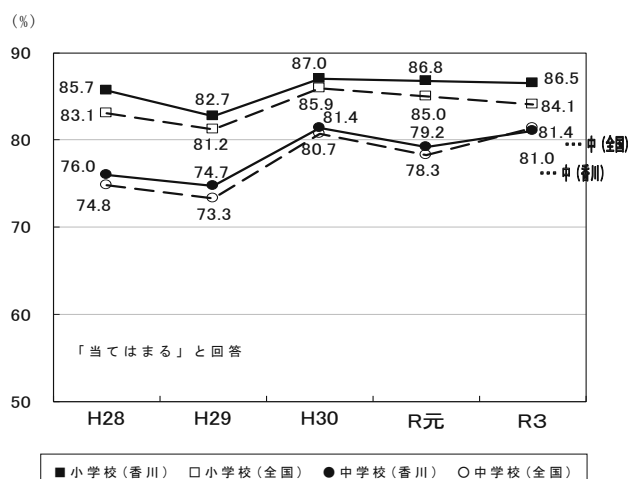
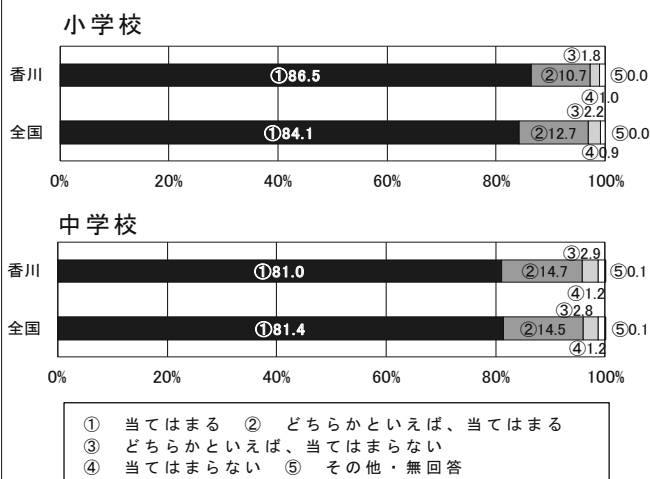


2 いじめ

P76

□11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【児童生徒質問紙】



Question 5 学校生活 に関わる 質問項目

「学校生活」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られたか。また、どのような回答状況の変化が見られたか。

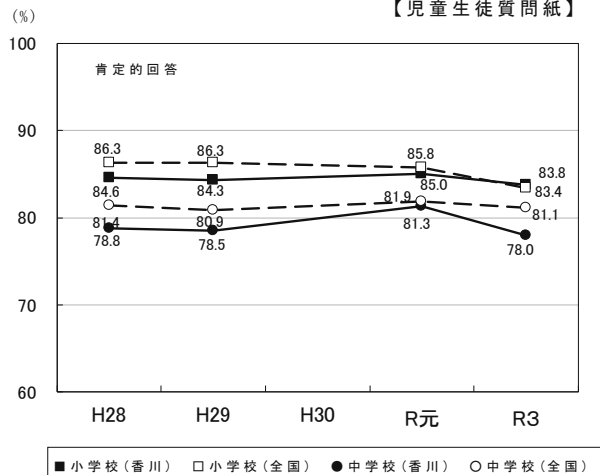
Answer

- 1.「□13 学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、令和元年度より減少している。小学校は全国を上回っているが、中学校は全国を下回っている。
- 2.「□16 友達と協力するのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小・中学校ともに、90%を超えている。
- 3.「□14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」の質問に対して、小・中学校ともに、約30%の児童生徒が否定的な回答をしている。

1 学校や学級に対する意識



□13 学校に行くのは楽しいと思いますか
【児童生徒質問紙】

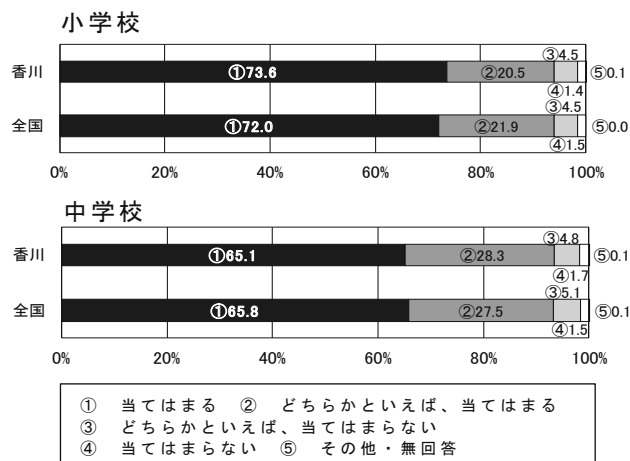


H30 は、該当する質問無し

2 友達との協力

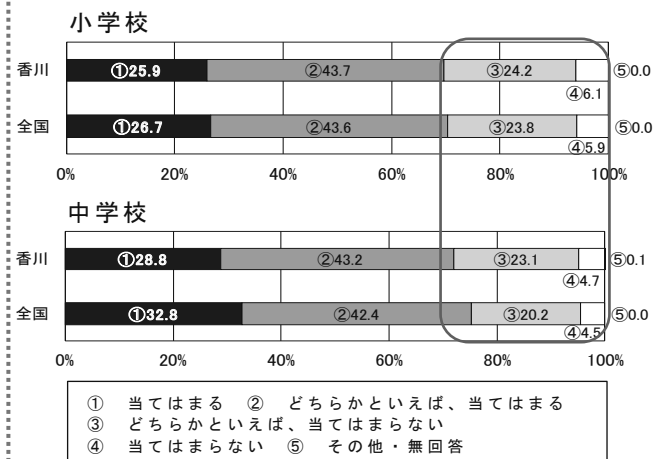


□16 友達と協力するのは楽しいと思いますか
【児童生徒質問紙】



Close-up

□14 自分の思っていることや感じていることを
きちんと言葉で表すことができますか
【児童生徒質問紙】



本県では、□14の質問に対して、否定的な回答をした児童生徒が、小・中学校ともに約30%います。その要因は様々ですが、各学校においては、引き続き全ての児童生徒にしっかりと目を向け、適切な関わりや支援を行っていくことが求められます。特に、思いや考えを言葉で表すことに苦手意識をもっている児童生徒については、表情や行動など様々な角度から思いや考えをくみ取り、関わり方や支援の在り方を考える必要があります。

また、きちんとした言葉で伝えられなくても、安心して自分の気持ちを伝えることができる支持的風土を培っていくことも大切です。

授業等においては、言語活動を一層充実させ、話し手と聞き手両方の立場から、相手意識や目的意識を大切にしながら、表現力を高める指導を進めていきましょう。

Question 6 家庭学習 に関わる 質問項目

「家庭学習」に関わる質問項目について、どのような結果になっていたか。また、1日当たりの勉強時間は、どのような結果になっていたか。

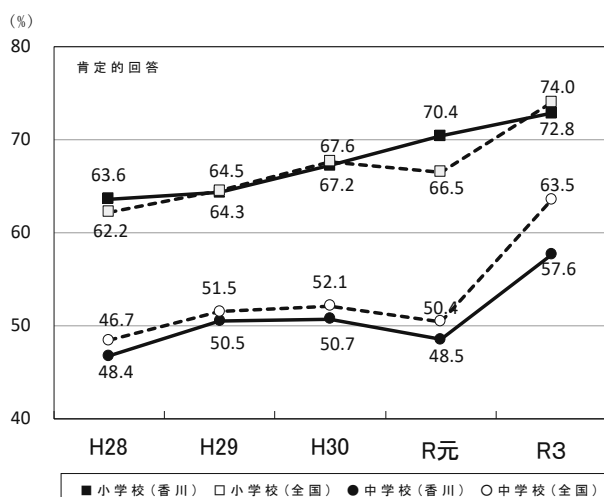
Answer

1. 「□17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っているが、令和元年度より増加し、H28年度以降、最も高くなっている。
2. 「□18 学校の授業時間以外の勉強時間」は、小・中学校ともに、1時間以上2時間未満の児童生徒の割合が多い。
3. 「■86 家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校はH28年度以降最も高く、中学校は、H29年度以降増加傾向だったが、今年度は減少している。

1 家庭での計画的な学習



□17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
【児童生徒質問紙】



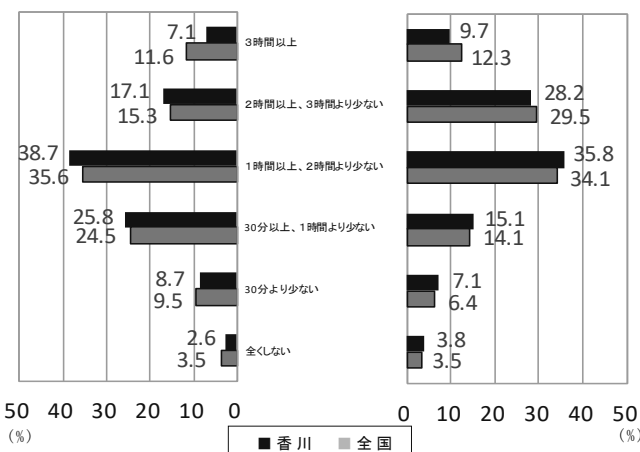
2 平日1日当たりの勉強時間



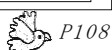
□18 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
【児童生徒質問紙】

小学校

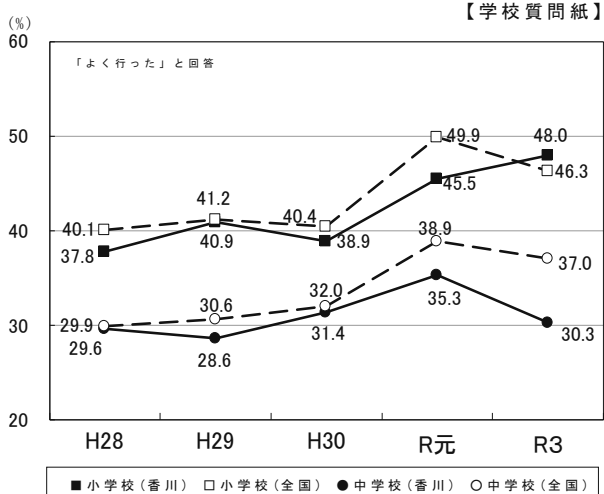
中学校



3 家庭での学習方法等の指導



■86 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童(生徒)に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか
【学校質問紙】



Column

□17の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合が小・中学校ともに増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響で休校だった期間中、勉強に不安を感じた児童生徒が、計画の必要性を感じたことも影響の一つだと考えられます。(P32 参照)

■86の質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校では増加し、□17の回答と同じ傾向を示しています。中学校では、学校での取組は減少していますが、□17では大きく増加していることから、自分で計画を立て、自ら学ぶとする習慣が身に付きつつあることもうかがえます。

今後、家庭学習をさらに効果的なものにするには、授業で学習したことを活用する課題を出したり、予習で取り組んだことが生きる授業を設定したりするなど、授業での学習内容と関連付けることが大切です。教師が意図的、計画的な指導を続けていくことが家庭学習の充実につながります。

Question 7
メディアの利用
に関する
質問項目

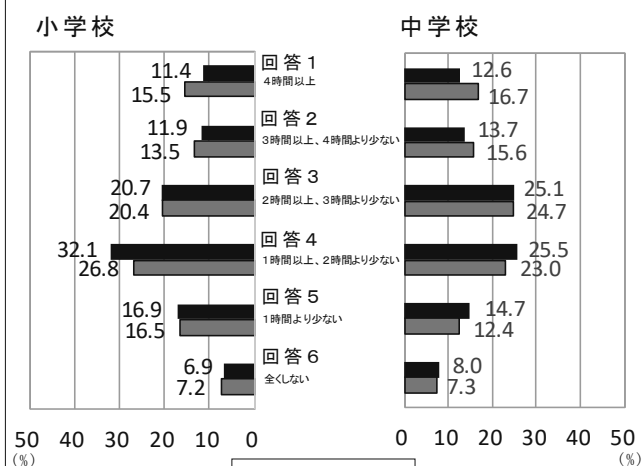
「メディアの利用」に関わる質問紙調査結果については、どのような結果が見られたか。また、平均正答率との関係はどうだったか。

Answer

- 「□⁵ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」の質問に対して、小・中学校ともに、「1時間以上2時間より少ない」と回答した児童生徒の割合が最も高くなっている。平均正答率との関係を見ると、小学校算数と中学校国語・数学では「1時間より少ない」と回答した児童生徒の平均正答率が最も高い。
- 「□²¹ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の質問に対して、小学校では「10分～30分」、中学校では「全くしない」と回答した児童生徒の割合が最も高くなっている。中学校では、「10分～30分」と回答した生徒の平均正答率が高い。

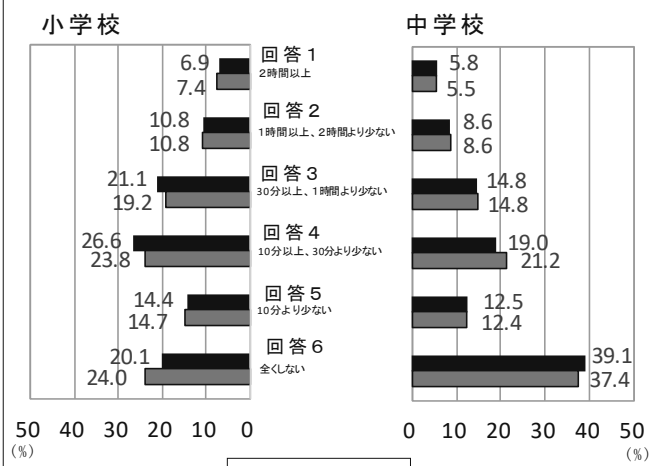
1 平日1日当たりのゲームの時間 P75

□⁵ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 【児童生徒質問紙】



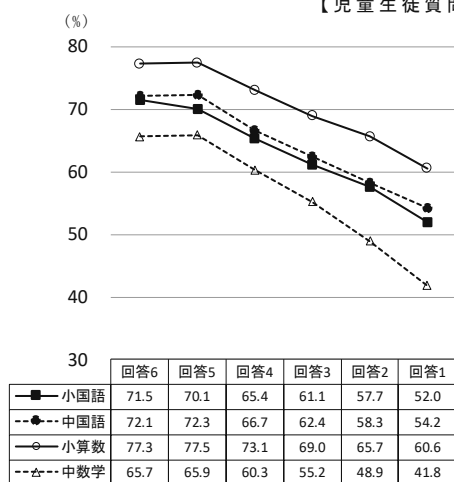
2 平日1日当たりの読書の時間 P78

□²¹ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 【児童生徒質問紙】



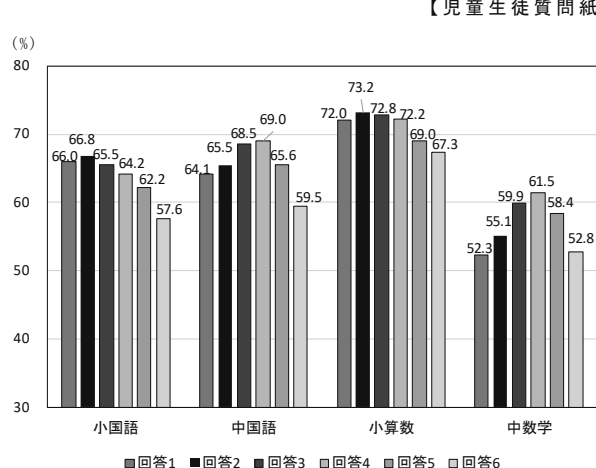
3 ゲームの時間と平均正答率

「□⁵ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】



4 読書時間と平均正答率

「□²¹ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】



～特集1～ 主体的・対話的 で深い学び

1. 「□33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を下回っているものの、令和元年度より増加している。平均正答率との関係を見ると、肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高くなっている。

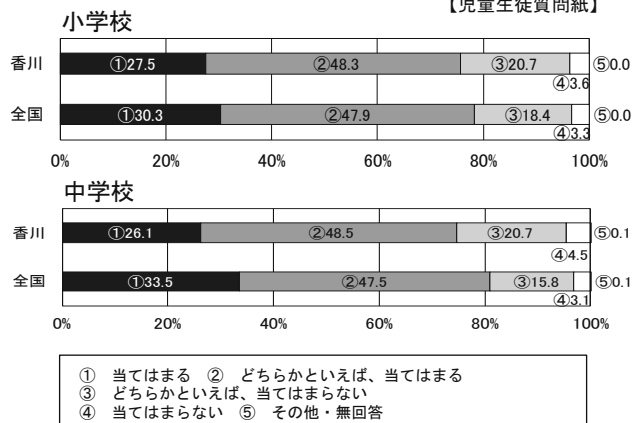
2. 「□40 学級会(学級活動)」 「□42 道徳の授業」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で全国を上回っている。

1 主体的・対話的で深い学びに関する項目と平均正答率の関係

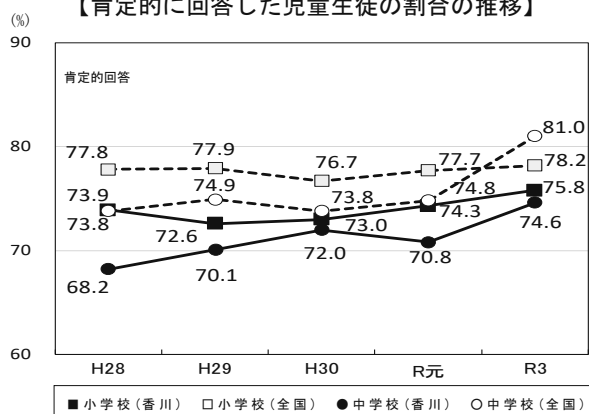
P80, 81

□33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

【児童生徒質問紙】

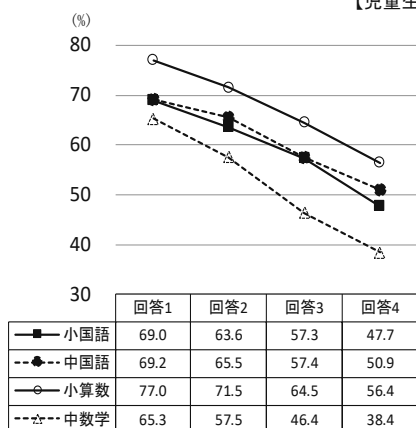


【肯定的に回答した児童生徒の割合の推移】



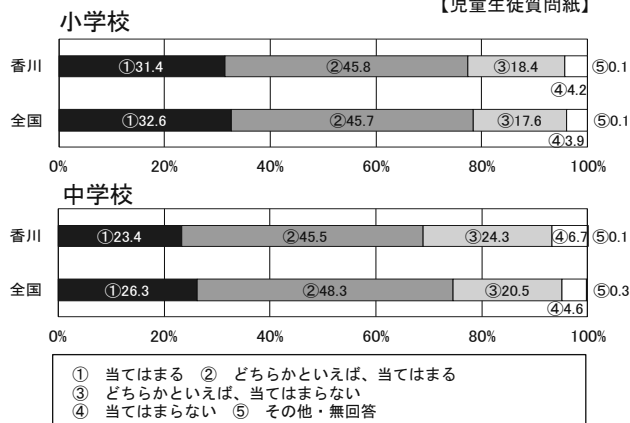
「□33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率

【児童生徒質問紙】

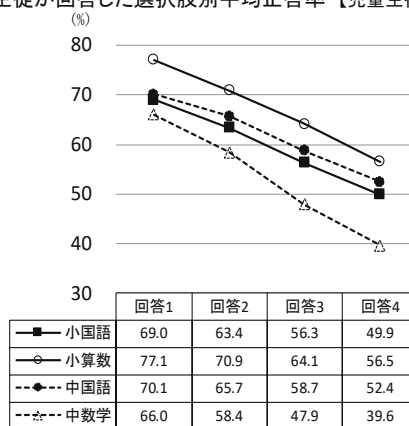


□38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

【児童生徒質問紙】



「□38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率【児童生徒質問紙】



Column

「主体的な学び」というと、児童生徒のどのような姿を想像されるでしょうか。単に気持ちが前向きであることではなく、自分の意思や判断によって行動したり、意見を述べたりするなど、課題に興味をもち、その課題を自分事として学ぶことが重要です。□33や□38の質問と平均正答率との関係からも分かるように、自分の学びに自覚的であることが正答率の高さにもつながっています。

授業においては、児童生徒が自分で考え、判断できる場を設けること、さらに、そこでの学習を適切に振り返り、自己の学びにつなげていくことが大切です。そのためにも、児童生徒が振り返りの視点を身に付け、見通しをもった学習に取り組むことができるようにしていく必要があります。単元を通して、教師が教える場面と児童生徒が考える場面などを適切に設定し、学習者主体の授業を進めていきましょう。

2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組の状況



P80、81、99、101

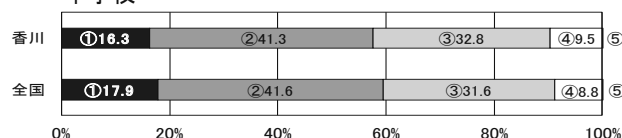
□34 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

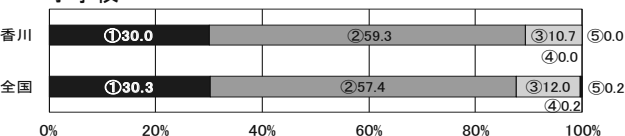


① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

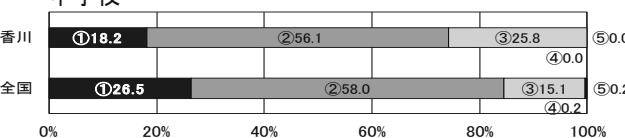
■34 前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

【学校質問紙】

小学校



中学校

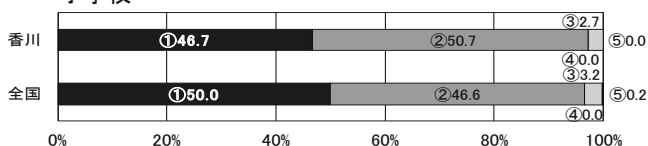


① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行かなかった ④ 全く行かなかった ⑤ その他・無回答

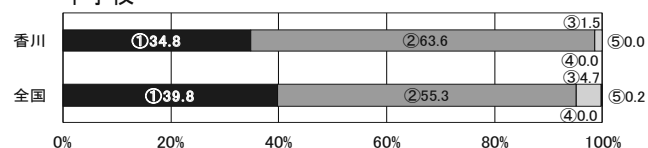
■35 前年度までに、児童(生徒)の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

【学校質問紙】

小学校



中学校

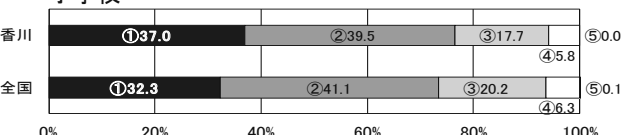


① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行かなかった ④ 全く行かなかった ⑤ その他・無回答

□40 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

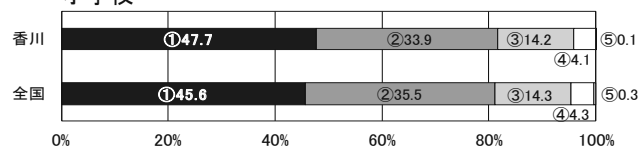


① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

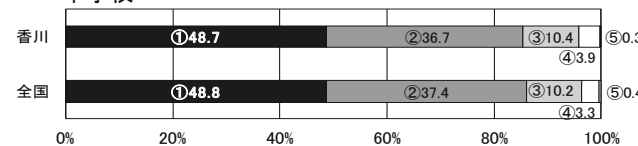
□42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

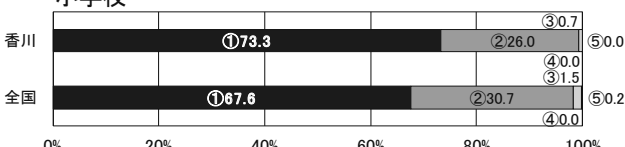


① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

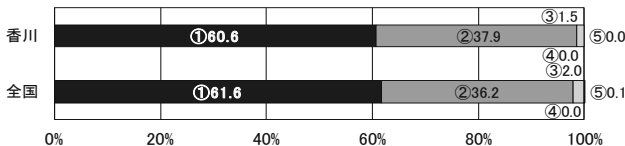
■48 前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童(生徒)に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか

【学校質問紙】

小学校



中学校



① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行かなかった ④ 全く行かなかった ⑤ その他・無回答

Column

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けては、■35の質問にもあるように、児童生徒の発言や活動の時間を確保することが大切です。話し合う活動においては、話し合いの目的を明確にし、適切なタイミングや相手を設定することが、考えを深めたり広げたりすることにつながります。また、1人1台端末の導入により、端末に入力することで対話することが可能になるなど、対話への抵抗が少なくなる児童生徒がいるかもしれません。限られた授業時間の中で、目的を明確にし、ICTの活用も含めて、工夫した取組を進めていきましょう。

～特集２～

新型コロナ ウイルス感染症 の影響

1. 休校中、「□⁶⁴ 勉強について不安を感じましたか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が小・中学校ともに全国を上回っており、「□⁶⁷ 課題について分からないことがあったとき、どのようにしていましたか」の質問には、小学校では「家族に聞いた」、中学校では「自分で調べた」と回答した割合が最も高くなっている。
2. 「■^{C11} 相談内容の変化」については、学校生活や家庭環境に関しての内容が、小学校は全国を下回っているが、中学校では全国を上回っている。

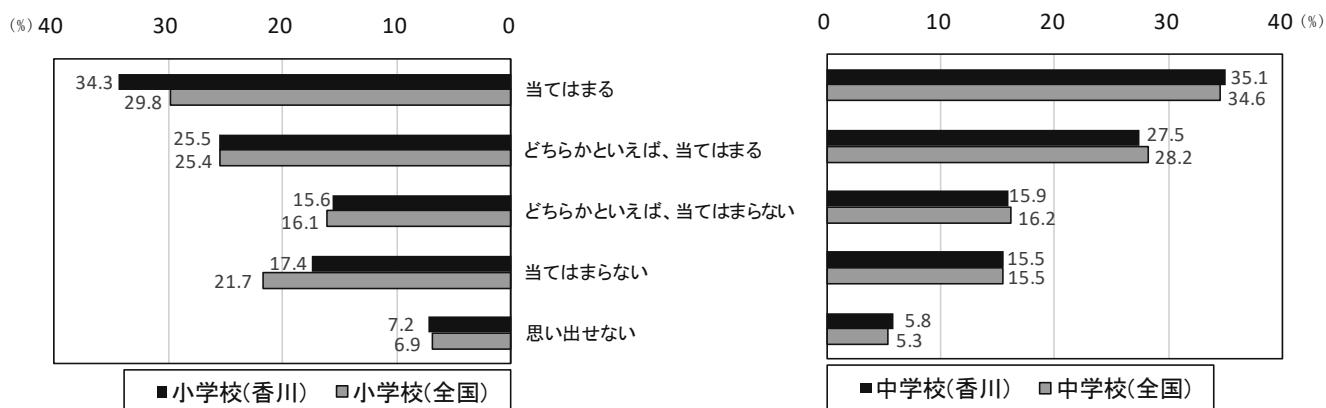
1 児童生徒の意識

P86

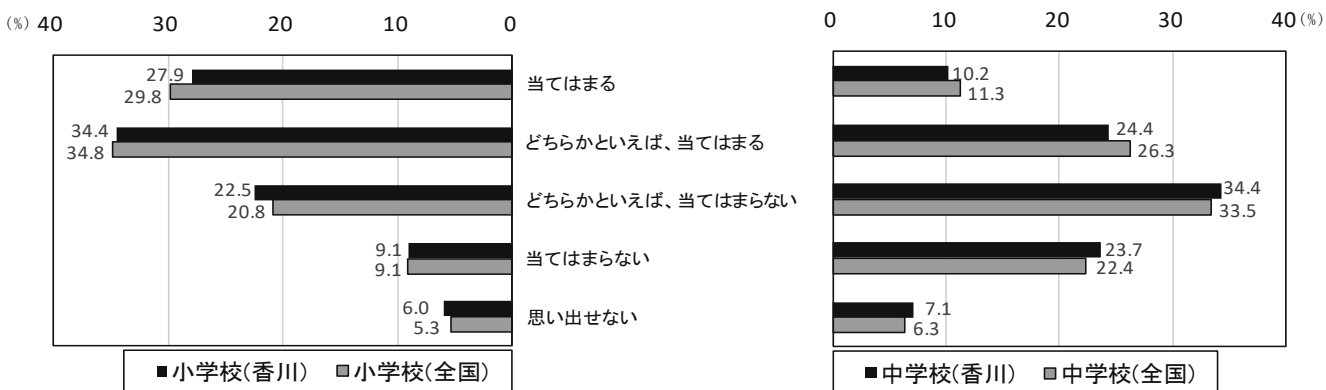
【学習面について】

□ 去年（令和２年）の４月～５月ごろ（新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が臨時休校していた時期）のことについて、あなたはどれくらい当てはまりましたか。

□⁶⁴ 勉強について不安を感じましたか 【児童生徒質問紙】

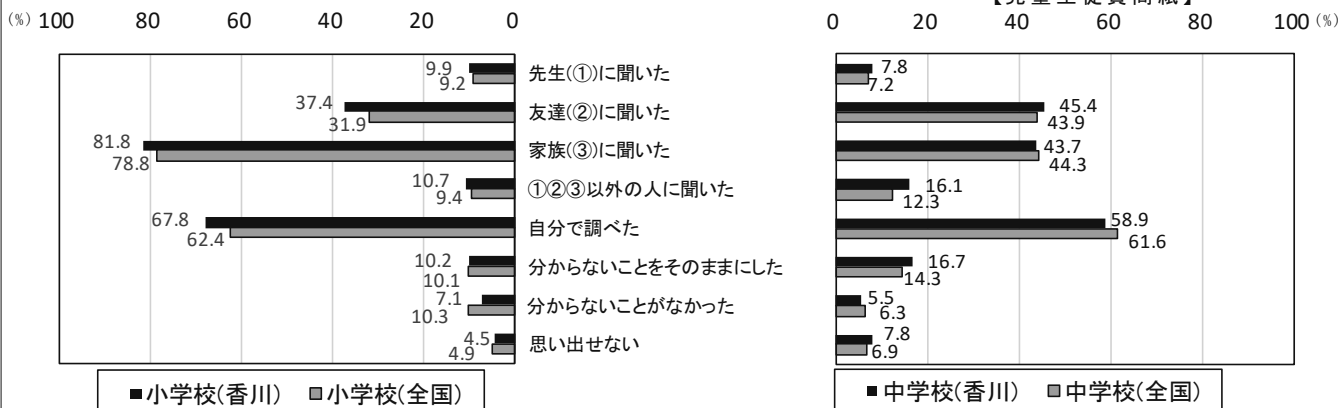


□⁶⁵ 計画的に学習を続けることができましたか 【児童生徒質問紙】



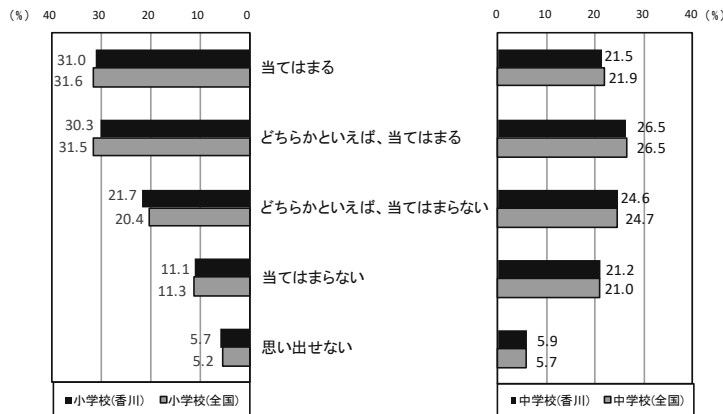
□⁶⁷ 学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）

【児童生徒質問紙】



【生活面について】

□66 規則正しい生活を送っていましたか 【児童生徒質問紙】



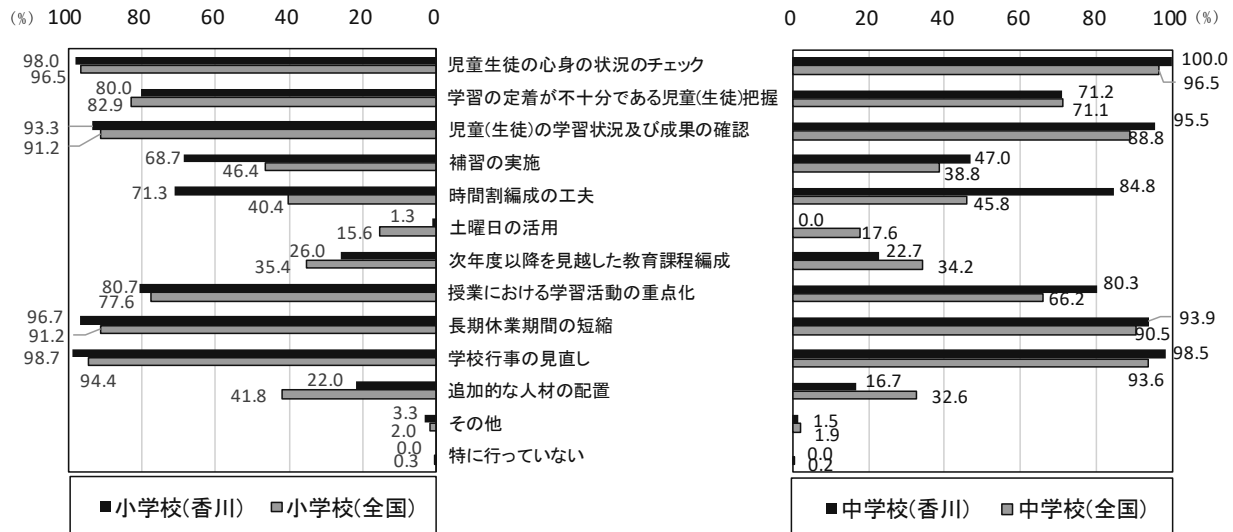
Column

長期の休みになると、生活リズムが乱れがちになります。■C11の質問に対しても、「生活リズムの乱れ」と回答した学校の割合が高くなっています。また、■C11で「学校生活における不安・ストレス」と回答した割合が、中学校で65.2%と最も高く、他の選択肢についても全国を上回っています。コロナ禍の状況が、児童生徒の心に様々な影響を与えていることが分かります。

■C10の質問の回答結果を踏まえ、教職員の心身の健康にも配慮しながら、チーム学校として、引き続き家庭や地域と連携し、児童生徒の心に寄り添っていくことが大切です。

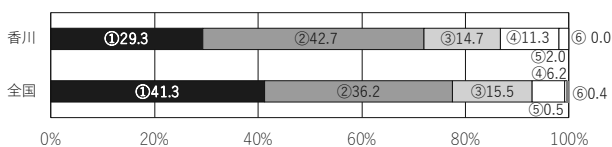
2 学校の取組及び教職員の意識

■C6 学校の全部を休業していた期間が終了した以降に当該休業への対応としてどのようなことを行いましたか(複数選択) 【学校質問紙】

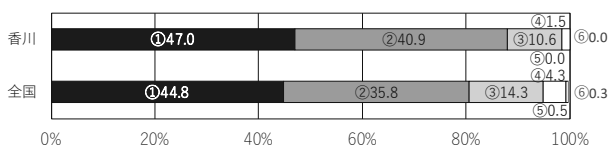


■C10 新型コロナウイルス感染症の影響前と現在とを比較して、教員の業務量にどのような変化があったと思いますか 【学校質問紙】

小学校

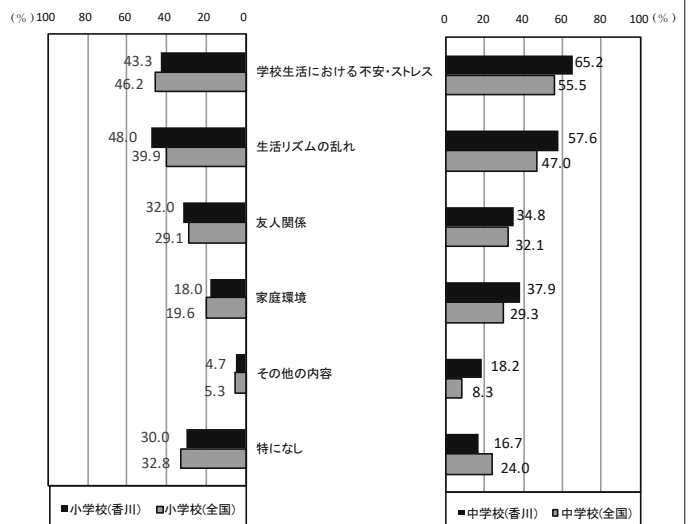


中学校



- ① 増えた ② どちらかといえば、増えた
③ 変わらない ④ どちらかといえば、減った
⑤ 減った ⑥ 無回答・その他

■C11 新型コロナウイルス感染症の影響前と現在とを比較して、児童(生徒)からの相談内容に変化があったのはどれですか(複数選択) 【学校質問紙】



～特集3～

カリキュラム・マネジメント

1. 「三つの側面」から見た学校の取組について、「よくしている」と回答した学校の割合が、全国も県も全体的に減少している。
2. 「¹⁸教科横断的な視点での指導計画の作成」についての質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合は、全国が令和元年度より減少している中、本県の小中学校は増加傾向で、全国を上回っている。

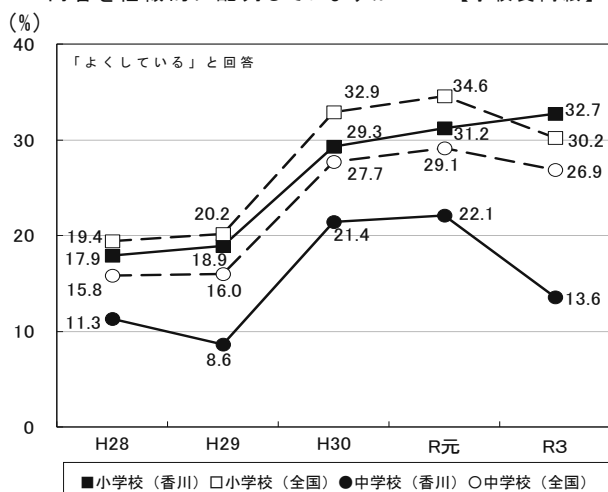
学習指導要領改訂のポイントの一つである「各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立」は、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るためのものです。各学校では、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握するとともに、次の「三つの側面」からの手立てを充実する必要があります。

カリキュラム・マネジメントの「三つの側面」

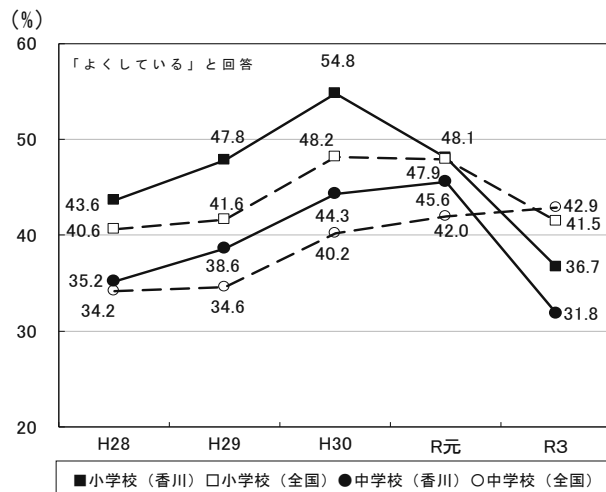
 P96、97、98

【教科等横断的な視点】

■18 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか 【学校質問紙】

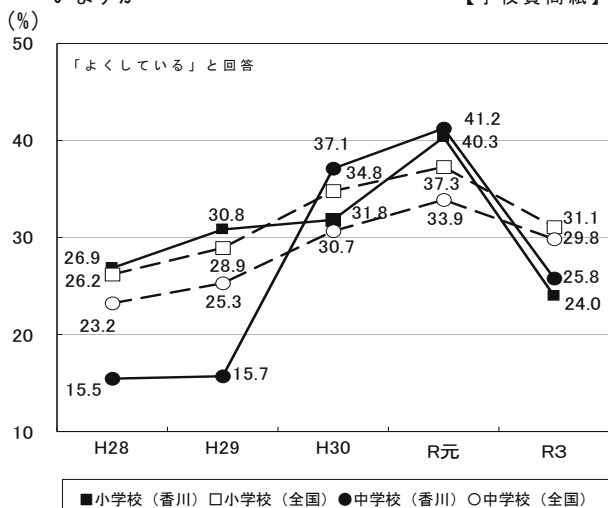


■27 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力合っていますか 【学校質問紙】



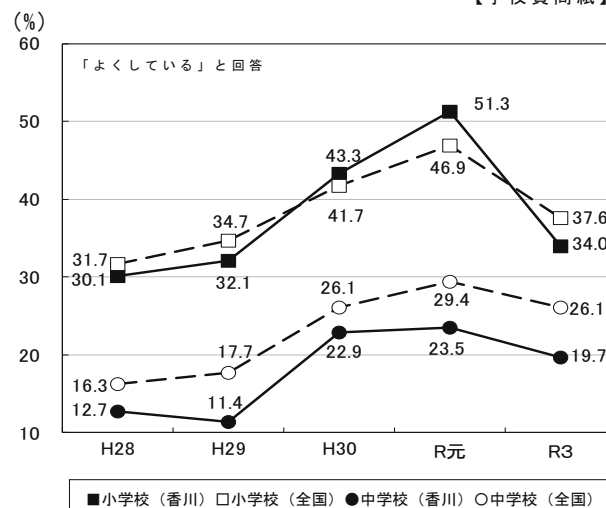
【PDCAサイクルの確立】

■19 児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか 【学校質問紙】



【人的・物的資源等の活用】

■20 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか 【学校質問紙】



Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校国語 <調査の分析・検証>

概 要

○ 国語について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より下回っている。

■令和3年度調査結果の集計値

小学校国語	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	8,003	150	8.8 / 14	63
全国(公立)	993,975	18,857	9.1 / 14	65 (64.7)

■平成28年度～令和3年度の県と全国の調査結果

調査区分	国語		国語 A			国語 B		
調査年度	R3	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県 (公立) 平均正答率 (%)	63	65	69	75	75.0	58	59	59.5
全国(公立) 平均正答率 (%)	65 (64.7)	64 (63.8)	71 (70.7)	75 (74.8)	72.9	55 (54.7)	58 (57.5)	57.8
県と全国との 差(pt)	▲2	1	▲2	0	2.1	3	1	1.7

■令和３年度領域等別調査結果

	国語			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に関する事項
県（公立）平均正答率（％）	77.0	56.9	44.5	67.9
全国（公立）平均正答率（％）	77.8	60.7	47.2	68.3
県と全国との差（pt）	▲0.8	▲3.8	▲2.7	▲0.4

■令和元年度領域等別調査結果

	国語			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県（公立）平均正答率（％）	75.1	58.5	82.9	53.0
全国（公立）平均正答率（％）	72.3	54.5	81.7	53.5
県と全国との差（pt）	2.8	4.0	1.2	▲0.5

■平成 28～30 年度の領域等別調査結果

国語 A	年度		H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県（公立）（％）	79.2	71.6	91.8
		全国（公立）（％）	79.2	69.2	90.8
		差（pt）	0.0	2.4	1.0
	書くこと	県（公立）（％）	73.6	60.0	75.7
		全国（公立）（％）	72.8	60.6	73.8
		差（pt）	0.8	▲0.6	1.9
	読むこと	県（公立）（％）	78.7	69.9	74.3
		全国（公立）（％）	78.5	70.2	74.0
		差（pt）	0.2	▲0.3	0.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）	74.1	78.0	64.5
		全国（公立）（％）	71.1	78.0	67.0
		差（pt）	3.0	0.0	▲2.5
国語 B	年度		H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県（公立）（％）	55.0	67.4	69.4
		全国（公立）（％）	51.1	64.9	64.6
		差（pt）	3.9	2.5	4.8
	書くこと	県（公立）（％）	55.0	56.3	49.8
		全国（公立）（％）	53.4	53.4	45.6
		差（pt）	1.6	2.9	4.2
	読むこと	県（公立）（％）	69.5	49.9	56.0
		全国（公立）（％）	69.3	49.2	50.8
		差（pt）	0.2	0.7	5.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）			
		全国（公立）（％）			
		差（pt）			

問題別調査結果【国語】

令和3年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【国語】
香川県一児童（公立）

小学校調査

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数		香川県（公立）		全国（公立）		対象児童数		香川県（公立）		全国（公立）	
		150		18,857				8,003		993,975	
分類		区分				対象問題数 （問）	平均正答率（％）				
							香川県（公立）		全国（公立）		
全体						14	63	64.7			
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項				6	67.9	68.3			
		(2) 情報の扱い方にに関する事項				0					
		(3) 我が国の言語文化に関する事項				0					
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと				3	77.0	77.8			
		B 書くこと				2	56.9	60.7			
		C 読むこと				3	44.5	47.2			
	評価の観点	知識・技能				6	67.9	68.3			
		思考・判断・表現				8	59.8	62.1			
		主体的に学習に取り組む態度				0					
問題形式	選択式				8	70.0	71.7				
	短答式				3	70.3	70.6				
	記述式				3	38.3	40.2				

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について
各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容					評価の観点			問題形式			正答率（％）		無解答率（％）	
			知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと									
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える				5・6イ			○		○			76.8	77.5	0.5	0.3
1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する	資料を用いた目的を理解する				5・6ウ			○		○			72.6	74.9	0.7	0.4
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の「……」の部分で話す内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、資料を使って話す				5・6ウ			○		○			81.4	81.0	0.6	0.4
2一	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する						5・6ア	○		○			75.0	77.6	0.6	0.4
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	5・6オ						○		○			86.9	87.5	0.6	0.3
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける						5・6ウ	○			○		31.8	34.4	2.9	4.1
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する						3・4ウ	○			○		26.7	29.7	4.1	5.5
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える				5・6イ			○		○			57.4	64.8	3.3	2.1
3二	丸山さんの【文章の下書き】の「……」部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する				5・6ウ			○			○		56.3	56.6	8.9	9.6
3三（1）ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の「……」部アを、漢字を使って書き直す（こうがっている）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6エ						○			○		74.9	78.3	8.4	8.8
3三（1）ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「……」部ウを、漢字を使って書き直す（つみ重ね）		5・6エ						○			○		51.8	54.4	13.4	14.4
3三（1）エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「……」部エを、漢字を使って書き直す（げんいん）		5・6エ						○			○		84.2	79.0	5.8	6.6
3三（2）イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「……」部イで、〰〰〰部「残されています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係をつえる	3・4カ						○		○			65.2	67.0	5.1	3.8
3三（2）オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の「……」部オで、〰〰〰部「すぐに」がくわくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係をつえる	3・4カ						○		○			44.4	43.6	5.3	4.1

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校国語】（全14問中1問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3三(1)エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部エを、漢字を使って書き直す(げんいん)	言葉	知技	短答	84.2	5.8	5.2

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校国語】（全14問中3問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	読む	思判表	記述	26.7	4.1	▲3.0
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	書く	思判表	選択	57.4	2.1	▲7.4
3三(1)ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部アを、漢字を使って書き直す(ころがっている)	言葉	知技	短答	74.9	8.4	▲3.4

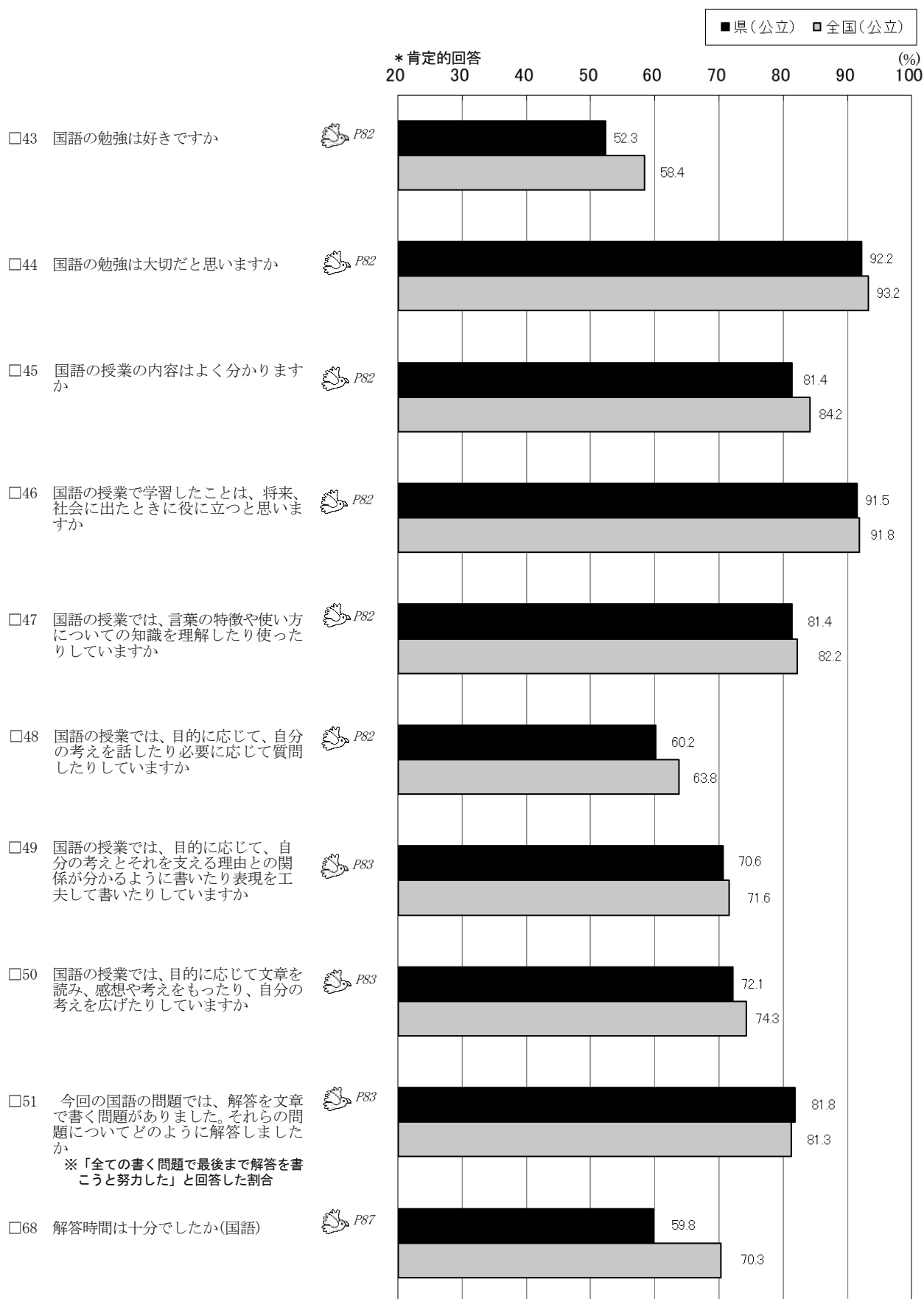
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校国語】（全14問中1問）

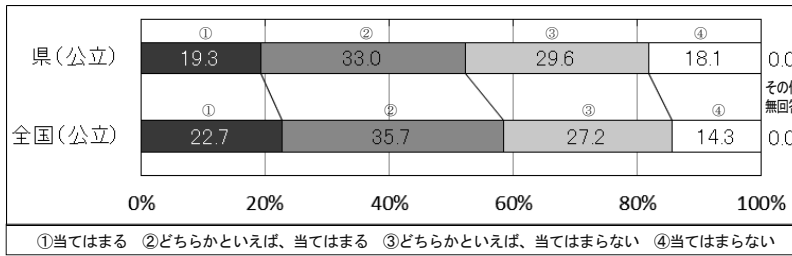
問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	読む	思判表	記述	26.7	4.1	▲3.0

【領域等】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方に関する事項	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

■小学校国語に関わる質問の全国との比較



□43 国語の勉強は好きですか

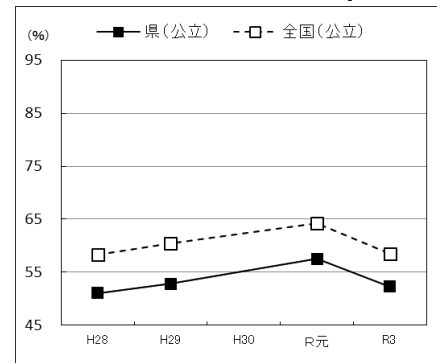


肯定的に回答した児童の割合

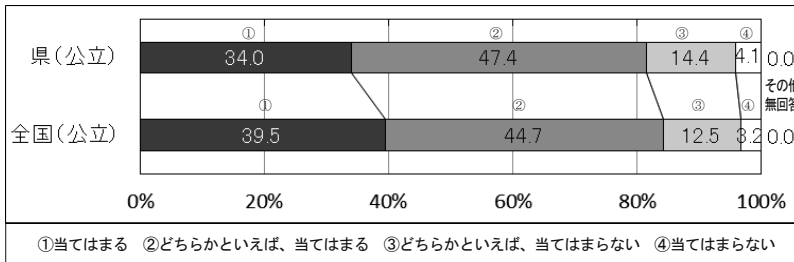
	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	51.1	52.8		57.5	52.3
全国(公立)(%)	58.3	60.5		64.2	58.4
県と全国の差(pt)	▲7.2	▲7.7		▲6.7	▲6.1

質問 43 に肯定的に回答した児童の割合の推移

P82



□45 国語の授業の内容はよく分かりますか

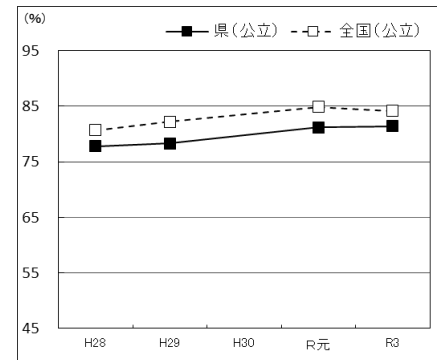


肯定的に回答した児童の割合

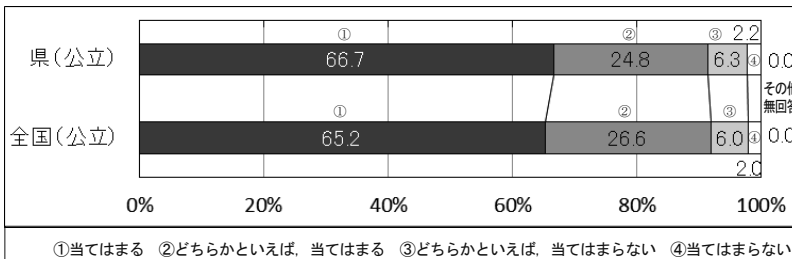
	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	77.8	78.3		81.2	81.4
全国(公立)(%)	80.7	82.2		84.9	84.2
県と全国の差(pt)	▲2.9	▲3.9		▲3.7	▲2.8

質問 45 に肯定的に回答した児童の割合の推移

P82



□46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

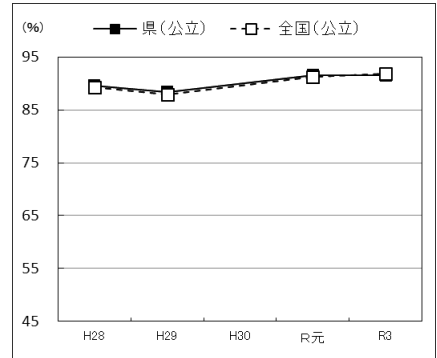


肯定的に回答した児童の割合

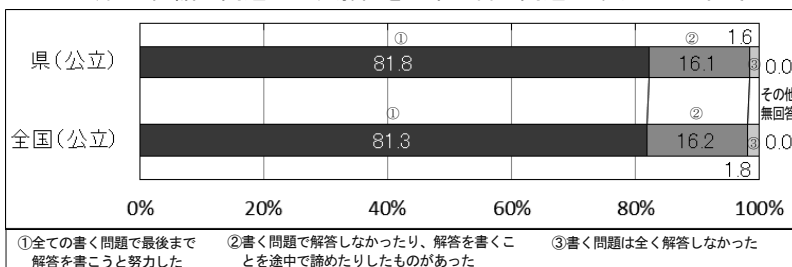
	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	89.6	88.4		91.6	91.5
全国(公立)(%)	89.2	87.9		91.2	91.8
県と全国の差(pt)	0.4	0.5		0.4	▲0.3

質問 46 に肯定的に回答した児童の割合の推移

P82



□51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか

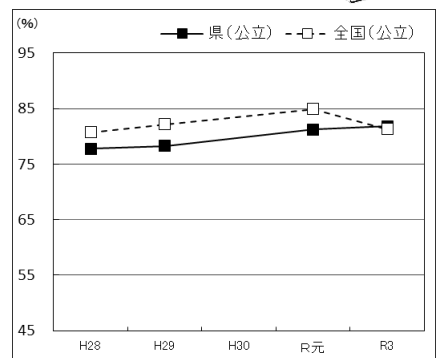


①と回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	77.6	79.2		83.4	81.8
全国(公立)(%)	75.1	77.2		80.4	81.3
県と全国の差(pt)	2.5	2.0		3.0	0.5

質問 51 に対して①と回答した児童の割合の推移

P83



※H30 は該当の質問はなし

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

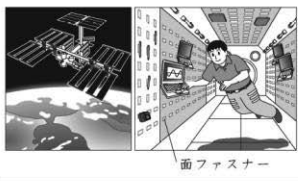
小学校 国語 2 四

短時間でヘッドレストカバーを交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬ。誰かが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布やカバン、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がっていききました。布のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることができる面ファスナーが通っていたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動着でした。ひもぐつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐあいを調節することができ、支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。

現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。また、しっかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中には無重力状態のため、物がうがえます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっているのです。

一人の気づきから誕生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げてきました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。



国際宇宙ステーションとその内部

2 相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

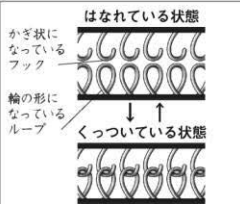
【資料】

面ファスナー

面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができ、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていて、犬の毛に気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実の曲がったかき状のトゲがおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー（頭をあてる布）の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、



はなれている状態
くっついている状態

面ファスナーの仕組み

問題番号	正答の条件
2 四	以下の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を取り上げて書いている。 a 【資料】で説明されている面ファスナーのよさ b 【資料】で説明されている国際宇宙ステーションでの使われ方 ② 【資料】から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 50 字以上、70 字以内で書いている。

	解答類型	県対率 (%)	全国対率 (%)	正答
1	条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	26.7	29.7	◎
2	条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.0	0.1	
3	条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.0	0.0	
4	条件①aは満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件②、③を満たしているかどうかは不問とする	8.3	8.2	
5	条件①bは満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件②、③を満たしているかどうかは不問とする	48.1	44.6	
6	条件②は満たしているが、条件①a、bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする	11.1	10.3	
99	上記以外の解答	1.8	1.6	
0	無解答	4.1	5.5	
	正答率	26.7	29.7	

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。どちらようで行を変えないで、続けて書きましょう。

4 相川さんは、【資料】を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。

○ 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 五十字以上、七十字以内にとめて書くこと。

分析・考察

- 本問題では、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する場面が設定されている。面ファスナーについて説明されている文章から、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているか、そのよさを取り上げ、要約して書く問題である。
- 本県の正答率は26.7%であり、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。
- 解答類型5の反応率は48.1%である。約5割の児童が、「面ファスナーの国際宇宙ステーションでの使われ方」を捉えて書くことはできているが、「面ファスナーのよさ」を取り上げて書くことができていないことが分かる。

授業改善のポイント

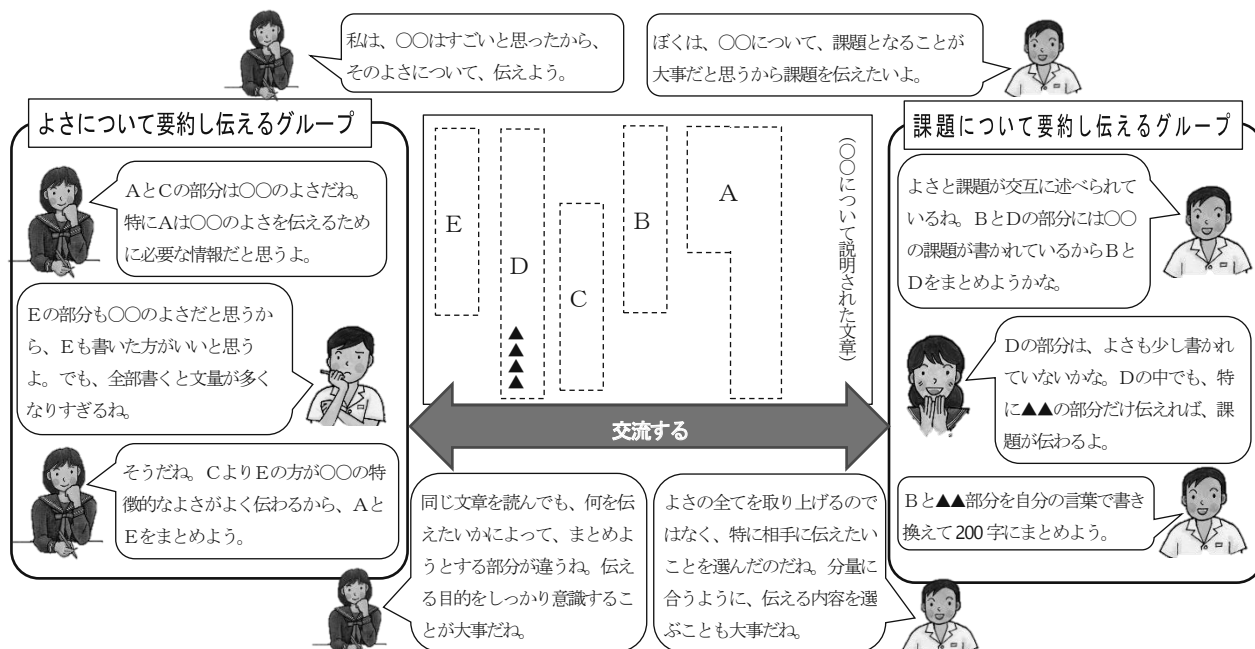
【目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する】

文章を要約するためには目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。本問題では、面ファスナーの「国際宇宙ステーションの中での使われ方」を「国際宇宙ステーションで使用されるよさ」について取り上げながらまとめるという目的を意識し、【資料】から該当部分を選び内容を端的に書くことが必要である。その際、要約する分量についても意識付け、選択した部分について目的に合った説明にするためには、さらに、どの部分を選択するのが適当か吟味する機会を設定することが大切である。

授業アイデア例：「〇〇のよさ（課題）について伝えよう」

児童が単元を通してどのような情報を得るために要約するのかという目的を意識し、学習することが大切である。同じ文章でも、要約する目的によって内容の中心となる語や文は異なる場合がある。言語活動を通して、要約の目的を常に意識させる手立てを工夫し、文章のどの部分が必要か、またどのような言葉を補えばよいか目的に合わせて言葉を吟味し、選択できるよう指導することが重要である。

＜ある文章を読んで、説明されていることの、何について要約して伝えるかを明確にする＞



自分が書いた文章を見直したり、お互いに同じ目的で要約した文章を読み合ったりする言語活動を適宜取り入れることで、要約の目的を意識化させる。また、要約の目的が違う児童が交流する機会を設定することで、同じ文章を別の視点で見る機会とする。その中で、要約する目的によって内容の中心となる語や文が異なることを実感させ、目的意識の大切さに気付かせたり、筆者の考えとそれを支える理由や事例の関係について理解させたりしていきたい。一つの教材でも、繰り返し、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるように工夫したい。

2 小学校算数 <調査の分析・検証>

概 要

- 算数について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より上回っている。

■令和3年度調査結果の集計値

小学校算数	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	8,003	149	11.4/ 16	71
全国(公立)	994,101	18,854	11.2/ 16	70 (70.2)

■平成28年度～令和3年度の県と全国の調査結果

調査区分	算数		算数A			算数B		
調査年度	R3	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県(公立) 平均正答率 (%)	71	68	64	79	78.2	53	48	46.7
全国(公立) 平均正答率 (%)	70 (70.2)	67 (66.6)	64 (63.5)	79 (78.6)	77.6	52 (51.5)	46 (45.9)	47.2
県と全国との 差(pt)	1	1	0	0	0.6	1	2	▲0.5

■令和３年度領域等別調査結果

	算数				
学習指導要領の領域等	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
県（公立）平均正答率（％）	65.8	58.0	76.5	76.9	75.6
全国（公立）平均正答率（％）	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0
県と全国との差（pt）	2.7	0.1	1.7	1.0	▲0.4

■令和元年度領域等別調査結果

	算数			
学習指導要領の領域等	数と計算	量と測定	図形	数量関係
県（公立）平均正答率（％）	65.3	54.1	78.0	69.4
全国（公立）平均正答率（％）	63.2	52.9	76.7	68.3
県と全国との差（pt）	2.1	1.2	1.3	1.1

■平成 28～30 年度の領域等別調査結果

算数 A	年度		H28	H29	H30
	数と計算	県(公立) (%)	81.6	80.4	62.0
		全国(公立) (%)	80.5	80.6	62.3
		差(pt)	1.1	▲0.2	▲0.3
	量と測定	県(公立) (%)	76.1	65.6	74.3
		全国(公立) (%)	77.0	68.8	72.7
		差(pt)	▲0.9	▲3.2	1.6
	図形	県(公立) (%)	82.5	84.8	57.2
		全国(公立) (%)	78.8	81.1	56.9
		差(pt)	3.7	3.7	0.3
	数量関係	県(公立) (%)	67.0	81.0	58.4
		全国(公立) (%)	68.5	79.6	60.1
		差(pt)	▲1.5	1.4	▲1.7

算数 B	年度		H28	H29	H30
	数と計算	県(公立) (%)	44.0	54.2	60.8
		全国(公立) (%)	44.4	52.8	58.4
		差(pt)	▲0.4	1.4	2.4
	量と測定	県(公立) (%)	43.4	53.9	54.7
		全国(公立) (%)	43.7	47.0	52.4
		差(pt)	▲0.3	6.9	2.3
	図形	県(公立) (%)	35.6	13.1	60.3
		全国(公立) (%)	36.3	13.2	59.9
		差(pt)	▲0.7	▲0.1	0.4
	数量関係	県(公立) (%)	41.4	42.0	45.8
		全国(公立) (%)	42.9	40.0	45.1
		差(pt)	▲1.5	2.0	0.7

問題別調査結果【算数】

令和3年度全国学力・学習状況調査 問題別調査結果【算数】 香川県一児童（公立）

小学校調査

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	149	18,854		8,003	994,101

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県（公立）	全国（公立）
	全体	16	71	70.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	65.8	63.1
	B 図形	3	58.0	57.9
	C 測定	3	76.5	74.8
	C 変化と関係	3	76.9	75.9
	D データの活用	5	75.6	76.0
評価の観点	知識・技能	9	74.7	74.1
	思考・判断・表現	7	66.1	65.1
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	6	75.3	76.0
	短答式	6	77.2	75.8
	記述式	4	55.1	53.0

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点		問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）
1（1）	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	1 (2) 7 (4) 2 (2) 7 (4) ※			2 (1) 7 (7)			○			○	70.8	62.5	1.1	1.7
1（2）	500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる				5 (1) 4 (7) 5 (2) 4 (7)			○			○	85.5	86.7	1.2	1.7
1（3）	③と④の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している				5 (2) 7 (7)		○			○		56.6	55.8	1.5	1.4
1（4）	午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる				3 (2) 7 (4)		○			○		89.4	89.2	0.5	0.7
1（5）	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる				5 (2) 7 (7)		○			○		88.6	85.1	0.9	1.5
2（1）	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している		5 (3) 7 (7)				○			○		60.6	55.1	1.1	1.6
2（2）	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる	5 (3) 7 (7)	1 (1) 7 (4)				○				○	69.5	72.5	1.1	1.0
2（3）	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる	5 (3) 7 (7) ※						○			○	44.0	46.0	3.3	4.6
3（1）	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる					3 (1) 7 (4)	○				○	96.1	95.8	0.4	0.4
3（2）	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる					3 (1) 7 (4)	○				○	91.5	90.7	0.4	0.4
3（3）	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる					4 (1) 7 (7)	○			○		63.2	67.5	1.2	1.7
3（4）	棒グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	棒グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる					5 (1) 7 (7) ※		○			○	52.2	52.0	7.0	10.3
3（5）	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる					5 (1) 7 (4) ※		○			○	75.1	73.9	1.2	1.3
4（1）	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる	3 (4) 7 (7) 4 (4)						○			○	81.9	83.0	1.4	1.7
4（2）	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる	4 (4) 7 (2)						○			○	57.1	55.5	1.5	2.0
4（3）	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた値についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	4 (4) 7 (7) ※						○			○	53.6	51.5	6.6	10.3

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校算数】（全16問中3問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1(1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	計算測定	思判表	記述	70.8	62.5	8.3
1(5)	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	変関	知技	短答	88.6	85.1	3.5
2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	図形	知技	短答	60.6	55.1	5.5

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校算数】（全16問中2問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	図形測定	知技	選択	69.5	72.5	▲3.0
3(3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	デ活	知技	選択	63.2	67.5	▲4.3

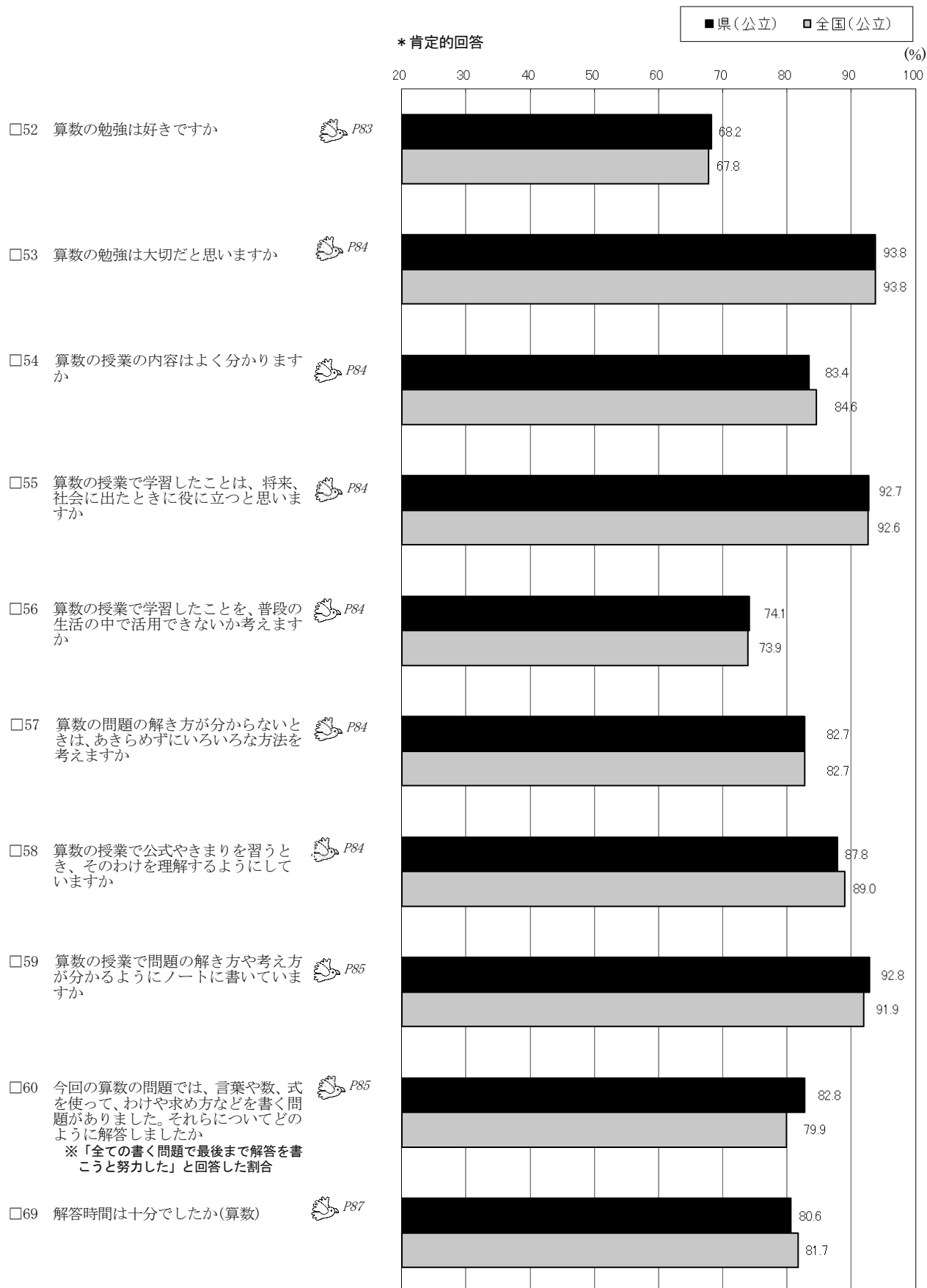
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校算数】（全16問中1問）

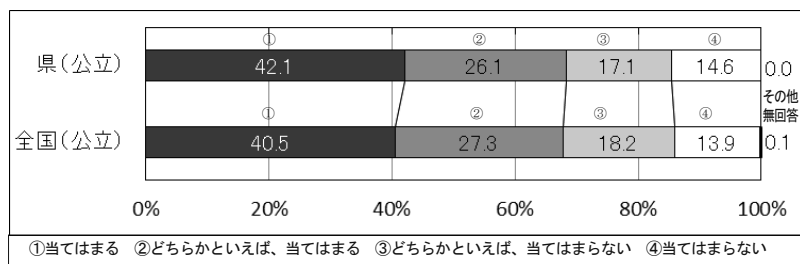
問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	図形	思判表	記述	44.0	46.0	▲2.0

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 : 計算 図形 : 図形 測定 : 測定 変化と関係 : 変関 データの活用 : デ活	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に学習に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■小学校算数に関わる質問の全国との比較



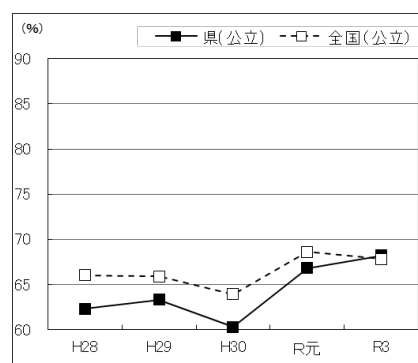
□52 算数の勉強は好きですか



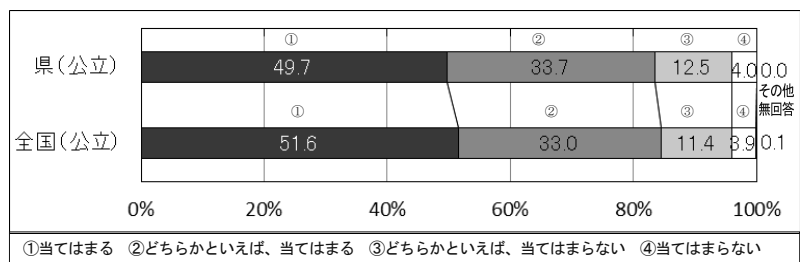
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	62.3	63.3	60.3	66.8	68.2
全国(公立)(%)	66.0	65.9	64.0	68.6	67.8
県と全国の差(pt)	▲3.7	▲2.6	▲3.7	▲1.8	0.4

質問 52 に肯定的に回答した児童の割合の推移 P83



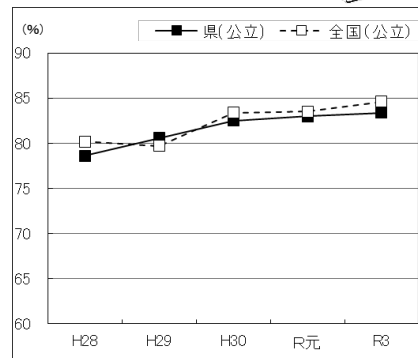
□54 算数の授業の内容はよく分かりますか



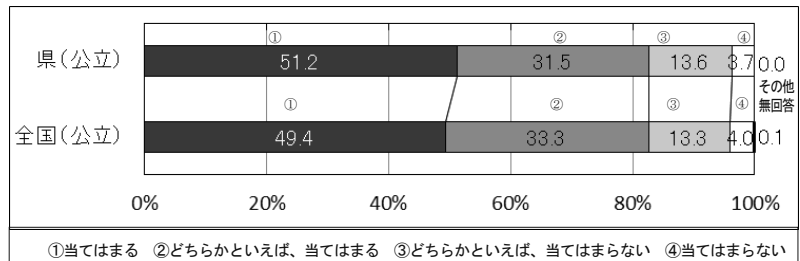
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	78.6	79.7	82.5	83.0	83.4
全国(公立)(%)	80.2	80.6	83.4	83.5	84.6
県と全国の差(pt)	▲1.6	▲0.9	▲0.9	▲0.5	▲1.2

質問 54 に肯定的に回答した児童の割合の推移 P84



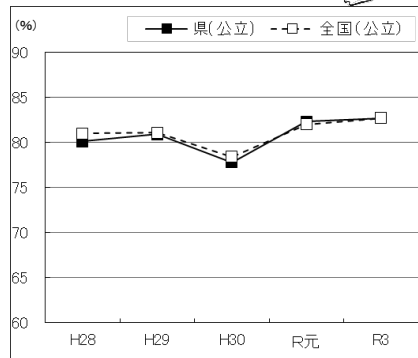
□57 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



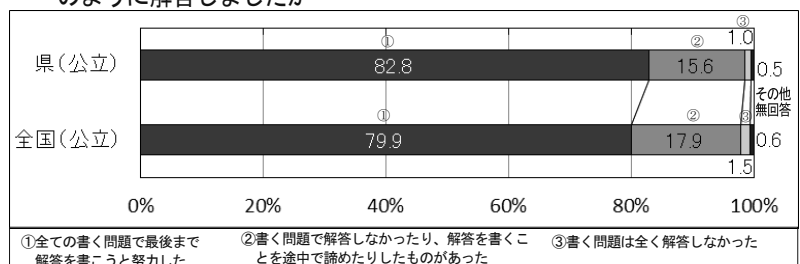
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	80.1	80.9	77.8	82.3	82.7
全国(公立)(%)	81.0	81.1	78.4	82.0	82.7
県と全国の差(pt)	▲0.9	▲0.2	▲0.6	0.3	0.0

質問 57 に肯定的に回答した児童の割合の推移 P84



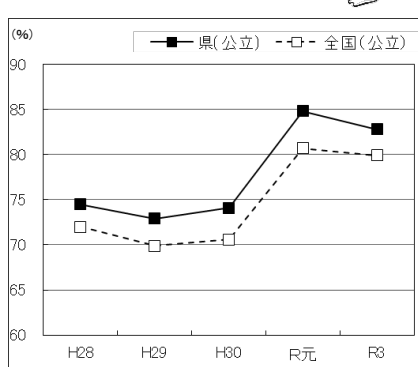
□60 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	74.5	72.9	74.1	84.8	82.8
全国(公立)(%)	72.0	69.9	70.6	80.7	79.9
県と全国の差(pt)	2.5	3.0	3.5	4.1	2.9

質問 60 に対して①と回答した児童の割合の推移 P85



小学校算数

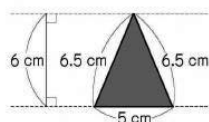
調査結果から授業改善へ

図形の計量について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、筋道を立てて説明することができる。

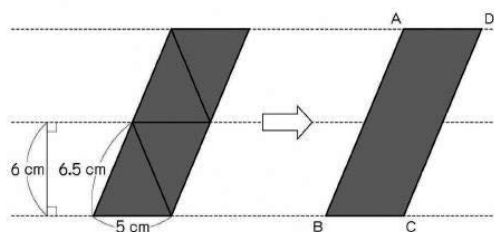
授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 2(3)

2) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何 cm^2 になるのかも書きましょう。

問題番号	解答類型	県 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
2	(正答の条件) 次の①②の全てを書き、平行四辺形ABCDの面積を60と書いている。 ① 平行四辺形ABCDの高さを求める式や言葉 ② 平行四辺形ABCDの面積を求める公式を用いた、平行四辺形ABCDの面積を求める式や言葉			
1	30と解答しているもの	44.0	46.0	◎
2	①、②の全てを書いている 30以外を解答しているもの 無回答	0.1	0.2	
3	30と解答しているもの	1.1	1.3	
4	①を書いている 30以外を解答しているもの 無回答	4.0	4.1	
5	30と解答しているもの	4.7	7.7	
6	②を書いている 30以外を解答しているもの 無回答	0.3	0.6	
7	30と解答しているもの	0.0	0.1	
8	高さを6cmと捉えているもの 30と解答しているもの	1.2	1.6	
9	類型7、類型8以外の解答 無回答	0.2	0.1	
10	30と解答しているもの	0.3	0.2	
11	高さを6.5cmの2つ分と捉えているもの 35と解答しているもの	13.4	9.6	
12	類型10、類型11以外の解答 無回答	5.7	3.7	
13	30と解答しているもの	0.0	0.0	
14	32.5と解答しているもの	1.0	0.8	
15	高さを6.5cmと捉えているもの 類型13、類型14以外の解答 無回答	0.7	0.5	
16	平行四辺形ABCDの面積を、二等辺三角形の面積の4つ分として求めているもの	3.1	2.4	
17	30と解答しているもの	0.9	0.8	
18	類型16、類型17以外の解答 無回答	0.5	0.5	
19	類型1から類型18以外の解答 無回答	1.0	1.3	
99	上記以外の解答	14.2	14.0	
0	無回答	3.3	4.6	
	正答率	44.0	46.0	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、44.0%であり、全国を2.0ポイント下回っている。図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを説明することに課題がある。
- 解答類型10～12の反応率の合計は19.4%である。これは、平行四辺形ABCDの斜辺の長さを高さとして、6.5cmの2つ分と捉えていることが考えられる。図形の構成要素の中でも特に高さの捉えに課題がある。

授業改善のポイント

【図の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、面積を求めることができるようにする】

複数の図形を組み合わせた図形の面積を求める場合、その図形がどのように構成されているかを捉え、必要な長さを求めた上で筋道を立てて説明できるようにすることが大切である。

指導に当たっては、例えば、台形の面積の公式を導く方法の1つとして、合同な図形を組み合わせて平行四辺形に変形する際に、変形する前の図形と変形した後の図形の関係を説明する活動が考えられる。その際、組み合わせてできた平行四辺形の底辺や高さ、元の台形の辺や高さとの対応に着目できるように意識させることが大切である。なお、図形の組合せは、全ての児童が操作活動できるように配慮したい。

【図形の底辺と高さの関係を実感を持って理解できるようにする】

三角形や平行四辺形の面積について考える際には、底辺をどこにするかで高さが決まることを理解することが大切である。

指導に当たっては、三角形や平行四辺形等の底辺と高さが、それらの図形を等積変形した際の長方形の横と縦に対応することを一人一人の児童が操作的に実感することが大切である。例えば、画用紙で作った長方形の向かい合う辺どうしをはさみで切断する。できた二つの図形を組み合わせて平行四辺形を作り、「この平行四辺形の高さは？」と問うと、平行四辺形の高さと長方形の関係を一人一人の児童が説明する操作活動となる。このような操作活動を基に、全ての児童が対話できる場を設定したい。

小学校算数

調査結果から授業改善へ

データを2つの観点から分類整理し、表に表すことができる。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 3(3)

3

(3) まず、読書が好きかどうかについて、図書室で本をよく借りているかどうかについて、2つの質問の結果に着目しました。

質問1「読書が好きですか」
はい …… 171人
いいえ …… 18人
質問2「9月に図書室で5冊以上借りましたか」
はい …… 61人
いいえ …… 128人

2つの質問の結果について、下の表に整理し直すことにしました。

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書室で 5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が 好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

「読書が好きですか」に「はい」と答えていて、「9月に図書室で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。

「114」は、表のどこにあてはまりますか。① から ⑧ までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

問題 番号	解 答 類 型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
③ (3)	1 ① と解答しているもの	1.2	1.3	
	2 ② と解答しているもの	63.2	67.5	◎
	3 ③ と解答しているもの	8.5	7.9	
	4 ④ と解答しているもの	2.1	2.3	
	5 ⑤ と解答しているもの	6.2	5.3	
	6 ⑥ と解答しているもの	4.9	4.3	
	7 ⑦ と解答しているもの	2.8	2.4	
	8 ⑧ と解答しているもの	9.0	6.5	
	99 上記以外の解答	0.9	0.8	
	0 無回答	1.2	1.7	
正答率		63.2	67.5	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、63.2%であり、全国の正答率を4.3ポイント下回っている。データを二次元の表に分類整理することに課題がある。
- 解答類型5、8の反応率の合計は15.2%である。「114」について、「縦の項目」である「9月に図書室で5冊以上借りましたか」の「いいえ」の欄に入ることを捉えることはできているが、「横の項目」である「読書が好きですか」の「はい」の欄に入ることを捉えることはできていないと考えられる。

授業改善のポイント

【目的に応じて集めたデータを2つの観点から、二次元の表に分類整理できるようにする】

指導に当たっては、例えば、本設問のように児童に身近な事象を用いて、2つの観点から学級全体で共通なデータを収集する活動の場の設定が考えられる。そして、その結果を2つの一次元の表に表す活動を設定した後、2つの表を統合する作業を行い、二次元の表への表し方とその読み取りを考える数学的活動を行うことが大切である。

【実際にデータを二次元の表に分類整理し、その表を説明する活動を取り入れる】

学級全体で共通データでの二次元表への分類整理の活動を行った後は、グループ単位で目的意識をもって、右のようなアンケートを作成し、二次元表に分類整理する活動を取り入れる。その後、その結果をグループごとに発表する数学的活動を設定する。大切なことは、グループ内の一部の児童が発表するのではなく、全ての児童が発表できる場を設定することである。例えば、4人グループならば、前半と後半に分かれて発表し、発表しない時は他グループの発表を聞きに行く等が考えられる。このように全員に発表の機会が設定されると、発表準備中に対話的な学びが生じやすくなる。

図書アンケート用紙

質問1 読書が好きですか。
☒ はい ☐ いいえ

質問2 9月に図書室で5冊以上借りましたか。
☐ はい ☒ いいえ

※ 質問2で「いいえ」と答えた人は、その理由として、あてはまるものすべてにチェックを入れてください。

☐ 図書室には読みたい本が少ない
☒ 図書室に行く時間がない
☐ ページ数が多く、読み終わるのに時間がかかる
☐ 地域の図書館で本を借りている

3 中学校国語 <調査の分析・検証>

概 要

- 国語について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より下回っている。

■令和3年度調査結果の集計値

中学校国語	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	7,447	66	9.0 / 14	64
全国 (公立)	903,157	9,319	9.0 / 14	65 (64.6)

■平成28年度～令和3年度の県と全国の調査結果

調査区分	国語		国語 A			国語 B		
調査年度	R3	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県 (公立) 平均正答率 (%)	64	73	76	78	77.2	60	71	67.5
全国 (公立) 平均正答率 (%)	65 (64.6)	73 (72.8)	76 (76.1)	77 (77.4)	75.6	61 (61.2)	72 (72.2)	66.5
県と全国との 差 (pt)	▲1	0	0	1	1.6	▲1	▲1	1.0

■令和３年度領域等別調査結果

	国語			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県（公立）平均正答率（％）	79.0	56.2	48.3	74.6
全国（公立）平均正答率（％）	79.8	57.1	48.5	75.1
県と全国との差（pt）	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.5

■令和元年度領域等別調査結果

	国語			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県（公立）平均正答率（％）	69.1	83.9	72.1	67.5
全国（公立）平均正答率（％）	70.2	82.6	72.2	67.7
県と全国との差（pt）	▲1.1	1.3	▲0.1	▲0.2

■平成 28～30 年度の領域等別調査結果

国語 A	年度		H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県（公立）（％）	79.8	75.2	74.4
		全国（公立）（％）	78.9	75.4	75.2
		差（pt）	0.9	▲0.2	▲0.8
	書くこと	県（公立）（％）	75.1	85.2	72.7
		全国（公立）（％）	73.7	85.7	73.9
		差（pt）	1.4	▲0.5	▲1.2
	読むこと	県（公立）（％）	79.4	74.1	76.3
		全国（公立）（％）	78.6	73.8	76.7
		差（pt）	0.8	0.3	▲0.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）	76.0	77.6	76.8
		全国（公立）（％）	73.9	77.2	76.5
		差（pt）	2.1	0.4	0.3
国語 B	年度		H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県（公立）（％）		71.1	74.6
		全国（公立）（％）		72.4	76.6
		差（pt）		▲1.3	▲2.0
	書くこと	県（公立）（％）	62.3	59.9	31.5
		全国（公立）（％）	58.3	60.8	31.3
		差（pt）	4.0	▲0.9	0.2
	読むこと	県（公立）（％）	67.5	72.3	52.1
		全国（公立）（％）	66.5	72.1	53.5
		差（pt）	1.0	0.2	▲1.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）		41.4	49.6
		全国（公立）（％）		41.4	49.2
		差（pt）		0.0	0.4

■問題別調査結果【国語】

令和3年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果 【国語】
香川県一生徒（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、５月２７日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	66	9,319		7,447	903,157

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県（公立）	全国（公立）
	全体	14	64	64.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	79.0	79.8
	書くこと	3	56.2	57.1
	読むこと	4	48.3	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	74.6	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	54.4	56.0
	話す・聞く能力	3	79.0	79.8
	書く能力	3	56.2	57.1
	読む能力	4	48.3	48.5
	言語についての知識・理解・技能	4	74.6	75.1
問題形式	選択式	6	63.4	63.9
	短答式	4	74.8	74.4
	記述式	4	54.4	56.0

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		正答率(%)		無解答率(%)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）
1ー	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	1オ					○				○			88.5	89.7	0.3	0.2
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1エ					○				○			91.5	92.5	0.4	0.2
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	1オ				○	○					○		57.0	57.1	3.8	3.4
2ー	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	2エ						○			○			28.6	24.8	0.5	0.3
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える	2オ				○		○				○		69.2	74.5	9.8	8.5
3ー	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア					○		○			42.7	43.7	0.7	0.4
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ						○		○		58.7	58.7	0.8	0.4
3三	「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ						○			○	71.5	71.0	8.0	7.3
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ			1オ		○			○			○		20.5	20.5	24.6	24.1
4ー①	漢字を読む（ <u>燗</u> ばして）	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1)ウ(7)						○		○		97.1	97.5	1.7	1.5
4ー②	漢字を読む（ <u>詳細</u> ）				2(1)ウ(7)							○		○		87.4	88.8	2.8
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する	事象や行為などを表す多様な語句について理解する			1(1)イ(9)						○	○			70.4	74.0	1.6	1.1
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場に応じて敬語を適切に使う			2(1)イ(7)							○		○	43.4	40.3	1.7	1.7
4四	事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く	2ウ				○		○				○		70.9	71.9	10.6	9.7

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校国語】（全14問中2問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書く	書く	選択	28.6	0.5	3.8
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	伝統	知理技	短答	43.4	1.7	3.1

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校国語】（全14問中2問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書く	関意態書く	記述	69.2	9.8	▲5.3
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する	伝統	知理技	選択	70.4	1.6	▲3.6

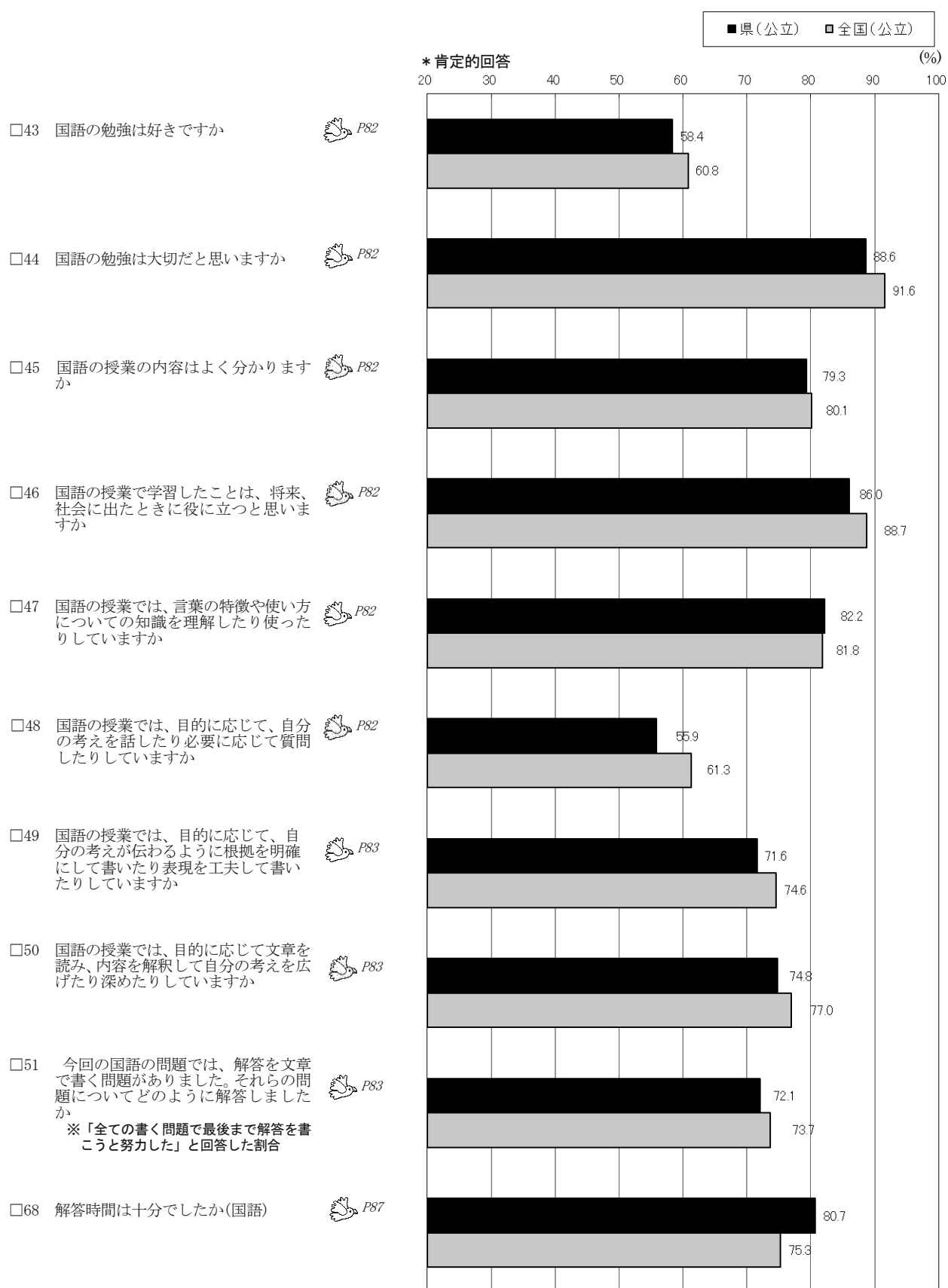
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校国語】（全14問中3問）

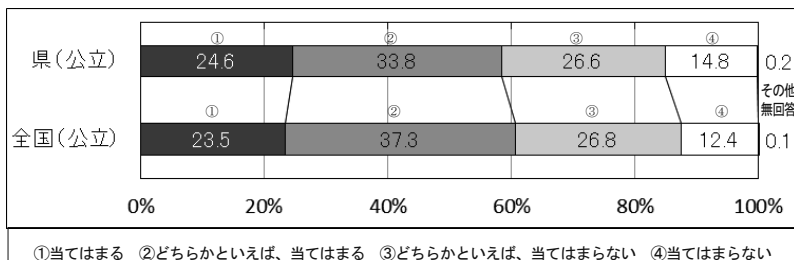
問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3一	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	読む	読む	選択	42.7	0.7	▲1.0
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	読む	関意態読む	記述	20.5	24.6	0.0
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	伝統	知理技	短答	43.4	1.7	3.1

【領域等】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	: 話聞 : 書く : 読む : 伝統	国語への関心・意欲・態度：関意態 話す・聞く能力：話聞 書く能力：書く 読む能力：読む 言語についての知識・理解・技能：知理技
		選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

■中学校国語に関わる質問の全国との比較



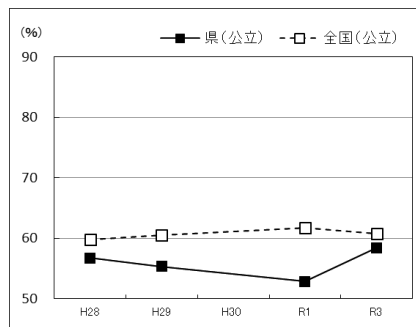
□43 国語の勉強は好きですか



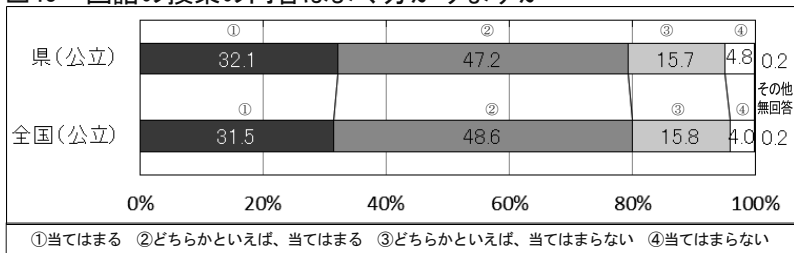
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	56.7	55.3		52.8	58.4
全国(公立)(%)	59.8	60.5		61.7	60.8
県と全国の差(pt)	▲3.1	▲5.2		▲8.9	▲2.4

質問 43 に肯定的に回答した生徒の割合の推移 P82



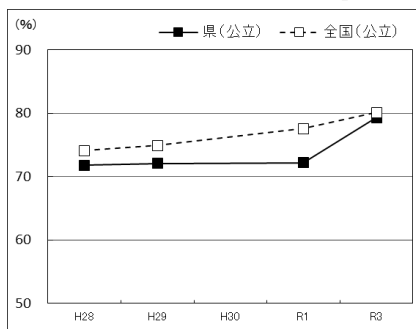
□45 国語の授業の内容はよく分かりますか



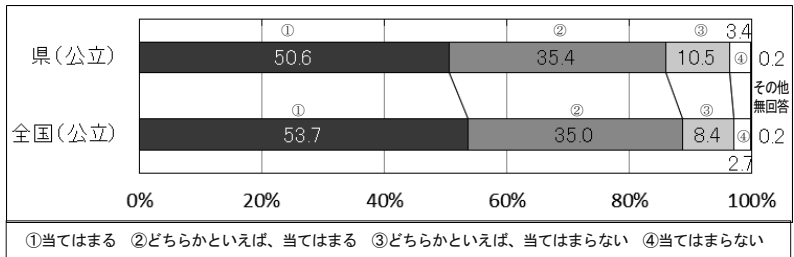
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	71.8	72.1		72.2	79.3
全国(公立)(%)	74.1	74.9		77.6	80.1
県と全国の差(pt)	▲2.3	▲2.8		▲5.4	▲0.8

質問 45 に肯定的に回答した生徒の割合の推移 P82



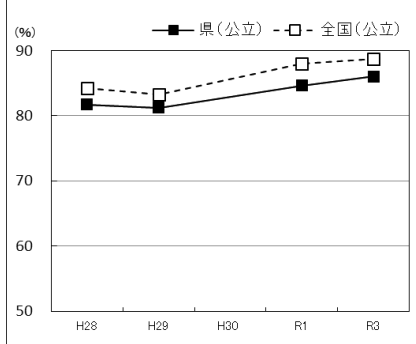
□46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



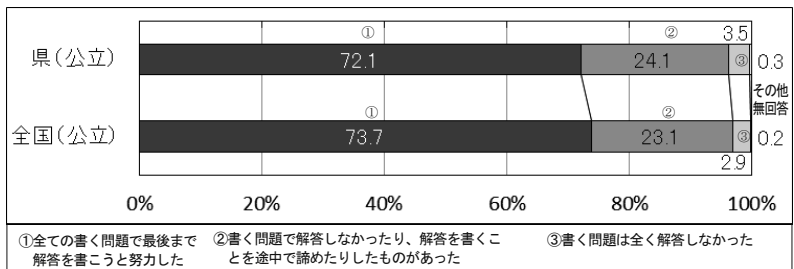
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	81.7	81.2		84.6	86.0
全国(公立)(%)	84.2	83.3		88.0	88.7
県と全国の差(pt)	▲2.5	▲2.1		▲3.4	▲2.7

質問 46 に肯定的に回答した生徒の割合の推移 P82



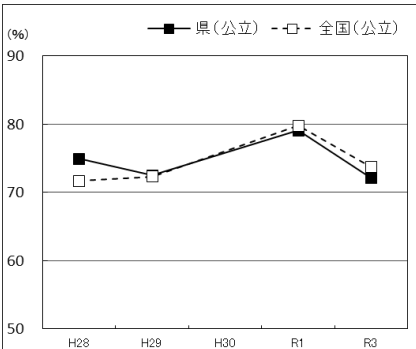
□51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	74.9	72.5		79.1	72.1
全国(公立)(%)	71.7	72.3		79.8	73.7
県と全国の差(pt)	3.2	0.2		▲0.7	▲1.6

質問 51 に対して①と回答した生徒の割合の推移 P83



※H30 は該当の質問はなし

書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる。

書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えることができるかどうかをみる。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 2 ー 二

一 山田さんは、【意見文の下書き】を読み返して、④と⑤のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

1 一 段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

2 二 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

3 三 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

5 直前の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

② 山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。次は、山田さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。①から④は、段落の番号を表します。

① SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使おうと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの?」と書いたところ、「どうして行っているの?」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るの?」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を生まないように丁寧に書いていれば、このようなことは起こらなかっただろう。

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらないければ、私が経験したように相手に誤解を生み、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

④ SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

問題番号	解答類型	県 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
2 一	1 Aの欄に4、Bの欄に1と解答しているもの	28.6	24.8	◎
	2 Aの欄に4と解答し、Bの欄に1と解答していないもの	33.5	37.1	
	3 Bの欄に1と解答し、Aの欄に4と解答していないもの	4.7	4.7	
	99 上記以外の解答	32.7	33.1	
	0 無解答	0.5	0.3	
正答率		28.6	24.8	

問題番号	正答の条件
2 二	次の条件を満たして解答している。 ① 【意見文の下書き】の構成にどのような工夫があるのかが分かるように書いている。 ② 複数の段落に着目して、①、②などの段落の番号を示しながら書いている。

問題番号	解答類型	県 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
2 二	1 条件①、②を満たして解答しているもの	69.2	74.5	◎
	2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	12.6	9.8	
	3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	2.5	2.6	
	99 上記以外の解答	6.0	4.6	
	0 無解答	9.8	8.5	
正答率		69.2	74.5	

二 山田さんが書いた【意見文の下書き】の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、①、②などの段落の番号を示しながら書くこと。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

分析・考察

- 本問題は、意見文の下書きを直した意図を捉えたり(一)、段落構成について、どのような工夫があるのか具体的に段落番号を示しながら自分の考えを書いたりする(二)問題である。本県の正答率は、一については28.6%で全国の正答率を3.8ポイント上回り、二については69.2%で、全国の正答率を5.3ポイント下回っている。また、二については、無解答率が9.8%で、全国は無解答率を1.3ポイント上回っている。
- 一の解答類型2、3の反応率の合計は、38.2%である。このように解答した生徒は、選択肢にある意見や根拠、具体例といった言葉と、【意見文の下書き】の記述とを結び付けて捉えることに課題がある。
- 二の解答類型2、3の反応率の合計は、15.1%である。解答類型2の生徒は、文章の構成の工夫について触れているが、【意見文の下書き】のどの部分のことなのかを具体的に示すことができていない。解答類型3の生徒は、【意見文の下書き】に書かれている内容を取り上げたり、表現の工夫について触れたりしているが、文章の構成にどのような工夫があるのかを示すことができていない。本県では、解答類型2の生徒が全国より2.8ポイント多いことから、問題文及び書いた文章を注意深く読み返すこと、一と同様に、各段落に書かれている具体的内容が、意見なのか具体例なのかを捉えること、文章全体からその段落の意義を捉えることに課題があると考えられる。

授業改善のポイント

【読み手の立場に立って文章を整える】

読みやすく分かりやすい文章にするためには、書き手としてだけでなく、読み手の立場に立って文章を整えるように指導する必要がある。その際、伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか、段落の設け方や段落相互の関係は適切か、全体と部分の関係はどのようになっているかなどについて検討することが重要である。

また、互いに読み合い、自分の表現に役立てたり、自分の考えを広げたり深めたりする活動では、根拠の明確さ、文章の構成や材料の活用の仕方、表現の仕方など、観点を明確にして交流することが大切である。その際、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な部分や事柄を取り上げて助言などをするように指導することが重要である。書き手は、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章が他者にどう読まれるかを自覚し、次の自分の書く活動へ生かす具体的な視点を得るように指導することも重要である。

【具体的な記述を取り上げ、その効果について捉えることができるようにする】

具体的な記述や段落の役割を捉えるために、その記述や段落がなかった場合の論の展開を考えたり、他の表現に置き換えて比較したり、順番を入れ替えたりすることも効果的である。

SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

段落の順番を入れ替えたらどうだろう。読んだ人に目的に合った内容が正しく伝わるかな。

は次のような経験をした。SNSを使って待ち合わせの相談をしていたときのことの友達に対して、「何で来るの。」と書いて「どうして行つてはダメなの。」という返はつとせられたことがあった。友達は、「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしそのとき私が、友達に誤解を与えないように書いていれば、このようなことは起こらなう。

SNS(ソーシャルネットワーク)サービスなどを利用し、インターネット上で文字を通してやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやる際は、相手にどう伝わるかをよく考えを選んで使うべきだと思う。SNSは少な自分の思いや考えを表現することが多く、たいことが正しく伝わらないことがある。



もし、この段落がなかったらどうかな。なくてもつながるけど、反対の意見の人に納得してもらうためには、この段落で反対意見に対する考えを書いておく方がよさそうだ。

4 中学校数学

<調査の分析・検証>

概 要

- 数学について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より下回っている。

■令和3年度調査結果の集計値

中学校数学	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	7,457	66	9.0/ 16	56
全国(公立)	903,253	9,316	9.2/ 16	⁵⁷ (57.2)

■平成28年度～令和3年度の県と全国の調査結果

調査区分	数学		数学A			数学B		
調査年度	R3	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県(公立) 平均正答率 (%)	56	60	67	66	63.8	46	49	44.6
全国(公立) 平均正答率 (%)	57.2	⁶⁰ (59.8)	⁶⁶ (66.1)	⁶⁵ (64.6)	62.2	⁴⁷ (46.9)	⁴⁸ (48.1)	44.1
県と全国との 差(pt)	▲1.2	0	1	1	1.6	▲1	1	0.5

■令和３年度領域等別調査結果

	数学			
学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	資料の活用
県（公立）平均正答率（％）	64.0	49.8	54.9	54.3
全国（公立）平均正答率（％）	64.9	51.4	56.4	53.8
県と全国との差（pt）	▲0.9	▲1.6	▲1.5	0.5

■令和元年度領域等別調査結果

	数学			
学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	資料の活用
県（公立）平均正答率（％）	65.8	71.7	41.9	55.9
全国（公立）平均正答率（％）	63.8	72.4	40.8	56.3
県と全国との差（pt）	2.0	▲0.7	1.1	▲0.4

■平成 28～30 年度の領域等別調査結果

数学 A	年度		H28	H29	H30
	数と式	県（公立）（％）	67.9	71.7	73.5
		全国（公立）（％）	65.9	70.4	71.1
		差(pt)	2.0	1.3	2.4
	図 形	県（公立）（％）	67.5	67.3	68.6
		全国（公立）（％）	67.1	66.0	69.1
		差(pt)	0.4	1.3	▲0.5
	関 数	県（公立）（％）	54.8	59.7	56.5
		全国（公立）（％）	52.0	57.4	55.5
		差(pt)	2.8	2.3	1.0
	資料の活用	県（公立）（％）	58.7	59.3	63.3
		全国（公立）（％）	56.5	57.6	63.5
		差(pt)	2.2	1.7	▲0.2

数学 B	年度		H28	H29	H30
	数と式	県（公立）（％）	51.3	46.0	51.0
		全国（公立）（％）	51.5	46.3	51.4
		差(pt)	▲0.2	▲0.3	▲0.4
	図 形	県（公立）（％）	35.6	48.6	45.8
		全国（公立）（％）	33.3	47.1	46.7
		差(pt)	2.3	1.5	▲0.9
	関 数	県（公立）（％）	42.1	51.3	50.9
		全国（公立）（％）	41.4	50.8	52.8
		差(pt)	0.7	0.5	▲1.9
	資料の活用	県（公立）（％）	40.0	50.8	36.1
		全国（公立）（％）	39.3	49.1	38.0
		差(pt)	0.7	1.7	▲1.9

問題別調査結果【数学】

令和3年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【数学】
香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	66	9,316		7,457	903,253

分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）	
			香川県（公立）	全国（公立）
全体		16	56	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	64.0	64.9
	図形	4	49.8	51.4
	関数	3	54.9	56.4
	資料の活用	4	54.3	53.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	7	39.7	41.1
	数学的な技能	3	80.0	77.7
	数量や図形などについての知識・理解	6	63.8	65.6
問題形式	選択式	2	50.2	52.4
	短答式	9	69.9	70.5
	記述式	5	34.3	35.0

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題の概要			出題の趣旨			学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		正答率(%)		無解答率(%)	
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）		
1	$(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1)ア						○			○		79.6	77.1	1.5	0.8		
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる	1(3)ウ						○			○		73.0	71.3	8.1	7.6		
3	中心角60°の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している	1(2)ウ							○	○			65.0	68.1	0.6	0.3		
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している			1(1)ア				○			○		46.4	48.0	11.1	9.3		
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることができる				1(1)ア			○			○		87.3	84.5	1.4	1.0		
6（1）	四角で囲んだ4つの数が12、13、17、18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1)イ、ウ						○			○		79.9	83.9	4.9	3.5		
6（2）	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1)イ、ウ						○				○	59.5	61.8	18.1	15.4		
6（3）	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	2(1)イ、ウ						○				○	27.8	30.3	32.0	29.9		
7（1）	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1(1)ウ					○		○		91.5	93.5	3.6	2.0		
7（2）	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1(1)エ、オ				○				○	26.7	27.7	26.3	24.7		
8（1）	気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる				1(1)ア				○		○		81.0	83.0	5.7	4.2		
8（2）	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している				1(1)ア					○	○		35.4	36.8	1.6	1.0		
8（3）	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				1(1)イ			○				○	13.3	11.1	30.2	32.2		
9（1）	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる	2(2)イ、ウ						○				○	44.1	44.3	4.8	3.6		
9（2）	鈍角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す	鈍角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している	2(1)ア							○		○		63.2	64.3	16.0	14.2		
9（3）	∠ARGや∠ASGの大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができる	2(1)ア						○			○		26.9	28.8	28.7	28.7		

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校数学】（全16問中）無し

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校数学】（全16問中2問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3	中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	図形	知理	選択	65.0	0.6	▲3.1
6(1)	四角で囲んだ4つの数が12、13、17、18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	数式	見方	短答	79.9	4.9	▲4.0

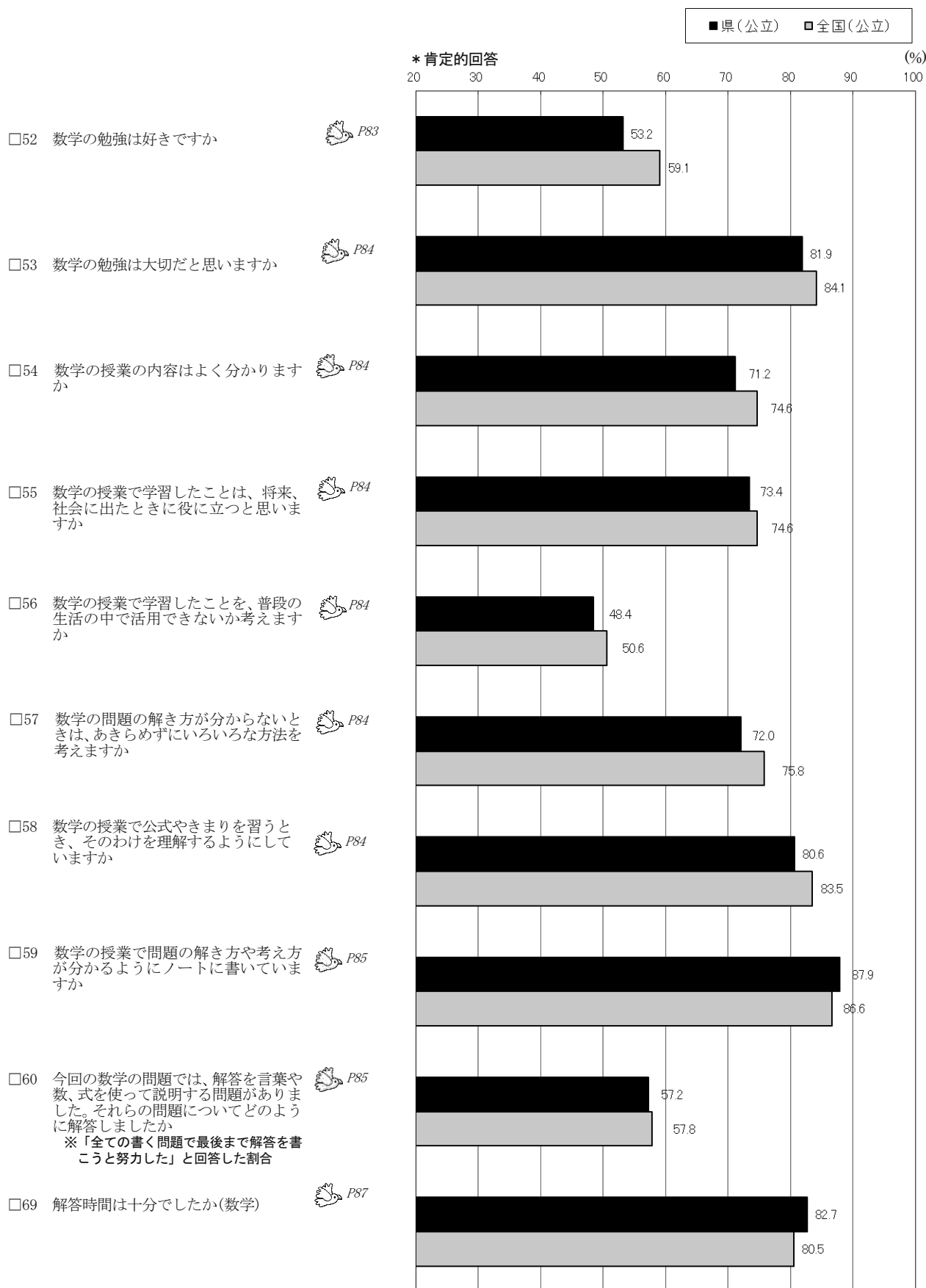
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校数学】（全16問中7問）

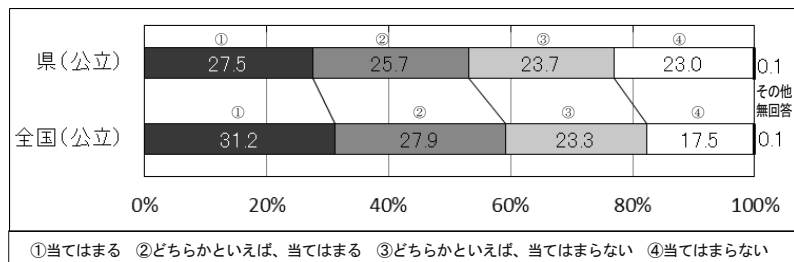
問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数	知理	短答	46.4	11.1	▲1.6
6(3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数式	見方	記述	27.8	32.0	▲2.5
7(2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	関数	見方	記述	26.7	26.3	▲1.0
8(2)	2つの分布の傾向を調べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	資料	知理	選択	35.4	1.6	▲1.4
8(3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料	見方	記述	13.3	30.2	▲2.2
9(1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形	見方	記述	44.1	4.8	▲0.2
9(3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	図形	見方	短答	26.9	28.7	▲1.9

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と式 ：数式 図形 ：図形 関数 ：関数 資料の活用 ：資料	数学への関心・意欲・態度 ：関意態 数学的な見方や考え方 ：見方 数学的な技能 ：技能 数量や図形などについての知識・理解 ：知理	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

■中学校数学に関わる質問の全国との比較



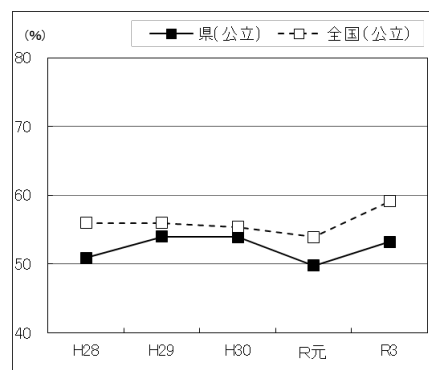
□52 数学の勉強は好きですか



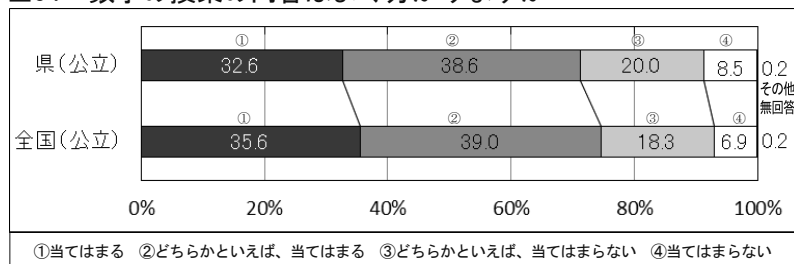
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	54.0	53.9	49.8	56.1	53.2
全国(公立)(%)	56.0	55.4	53.9	57.9	59.1
県と全国の差(pt)	▲2.0	▲1.5	▲4.1	▲1.8	▲5.9

質問 52 に肯定的に回答した生徒の割合の推移 P83



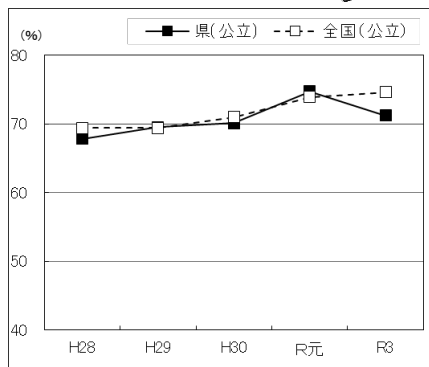
□54 数学の授業の内容はよく分かりますか



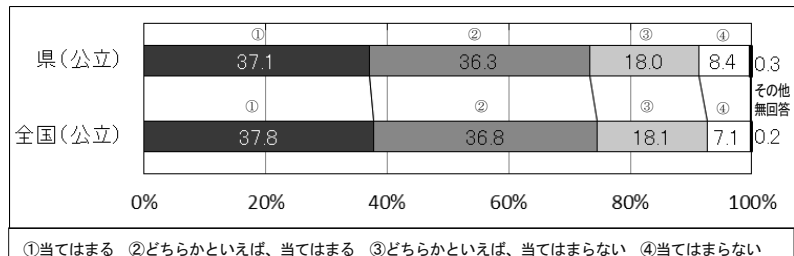
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	67.8	69.5	70.1	74.7	71.2
全国(公立)(%)	69.4	69.4	71.0	73.9	74.6
県と全国の差(pt)	▲1.6	0.1	▲0.9	0.8	▲3.4

質問 54 に肯定的に回答した生徒の割合の推移 P84



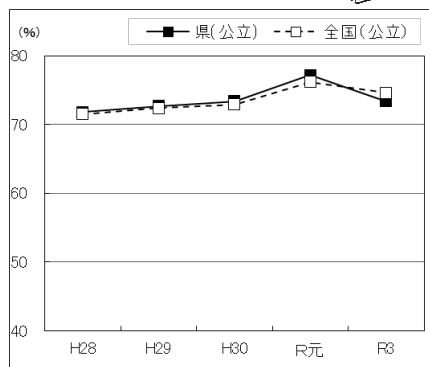
□55 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



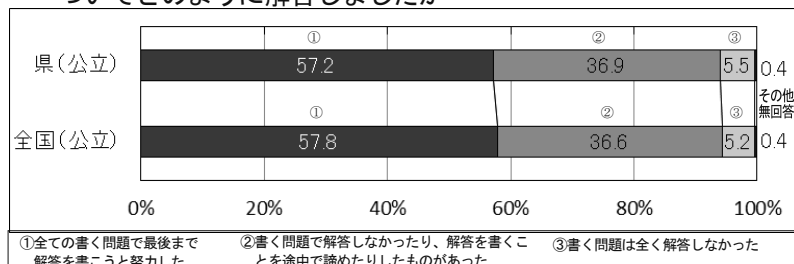
肯定的に回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	71.8	72.7	73.4	77.2	73.4
全国(公立)(%)	71.5	72.4	72.9	76.2	74.6
県と全国の差(pt)	0.3	0.3	0.5	1.0	▲1.2

質問 55 に肯定的に回答した生徒の割合の推移 P84



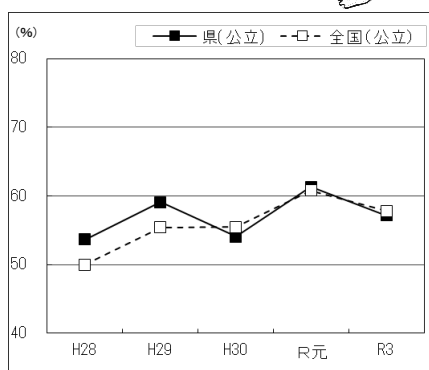
□60 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	H28	H29	H30	R元	R3
県(公立)(%)	53.7	59.1	54.1	61.3	57.2
全国(公立)(%)	50.0	55.4	55.5	60.8	57.8
県と全国の差(pt)	3.7	3.7	▲1.4	0.5	▲0.6

質問 60 に対して①と回答した生徒の割合の推移 P85



中学校数学

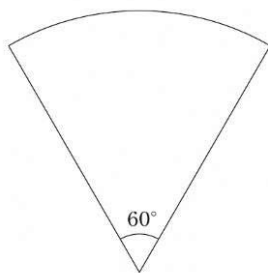
調査結果から授業改善へ

円と扇形を比べる活動を行うなど、観察や操作、実験を通して、伴って変わる数量に着目し、その関係を見いだすことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 3

- 3 次の図のような、中心角 60° のおうぎ形があります。このおうぎ形の弧の長さは、同じ半径の円の円周の長さの何倍ですか。下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア $\frac{1}{2}$ 倍 イ $\frac{1}{3}$ 倍 ウ $\frac{1}{4}$ 倍 エ $\frac{1}{5}$ 倍 オ $\frac{1}{6}$ 倍

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
3	1 ア と解答しているもの	3.9	3.1	
	2 イ と解答しているもの	19.1	18.5	
	3 ウ と解答しているもの	7.8	6.8	
	4 エ と解答しているもの	3.6	3.2	
	5 オ と解答しているもの	65.0	68.1	◎
	99 上記以外の解答	0.1	0.0	
	0 無解答	0.6	0.3	
正答率		65.0	68.1	

分析・考察

- 本問題は扇形の弧の長さがその中心角の大きさに比例していることを理解しているかどうかをみる問題である。本県の正答率は65.0%であり、全国の正答率を3.1ポイント下回っており、課題がうかがえる。誤答の中では、解答類型2の反応率が19.1%と最も高く、この中には、示された扇形の中心角 60° と 180° との関係に基づいて解答した生徒がいると考えられる。
- 平成29年度調査A4(3)の「半径が5cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める問題」の本県の正答率は28.4%であり、全国の正答率を2.3ポイント下回っている。また、平成31年度（令和元年度）県学習状況調査第2学年12(1)の「半径4cm、中心角 90° の扇形の弧の長さとして正しいものを選択する問題」の正答率も36.5%と低く、弧の長さの求め方を十分に理解できていない生徒が多数いることが想定される。よって、引き続き、扇形の中心角と弧の長さや面積との関係の理解について指導の充実を図る必要があると考えられる。

授業改善のポイント

【円と扇形を比べる活動を行うなど、観察や操作、実験を通して、伴って変わる数量に着目し、その関係を見いだすことができるようにする】

円や扇形の学習を進める際には、半径が等しい円と扇形を比較する機会を設定し、扇形を円の一部として捉えることができるように指導することが大切である。

実感を伴った理解になるよう、円を折ったり、切ったりしてできた扇形ともとの円を比べる活動を行うなど、観察や操作、実験を通して、扇形と円を関連付けて捉える場面を設定することが考えられる。例えば、円を直径、半径に沿って折り、折り目に線を書いて観察することを通して、中心角の大きさが異なるいくつかの扇形ができることに気付かせる活動を行うことが考えられる。さらに、中心角を様々な大きさに変えた扇形の弧の長さや面積を調べ、表や式に表すことを通して、それらが扇形の中心角と比例の関係にあることを、自ら気付くように工夫することが大切である。

このような操作的、実験的な数学的活動の授業を行う際には、一部の生徒の気付きを共有して「中心角の大きさと弧の長さが比例している」等とまとめるのではなく、教室内の全ての生徒が数学的活動での気付きを話し合う対話的な学びの場の設定が重要である。このような生徒一人一人の対話の実現を目指した活動設定は、対象となる数量を選択し、それらの関係に着目して表・式・グラフに表す等の重要な知識・技能の定着にも効果がある。

調査結果から授業改善へ

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるようにする。

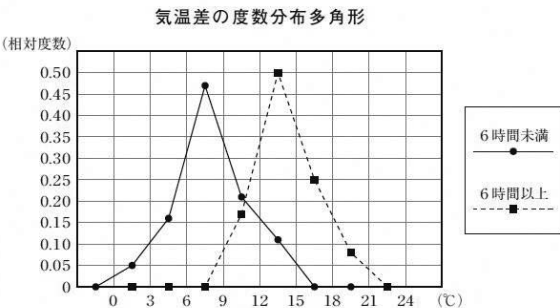
授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 8(3)

8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

(表省略)

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
8(3)	(正答の条件) 次の(a)、(b)について記述しているもの。 (a) 6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にあること。 (b) 日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にあること。			
	1 (a)、(b)について記述しているもの。	2.9	3.1	◎
	2 (a)のみを記述しているもの。	10.4	8.0	○
	3 (a)について、2つの度数分布多角形の位置が異なることのみを記述しているもの。(b)についての記述がないものを含む。	0.4	0.3	
	4 2つの度数分布多角形の形状のみを記述しているもの。	4.1	4.7	
	5 2つの度数分布多角形の山の高さの比較について記述しているもの。	3.3	3.1	
	6 上記5以外で、度数分布多角形について、最小値、最大値、最頻値(度数が最大の階級の真ん中の値)など、ある点を比較して記述しているもの。	5.6	5.8	
	7 度数分布多角形の相対度数に着目して記述しているもの。	8.0	8.1	
	8 上記以外で、度数分布多角形から読み取れることを記述しているもの。(b)についての記述がないものを含む。	1.6	1.6	
	9 (a)について、度数分布多角形を根拠にしているが、読み取りを誤って記述しているもの。(b)についての記述がないものを含む。	0.2	0.1	
	10 度数分布多角形の読み取りを誤って記述しているもの。	1.4	1.4	
	99 上記以外の解答	31.9	31.6	
	0 無解答	30.2	32.2	
正答率		13.3	11.1	

分析・考察

- 本問題は、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかみる問題である。本県の正答率は13.3%であり、全国の正答率を2.2ポイント上回っているが、低い状況にある。
- 平成31年度(令和元年度)調査8(2)、平成29年度調査B5(3)は同じ趣旨の問題で、本県の正答率はそれぞれ、38.9%、25.4%(全国の正答率はそれぞれ、40.8%、17.6%)であり、低い状況で課題がある。よって、引き続き、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるよう指導の充実を図る必要があると考えられる。

授業改善のポイント

【データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるようにする】
データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導するために、統計的な問題解決のプロセスを体験する数学的活動の設定が大切である。
「D データの活用」領域の学習は、単に問題を解くのではなく、生徒の身近な事象について問題設定・問題解決の計画立案・データ収集と整理・分析・結論という5つのプロセスを経験できるような単元設定を行い、その中で知識・技能の有用性を感じながら学習を進めていくことが大切である。本問題の場合、目的意識をもった生徒がデータ収集を行い、その結果を表やグラフに整理する活動、そして問題解決のために表やグラフを用いて他者に結論を説明する活動を設定することが考えられる。

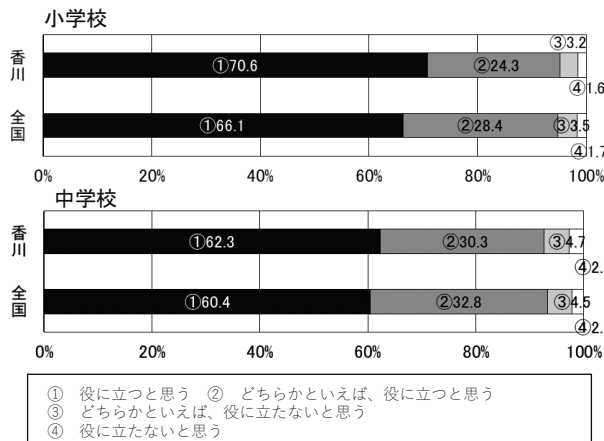
ICT 機器の積極的な活用を！

本年度から小・中学校で「1人1台端末」の本格的な活用が始まりました。全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果からは、ICT教育の現状と今後の課題が見て取れます。

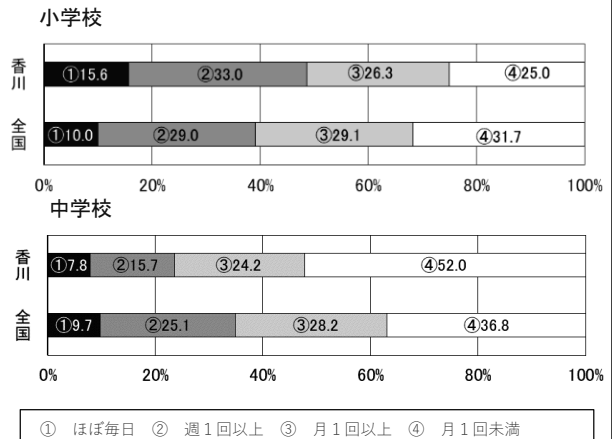


ICT 機器の授業での活用に課題

□28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか 【児童生徒質問紙】



□27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達(生徒)と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか 【児童生徒質問紙】



□28の質問に対して、小・中学校ともに、90%以上の児童生徒が肯定的に回答しており、ICT機器の必要性を感じているようです。□27の質問に対して、小学校では48.6%の児童が週1回以上活用していると回答しており、全国を上回っていますが、中学校では23.5%の生徒が週1回以上と回答しており、全国を下回っています。

「月1回未満」と回答した児童生徒の割合が小学校で25.0%、中学校で52.0%となっていることから、ICT機器が勉強の役に立つと感じていても、実際授業で活用が十分に進んでいない現状があるようです。

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込みなどを活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

A1:教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

B1:個に応じる学習



一人一人の習熟の程度などに応じた学習

B2:調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画などによる記録

B3:思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B4:表現・製作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

B5:家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業者他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

C1:発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

C2:協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

C3:協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

C4:学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

文部科学省教育の情報化に関する手引き(追補版)

このように ICT 機器は授業の様々な場面での活用が想定されます。一人一人の学習状況の把握やリアルタイムの意見交換など、ねらいに合わせて適宜授業の中に取り入れていきましょう。そのためにも、休み時間や帰りの会、委員会活動等、授業以外の日常から積極的に活用を試みるとよいかもしれません。



情報教育に関する調査研究 17P 以降参照

IV 質問紙調査結果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

※「R元番号」欄の「新」は、R3年度新たに問われた質問。

1段目：香川県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）

質問番号 小 中	掲載P	R元 番号	質問事項		選択肢（質問の選択項目は、P74を参照）									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7	8	9			
【基本的生活習慣等】																
1	1	75	1	朝食を毎日食べていますか	小	85.1	9.2	4.5	1.1					0.0	0.0	-0.7
					中	85.8	9.1	3.9	1.2					0.0	0.0	-0.6
					小	82.1	11.3	4.5	2.1					0.0	0.0	0.3
					中	81.8	11.0	4.9	2.2					0.0	0.0	0.6
2	2	75	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	37.6	43.5	15.8	3.0					0.0	0.0	-0.7
					中	38.3	42.9	15.5	3.2					0.0	0.0	-0.1
					小	34.8	44.2	17.3	3.6					0.0	0.0	-1.5
					中	36.3	43.5	16.5	3.7					0.0	0.0	-0.8
3	3	75	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	52.7	36.9	8.7	1.6					0.0	0.0	-2.3
					中	55.0	35.4	7.9	1.6					0.0	0.0	-0.8
					小	56.8	35.2	6.7	1.2					0.0	0.0	-0.8
					中	57.6	35.1	6.1	1.1					0.0	0.0	-0.7
4	4	75	H29 25/27	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、 家の人と約束したことを守っていますか	小	33.5	35.3	7.4	1.3	12.1	10.2			0.0	0.1	-4.5
					中	38.0	32.1	4.7	0.9	11.8	12.4			0.0	0.0	-1.3
					小	25.6	36.6	7.3	1.8	22.0	6.4			0.1	0.2	-5.3
					中	30.9	37.0	6.6	1.5	18.9	4.8			0.1	0.1	-5.7
5	5	75	H29 13	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テ レビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話 やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	小	11.4	11.9	20.7	32.1	16.9	6.9			0.0	0.1	-4.1
					中	15.5	13.5	20.4	26.8	16.5	7.2			0.0	0.1	-5.7
					小	12.6	13.7	25.1	25.5	14.7	8.0			0.1	0.3	-4.1
					中	16.7	15.6	24.7	23.0	12.4	7.3			0.1	0.3	-6.0
【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】																
6	6	75	5	自分には、よいところがあると思いますか	小	34.7	39.2	17.2	8.9					0.0	0.1	-1.5
					中	36.2	40.7	15.5	7.5					0.0	0.0	-3.0
					小	30.6	42.0	18.5	8.8					0.0	0.1	-3.9
					中	34.5	41.7	16.6	7.1					0.0	0.0	-3.6
7	7	76	8	将来の夢や目標を持っていますか	小	60.6	21.4	10.3	7.6					0.0	0.0	0.4
					中	60.2	20.1	10.8	8.9					0.0	0.0	1.7
					小	36.1	29.7	21.5	12.6					0.0	0.1	-4.4
					中	40.5	28.1	19.5	11.8					0.0	0.1	-2.8
8	8	76	新	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	小	35.5	48.1	14.6	1.7					0.0	0.0	-0.4
					中	35.9	48.4	13.8	1.9					0.0	0.0	-0.7
					小	32.3	50.9	14.3	2.3					0.0	0.1	-2.4
					中	34.7	49.5	13.7	2.0					0.0	0.1	-1.0
9	9	76	10	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	小	23.3	47.7	24.1	4.8					0.0	0.0	-1.1
					中	24.4	46.5	24.0	5.1					0.0	0.0	0.1
					小	19.6	46.7	28.4	5.2					0.0	0.1	-0.4
					中	20.0	45.9	28.3	5.6					0.0	0.1	0.4
10	10	76	14	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	42.7	45.4	10.2	1.7					0.0	0.0	-0.9
					中	43.6	45.1	9.8	1.6					0.0	0.0	-0.6
					小	37.2	50.0	10.9	1.8					0.0	0.1	-4.4
					中	41.6	46.9	9.8	1.6					0.0	0.1	-1.3
11	11	76	15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	86.5	10.7	1.8	1.0					0.0	0.0	2.4
					中	84.1	12.7	2.2	0.9					0.0	0.0	0.4
					小	81.0	14.7	2.9	1.2					0.0	0.1	-0.4
					中	81.4	14.5	2.8	1.2					0.0	0.1	-0.2
12	12	76	16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	77.3	18.2	3.3	1.1					0.0	0.0	1.9
					中	75.4	20.1	3.3	1.2					0.0	0.0	0.0
					小	76.0	19.1	3.3	1.4					0.0	0.1	1.7
					中	74.3	20.7	3.5	1.5					0.0	0.0	0.1
13	13	77	12	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	49.3	34.5	11.3	4.8					0.0	0.0	1.4
					中	47.9	35.5	11.4	5.2					0.0	0.0	0.4
					小	39.3	38.7	14.8	7.0					0.0	0.1	-4.0
					中	43.3	37.8	12.8	6.0					0.0	0.0	-3.1
14	14	77	新	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表す ことができますか	小	25.9	43.7	24.2	6.1					0.0	0.0	-0.8
					中	26.7	43.6	23.8	5.9					0.0	0.0	-0.7
					小	28.8	43.2	23.1	4.7					0.0	0.1	-4.0
					中	32.8	42.4	20.2	4.5					0.0	0.0	-3.2
15	15	77	新	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	28.3	43.2	21.8	6.6					0.0	0.1	1.7
					中	26.6	43.5	23.1	6.8					0.0	0.0	1.4
					小	27.8	44.8	21.4	5.9					0.0	0.1	-1.5
					中	29.3	45.4	20.5	4.6					0.0	0.1	-2.1
16	16	77	新	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	73.6	20.5	4.5	1.4					0.0	0.1	1.6
					中	72.0	21.9	4.5	1.5					0.0	0.0	0.2
					小	65.1	28.3	4.8	1.7					0.0	0.1	-0.7
					中	65.8	27.5	5.1	1.5					0.0	0.1	0.1
【学習習慣、学習環境等】																
17	17	77	17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予 習や復習を含む）	小	29.6	43.2	21.2	5.9					0.0	0.0	-1.6
					中	31.2	42.8	19.8	6.1					0.0	0.0	-1.2
					小	15.6	42.0	30.8	11.5					0.0	0.1	-3.8
					中	19.4	44.1	27.1	9.4					0.0	0.0	-5.9
18	18	77	18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当 たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している 時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを 活用して学ぶ時間も含む）	小	7.1	17.1	38.7	25.8	8.7	2.6			0.0	0.0	-4.5
					中	11.6	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5			0.0	0.0	-2.7
					小	9.7	28.2	35.8	15.1	7.1	3.8			0.0	0.1	-2.6
					中	12.3	29.5	34.1	14.1	6.4	3.5			0.1	0.1	-3.9

質問番号 小 中	掲載P	R元 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P74を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
【学習習慣、学習環境等】																	
19	19	78	H29 16	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	4.7	7.3	16.8	33.4	28.9	8.9			0.0	0.0	-3.9	
						8.6	6.6	14.5	31.3	28.9	10.2			0.0	0.0	-3.2	
					中	9.1	15.8	27.7	25.6	14.7	7.0			0.0	0.1	-1.1	
						10.2	16.6	26.7	24.1	15.0	7.4			0.1	0.0	-1.9	
20	20	78	H29 17	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小	54.1	20.8	7.4	10.3	7.2				0.0	0.1	1.5	
						52.6	25.7	5.6	8.5	7.6				0.1	0.0	-3.4	
					中	32.5	15.9	13.4	33.1	4.8				0.1	0.1	-3.9	
						36.4	19.0	10.1	30.0	4.4				0.1	0.1	-7.0	
21	21	78	19	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	小	6.9	10.8	21.1	26.6	14.4	20.1			0.0	0.0	-0.5	
						7.4	10.8	19.2	23.8	14.7	24.0			0.0	0.0	-0.5	
					中	5.8	8.6	14.8	19.0	12.5	39.1			0.1	0.1	0.3	
						5.5	8.6	14.8	21.2	12.4	37.4			0.2	0.1	0.3	
22	22	78	新	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)	小	10.8	19.0	34.2	18.7	12.0	5.2			0.0	0.1	-0.3	
						11.1	18.9	33.7	19.2	12.1	4.9			0.0	0.0	-0.2	
					中	14.6	19.2	30.2	17.5	13.2	5.1			0.1	0.1	0.0	
						14.6	19.8	31.5	17.2	12.2	4.5			0.1	0.1	-0.6	
23	23	78	22	新聞を読んでいますか	小	5.5	9.5	15.9	69.0					0.0	0.1	0.4	
						5.1	9.7	14.7	70.4					0.1	0.0	0.2	
					中	4.5	7.4	14.1	73.7					0.0	0.3	1.1	
						3.4	7.0	12.6	76.7					0.0	0.3	1.5	
【地域や社会に関わる活動の状況等】																	
24	24	78	23	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小	27.0	31.8	24.2	17.0					0.0	0.1	0.3	
						26.7	31.4	22.8	19.0					0.0	0.1	0.7	
					中	17.4	27.0	27.9	27.6					0.0	0.1	1.1	
						16.3	27.4	27.0	29.1					0.0	0.1	0.7	
25	25	79	24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	小	18.9	34.2	31.3	15.5					0.0	0.0	1.1	
						17.8	34.6	32.4	15.1					0.0	0.1	0.7	
					中	11.7	29.7	37.1	21.3					0.0	0.1	-0.9	
						12.6	31.2	36.2	19.8					0.0	0.1	-2.4	
【ICTを活用した学習状況】																	
26	26	79	27/30	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	小	16.3	23.0	31.8	28.9					0.1	0.0	5.1	
						11.2	28.9	34.9	24.8					0.1	0.1	-0.8	
					中	12.8	18.1	28.4	40.5					0.1	0.1	5.4	
						7.4	26.0	35.5	30.7					0.1	0.2	-2.5	
27	27	79	新	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達(生徒)と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	小	15.6	33.0	26.3	25.0					0.0	0.0	5.6	
						10.0	29.0	29.1	31.7					0.1	0.1	9.6	
					中	7.8	15.7	24.2	52.0					0.0	0.2	-1.9	
						9.7	25.1	28.2	36.8					0.1	0.2	-11.3	
28	28	79	新	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小	70.6	24.3	3.2	1.6					0.2	0.0	4.5	
						66.1	28.4	3.5	1.7					0.2	0.0	0.4	
					中	62.3	30.3	4.7	2.7					0.0	0.1	1.9	
						60.4	32.8	4.5	2.2					0.0	0.1	-0.6	
29	29	79	新	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	3.6	4.8	12.0	20.7	28.3	21.9	8.7		0.0	0.0	-0.3	
						3.9	4.4	11.6	21.5	29.5	20.0	9.0		0.0	0.0	0.1	
					中	2.5	4.2	9.6	19.4	34.2	24.1	5.7		0.2	0.1	-0.2	
						2.7	4.3	12.5	22.7	34.5	19.3	3.6		0.2	0.1	-0.3	
【学習習慣、学習環境等】																	
30	30	79	新	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか	小	86.5	10.7	2.3	0.4					0.1	0.0	1.4	
						85.1	11.8	2.5	0.4					0.1	0.1	0.3	
					中	89.9	6.6	2.1	0.9					0.1	0.3	0.7	
						89.2	7.1	2.6	0.6					0.0	0.5	0.2	
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																	
31	31	80	H29 59/61	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	小	32.8	48.6	15.6	3.0						0.0	0.0	-1.0
						33.8	48.8	14.6	2.7					0.0	0.0	-1.2	
					中	34.2	47.8	14.4	3.5					0.0	0.1	-2.6	
						36.8	46.9	13.2	3.0					0.0	0.1	-1.7	
32	32	80	36/38	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小	22.7	39.0	27.2	9.3	1.8					0.0	0.0	-0.9
						23.6	39.9	25.5	9.1	1.7				0.0	0.0	-1.8	
					中	16.0	36.8	29.6	14.3	3.2				0.0	0.1	-5.0	
						21.0	41.0	25.5	9.9	2.6				0.1	0.1	-9.2	
33	33	80	35/37	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小	27.5	48.3	20.7	3.6						0.0	0.0	-2.8
						30.3	47.9	18.4	3.3					0.0	0.0	-2.4	
					中	26.1	48.5	20.7	4.5					0.0	0.1	-7.4	
						33.5	47.5	15.8	3.1					0.0	0.1	-6.4	
34	34	80	新	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	小	23.0	41.9	28.0	7.2						0.0	0.0	-0.8
						23.8	43.4	26.5	6.3					0.0	0.0	-2.3	
					中	16.3	41.3	32.8	9.5					0.0	0.1	-1.6	
						17.9	41.6	31.6	8.8					0.0	0.1	-1.9	
35	35	80	新	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小	41.6	40.5	14.0	3.9					0.0	0.0	2.1	
						39.5	41.9	14.2	4.3					0.0	0.0	0.7	
					中	23.8	50.3	20.0	5.8					0.0	0.1	0.3	
						23.5	50.8	20.2	5.4					0.0	0.1	-0.2	

質問番号 小 中	掲載P	R元 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P74を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7	8	9			
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																
36	36	80	H29 8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	小	59.9	35.3	3.9	0.8					0.0	0.0	-2.3
						62.2	33.3	3.8	0.7					0.0	0.0	-0.3
					中	63.4	32.0	3.4	1.1					0.0	0.1	-3.7
37	37	81	29/32	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	小	67.1	29.4	2.8	0.6					0.0	0.1	-1.1
						32.9	44.5	18.1	3.8	0.7				0.0	0.1	-0.1
					中	33.0	45.8	16.9	3.6	0.7				0.0	0.1	-1.4
38	38	81	新	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小	31.6	45.2	16.5	5.0	1.7				0.0	0.1	-2.3
						33.9	43.9	16.2	4.5	1.4				0.0	0.1	-1.0
					中	31.4	45.8	18.4	4.2					0.0	0.1	-1.2
						32.6	45.7	17.6	3.9					0.0	0.1	-1.1
						23.4	45.5	24.3	6.7					0.0	0.1	-2.9
					中	26.3	48.3	20.5	4.6					0.0	0.3	-5.7
【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】																
39	39	81	31/34	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小	28.3	41.2	24.8	5.7					0.0	0.1	-3.4
						31.7	41.3	21.5	5.3					0.0	0.2	-3.5
					中	17.3	38.9	31.3	12.3					0.0	0.2	-10.9
40	40	81	32/35	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小	28.2	42.0	22.6	7.0					0.0	0.2	-14.0
						37.0	39.5	17.7	5.8					0.0	0.0	4.7
					中	32.3	41.1	20.2	6.3					0.0	0.1	3.1
41	41	81	33/36	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小	23.8	46.0	21.8	8.2					0.0	0.1	-4.5
						28.3	45.6	19.8	6.2					0.0	0.1	-4.1
					中	31.9	43.2	19.9	5.0					0.0	0.0	1.6
42	42	81	34/39	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小	30.3	43.2	20.9	5.5					0.0	0.1	1.6
						23.5	44.0	24.4	7.9					0.0	0.2	-1.6
					中	25.1	44.7	23.2	6.9					0.0	0.2	-2.3
					小	47.7	33.9	14.2	4.1					0.0	0.1	2.1
						45.6	35.5	14.3	4.3					0.0	0.3	0.5
					中	48.7	36.7	10.4	3.9					0.0	0.3	-0.1
						48.8	37.4	10.2	3.3					0.0	0.4	-0.8
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】																
43	43	82	37/40	国語の勉強は好きですか	小	19.3	33.0	29.6	18.1					0.0	0.0	-3.4
						22.7	35.7	27.2	14.3					0.0	0.0	-6.1
					中	24.6	33.8	26.6	14.8					0.1	0.1	1.1
44	44	82	38/41	国語の勉強は大切だと思いますか	小	23.5	37.3	26.8	12.4					0.0	0.1	-2.4
						69.5	22.7	5.9	1.9					0.0	0.0	-0.1
					中	69.6	23.6	4.8	1.9					0.0	0.0	-1.0
45	45	82	39/42	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	56.3	32.3	8.2	3.1					0.0	0.1	-3.7
						60.0	31.6	6.0	2.2					0.0	0.1	-3.0
					中	34.0	47.4	14.4	4.1					0.0	0.0	-5.5
46	46	82	40/43	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	39.5	44.7	12.5	3.2					0.0	0.0	-2.8
						32.1	47.2	15.7	4.8					0.1	0.1	0.6
					中	31.5	48.6	15.8	4.0					0.1	0.1	-0.8
47	47	82	新	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	小	66.7	24.8	6.3	2.2					0.0	0.0	1.5
						65.2	26.6	6.0	2.0					0.0	0.0	-0.3
					中	50.6	35.4	10.5	3.4					0.1	0.1	-3.1
48	48	82	新	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	小	53.7	35.0	8.4	2.7					0.1	0.1	-2.7
						38.1	43.3	15.1	3.5					0.0	0.0	-0.2
					中	38.3	43.9	14.7	3.0					0.0	0.1	-0.8
49	49	83	新	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	小	37.0	45.2	14.1	3.6					0.0	0.1	1.5
						35.5	46.3	15.0	3.1					0.0	0.1	0.4
					中	23.6	36.6	30.7	9.0					0.0	0.0	-1.8
50	50	83	新	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか	小	25.4	38.4	28.0	8.0					0.0	0.1	-3.6
						20.2	35.7	32.9	11.1					0.1	0.1	-2.5
					中	22.7	38.6	29.5	9.1					0.0	0.1	-5.4
51	51	83	45/48	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか	小	25.7	44.9	23.8	5.6					0.0	0.1	-0.6
						26.3	45.3	23.2	5.0					0.0	0.1	-1.0
					中	26.3	45.3	22.6	5.6					0.0	0.2	-2.3
52	52	83	46/49	算数(数学)の勉強は好きですか	小	28.6	46.0	20.6	4.6					0.0	0.1	-3.0
						32.9	39.2	22.1	5.7					0.0	0.1	-0.9
					中	33.8	40.5	20.4	5.2					0.1	0.1	-2.2
53	53	83	46/49	算数(数学)の勉強は好きですか	小	31.3	43.5	19.8	5.2					0.0	0.2	-0.9
						32.2	44.8	18.5	4.3					0.0	0.2	-2.2
					中	81.8	16.1	1.6						0.3	0.2	0.5
54	54	83	46/49	算数(数学)の勉強は好きですか	小	81.3	16.2	1.8						0.4	0.2	0.4
						72.1	24.1	3.5						0.0	0.3	-1.6
					中	73.7	23.1	2.9						0.0	0.2	-0.6
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】																
55	55	83	46/49	算数(数学)の勉強は好きですか	小	42.1	26.1	17.1	14.6					0.0	0.0	1.6
						40.5	27.3	18.2	13.9					0.0	0.1	0.4
					中	27.5	25.7	23.7	23.0					0.0	0.1	-3.7
56	56	83	46/49	算数(数学)の勉強は好きですか	小	31.2	27.9	23.3	17.5					0.0	0.1	-5.9

質問番号 小中		掲載P	R 元 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P74を参照)									その他 ※	無回答	1の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9			1+2の差
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】																	
53	53	84	47/50	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	77.1	16.7	4.3	1.8						0.0	0.0	0.9
						76.2	17.6	4.2	1.9						0.0	0.1	0.0
						48.7	33.2	11.8	6.1						0.0	0.1	-0.6
						49.3	34.8	11.4	4.3						0.1	0.1	-2.2
54	54	84	48/51	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	小	49.7	33.7	12.5	4.0						0.0	0.0	-1.9
						51.6	33.0	11.4	3.9						0.0	0.1	-1.2
						32.6	38.6	20.0	8.5						0.1	0.1	-3.0
						35.6	39.0	18.3	6.9						0.1	0.1	-3.4
55	55	84	49/52	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	74.9	17.8	5.2	2.0						0.0	0.0	2.1
						72.8	19.8	5.3	2.0						0.0	0.1	0.0
						37.1	36.3	18.0	8.4						0.1	0.2	-0.7
						37.8	36.8	18.1	7.1						0.1	0.1	-1.2
56	56	84	50/-	算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	39.6	34.5	18.3	7.6						0.0	0.0	0.3
						39.3	34.6	18.4	7.6						0.0	0.1	0.2
						18.8	29.6	32.0	19.5						0.0	0.1	-0.9
						19.7	30.9	31.9	17.4						0.1	0.1	-2.2
57	57	84	52/-	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	小	51.2	31.5	13.6	3.7						0.0	0.0	1.8
						49.4	33.3	13.3	4.0						0.0	0.1	0.0
						36.0	36.0	20.0	7.8						0.0	0.1	-2.3
						38.3	37.5	18.1	6.0						0.0	0.1	-3.8
58	58	84	54/-	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	小	53.6	34.2	9.7	2.4						0.0	0.1	-0.4
						54.0	35.0	8.7	2.2						0.0	0.1	-1.2
						43.2	37.4	13.4	5.7						0.0	0.3	-2.4
						45.6	37.9	12.1	4.1						0.0	0.2	-2.9
59	59	85	55/-	算数(数学)の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	小	68.3	24.5	5.8	1.4						0.0	0.1	2.3
						66.0	25.9	6.3	1.6						0.0	0.1	0.9
						61.4	26.5	7.7	4.2						0.0	0.2	3.4
						58.0	28.6	8.6	4.6						0.0	0.2	1.3
60	60	85	56/53	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	小	82.8	15.6	1.0							0.3	0.2	2.9
						79.9	17.9	1.5							0.4	0.2	0.6
						57.2	36.9	5.5							0.0	0.4	-0.6
						57.8	36.6	5.2							0.0	0.4	-0.3
61	61	85	-/54	英語の勉強は好きですか	小	36.6	30.6	18.9	13.8						0.0	0.1	-1.6
						38.2	30.1	18.8	12.8						0.0	0.1	-1.1
						24.3	26.1	24.7	24.6						0.0	0.1	-4.4
						28.7	28.0	23.7	19.4						0.0	0.1	-6.3
62	62	85	新	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	小	39.1	34.6	18.8	7.3						0.0	0.1	-0.1
						39.2	35.4	18.2	7.0								

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

児童生徒質問紙 選択肢一覧

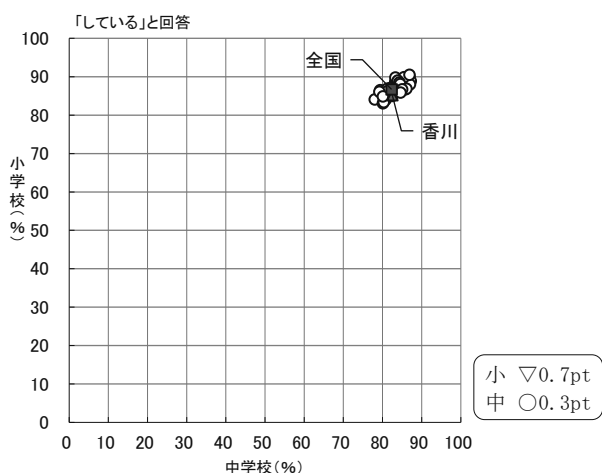
質問番号	選 択 肢
1～3	1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
6～16、24、25、33～36、38～50、52～57、61～63	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
4	1 きちんと守っている 2 だいたい守っている 3 あまり守っていない 4 守っていない 5 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない 6 携帯電話・スマートフォンやコンピュータをもっていない
5、19	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない
17	1 よくしている 2 とくどきしている 3 あまりしていない 4 全くしていない
18	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない
20	1 教わっていない 2 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている 3 学校の勉強でよく分からなかった内容を教わっている 4 2、3の両方の内容を教わっている 5 2、3の内容のどちらともいえない
21	1 2時間以上 2 1時間以上、2時間より少ない 3 30分以上、1時間より少ない 4 10分以上、30分より少ない 5 10分より少ない 6 全くしない
22	1 0～10冊 2 11～25冊 3 26～100冊 4 101～200冊 5 201～500冊 5 501冊以上
23	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に1～3回程度読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど、または、全く読まない
26、27	1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 月1回未満
28	1 役に立つと思う 2 どちらかといえば、役に立つと思う 3 どちらかといえば、役に立たないと思う 4 役に立たないと思う
29	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全く使っていない 7 スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を持っていない
30	1 いつも話している 2 ほとんどいつも話している 3 とくどき話す 4 全く話さない
31	1 伝えていた 2 どちらかといえば、伝えていた 3 どちらかといえば、伝えていなかった 4 伝えていなかった
32	1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた 3 どちらかといえば、発表していなかった 4 発表していなかった 5 考えを発表する機会はなかった
37	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない 5 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を行っていない
51、60	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった
58	1 そうしている 2 どちらかといえば、そうしている 3 どちらかといえば、そうしていない 4 そうしていない
59	1 書いている 2 どちらかといえば、書いている 3 どちらかといえば、書いていない 4 書いていない
64～66	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない 5 思い出せない
67	1 先生に聞いた 2 友達に聞いた 3 家族に聞いた 4 1、2、3以外の人に聞いた 5 自分で調べた 6 分からないことをそのままにした 7 分からないことがなかった 8 思い出せない
68、69	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった

2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ

【基本的生活習慣等】

朝食

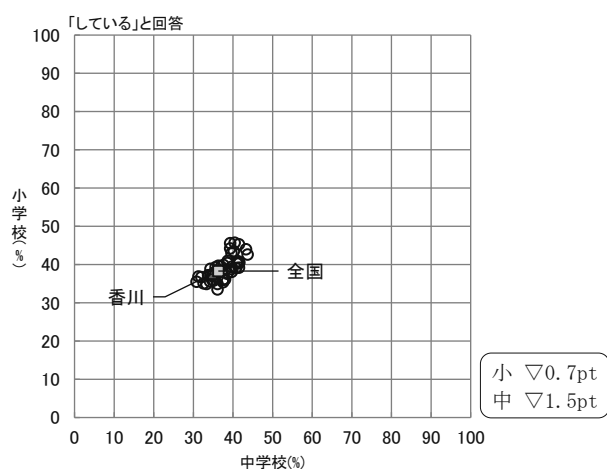
□1/1 朝食を毎日食べていますか



【基本的生活習慣等】

寝る時刻

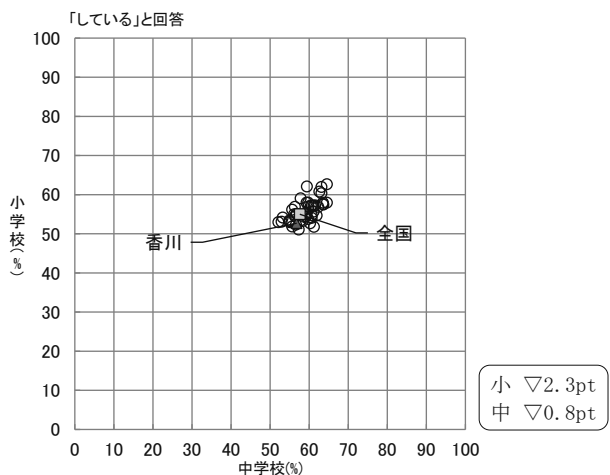
□2/2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



【基本的生活習慣等】

起きる時刻

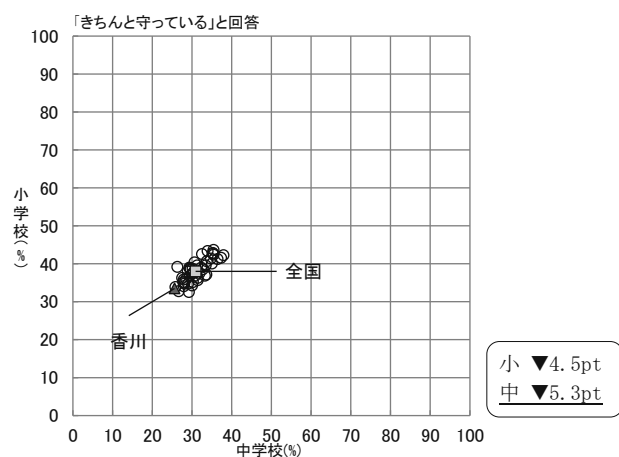
□3/3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



【基本的生活習慣等】

家の人との約束(コンピュータ等の使い方)

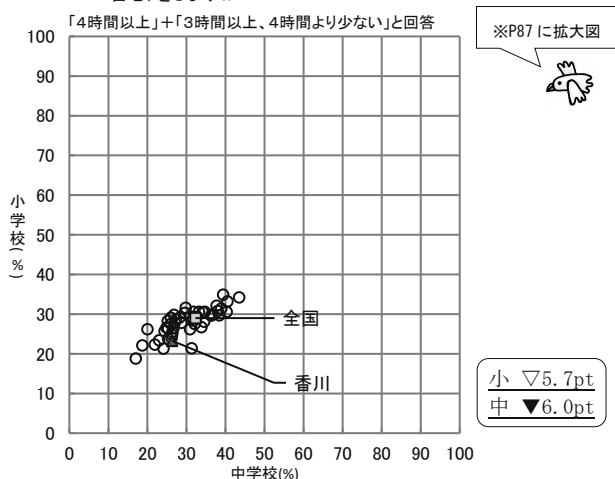
□4/4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



【基本的生活習慣等】

ゲームの時間

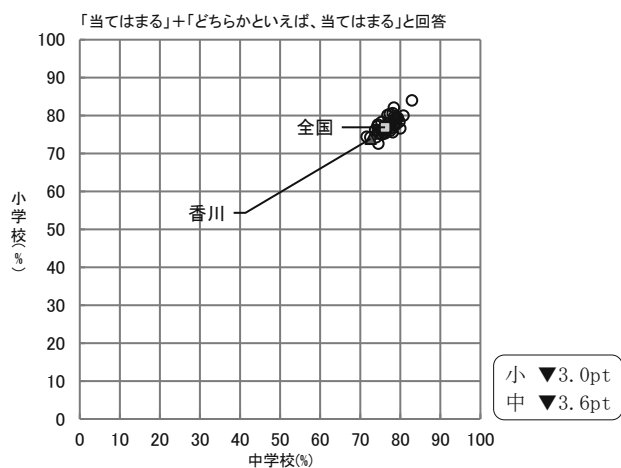
□5/5 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分にはよいところがある

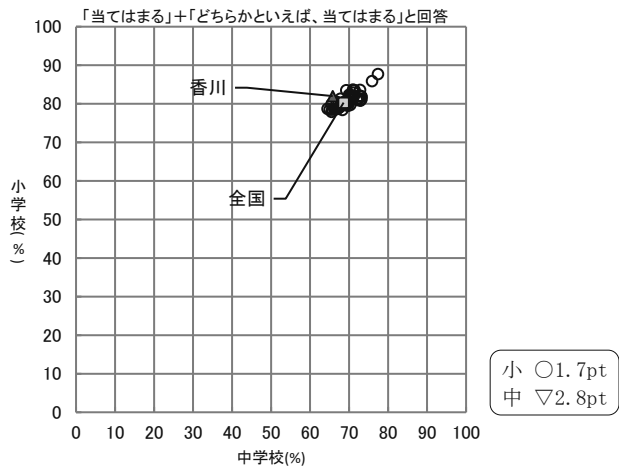
□6/6 自分には、よいところがあると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分にはよいところがある

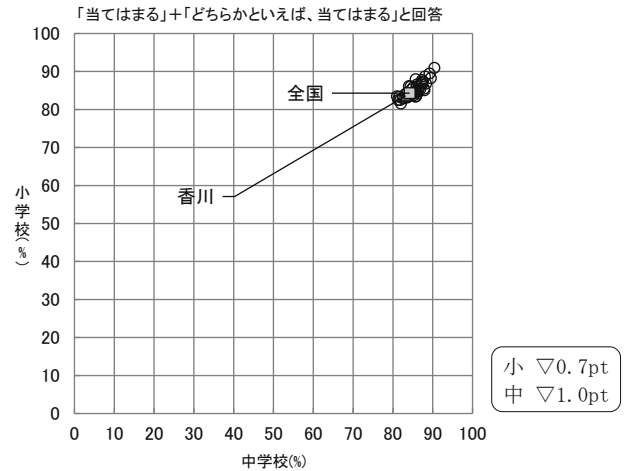
□7/7 将来の夢や目標を持っていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分で決めたことはやり遂げる

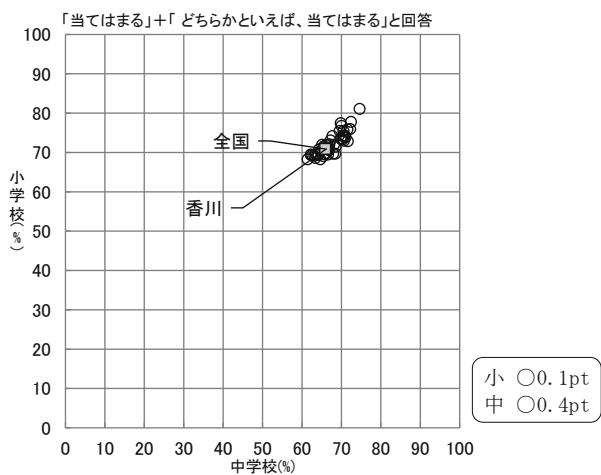
□8/8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

失敗を恐れずに挑戦する

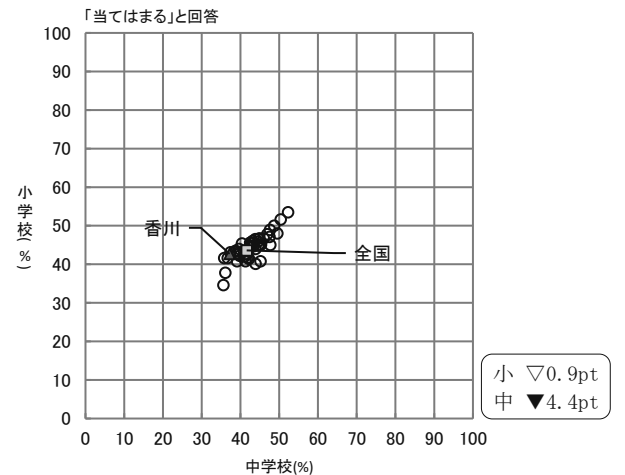
□9/9 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

人が困っているときは、進んで助ける

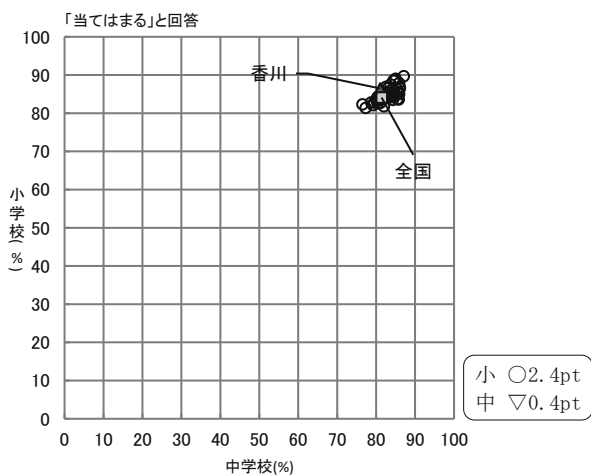
□10/10 人が困っているときは、進んで助けていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

いじめは、いけないことだ

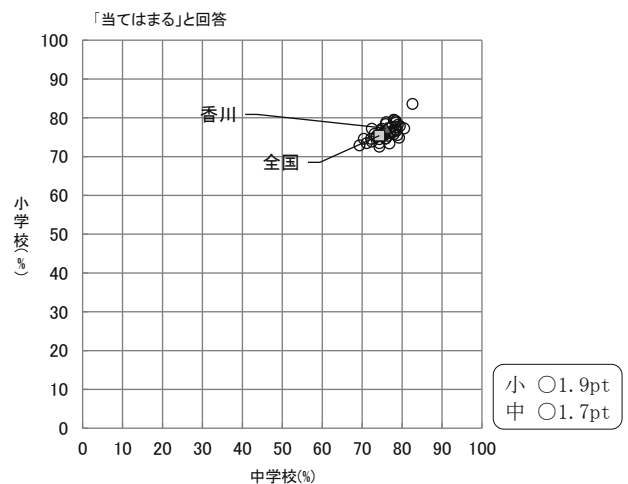
□11/11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

人の役に立つ人間になりたい

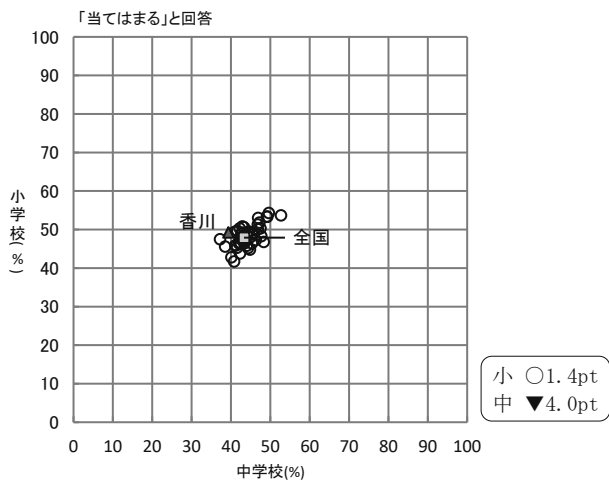
□12/12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

学校に行くのは楽しい

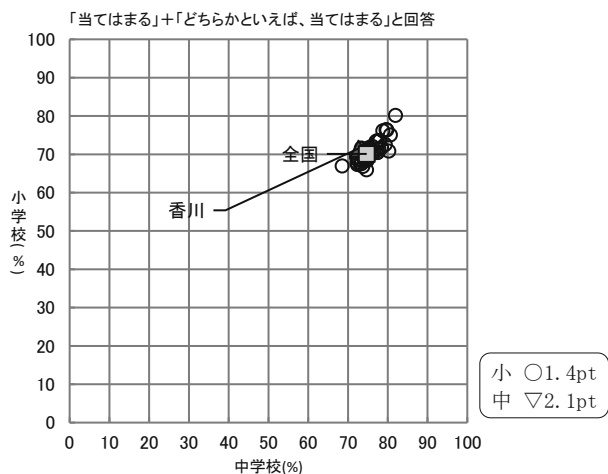
□13/13 学校に行くのは楽しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分と違う意見について考えるのは楽しい

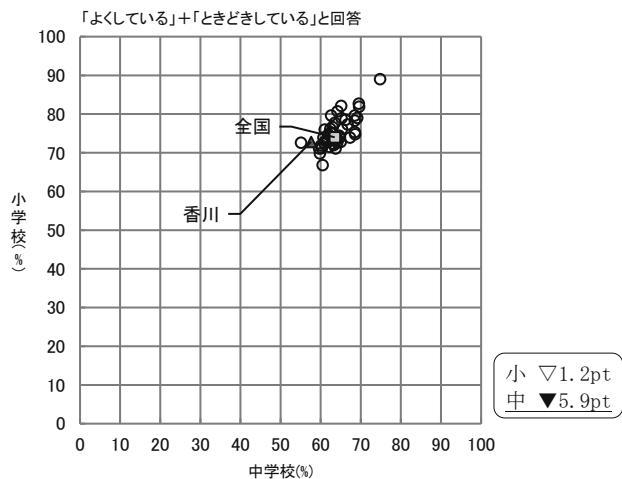
□15/15 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



【学習習慣、学習環境等】

自分で計画を立てて勉強

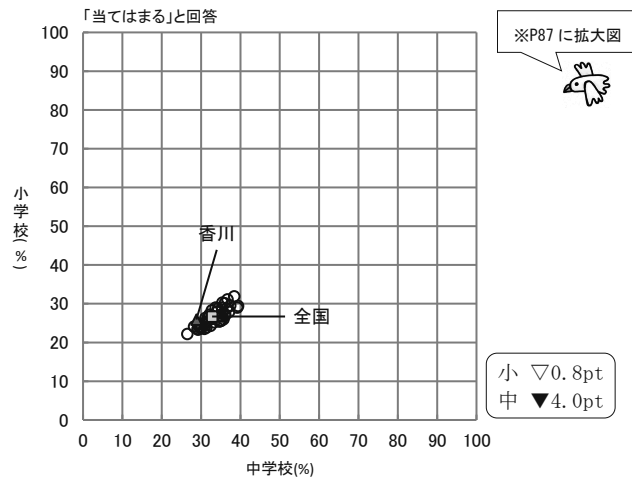
□17/17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分の思いを言葉で表す

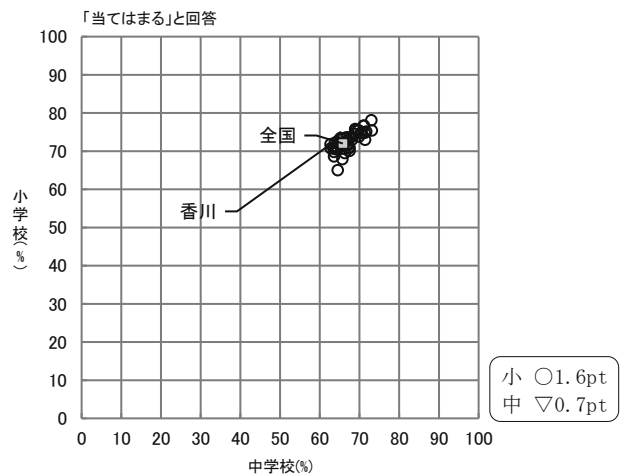
□14/14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

友達と協力するのは楽しい

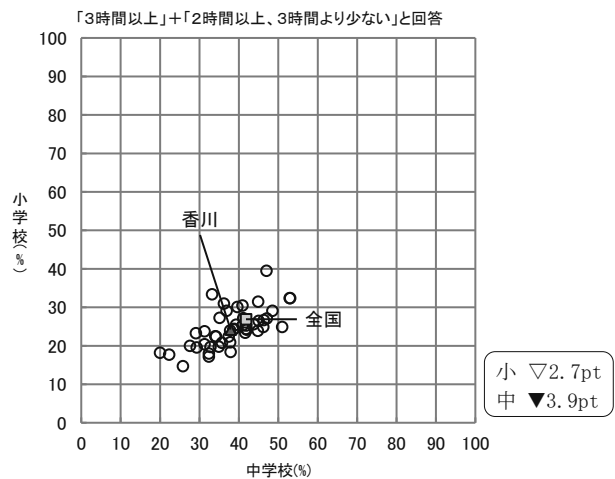
□16/16 友達と協力するのは楽しいと思いますか



【学習習慣、学習環境等】

普段の勉強時間

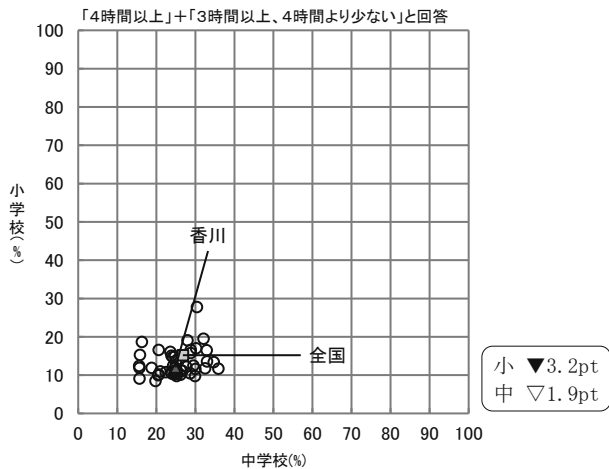
□18/18 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【学習習慣、学習環境等】

学校が休みの日の勉強時間

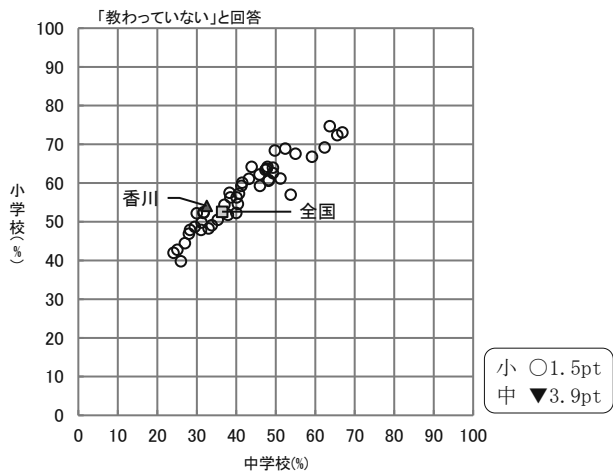
□19/19 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【学習習慣、学習環境等】

学習塾や家庭教師の先生に教わっているか

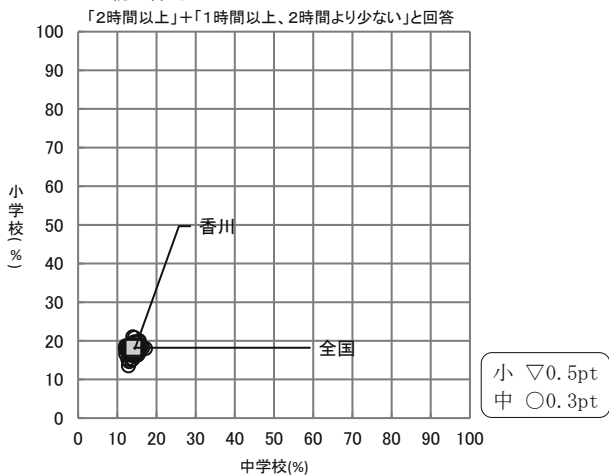
□20/20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



【学習習慣、学習環境等】

普段の読書時間

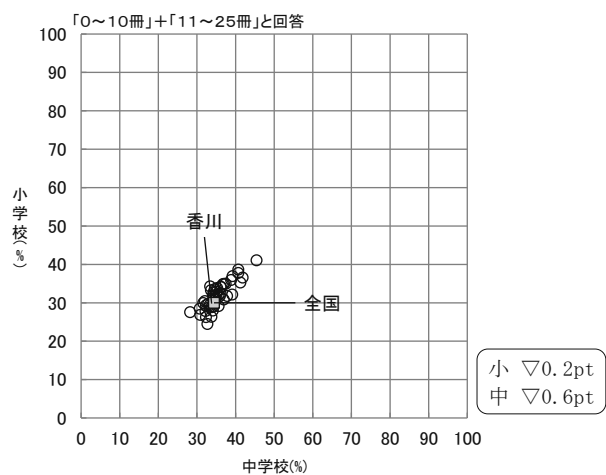
□21/21 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



【学習習慣、学習環境等】

どれくらいの本があるか

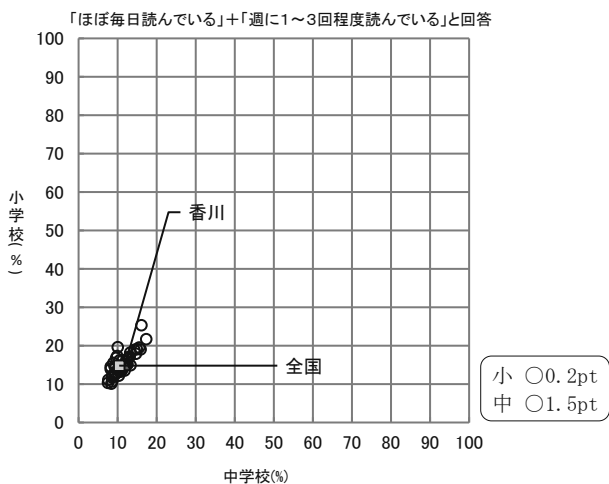
□22/22 あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)



【学習習慣、学習環境等】

新聞を読んでいる

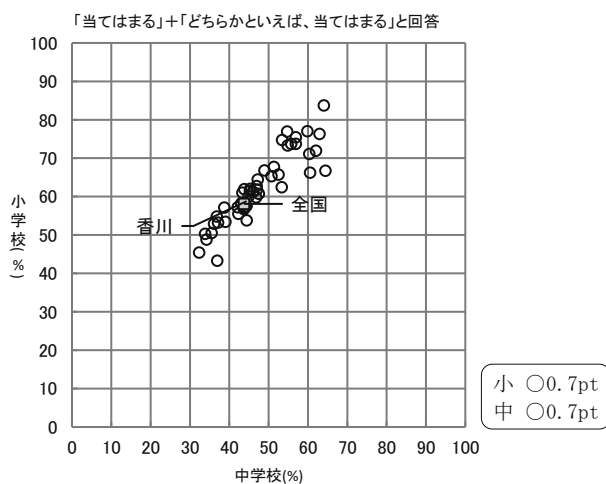
□23/23 新聞を読んでいますか



【地域や社会に関わる活動の実施状況等】

地域の行事への参加

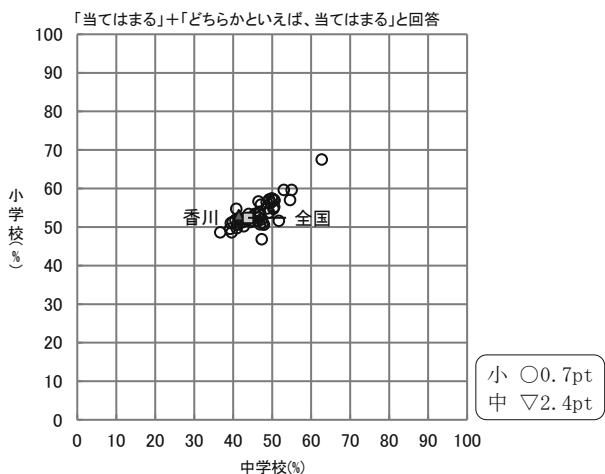
□24/24 今住んでいる地域の行事に参加していますか



【地域や社会に関わる活動の実施状況等】

地域のために何をすべきかを考える

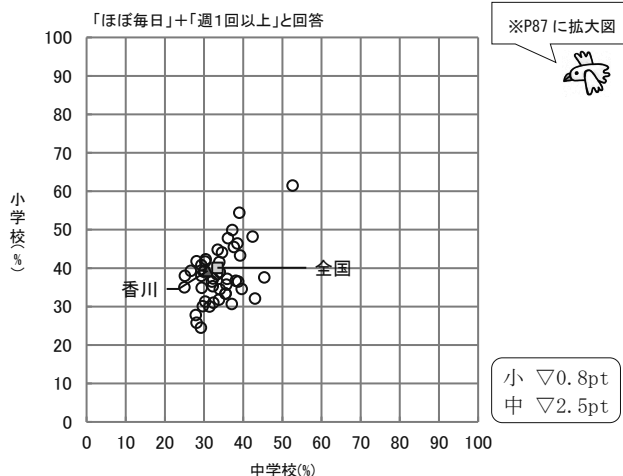
□25/25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



【ICTを活用した学習状況】

授業でのICTの活用頻度

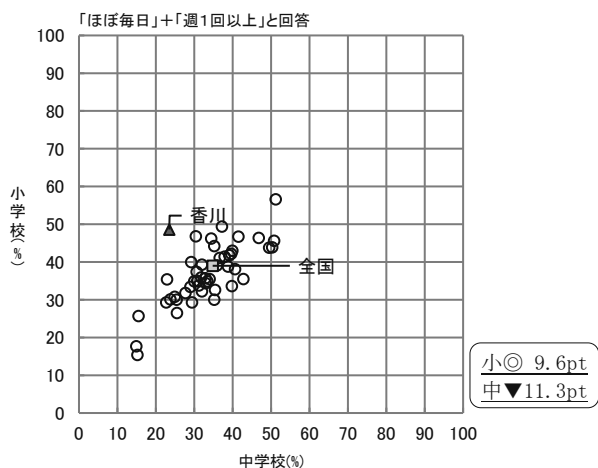
□26/26 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器を意見交換や調べに使用している

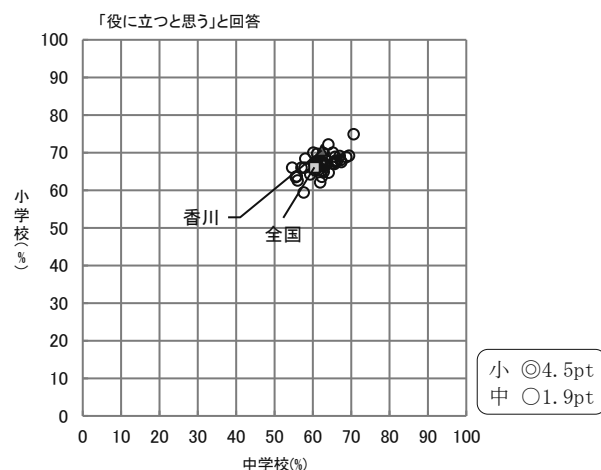
□27/27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達(生徒)と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器は勉強の役に立つ

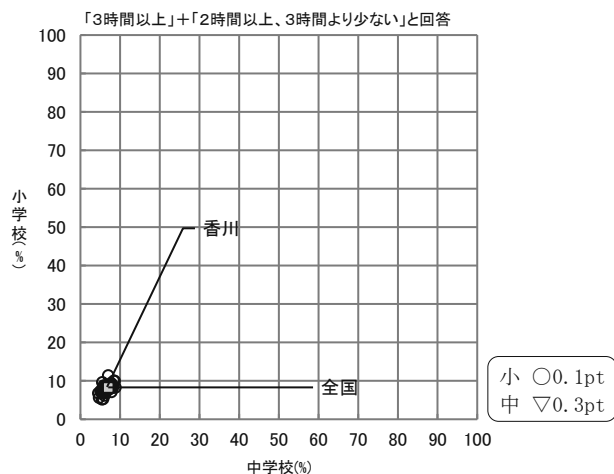
□28/28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



【ICTを活用した学習状況】

普段ICT機器を勉強のために使っている

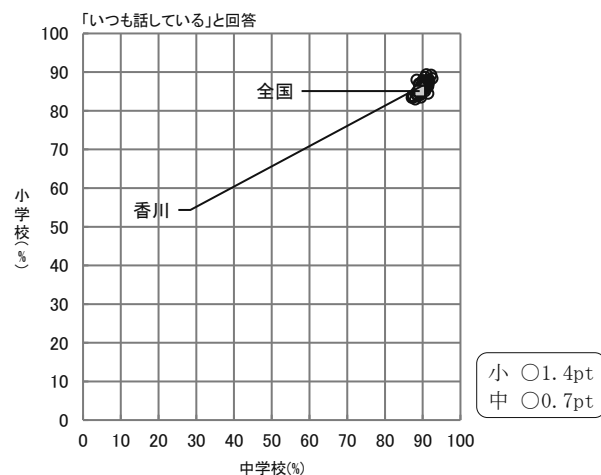
□29/29 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか



【学習習慣、学習環境等】

家で日本語を話す

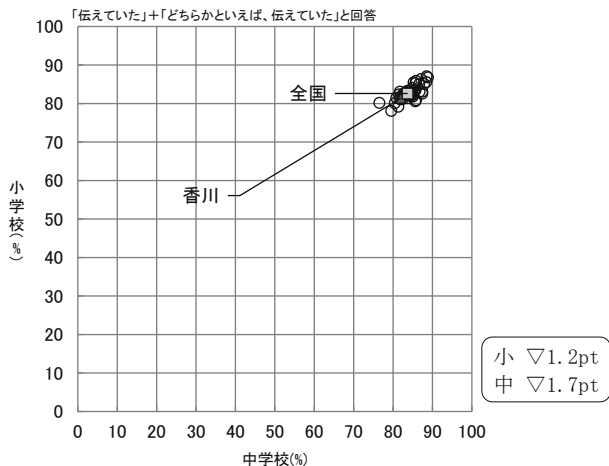
□30/30 あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

相手の考えを受けてめて自分の考えを伝えた

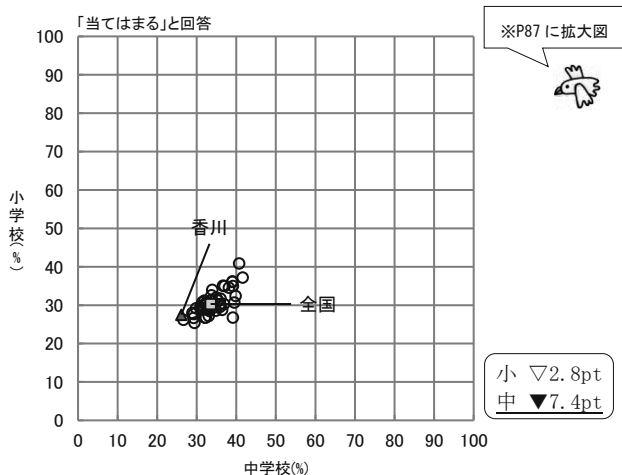
□31/31 5年生まで(中学1、2年生のとき)に受けた授業で、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達(生徒)の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題の解決に向けて、自ら考え、取り組む

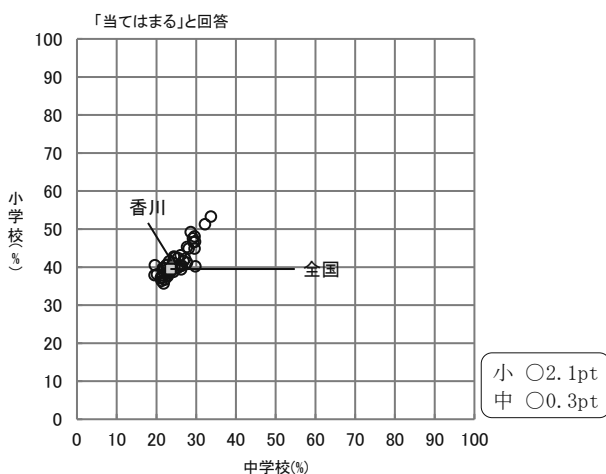
□33/33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分に合った教え方、教材、学習時間

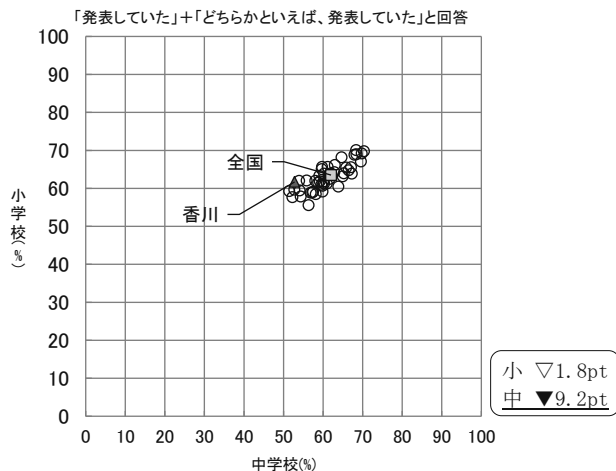
□35/35 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを発表する機会

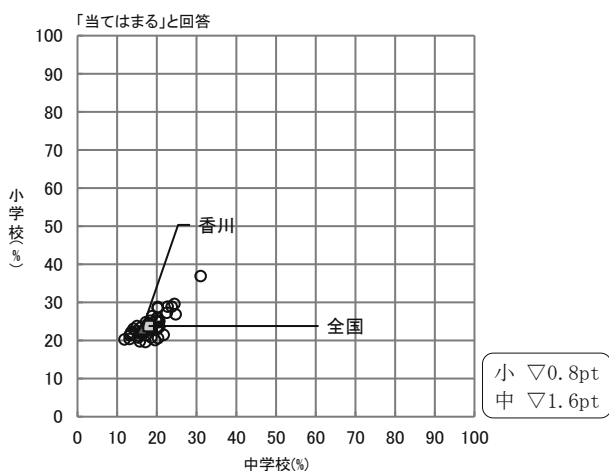
□32/32 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学んだことを生かす

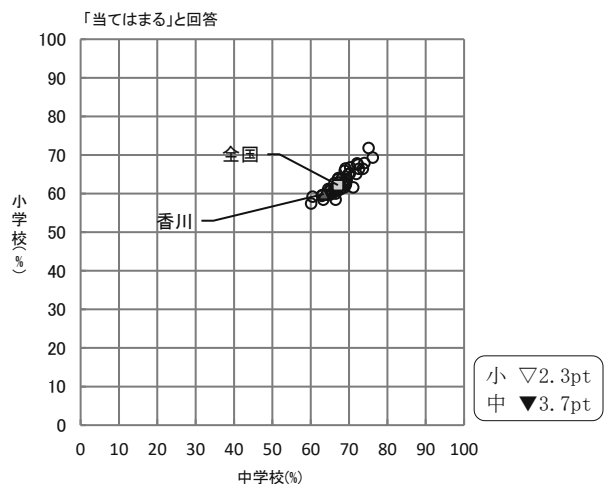
□34/34 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

友達の考えや意見を最後まで聞く

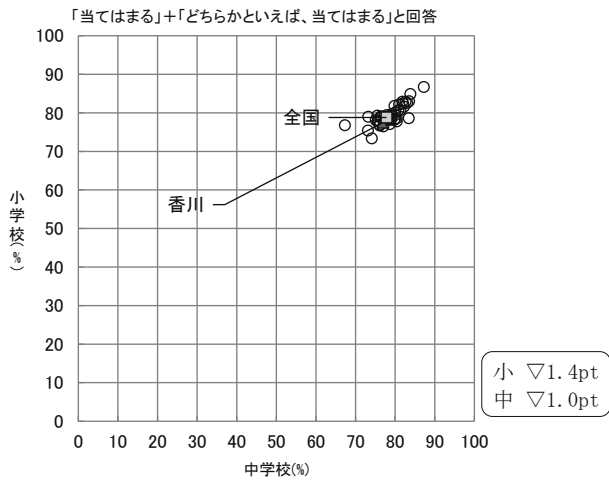
□36/36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

話し合いで考えを深めたり、広げたりする

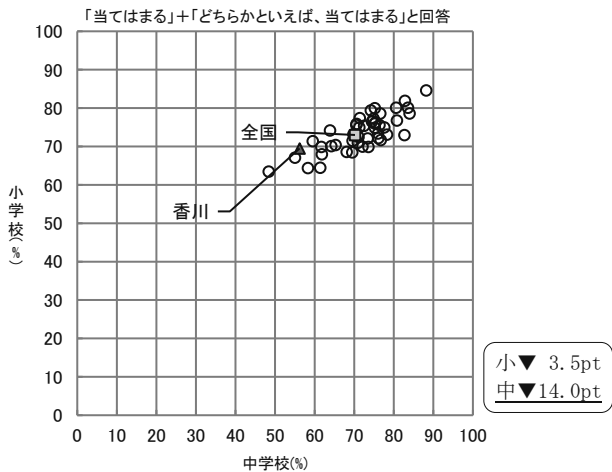
□37/37 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳】

総合的な学習の時間で課題を立てて発表している

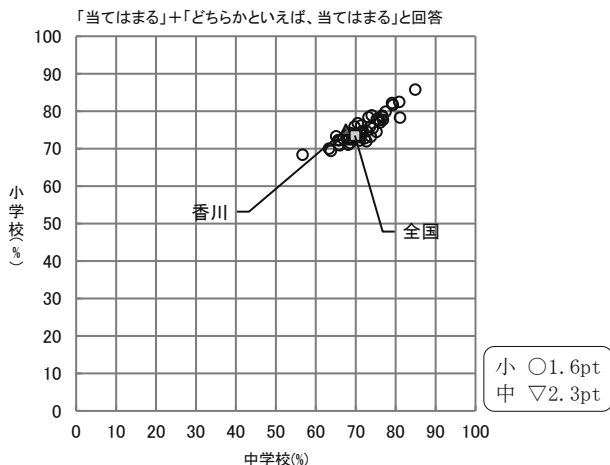
□39/39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳】

話し合いを生かして努力すべきことに取り組む

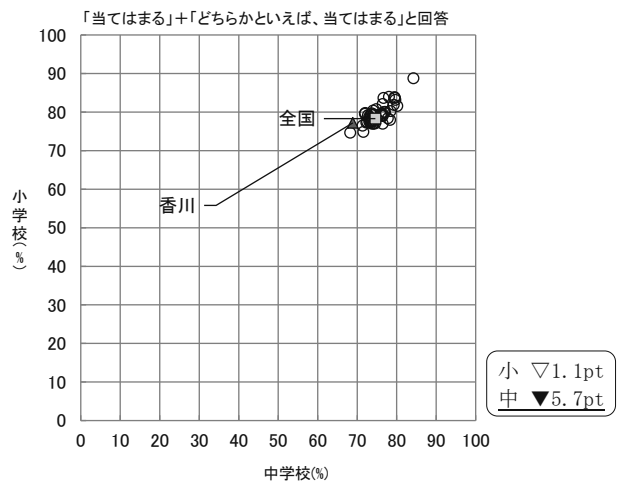
□41/41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学習内容を見直し、次の学習につなげる

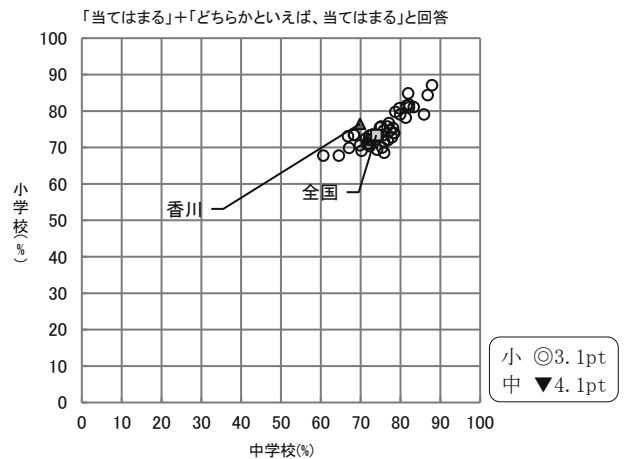
□38/38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳】

互いの意見のよさを生かした解決方法

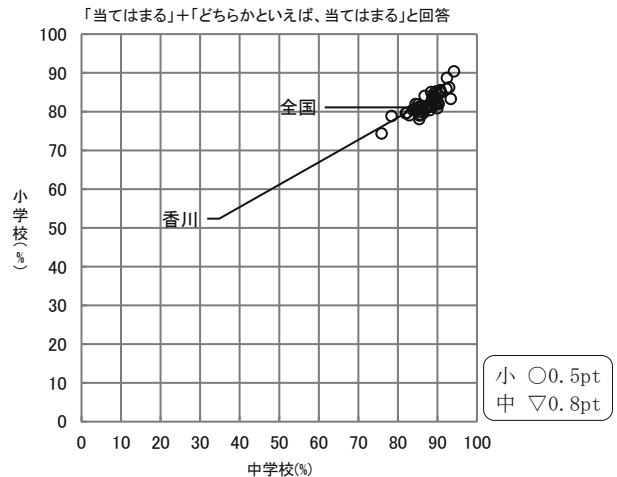
□40/40 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳】

道徳で考えを深めたり、話し合ったりする

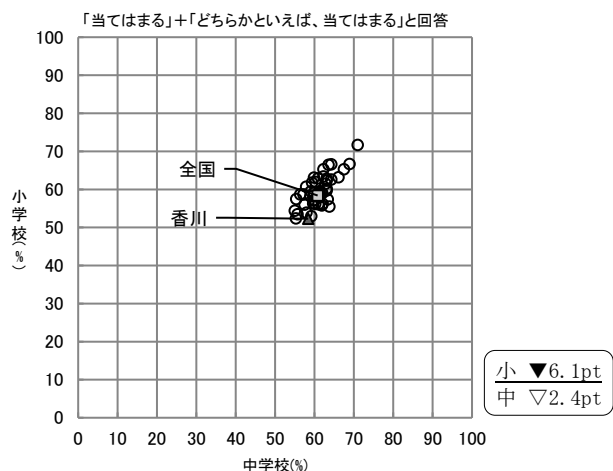
□42/42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は好き

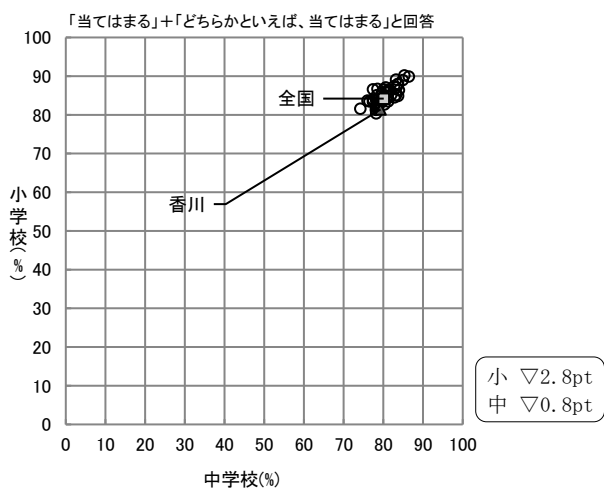
□43/43 国語の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の授業の内容はよく分かる

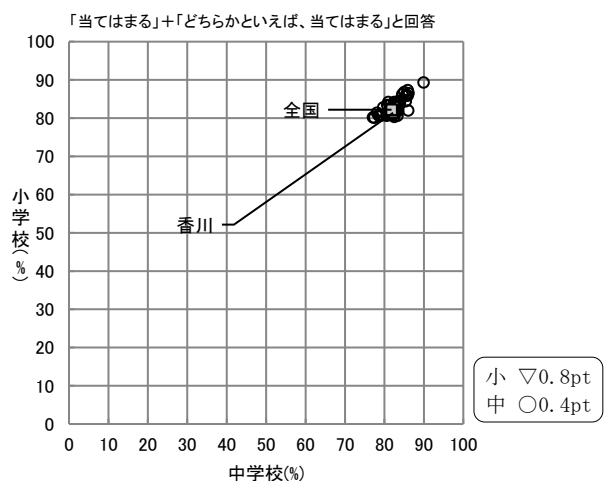
□45/45 国語の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

言葉の特徴や使い方についての知識を理解している

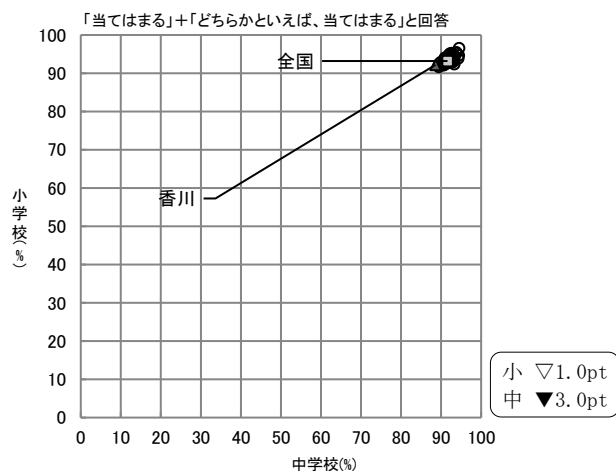
□47/47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は大切

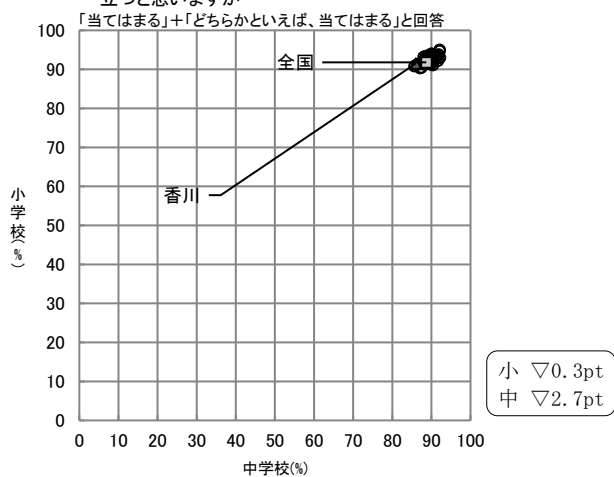
□44/44 国語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

将来、社会に出た時に役に立つ

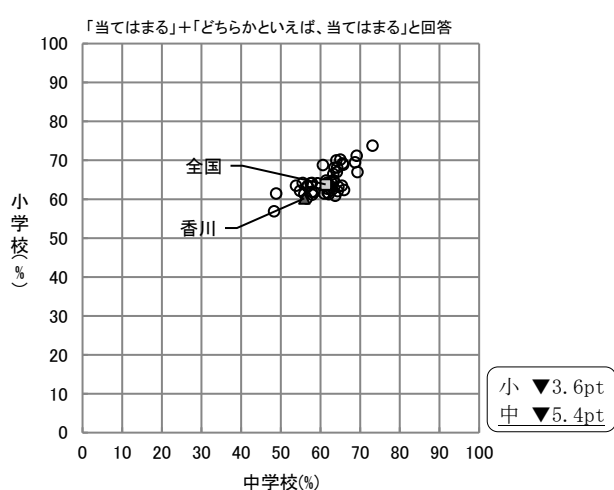
□46/46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

目的に応じて考えを話したり書いたりしている

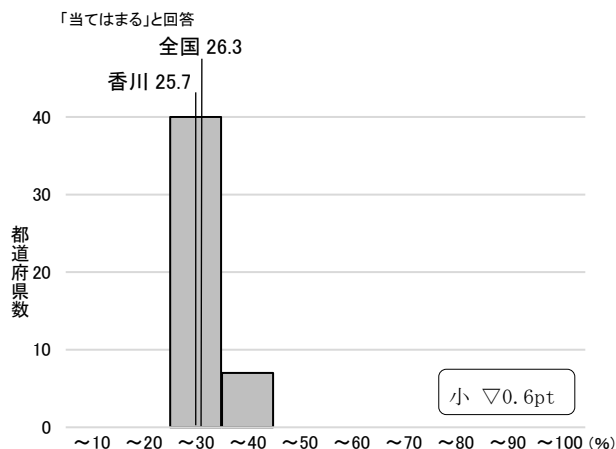
□48/48 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

【小学校】自分の考えとその理由が分かるように表現を工夫する

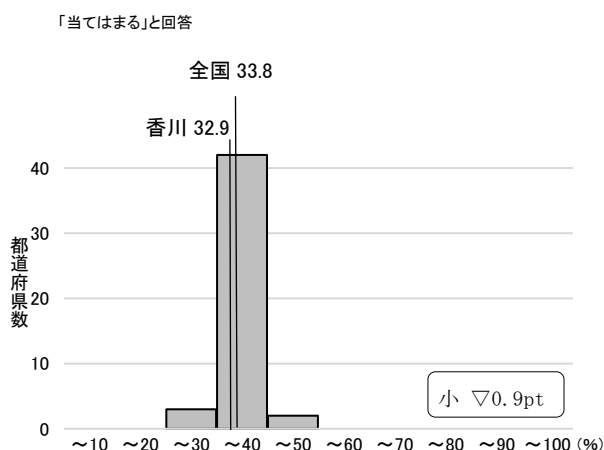
□49/* 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

【小学校】感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりする

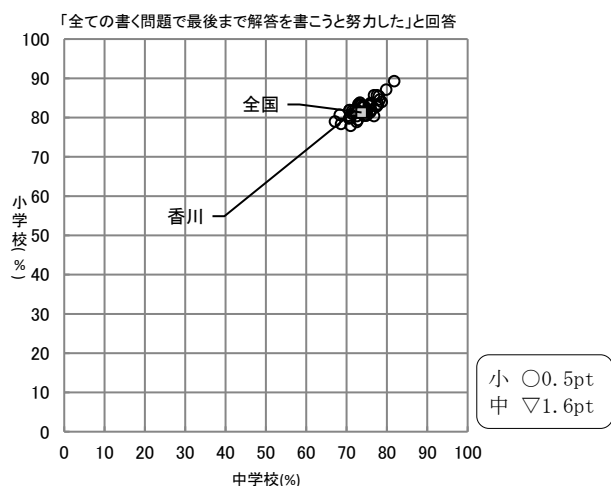
□50/* 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

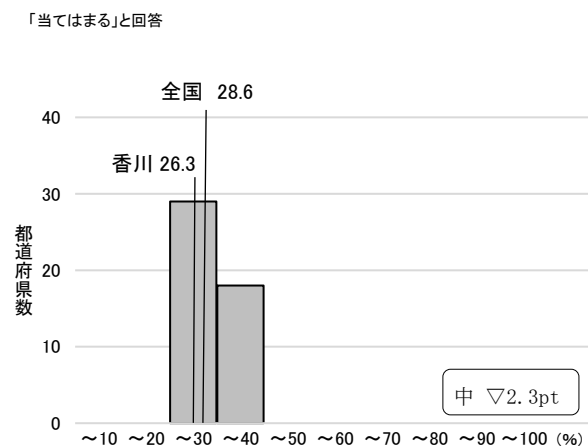
□51/51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

【中学校】自分の考えが伝わるように表現を工夫する

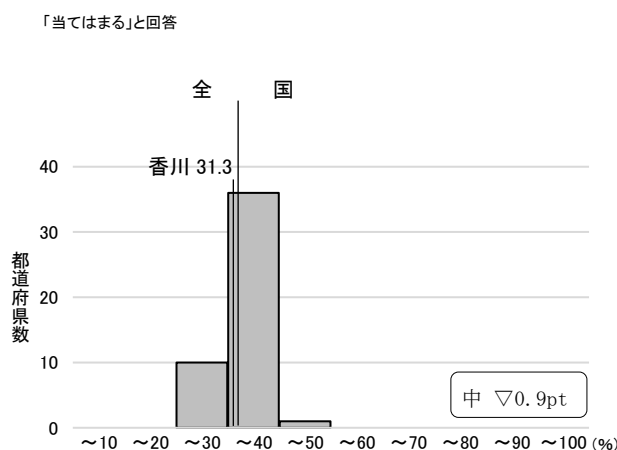
□*/49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

【中学校】内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている

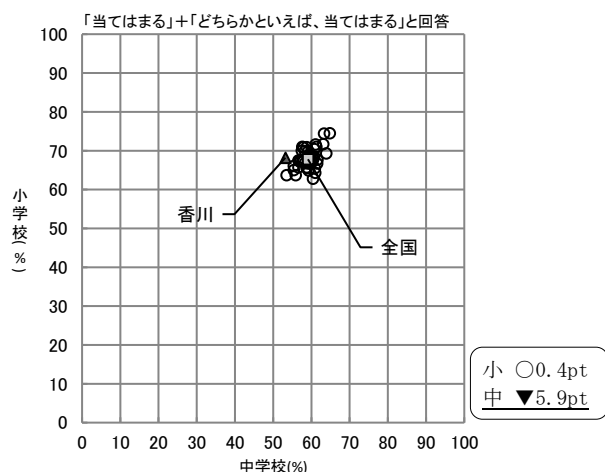
□*/50 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数(数学)の勉強は好き

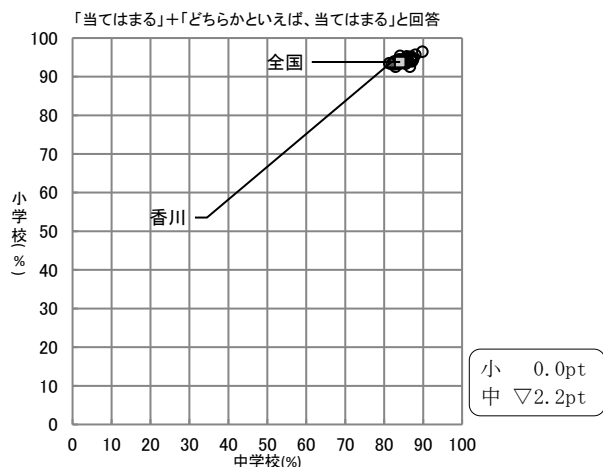
□52/52 算数(数学)の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数(数学)の勉強は大切

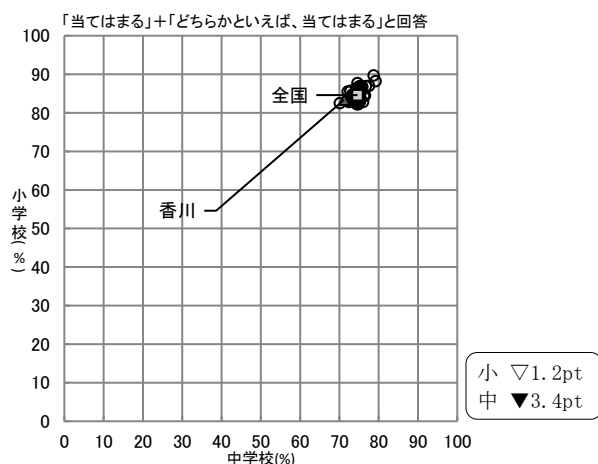
□53/53 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数(数学)の勉強はよく分かる

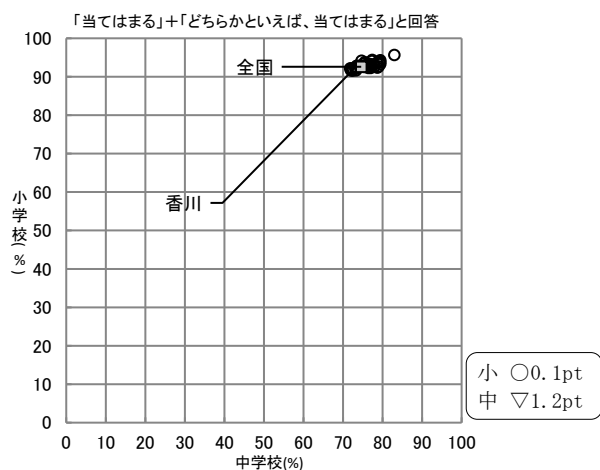
□54/54 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

将来、社会に出たときに役に立つ

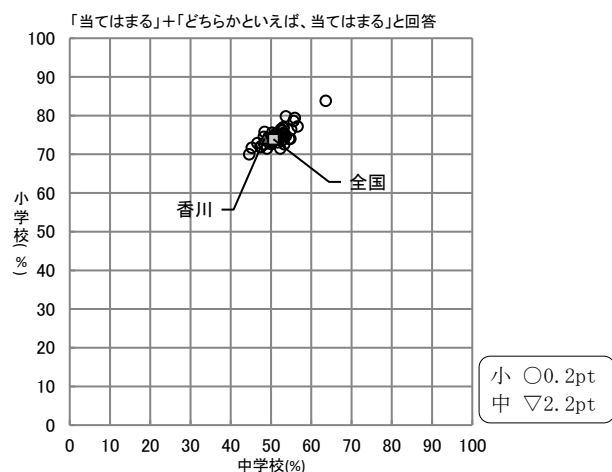
□55/55 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

普段の生活の中で活用しようとしている

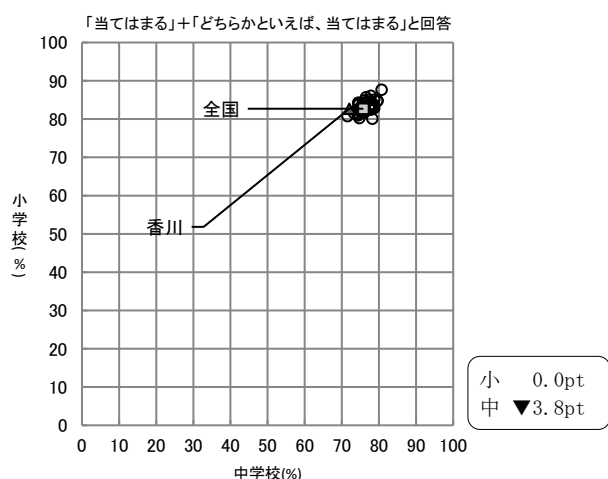
□56/56 算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

あきらめずにいろいろな方法を考える

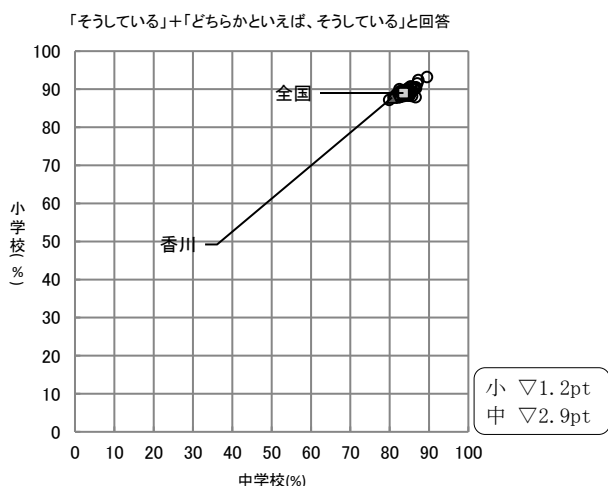
□57/57 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

公式やきまりのわけを理解する

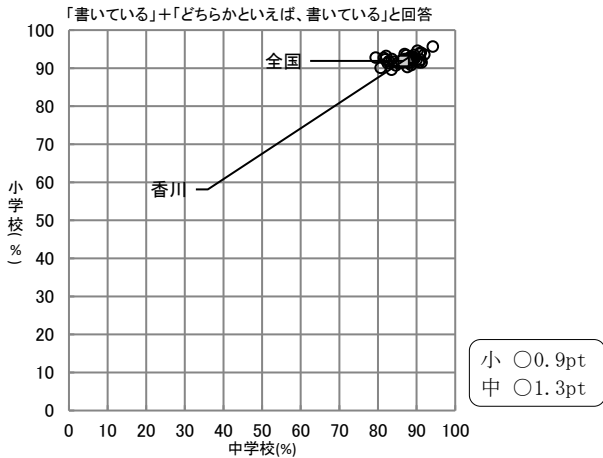
□58/58 算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

解き方や考え方が分かるようにノートに書く

□59/59 算数(数学)の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

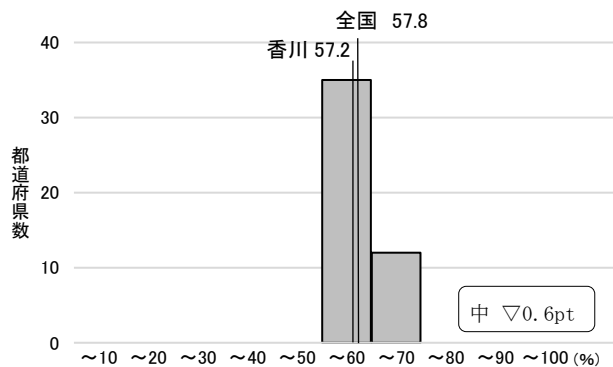


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

【中学校】(書く問題)最後まで解答を書こうと努力する

□*/60 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答

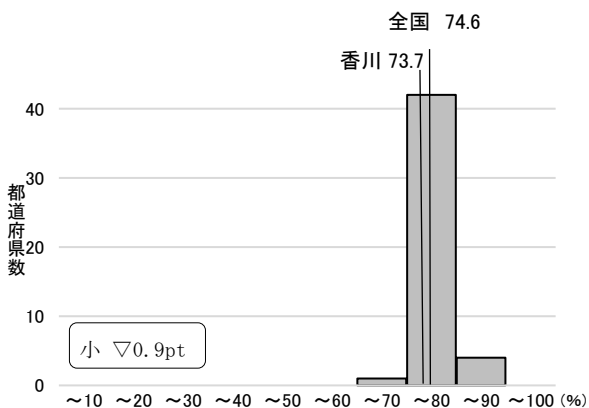


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

【小学校】英語で自分の考えや気持ちを伝え合う

□62/* 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

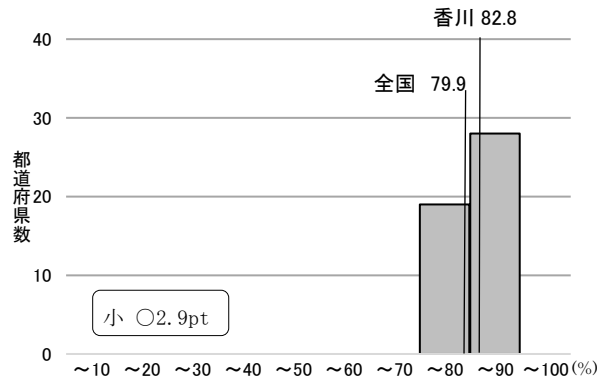


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

【小学校】(書く問題)最後まで解答を書こうと努力する

□60/* 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか

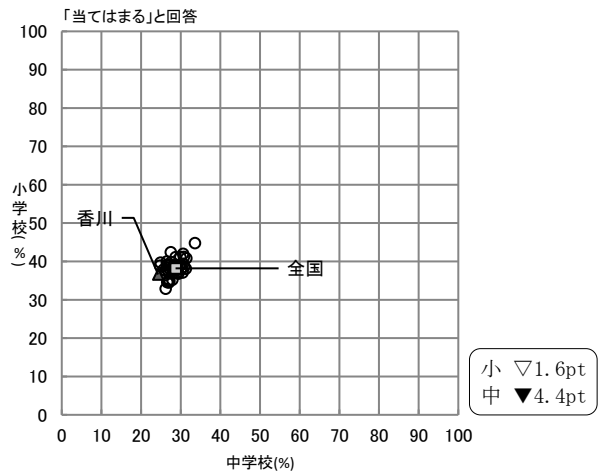
「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

英語の勉強は好き

□61/61 英語の勉強は好きですか

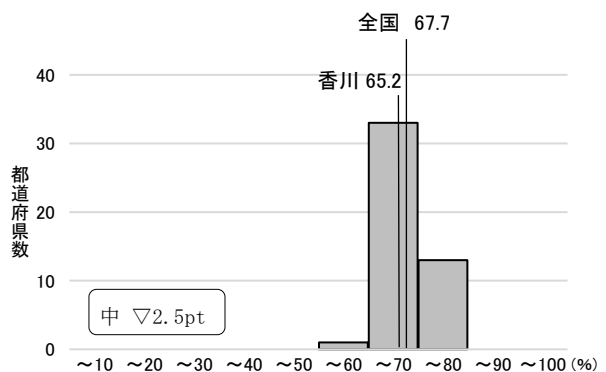


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

【中学校】英語で自分の考えや気持ちを伝え合う

□*/62 1、2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

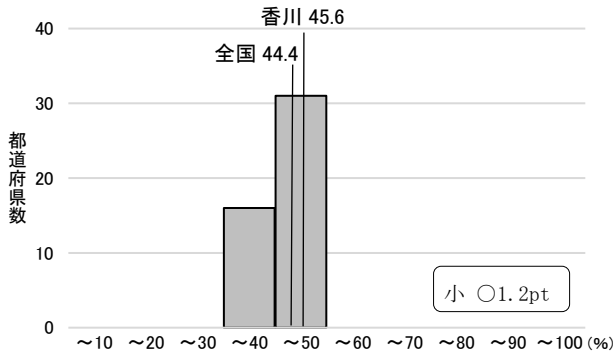


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【小学校】日常的に英語を使う機会

□63/* これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)

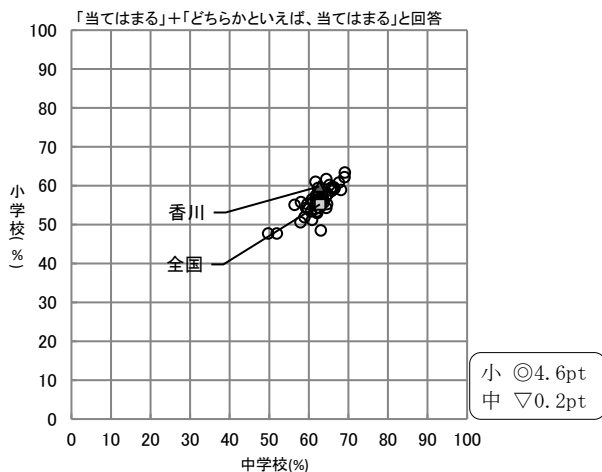
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【新型コロナウイルス感染症の影響】

勉強について不安を感じた

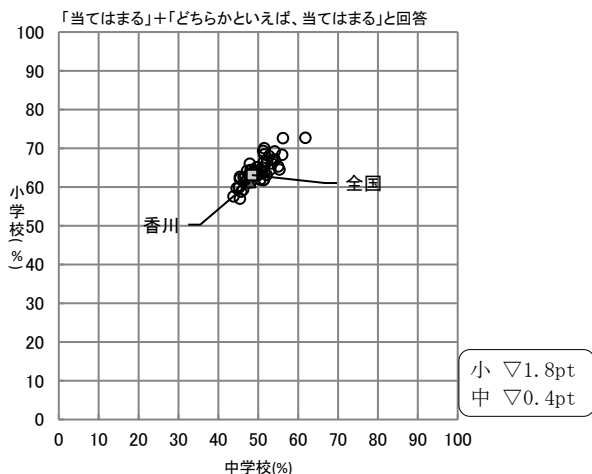
□64/64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

規則正しい生活を送っていた

□66/66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか

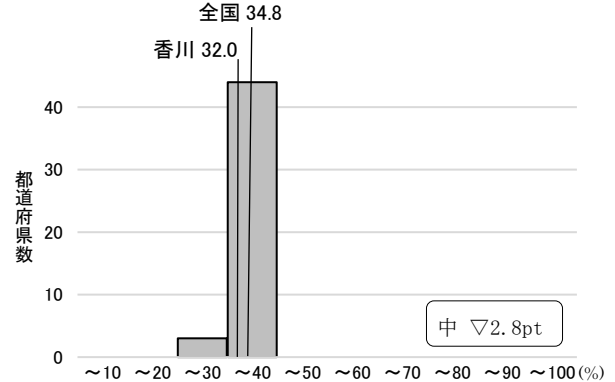


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】日常的に英語を使う機会

□*/63 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)

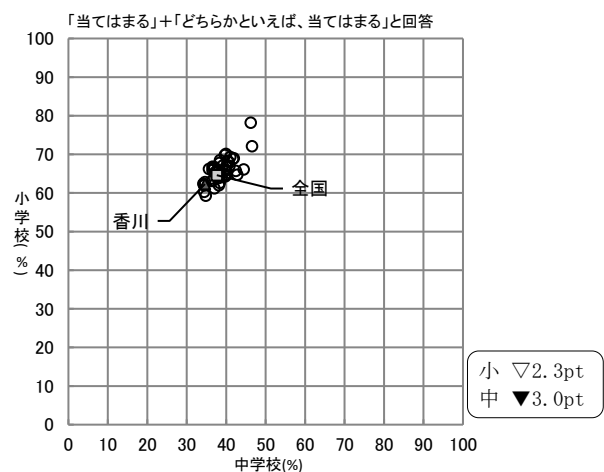
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【新型コロナウイルス感染症の影響】

計画的に学習を続けることができた

□65/65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか

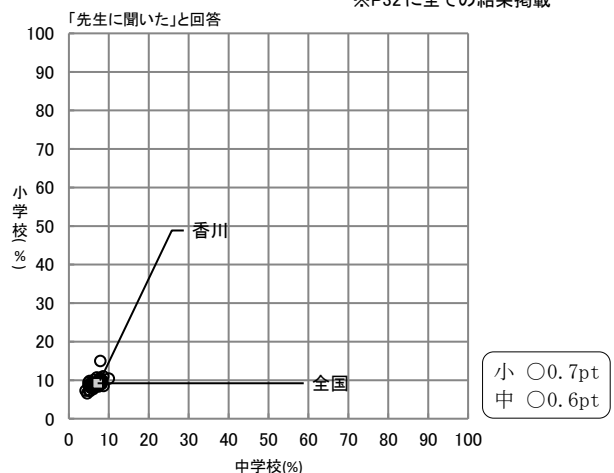


【新型コロナウイルス感染症の影響】

課題で分からないことがあったとき、どのようにしたか

□67/67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか(複数選択)

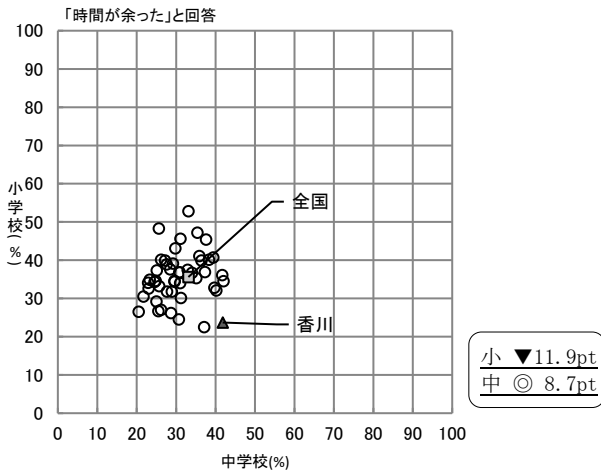
※P32に全ての結果掲載



【各教科の調査時間の適切性】

解答時間は十分だった(国語)

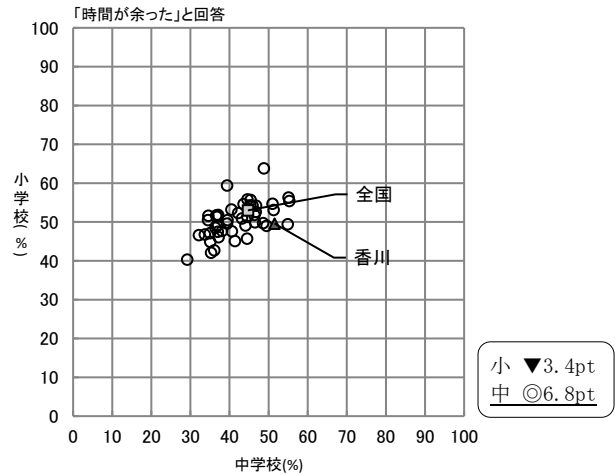
□68/68 解答時間は十分でしたか(国語)



【各教科の調査時間の適切性】

解答時間は十分だった(算数・数学)

□69/69 解答時間は十分でしたか(算数・数学)

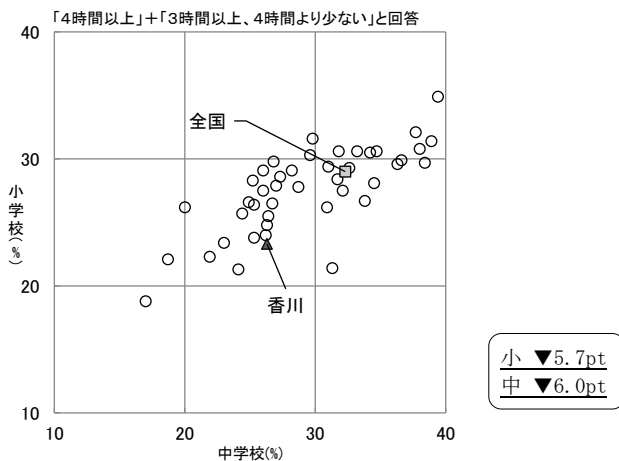


児童生徒質問紙 回答結果グラフ 【拡大図】

【基本的生活習慣】

ゲームの時間

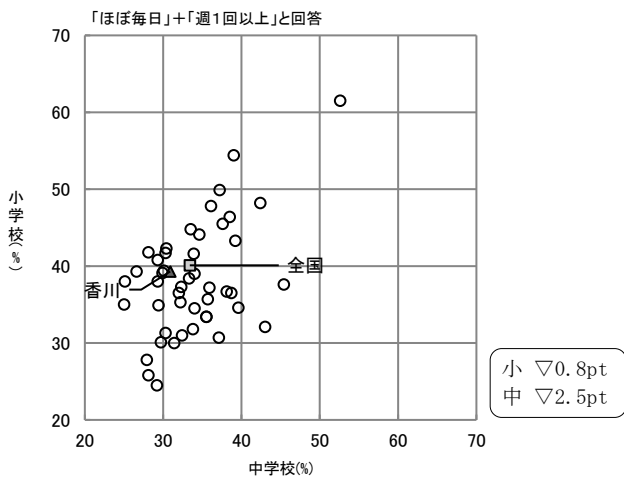
□5/5 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



【ICTを活用した学習状況】

授業でのICTの活用頻度

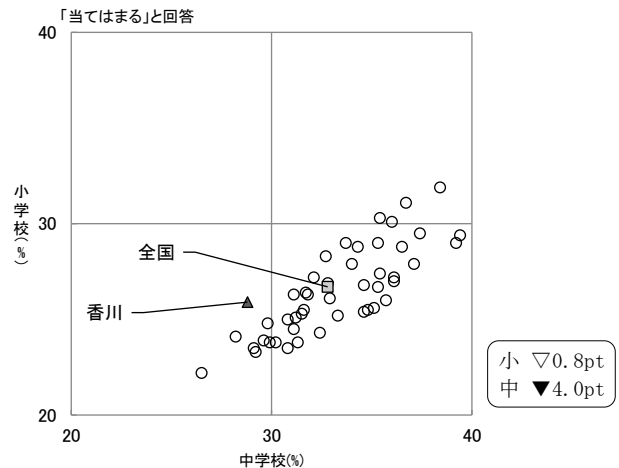
□26/26 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分の思いを言葉で表す

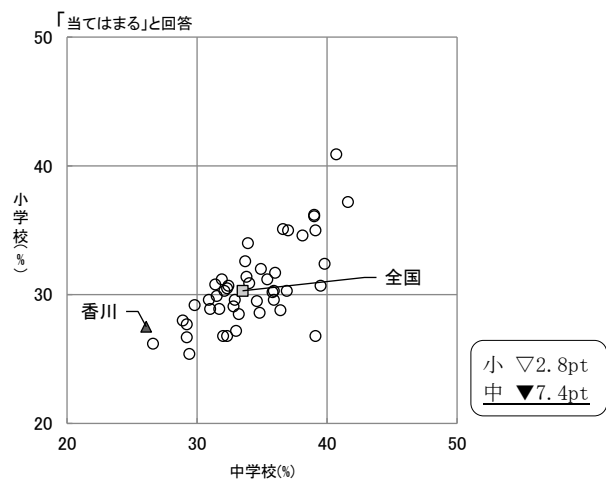
□14/14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組む

□33/33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



質問番号 小 中	掲載P	R元 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P94を参照)													その他※ ・無回答	1の差 1+2の差
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																		
29	29	98	32/33	小	16.7	68.7	14.0	0.7									0.0	-1.8
					18.5	66.8	14.2	0.4									0.1	0.1
				中	12.1	65.2	21.2	1.5									0.0	-6.3
30	30	98	H29 19	小	10.7	62.7	26.7	0.0									0.0	1.0
					9.7	58.6	30.5	1.1									0.1	5.1
				中	1.5	63.6	34.8	0.0									0.0	-10.6
31	31	99	H29 15	小	12.1	63.5	23.8	0.4									0.1	-10.5
					14.0	68.7	17.3	0.0									0.0	-2.9
				中	16.9	65.5	17.1	0.4									0.1	0.3
32	32	99	H29 17	小	12.1	72.7	15.2	0.0									0.0	-7.2
					19.3	67.3	13.1	0.2									0.2	-1.8
				中	10.7	68.7	20.0	0.7									0.0	-2.3
33	33	99	H29 16	小	13.0	62.8	23.5	0.5									0.1	3.6
					6.1	71.2	22.7	0.0									0.0	-11.8
				中	17.9	65.7	16.0	0.2									0.2	-6.3
34	34	99	H29 41	小	34.0	55.3	10.7	0.0									0.0	2.7
					31.3	58.6	9.6	0.4									0.1	-0.6
				中	30.3	63.6	6.1	0.0									0.0	-11.3
35	35	99	H29 37	小	41.6	53.6	4.5	0.1									0.1	-1.3
					30.0	59.3	10.7	0.0									0.0	-0.3
				中	30.3	57.4	12.0	0.2									0.2	1.6
36	36	99	37	小	18.2	56.1	25.8	0.0									0.0	-8.3
					26.5	58.0	15.1	0.2									0.2	-10.2
				中	46.7	50.7	2.7	0.0									0.0	-3.3
37	37	100	38	小	50.0	46.6	3.2	0.0									0.2	0.8
					34.8	63.6	1.5	0.0									0.0	-5.0
				中	39.8	55.3	4.7	0.0									0.2	3.3
38	38	99	37	小	18.7	69.3	12.0	0.0									0.0	-2.5
					21.2	66.9	11.5	0.1									0.3	-0.1
				中	15.2	60.6	22.7	1.5									0.0	-4.4
39	39	100	新	小	19.6	67.3	12.8	0.1									0.2	-11.1
					12.0	68.0	20.0	0.0									0.0	-4.5
				中	16.5	64.9	18.3	0.1									0.2	-1.4
40	40	100	H29 22	小	1.5	60.6	36.4	1.5									0.0	-10.8
					12.3	60.3	27.1	0.2									0.2	-10.5
				中	8.7	63.3	27.3	0.7									0.0	-3.0
41	41	100	33/34	小	11.7	61.4	26.5	0.3									0.2	-1.1
					3.0	51.5	45.5	0.0									0.0	-7.0
				中	10.0	57.6	31.8	0.4									0.2	-13.1
42	42	100	34/35	小	8.0	30.0	57.3	4.7									0.0	-2.8
					10.8	44.6	40.9	3.5									0.2	-17.4
				中	3.0	24.2	60.6	12.1									0.0	-4.1
43	43	101	35/36	小	7.1	33.2	51.5	8.0									0.2	-13.1
					20.7	46.0	30.0	3.3	0.0								0.0	0.0
				中	20.7	49.3	26.6	3.2	0.1								0.2	-3.3
44	44	101	36/39	小	3.0	16.7	45.5	33.3	1.5								0.0	-6.3
					9.3	30.9	41.4	17.1	1.1								0.2	-20.5
				中	9.3	30.9	41.4	17.1	1.1								0.2	-20.5
【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】																		
45	45	101	新	小	31.3	54.7	13.3	0.7									0.0	-0.3
					31.6	59.1	8.9	0.2									0.2	-4.7
				中	22.7	48.5	28.8	0.0									0.0	-10.3
46	46	101	34/35	小	33.0	55.1	11.4	0.2									0.2	-16.9
					38.7	56.0	5.3	0.0									0.0	-1.8
				中	40.5	54.0	5.3	0.1									0.1	0.2
47	47	101	35/36	小	30.3	63.6	6.1	0.0									0.0	-7.2
					37.5	56.4	5.8	0.1									0.1	0.0
				中	33.3	57.3	9.3	0.0									0.0	-1.1
48	48	101	36/39	小	34.4	58.9	6.6	0.1									0.1	-2.7
					21.2	68.2	10.6	0.0									0.0	-10.5
				中	31.7	60.4	7.6	0.1									0.1	-2.7
49	49	102	39/40	小	38.7	59.3	2.0	0.0									0.0	-2.1
					40.8	56.2	2.8	0.0									0.2	1.0
				中	50.0	48.5	1.5	0.0									0.0	0.8
50	50	102	40/41	小	49.2	48.7	1.9	0.0									0.1	0.6
					30.0	64.7	5.3	0.0									0.0	-6.9
				中	36.9	58.9	3.9	0.0									0.2	-1.1
51	51	101	新	小	28.8	63.6	7.6	0.0									0.0	-6.1
					34.9	60.9	4.0	0.0									0.2	-3.4
				中	34.0	60.7	5.3	0.0									0.0	-6.8
52	52	101	新	小	40.8	55.8	3.2	0.0									0.2	-1.9
					24.2	71.2	4.5	0.0									0.0	-11.6
				中	35.8	59.9	4.1	0.0									0.3	-0.3
53	53	101	新	小	20.7	57.3	22.0	0.0									0.0	-4.1
					24.8	59.6	15.2	0.2									0.2	-6.4
				中	22.7	60.6	16.7	0.0									0.0	-7.3
54	54	101	新	小	30.0	58.3	11.3	0.2									0.2	-5.0
					73.3	26.0	0.7	0.0									0.0	5.7
				中	67.6	30.7	1.5	0.0									0.2	1.0
55	55	102	39/40	小	60.6	37.9	1.5	0.0									0.0	-1.0
					61.6	36.2	2.0	0.0									0.1	0.7
				中	26.0	58.7												

学校質問紙 選択肢一覧

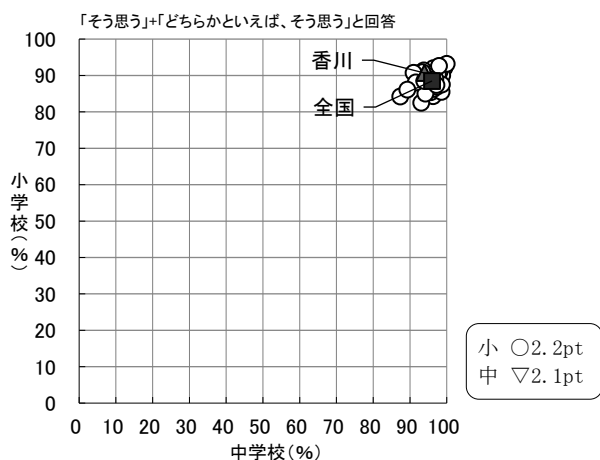
質問番号	選択肢	質問番号	選択肢
7、29～33	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない	C1	1 学校の臨時休業等 回答 ()月()日から()月()日まで 2 上記うち学校の短縮授業・分散登校 回答 ()日
8～11、34～39 45～61、76～79、83、85～87	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行かなかった 4 全く行かなかった	C2	1 基本的に全校で実施 2 一部の学年・学級で実施 3 実施していない 4 学校として統一的に把握していない ① 教科書に基づく学習内容の指示 ② 学校が作成したプリント等を配布(電子メールや学校の HP 等を活用して配信する場合を含む) ③ 教科書会社その他民間が作成したプリント等を配布(電子メールや学校の HP 等を活用して配信する場合を含む) ④ 児童(生徒)の自由研究や自主学習ノート等の学習 ⑤ 学校が作成した学習動画等を活用した学習 ⑥ 同時双方向型オンライン指導を通じた学習 ⑦ 都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」「復習ノート」等の教材(教育委員会の HP で配信されている場合を含む)を活用した学習 ⑧ 都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習 ⑨ 公的機関や民間の音声・動画コンテンツ等を活用した学習(⑤及び⑧を除く) ⑩ テレビ放送を活用した学習 ⑪ 上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習
12	1 リーダーシップに関する新しい研究や理論 2 国や地方自治体の最新の教育政策 3 教育の質を向上するためのデータの活用方法 4 よりよい教育課程の編成 5 教員の資質能力の向上の方法 6 授業のよりよい観察方法や、教職員へのより効果的なフィードバックの方法 7 教職員同士が協力し合う職場環境の作り方 8 人事管理 9 財務管理		
13、14	1 週に1回程度、または、それ以上行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行かなかった 6 特に問題を抱えていなかった	C3	1 登校日を設定して学校で直接行った 2 家庭訪問により行った 3 電話や FAX により行った 4 郵便により行った 5 電子メールや SNS を使って行った 6 オンライン学習支援プラットフォーム・学習管理システム等を活用して行った 7 同時双方向型オンラインシステムを活用して行った 8 児童(生徒)が利用可能な相談窓口を周知・設置して行った 9 その他 10 特に行わなかった
15	1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない		
16、17	1 よく取り組んでいる 2 どちらかといえば、取り組んでいる 3 あまり取り組んでいない 4 全く取り組んでいない		
18～28、 41～44、81	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない	C4	1 PC・タブレット等の端末の貸与 2 モバイルルータ等の通信機器の貸与 3 学校の PC 教室等の開放 4 紙媒体の教材や資料の配布 5 DVD 等の映像資料の配布 6 その他 7 特に行わなかった
40	1 週に1回程度、または、それ以上行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行わなかった		
62	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない		
63～65	1 よくできている 2 できている 3 あまりできていない 4 全くできていない	C5	1 当てはまらない 2 あまり当てはまらない 3 やや当てはまる 4 当てはまる ① 学校(送信側)の PC・タブレット等の端末が不足していた ② 学校の周辺機器(Web カメラやスキャナ等)が不足していた ③ 学校の通信環境(無線 LAN 等)が整っていないかった ④ 学校のインターネット接続の通信速度が不十分だった ⑤ 規則等(セキュリティポリシー等)が整っていないかった ⑥ 市町村教育委員会や学校のシステム(センターサーバの容量等)が不十分だった ⑦ 教職員の ICT 活用のスキルが不足していた ⑧ 家庭(受信側)の PC・タブレット等の端末(スマートフォンを含む)が不足していた ⑨ 家庭の周辺機器(Web カメラ等)が不足していた ⑩ 家庭の通信環境(無線 LAN 等)が整っていないかった ⑪ ICT 活用に対して教職員からの協力を得るのが難しかった ⑫ ICT 活用に対して保護者からの支援を得るのが難しかった ⑬ ICT 活用に対して教育委員会が積極的ではなかった ⑭ ICT 活用の必要性を校長として十分には感じていなかった ⑮ オンラインでの配信や Web 上での学習のための教材が不足していた
66	1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 月1回未満		
67、70～74	1 よく活用している 2 どちらかといえば、活用している 3 あまり活用していない 4 全く活用していない		
68、69	1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 どちらかといえば、ない 4 ない		
75	1 毎日持ち帰って、毎日利用させている 2 毎日持ち帰って、時々利用させている 3 時々持ち帰って、時々利用させている 4 持ち帰らせていない 5 持ち帰ってはいけないこととしている 6 まだ配備されていない		
80	1 行っている 2 行っていない	C6	1 児童(生徒)の心身の状況のチェック 2 学習の定着が不十分である児童(生徒)の把握 3 児童(生徒)の学習状況及び成果の確認 4 学習内容の定着が不十分である児童(生徒)を対象とした補習(放課後や休み時間)の実施 5 時間割編成の工夫(1コマを 40 分とした上で1日のコマ数を増やすなど) 6 土曜日の活用 7 次年度以降を見越した教育課程編成 8 授業における学習活動の重点化 9 長期休業期間の短縮 10 学校行事の見直し 11 追加的な人材(非常勤の者を含む)の配置 12 その他 13 特に行っていない
82	1 よく参加している 2 参加している 3 あまり参加していない 4 全く参加していない		
84	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない 5 取組を行わなかった		
88-1～88-9 90-1～90-7	1 はい 2 いいえ	C7～C9	1 よくなった 2 どちらかといえば、よかった 3 変わらない 4 どちらかといえば、悪くなった 5 悪くなった 6 分からない
89	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行わなかった	C10	1 増えた 2 どちらかといえば、増えた 3 変わらない 4 どちらかといえば、減った 5 減った
91	1 よく行っている 2 どちらかといえば、行っている 3 ほとんど行っていない 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施している	C11	1 学校生活における不安・ストレスに関する相談が増えた 2 生活リズムの乱れに関する相談が増えた 3 友人関係に関する相談が増えた 4 家庭環境に関する相談が増えた 5 その他の内容に関する相談が増えた 6 特になし

4 学校質問紙 回答結果グラフ

【生徒指導等】

授業中の私語が少なく、落ち着いている

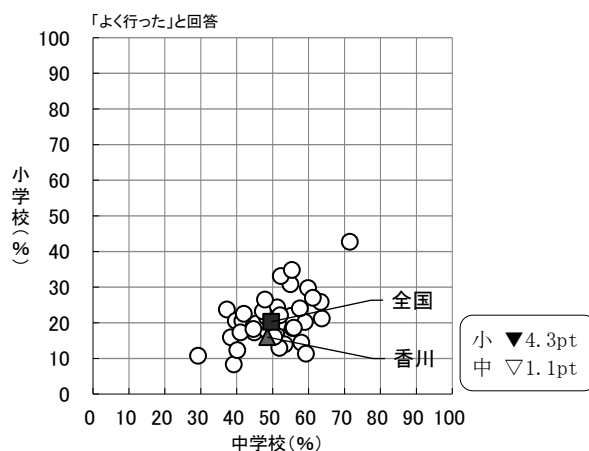
- 7/7 調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



【生徒指導等】

将来の仕事や夢について考えさせる指導

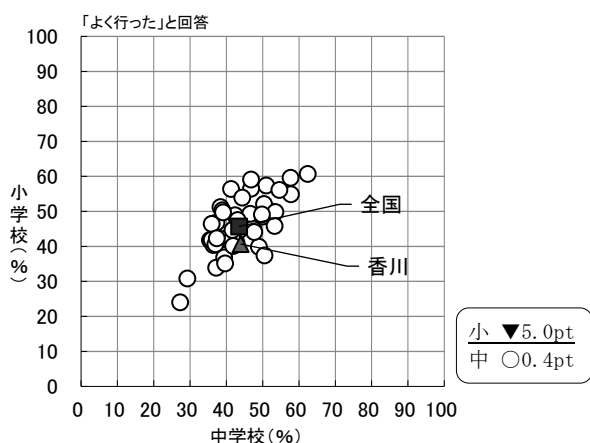
- 8/8 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



【生徒指導等】

学級全員で挑戦する課題

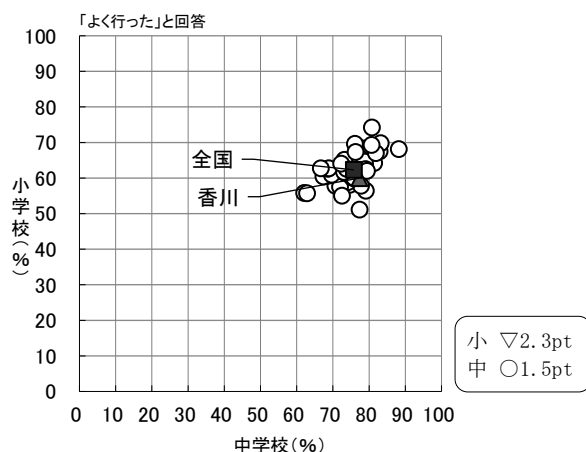
- 9/9 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【生徒指導等】

学習規律の維持

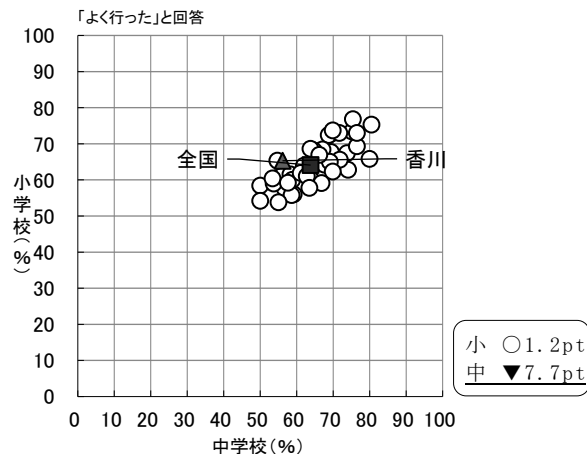
- 10/10 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話している時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか



【生徒指導等】

よい点や可能性への積極的な評価

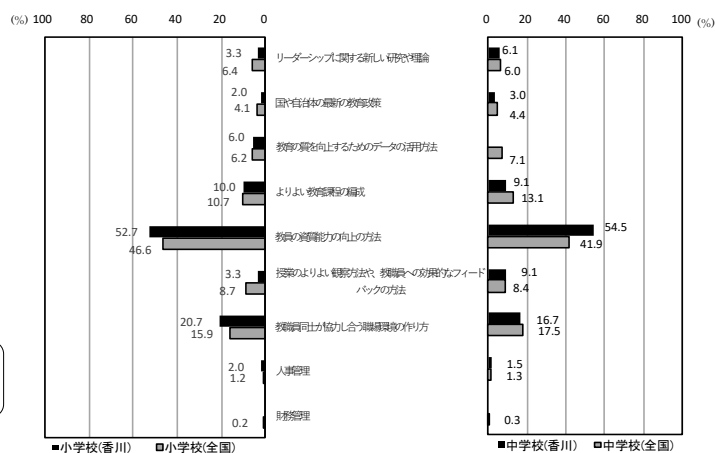
- 11/11 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

校長として学びたいこと

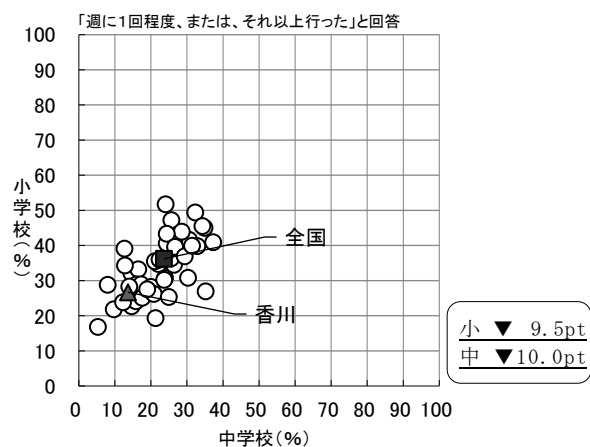
- 12/12 校長として、現在、最も学びたいと感じていることは何ですか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

授業で問題を抱えた教員への対応

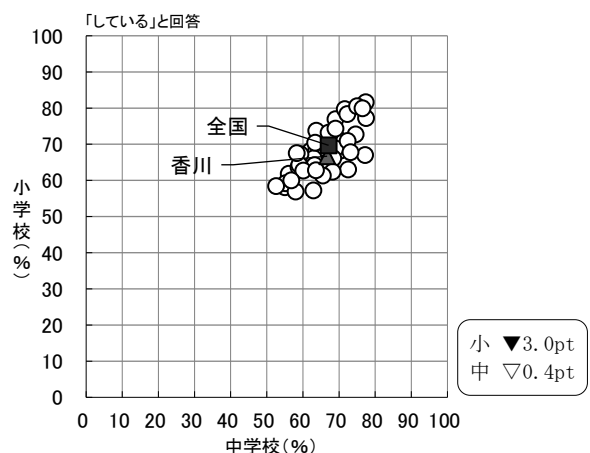
- 13/13 教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

変化への柔軟な対応

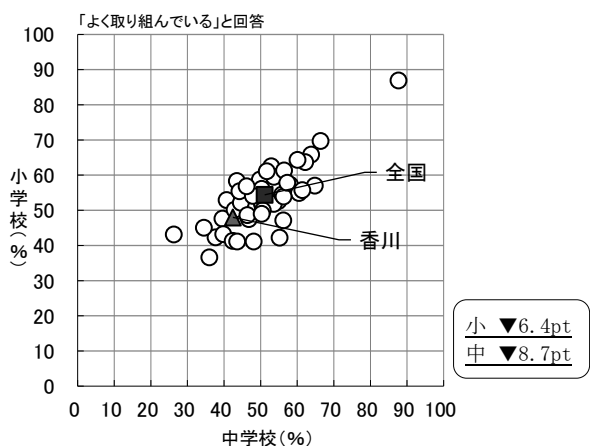
- 15/15 学校として、必要な場合に、変化に柔軟に対応していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学校運営の状況や課題の共有と組織的な取組

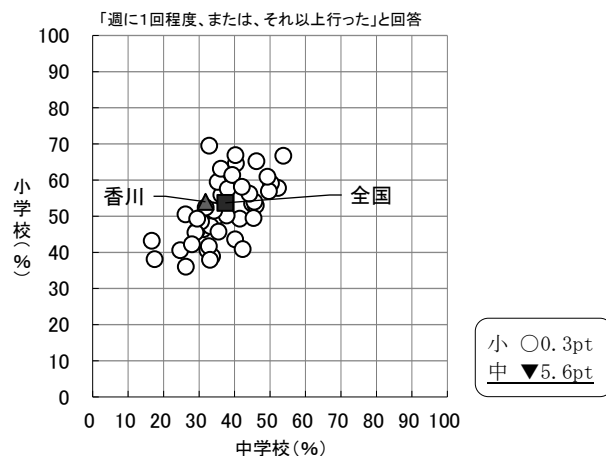
- 17/17 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学級の問題を抱えた教員とともに問題解決

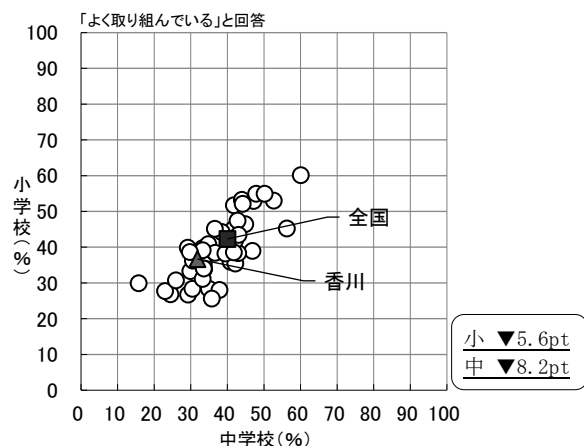
- 14/14 教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学校としての業務改善の取組

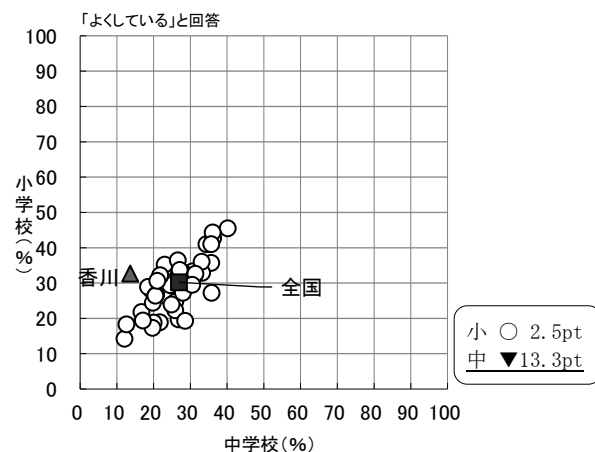
- 16/16 学校として、業務改善に取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

横断的で内容を組織的に配列した指導計画

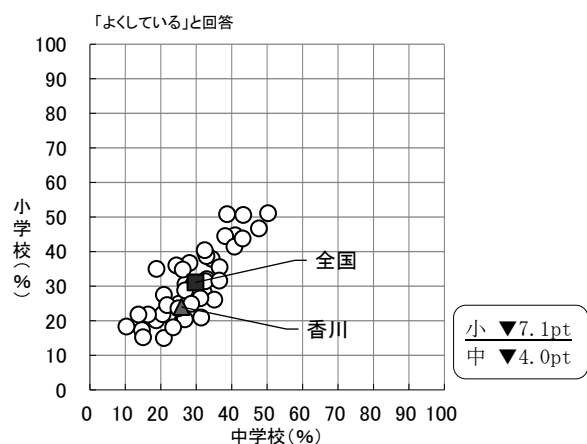
- 18/18 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

PDCA サイクルの確立

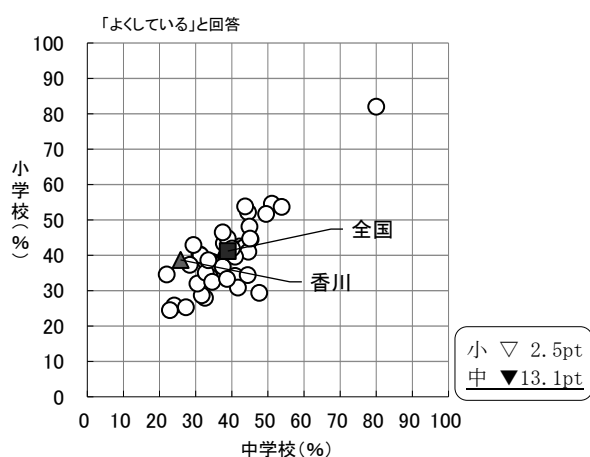
- 19/19 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

言語活動について学校全体としての取組

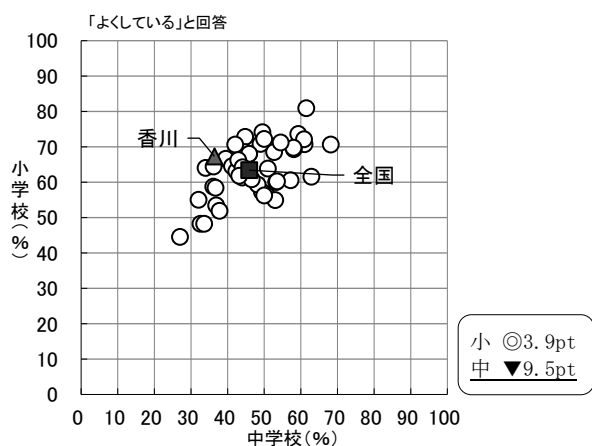
- 21/21 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

実践的な研修

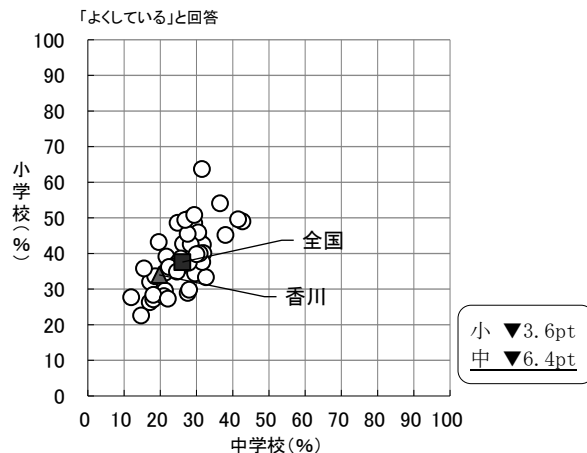
- 23/23 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

人的・物的資源等の活用

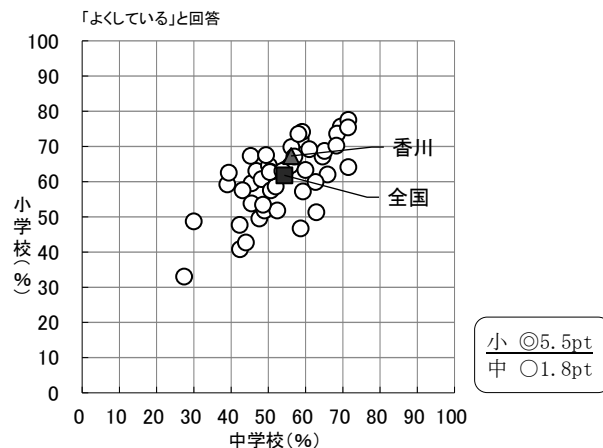
- 20/20 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

組織的・継続的な研修

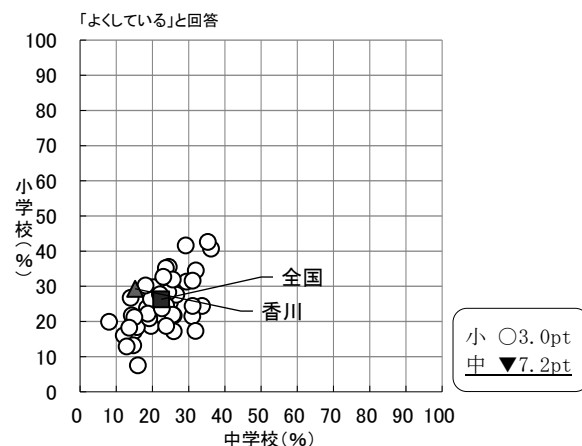
- 22/22 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

課題解決し、まとめ、表現する学習活動を学ぶ校内研修

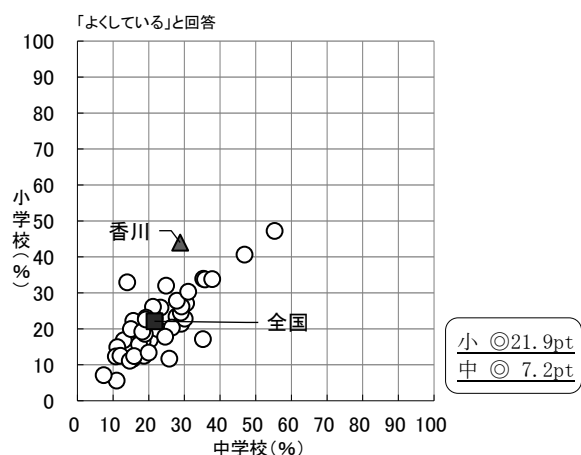
- 24/24 児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学校外での研修の機会

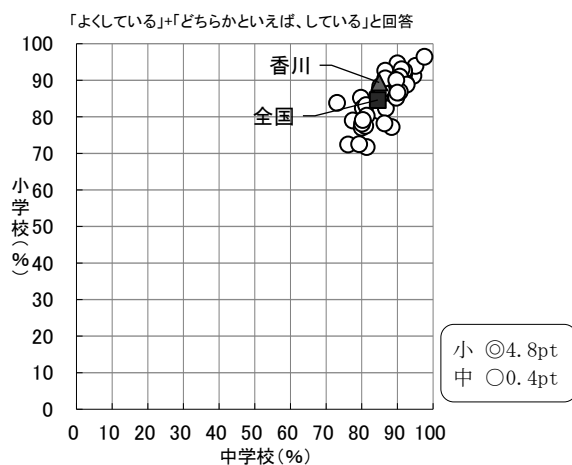
- 25/25 教員は、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

研修成果の積極的な繁栄

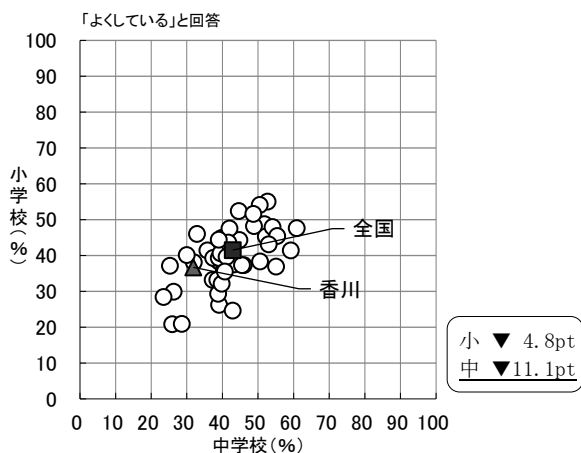
- 26/26 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

指導計画作成にあたっての協力

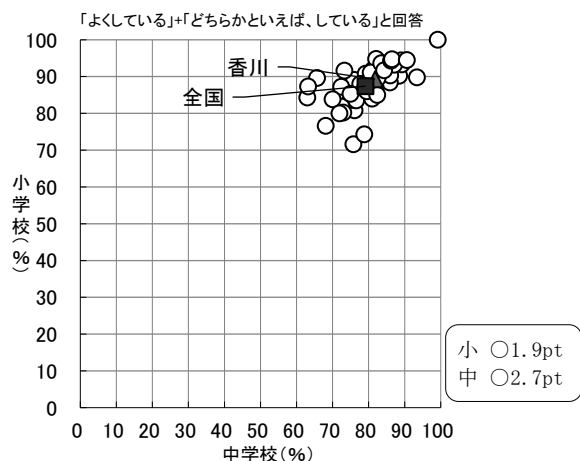
- 27/27 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

言語活動の実施状況や課題の検討

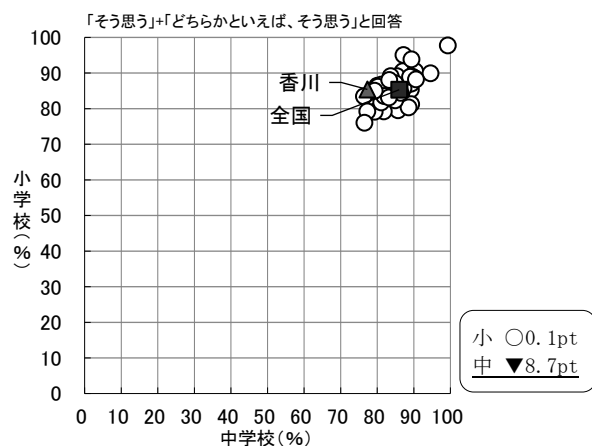
- 28/28 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組むことができる

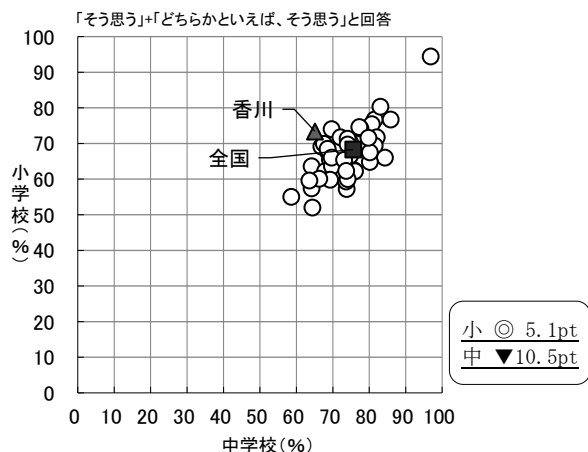
- 29/29 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

考えがうまく伝わるよう工夫して発言できる

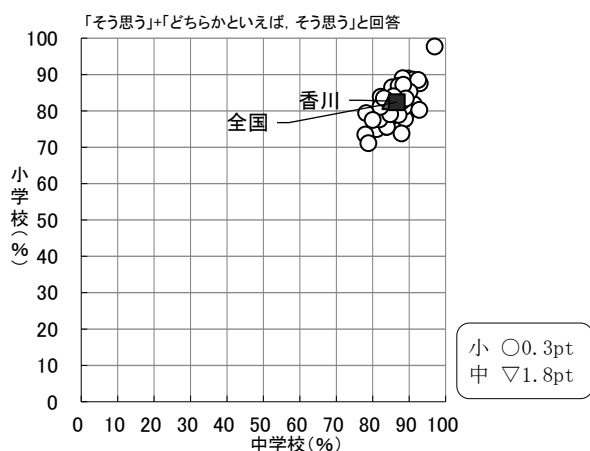
- 30/30 調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えをしっかりと伝えることができる

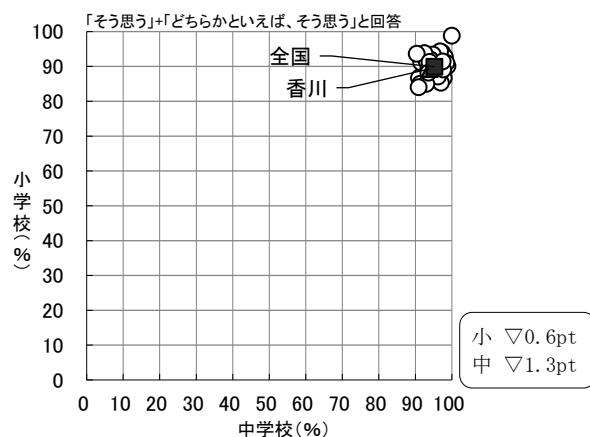
- 31/31 調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

相手の考えを最後まで聞くことができる

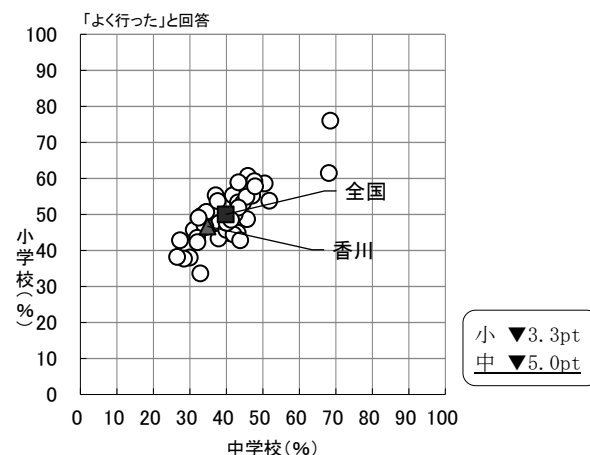
- 33/33 調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

児童生徒の発言や活動の時間の確保

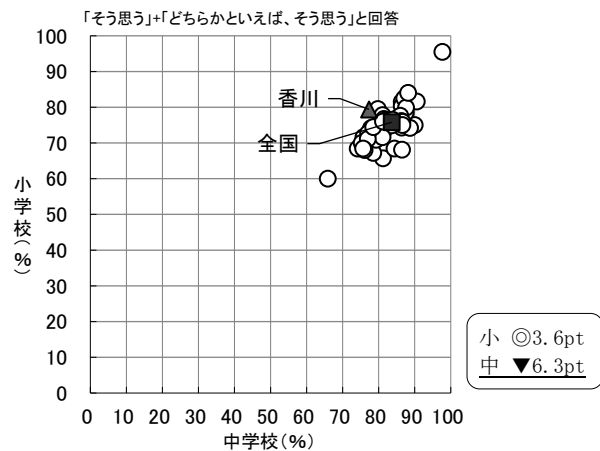
- 35/35 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを深めたり広げたりする

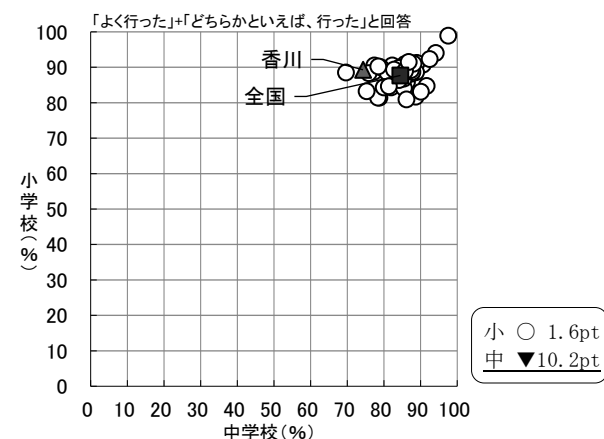
- 32/32 調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題解決に向けた学習活動の取組

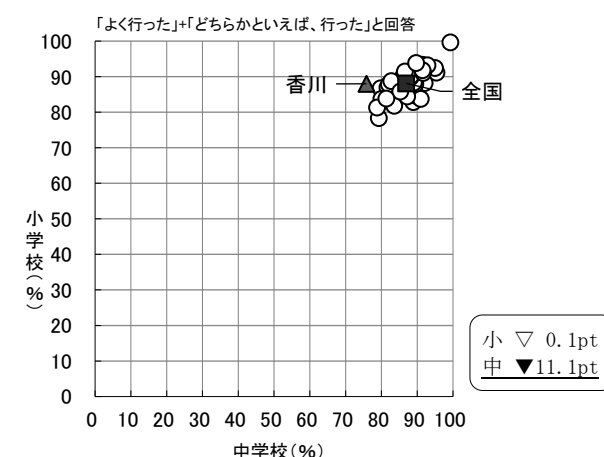
- 34/34 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導

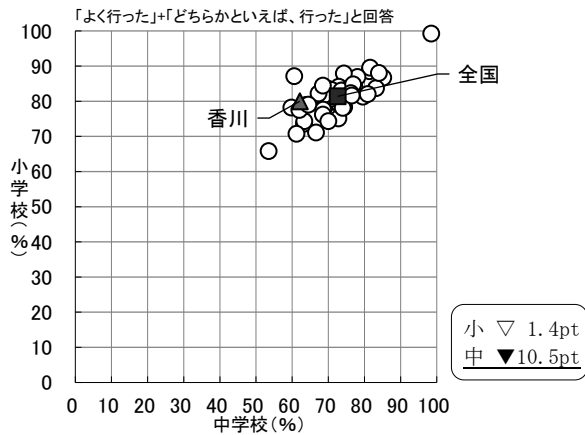
- 36/36 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会

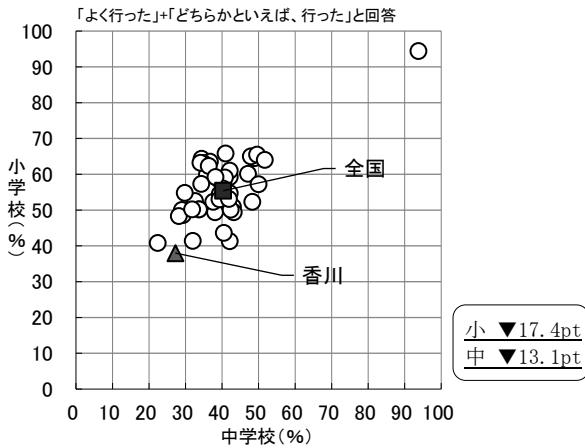
- 37/37 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

調べたことや考えたことをまとめる指導

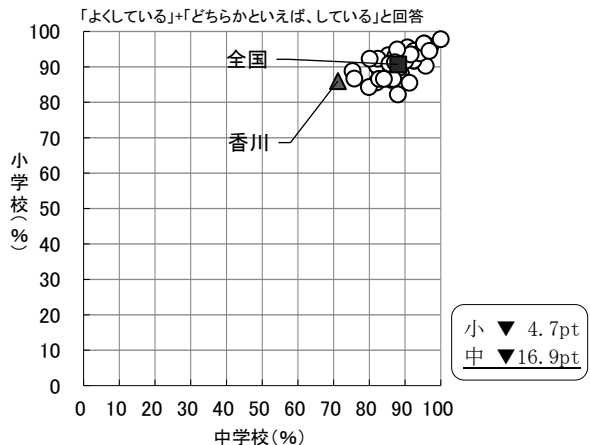
- 39/39 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800(1200)字程度で児童生徒にまとめさせたことがありましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

総合的な学習の時間の指導

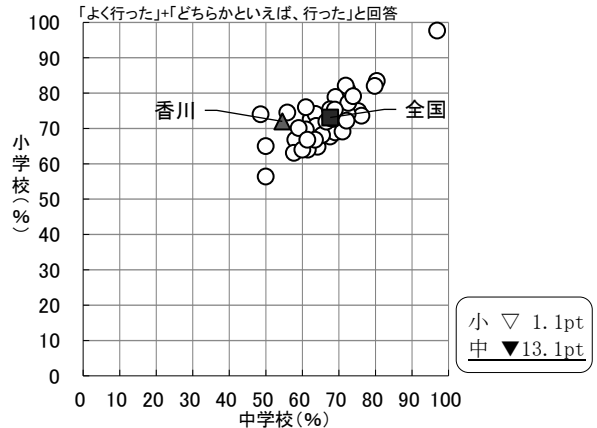
- 41/41 調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

深い理解、考えの形成、創造等に向かう学習の取組

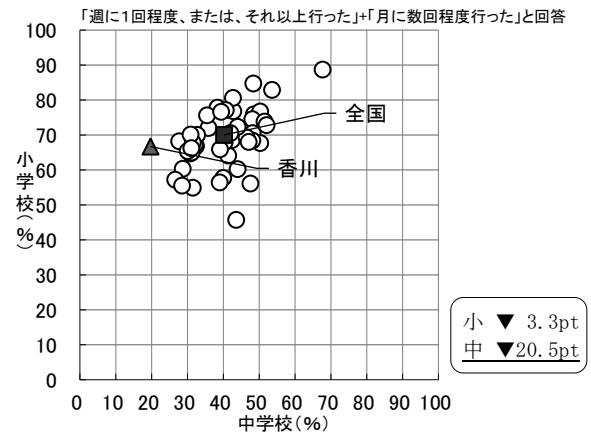
- 38/38 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

本やインターネット、図書資料などを活用した授業

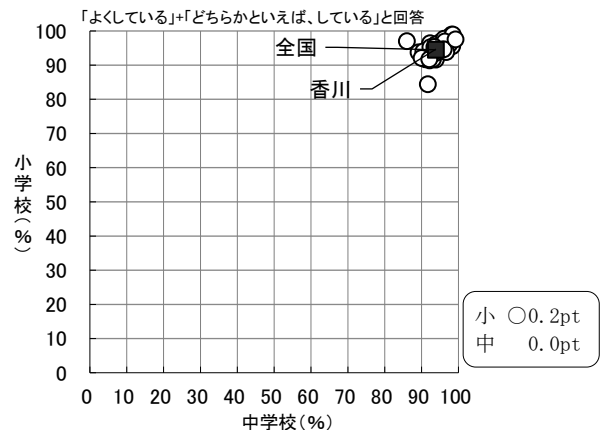
- 40/40 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において合意形成できるような指導

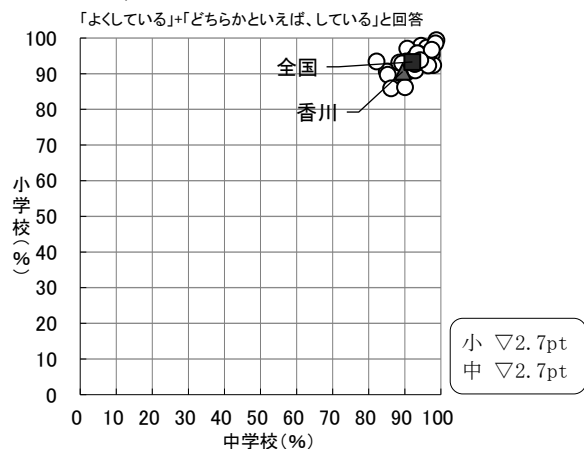
- 42/42 調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において意思決定できるような指導

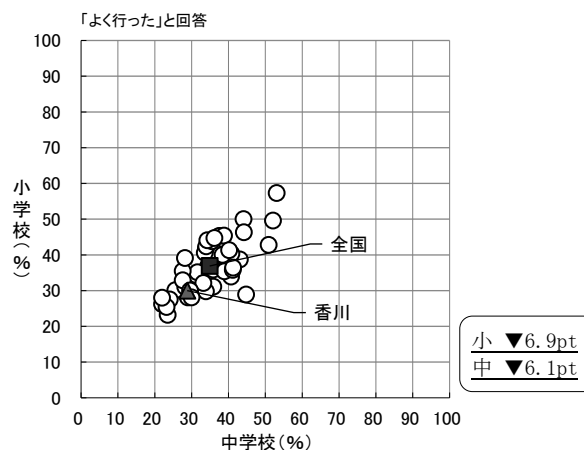
- 43/43 調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

指導改善や学習改善に生かす学習評価

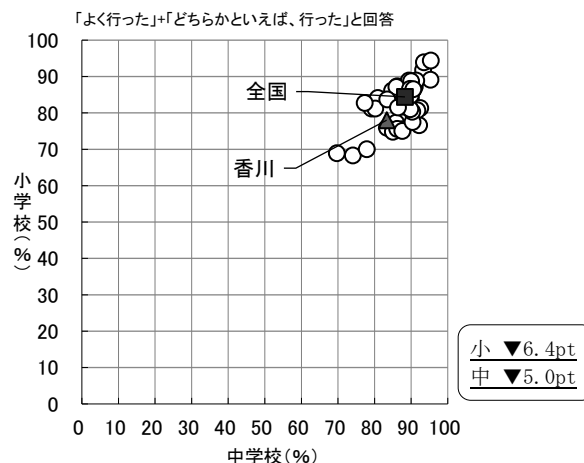
- 45/45 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学習評価の組織的計画的な取組

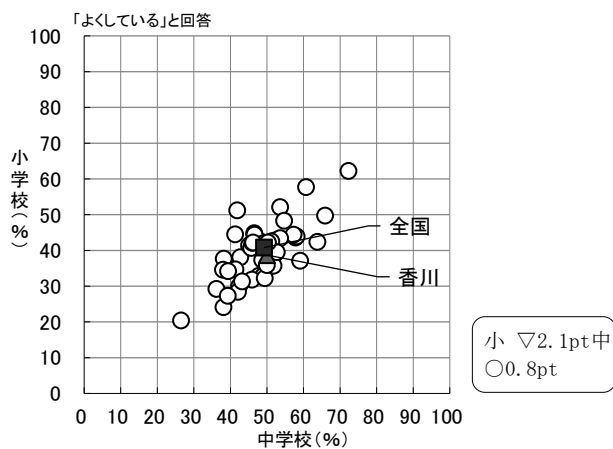
- 47/47 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

考え、議論する道徳の指導

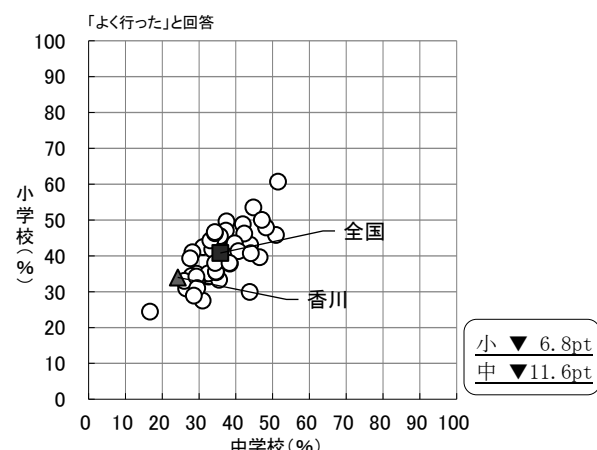
- 44/44 調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学習の意義や価値を実感できる評価

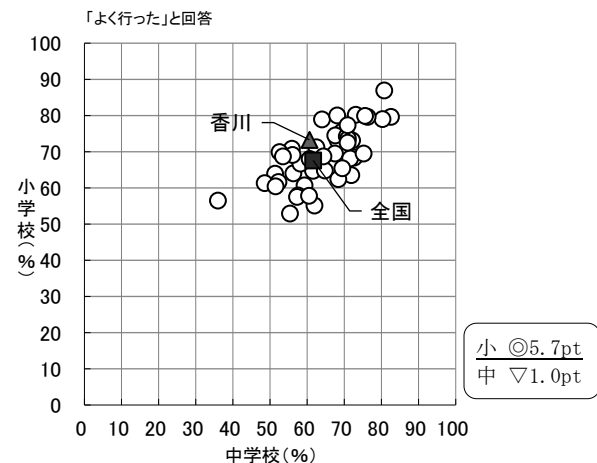
- 46/46 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において意思決定できるような指導

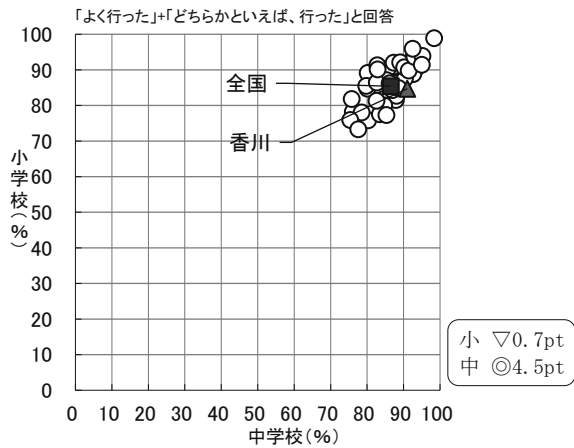
- 48/48 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか



【国語科の指導方法】

補充的な学習の指導

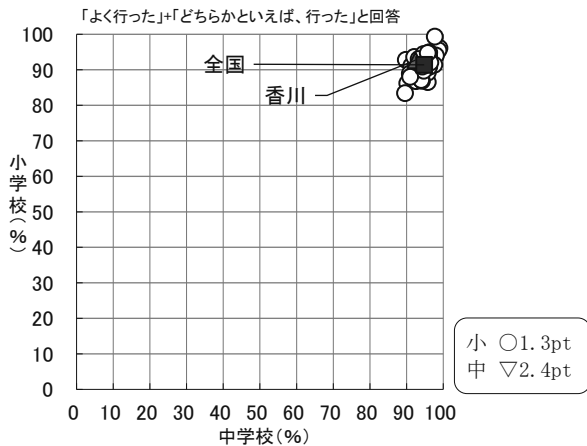
- 49/49 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



【国語科の指導方法】

言葉の特徴や使い方を理解したり使ったりする授業

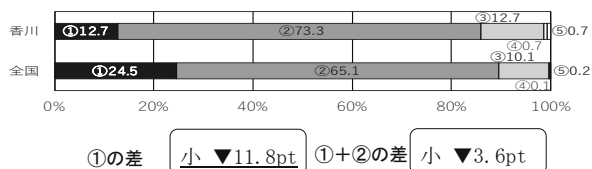
- 51/51 調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか



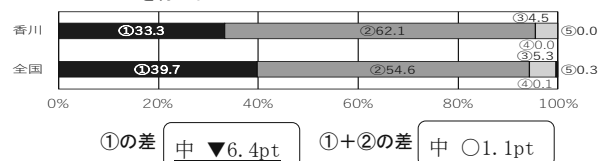
【国語科の指導方法】

目的に応じて、自分の考えが伝わるように書く授業

- 53/* 前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか



- */53 前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか

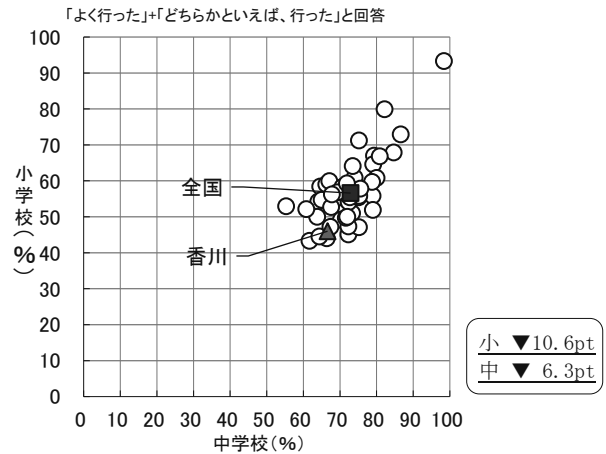


- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

【国語科の指導方法】

発展的な学習の指導

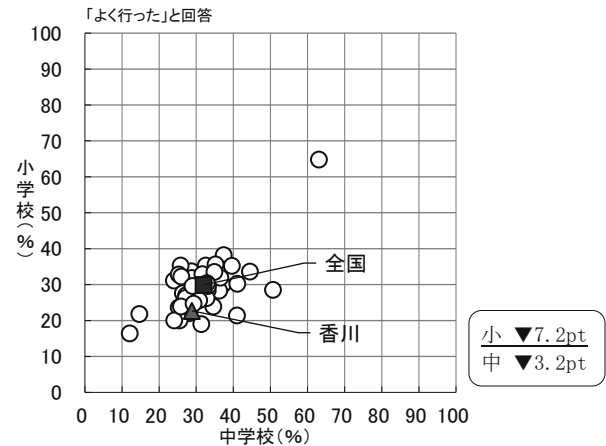
- 50/50 調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



【国語科の指導方法】

目的に応じて考えを話したり質問したりする授業

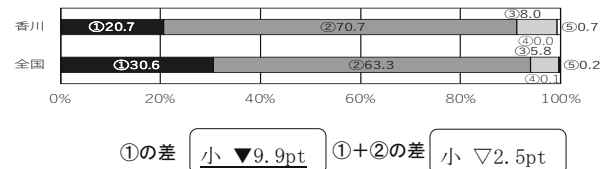
- 52/52 調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか



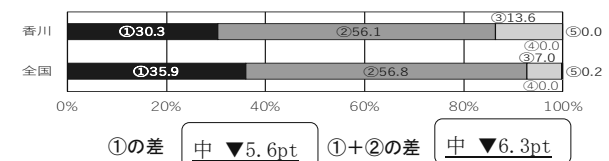
【国語科の指導方法】

目的に応じて文章を読み、考えを広げたり深めたりする授業

- 54/* 前年度までに、目的に応じて、文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか



- */54 前年度までに、目的に応じて、文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたりする授業を行いましたか

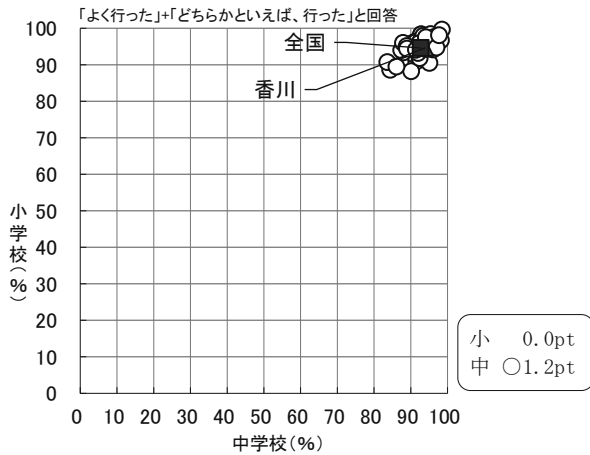


- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

【算数・数学科の指導方法】

補充的な学習の指導

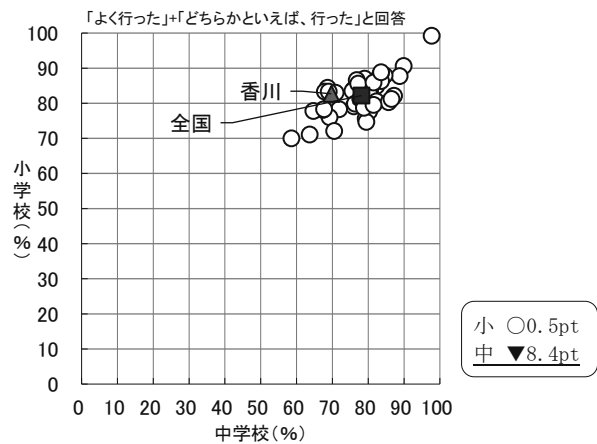
- 55/55 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

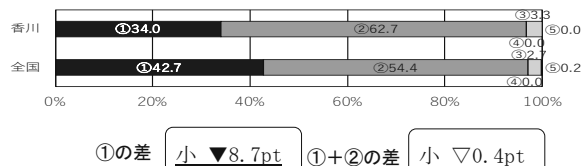
- 57/57 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



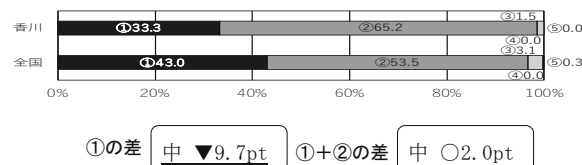
【算数・数学科の指導方法】

公式やきまりなどのわけや根拠を理解できる指導の工夫

- 59/* 前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか



- */59 前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか

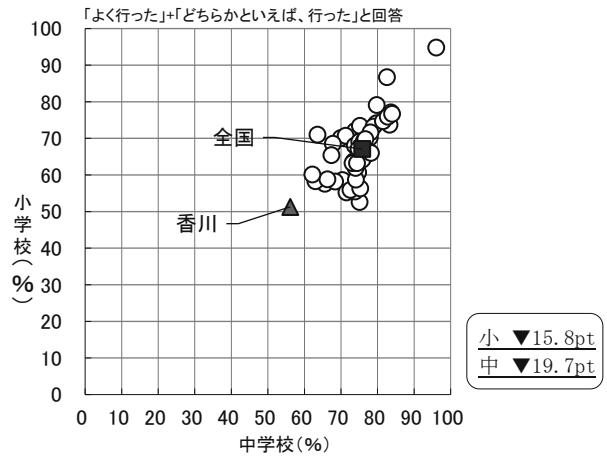


- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

【算数・数学科の指導方法】

発展的な学習の指導

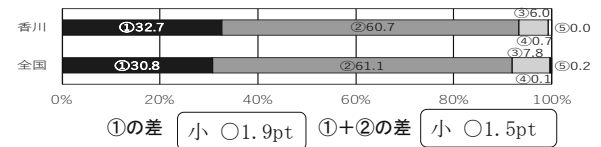
- 56/56 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



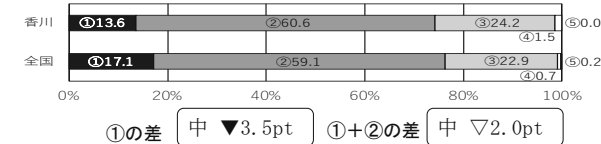
【算数・数学科の指導方法】

活動を通じた数量や図形の授業

- 58/* 前年度までに具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか



- */58 前年度までに観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか

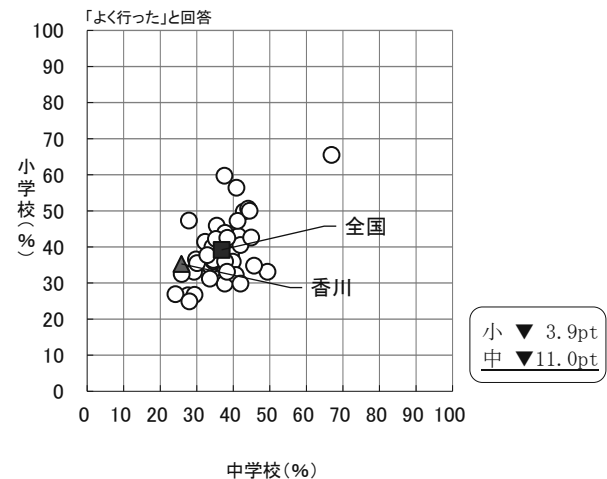


- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

【算数・数学科の指導方法】

解き方や考え方の過程が分かるノートの書き方指導

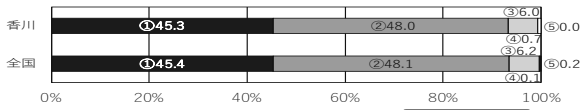
- 60/60 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか



【英語科の指導方法】

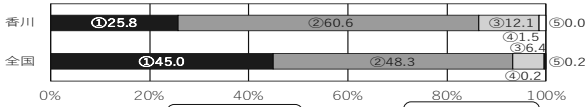
自分の考えや気持ちを伝え合う対話的な活動

- 61/* 前年度までに、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う(対話的な)活動に取り組みましたか



①の差 小 ▼0.1pt ①+②の差 小 ▼0.2pt

- */61 前年度までに、英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う(対話的な)活動に取り組みましたか



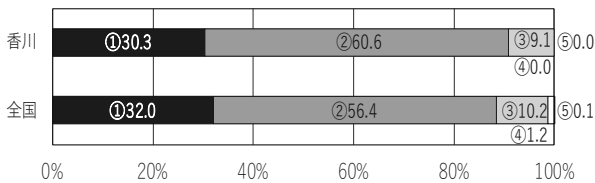
①の差 中 ▼19.2pt ①+②の差 中 ▼6.9pt

① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

【英語科の指導方法】

【中学校】全国学力・学習状況調査結果を踏まえた授業改善・学習評価の改善

- */62 全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実などの授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善などの学習評価の改善に取り組んでいますか



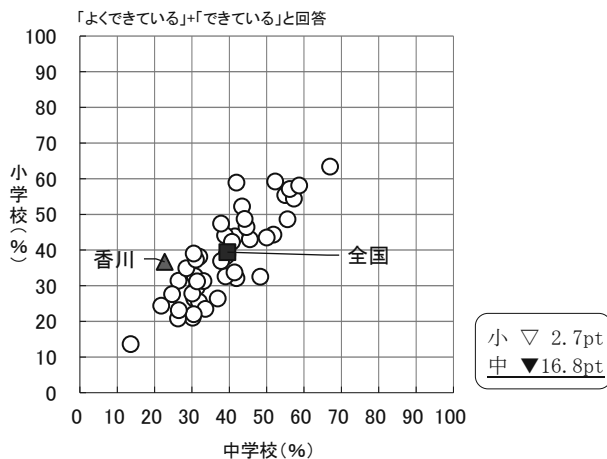
① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼1.7pt ①+②の差 中 ○2.5pt

【ICTを活用した学習状況】

ICT 機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業の準備

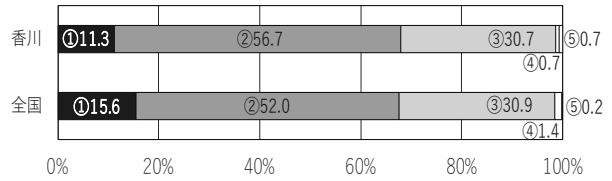
- 64/64 コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業を行うための準備ができていますか



【英語科の指導方法】

【小学校】外国語教育の充実に向けた研修などの機会

- 62/* 学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか



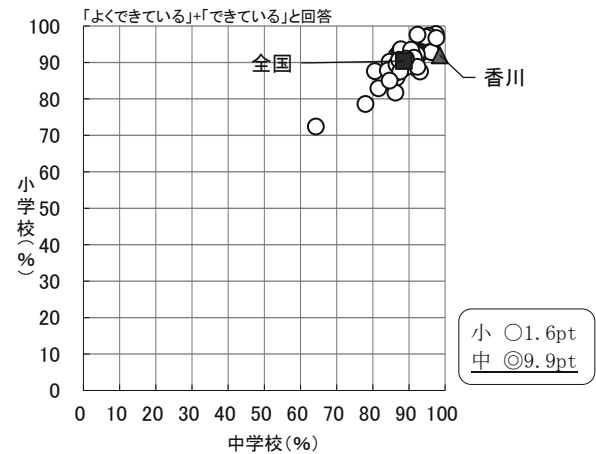
① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼4.3pt ①+②の差 小 ○0.4pt

【ICTを活用した学習状況】

ICT 機器やネットワークの点から、授業を行う準備

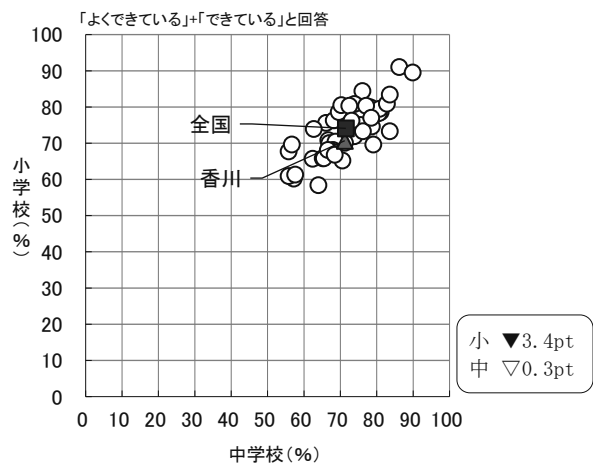
- 63/63 コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業(授業準備も含む)を行うための準備ができていますか



【ICTを活用した学習状況】

ICT 機器やネットワークの点から、校務改善の準備

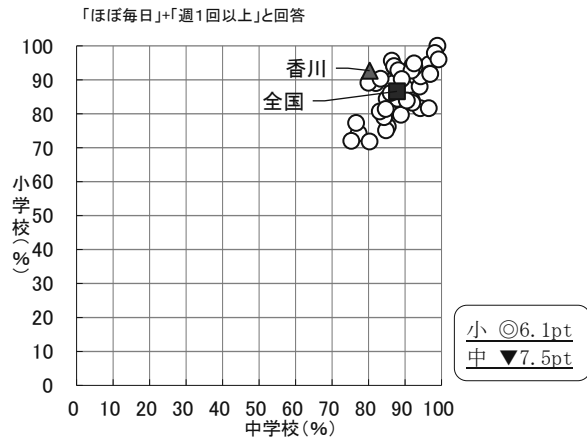
- 65/65 コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、校務改善を行うための準備ができていますか



【ICTを活用した学習状況】

大型提示装置などのICT機器を活用した授業

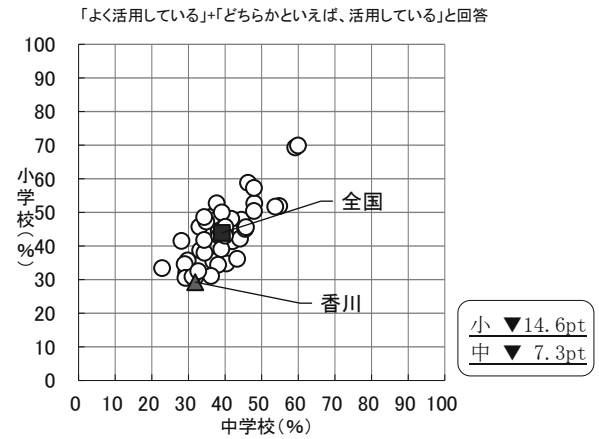
- 66/66 前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

学習履歴など教育データの活用

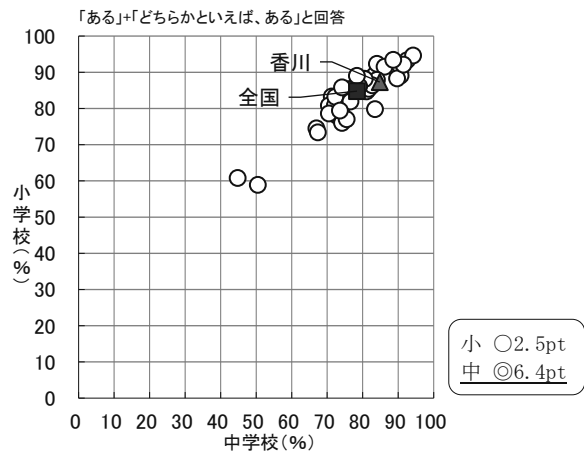
- 67/67 教員は、学習履歴(スタディ・ログ)をはじめとした様々な教育データを、児童(生徒)の状況に応じた指導に活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器の使い方を学ぶ研修機会

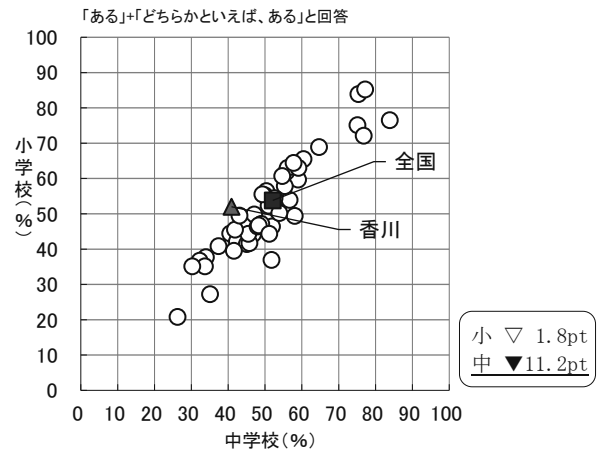
- 68/68 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



【ICTを活用した学習状況】

専門スタッフなど、技術的なサポート体制

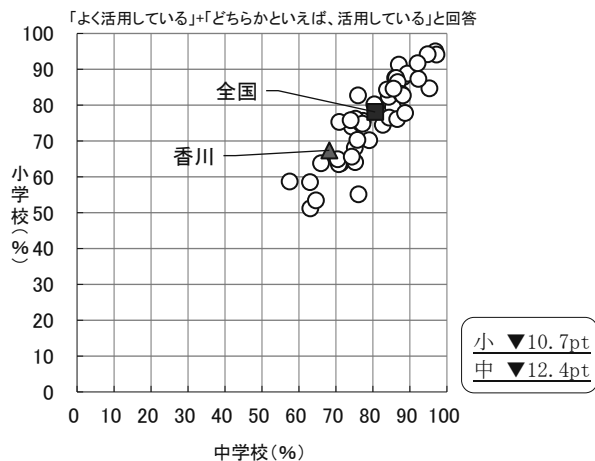
- 69/69 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器を活用した教職員間の連絡

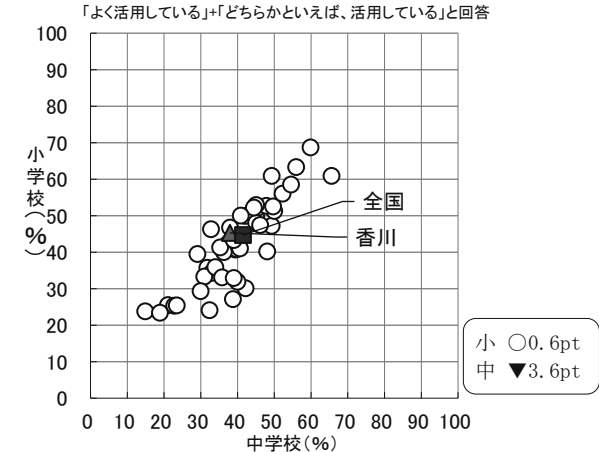
- 70/70 あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ①教職員間の連絡



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器を活用した教職員と児童生徒のやりとり

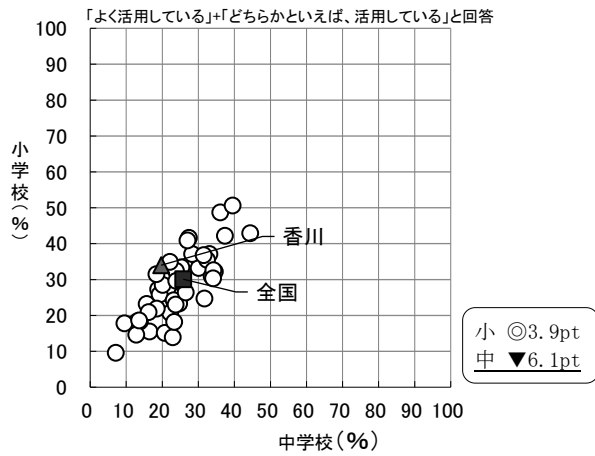
- 71/71 あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ②教職員と児童生徒がやりとりする場面



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を活用した児童生徒同士のやりとり

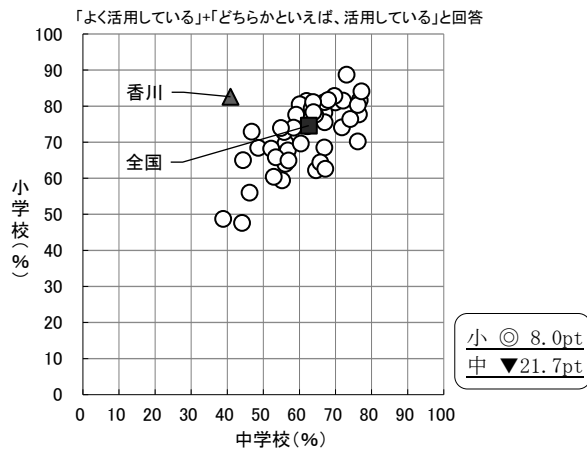
- 72/72 あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ③児童生徒同士がやりとりする場合



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を児童生徒が1人で活用する取組

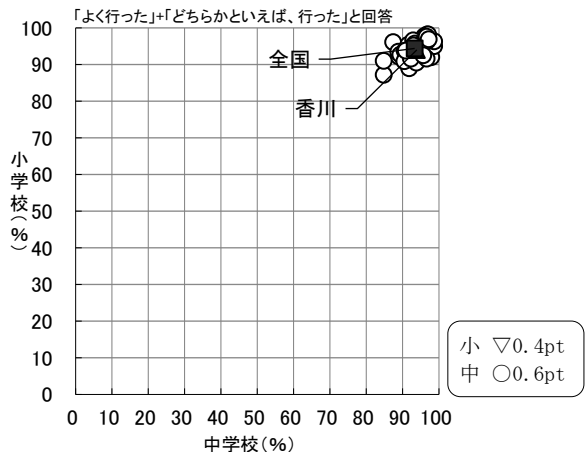
- 74/74 あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ⑤児童生徒が1人で活用する場合



【特別支援教育】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

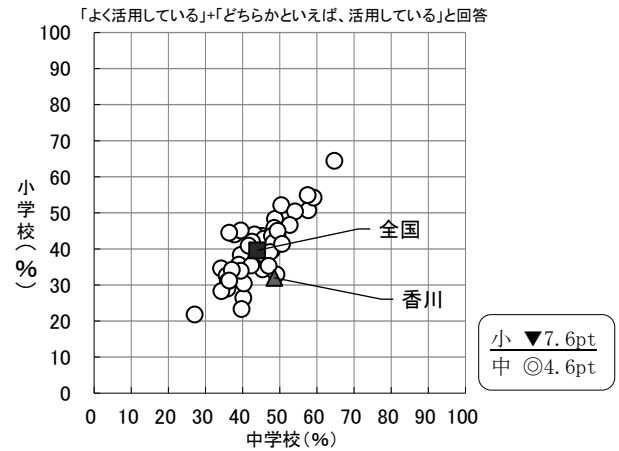
- 76/76 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を活用した教職員と家庭との連絡

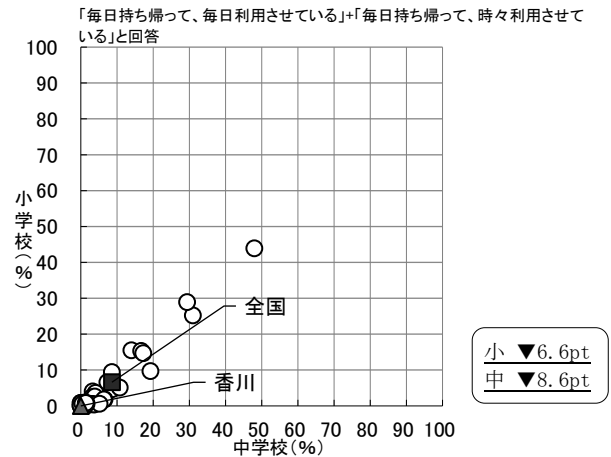
- 73/73 あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか ④教職員と家庭との連絡



【ICT を活用した学習状況】

PC・タブレット端末の家庭での活用

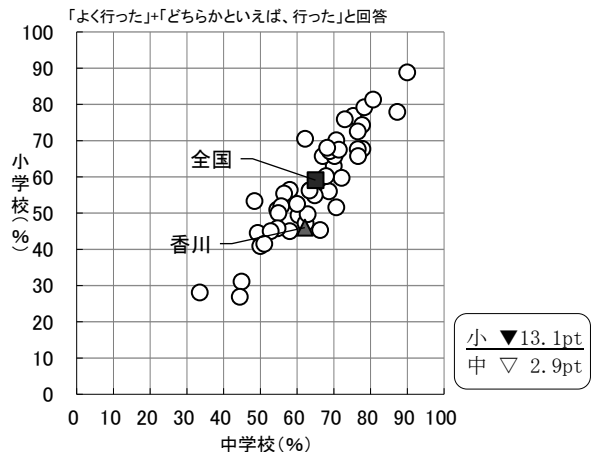
- 75/75 あなたの学校では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校の教育課程に関する共通の取組

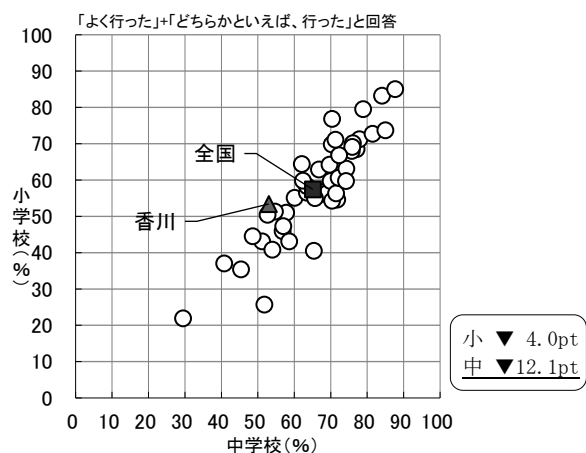
- 77/77 前年度までに、近隣等の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校の合同研修

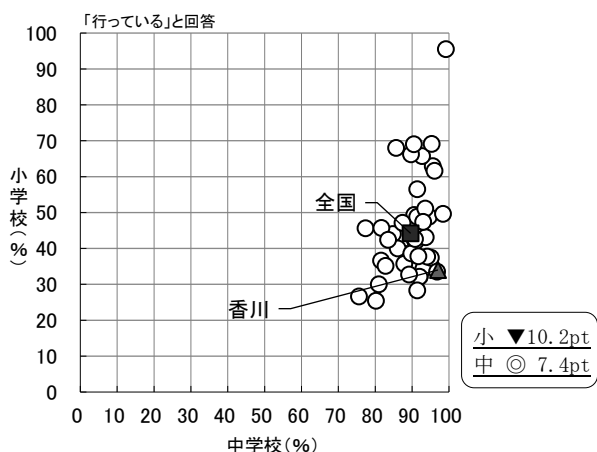
- 78/78 前年度までに、近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

職場体験や職場体験活動の実施

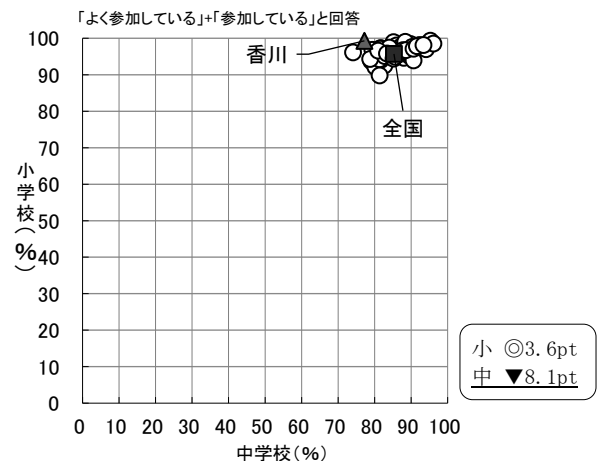
- 80/80 職場見学や職場体験活動を行っていますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人への参加

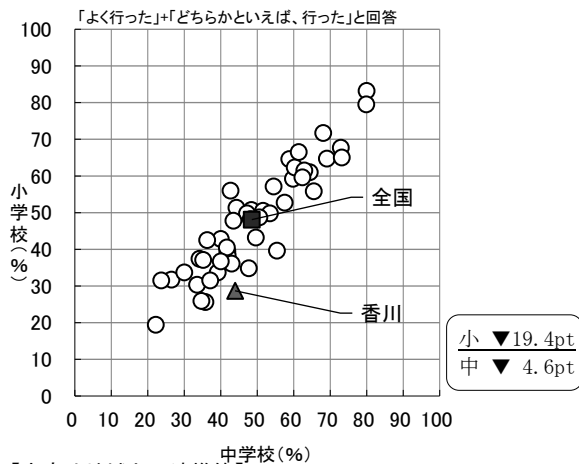
- 82/82 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校間での成果や課題の共有

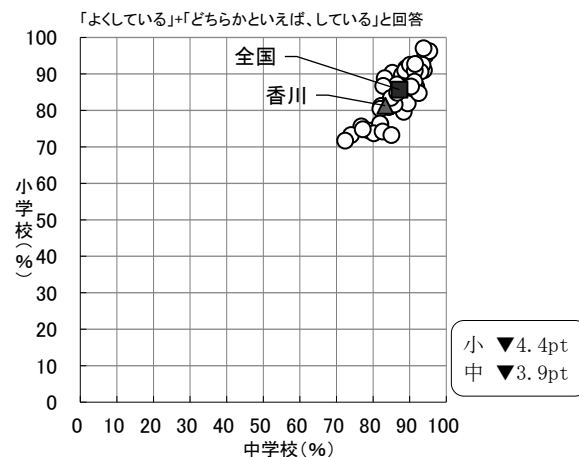
- 79/79 平成31年度(令和元年度)の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小中学校と成果や課題を共有しましたか



【家庭や地域との連携等】

家庭や地域との連携

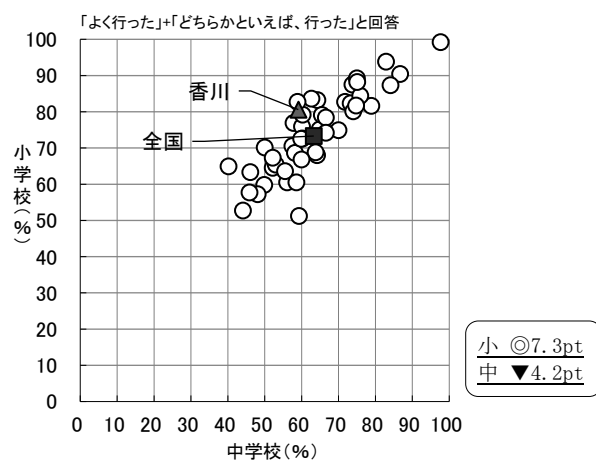
- 81/81 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動

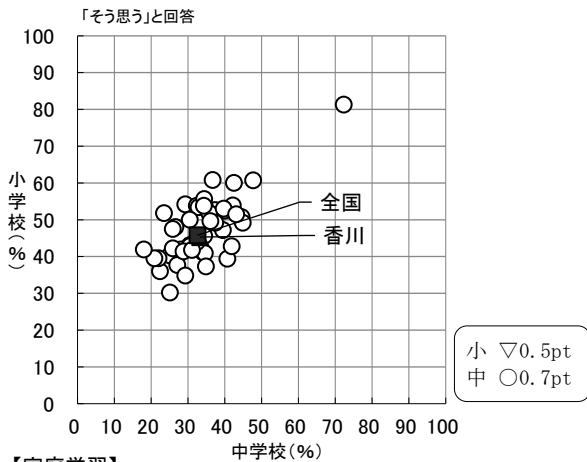
- 83/83 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(82)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動の効果

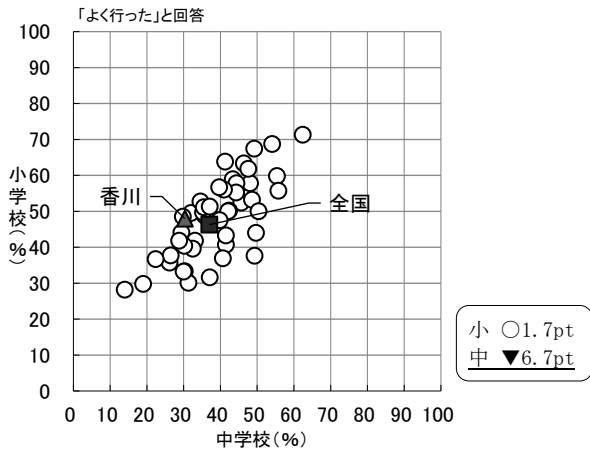
- 84/84 (82)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



【家庭学習】

家庭での学習方法等に関する指導【教科共通】

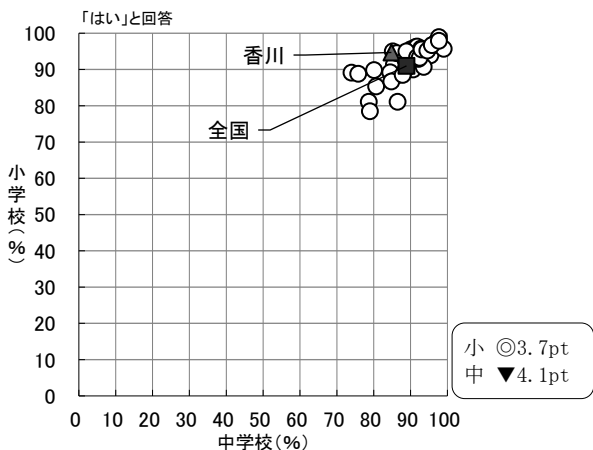
- 86/86 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

調査対象学年・教科の教員で出題の意図を確認

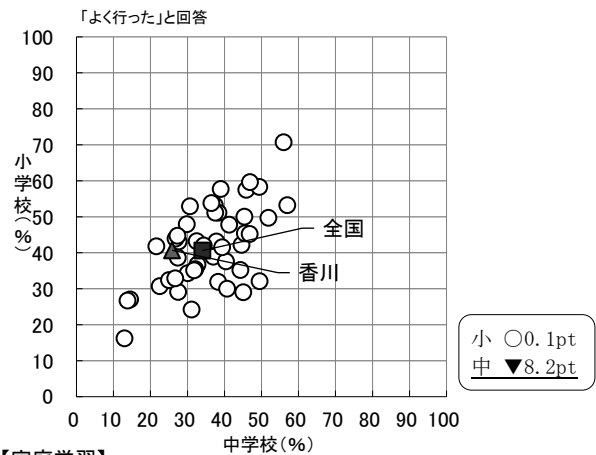
- 88-1 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ①学習指導要領の理解を深めるため、調査対象学年・教科の教員で出題意図を確認している



【家庭学習】

家庭学習の与え方についての共通理解【教科共通】

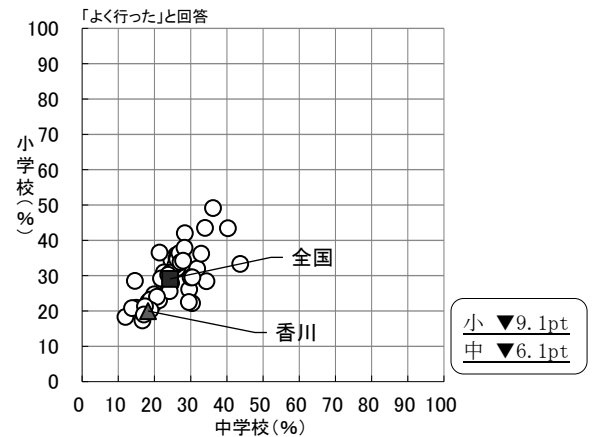
- 85/85 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(教科共通)



【家庭学習】

家庭学習の課題を指導改善や学習改善に生かす

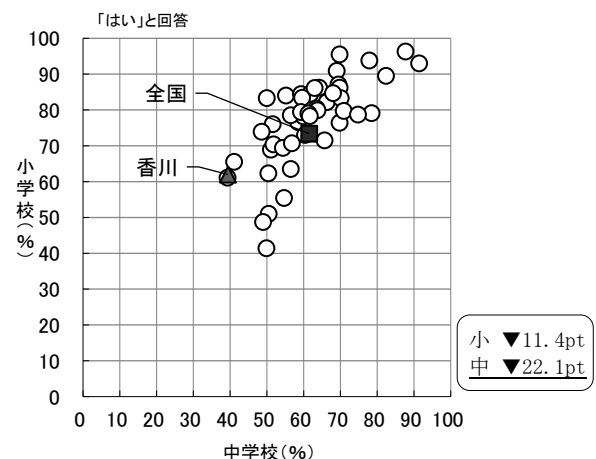
- 87/87 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか(教科共通)



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

調査対象学年・教科の教員以外の教員も出題意図を確認

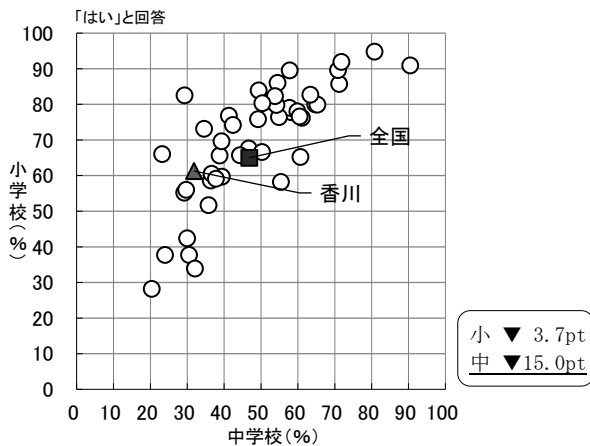
- 88-2 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ②学習指導要領の理解を深めるため、調査対象学年・教科の教員以外の教員も出題意図を確認している



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

校内研修で、個別の問題を取り上げる

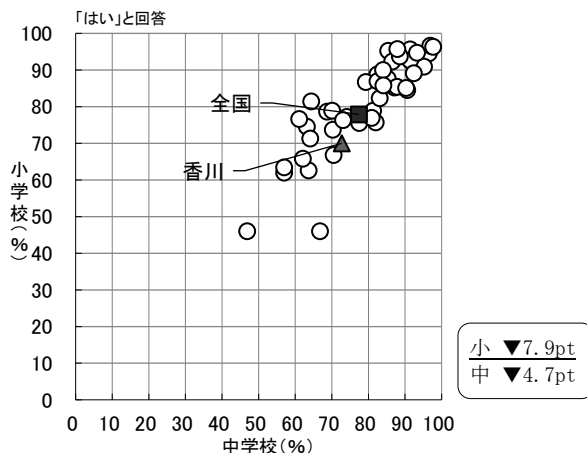
- 88-3 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ③学習指導要領の理解を深めるため、校内研修等で、個別の問題を題材として取り上げている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

学力・学習状況の把握のため、授業で取り上げる

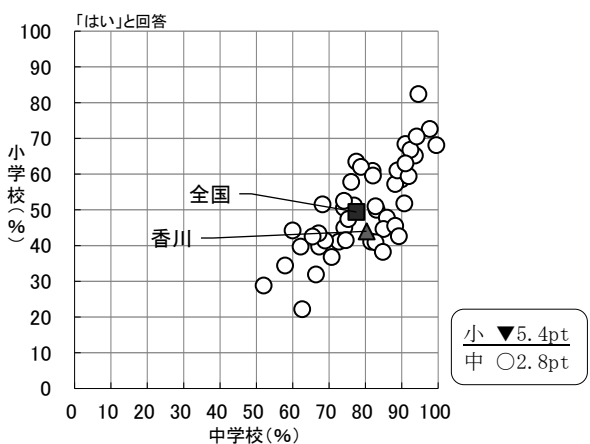
- 88-5 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ⑤学力・学習状況の把握のため、授業の中で取り上げている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

作問する際の参考としている

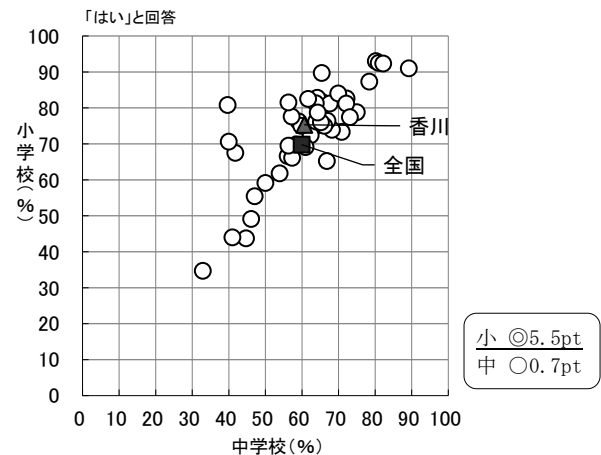
- 88-7 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ⑦学校が独自に実施するテストや、学力・学習状況調査等で作問する際に参考としている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

校内研修を通じた授業改善

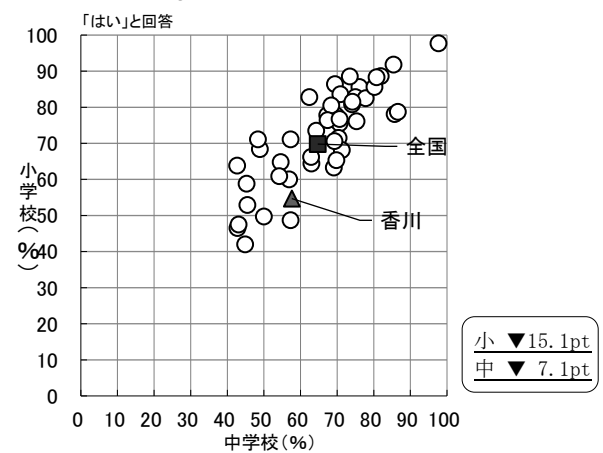
- 88-4 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ④問題全体を活用し、校内研修等を通じて、授業の改善を行っている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

家庭学習等の課題の参考としている

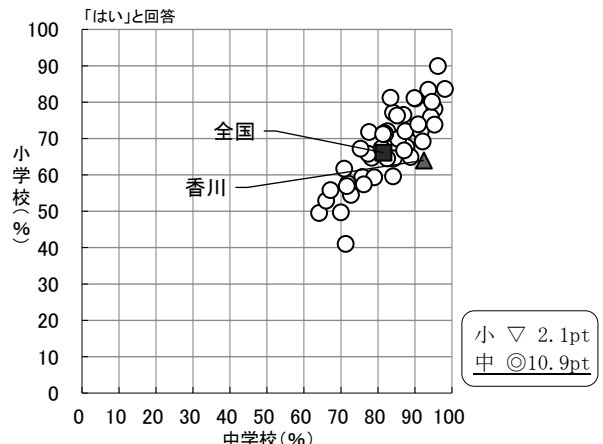
- 88-6 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ⑥学力・学習状況の把握のため、児童(生徒)への家庭学習等の課題の参考としている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

教材の内容検討の参考

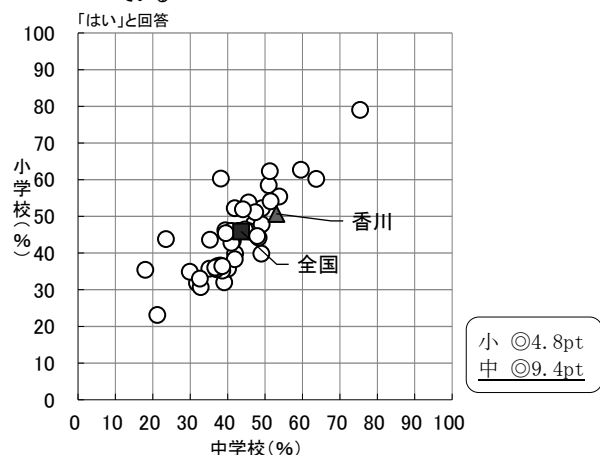
- 88-8 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ⑧教員が独自に作成する教材の内容を検討する際に参考としている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

保護者や地域の人との協力・連携を進めるために活用

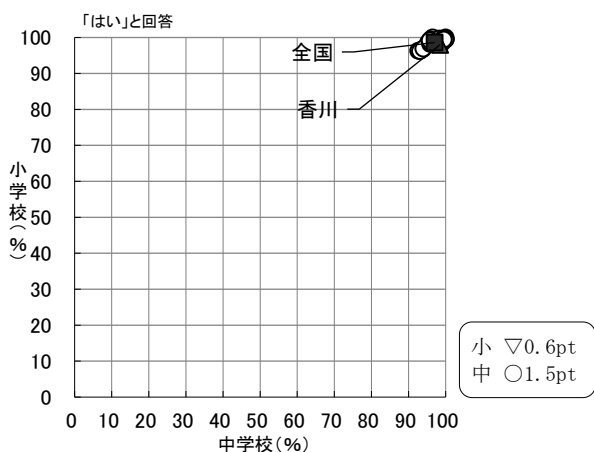
- 88-9 全国学力・学習状況調査の問題(教科に関する調査)を具体的にどのように活用していますか ⑨保護者や地域の方の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

児童の傾向や課題の把握

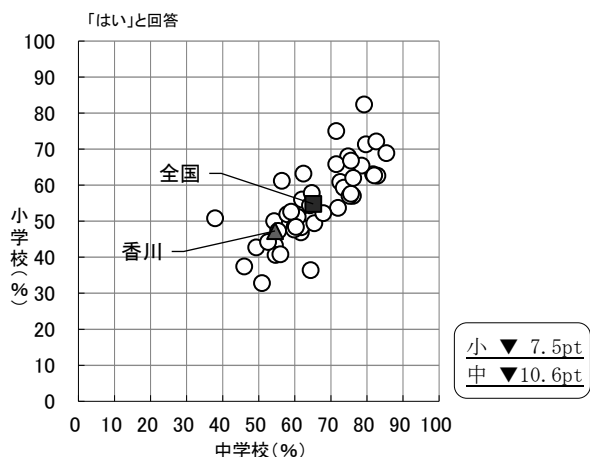
- 90-1 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ①児童の傾向や課題を把握するために活用している



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

作成する教材の内容検討に活用

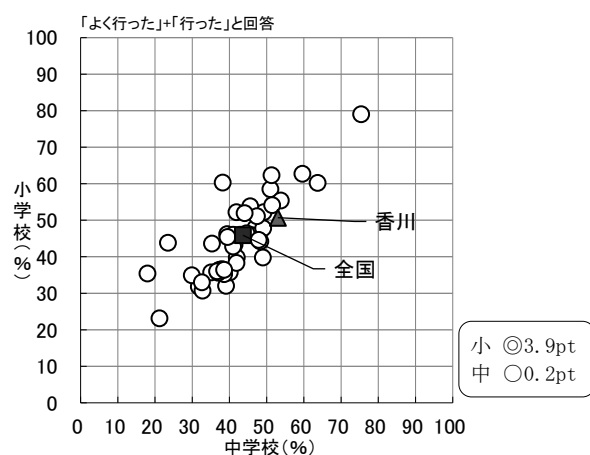
- 90-3 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ③学校が独自に作成する教材の内容を検討する際に活用している



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

学校全体で、教育活動を改善するために活用

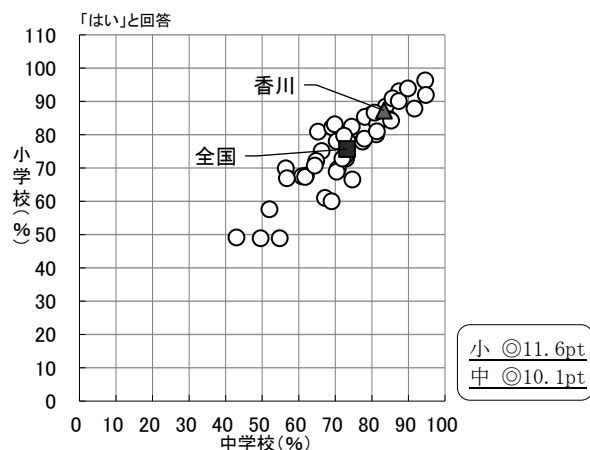
- 89/89 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

他の調査結果と組み合わせて分析

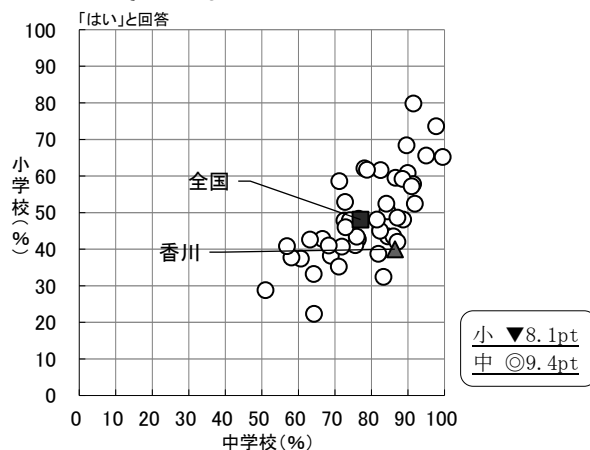
- 90-2 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ②学校が実施する学力・学習状況調査等、他の調査結果を組み合わせた分析を行っている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

作問する際の参考

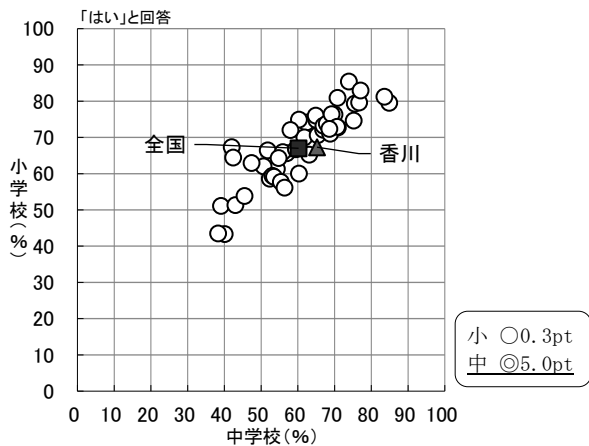
- 90-4 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ④学校が独自に実施するテストや、学力・学習状況調査等で作問する際に参考としている



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

施策の成果・課題、費用対効果等の評価に活用

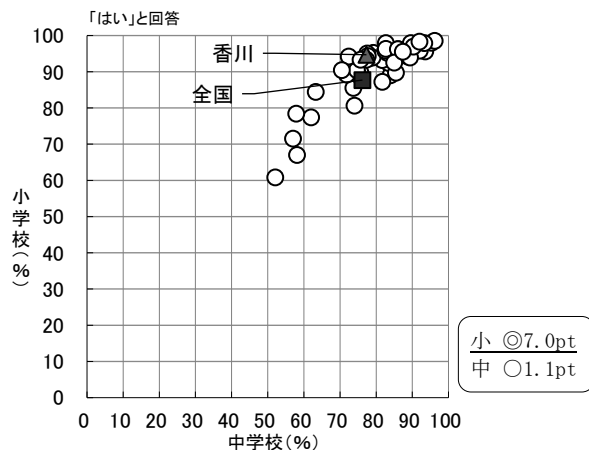
- 90-5 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑤学力向上等の施策の成果・課題、費用対効果等の評価に活用している



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

課題を中心に校内研修

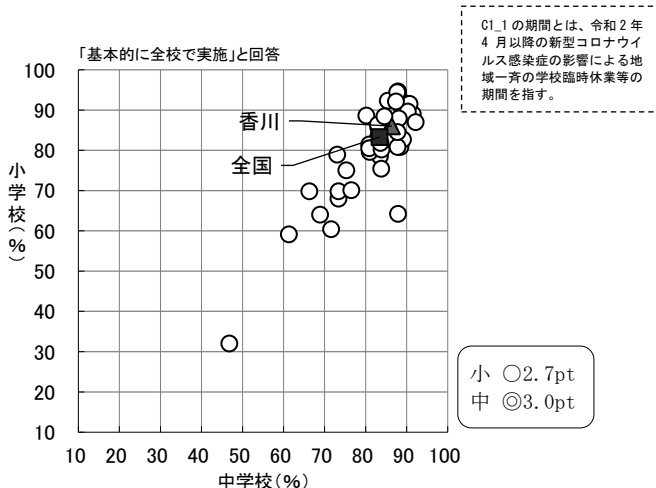
- 90-7 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑦課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業改善に活用している



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習①教科書に基づく内容の指示

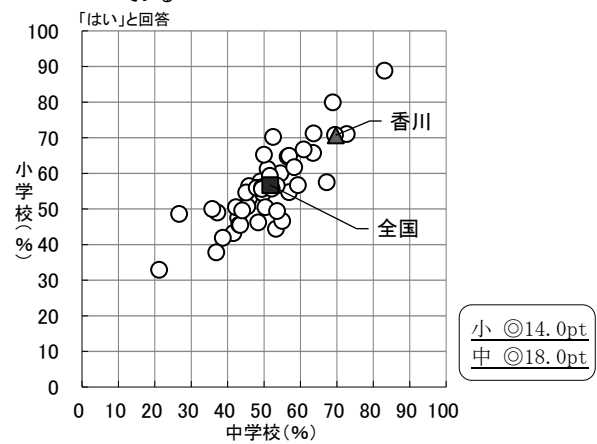
- C2_1 C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ①教科書に基づく学習内容の指示



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

保護者や地域の人との協力・連携を進めるために活用

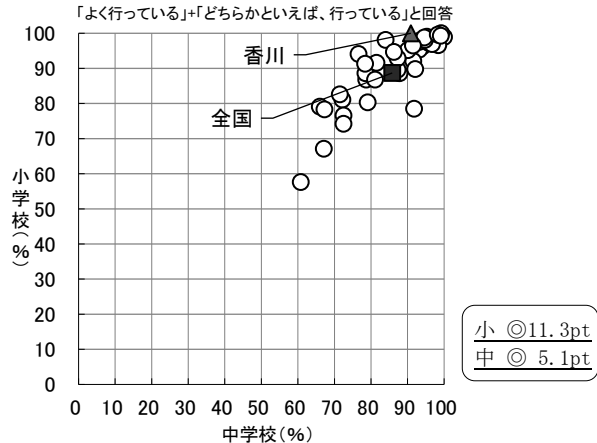
- 90-6 全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか ⑥保護者や地域の方の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

具体的な教育指導の改善や指導計画への反映

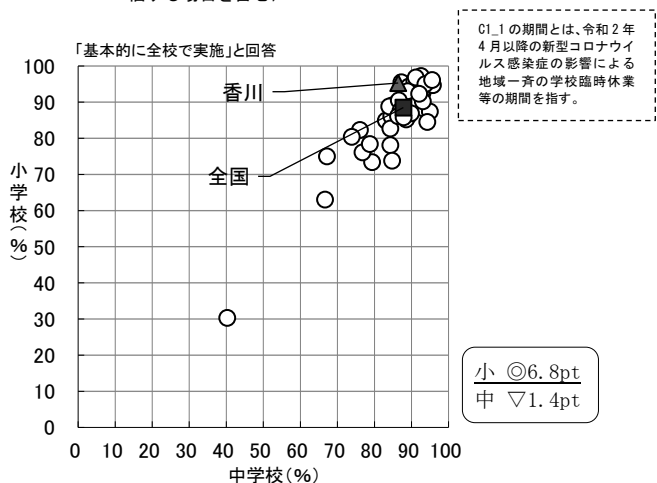
- 91/91 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習②学校作成のプリント等の配布

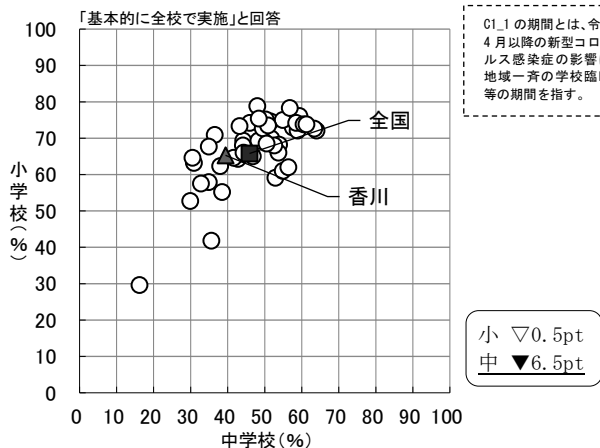
- C2_2 C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ②学校が作成したプリント等を配布(電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む)



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習③教科書会社その他民間が作成したプリント等を配布

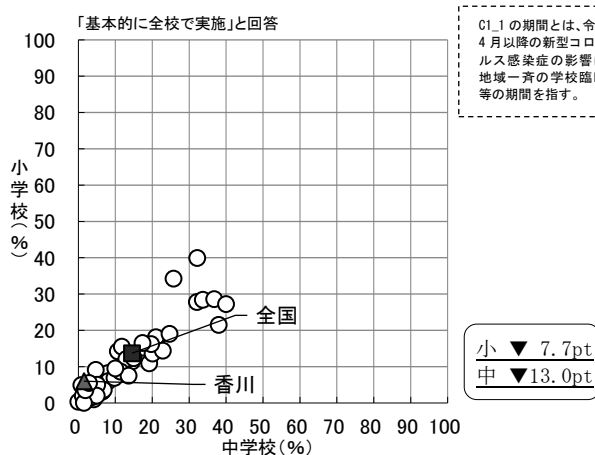
- C2.3 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ③教科書会社その他民間が作成したプリント等を配布(電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む)



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑤学校作成の学習動画等

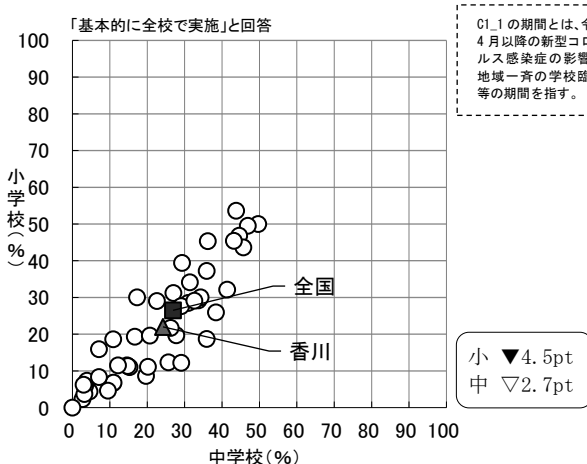
- C2.5 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑤学校が作成した学習動画等を活用した学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑦教育委員会が作成した問題集・復習ノート等の教材

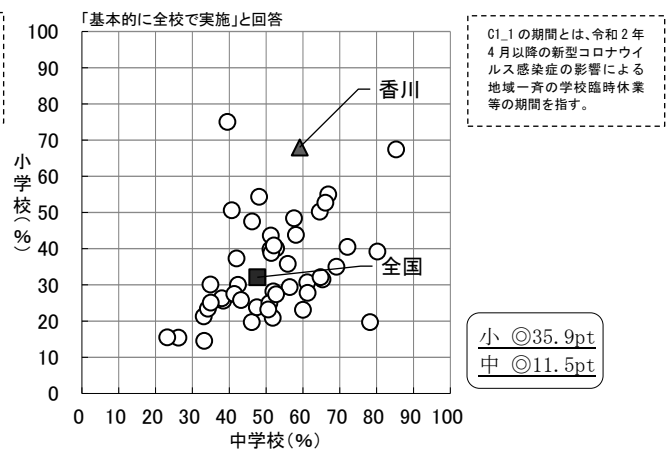
- C2.7 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑦都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」・「復習ノート」等の教材(教育委員会のHPで配信されている場合を含む)を活用した学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習④児童生徒の自由研究や自主学習ノートの学習

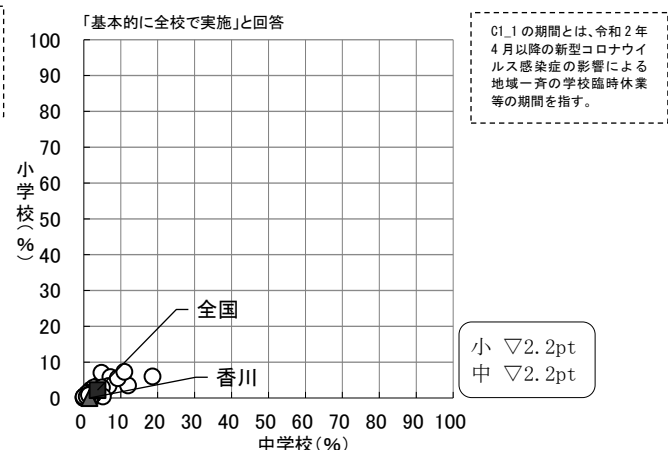
- C2.4 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ④児童生徒の自由研究や自主学習ノート等の学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑥同時双方向型オンライン学習

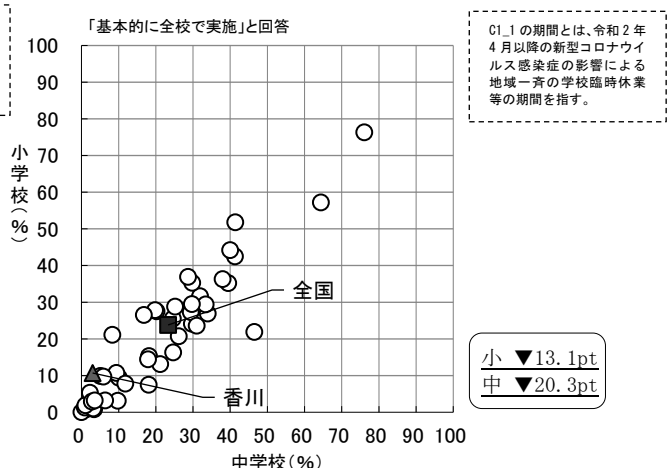
- C2.6 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑥同時双方向型オンライン指導を通じた学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑧教育委員会が作成した学習動画等

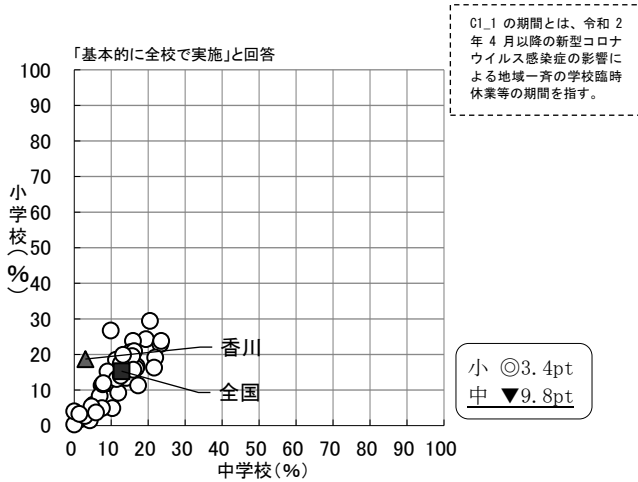
- C2.8 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑧都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑨公的機関や民間の音声・動画コンテンツ等

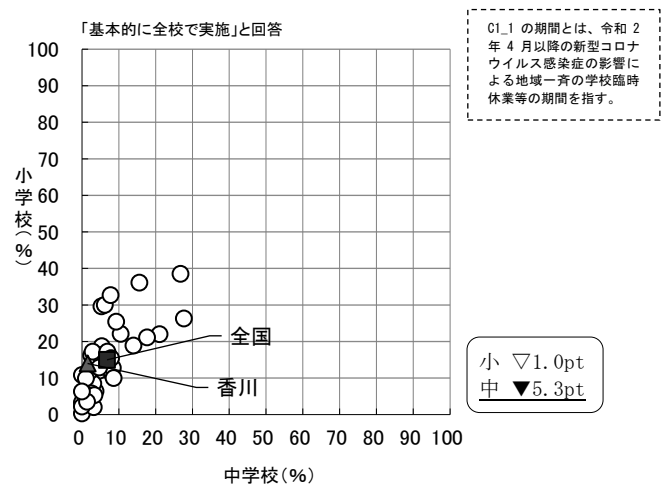
- C2.9 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑨公的機関や民間の音声・動画コンテンツ等を活用した学習(5)及び(8)を除く)



【新型コロナウイルス感染症の影響】

保護者や地域の人との協力・連携を進めるために活用

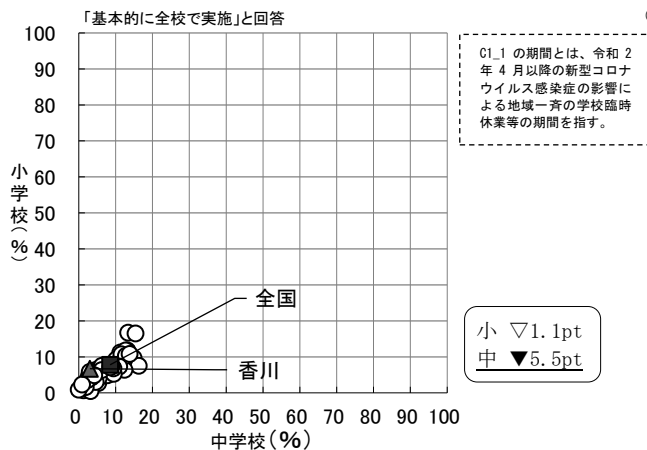
- C2.10 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑩テレビ放送を活用した学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑩民間のデジタル教材

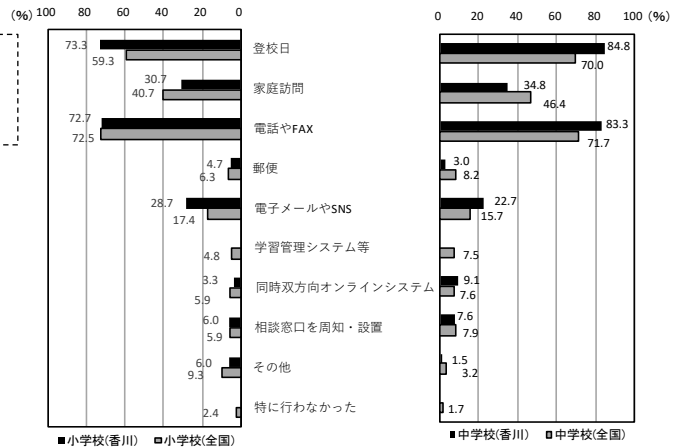
- C2.11 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑩上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の児童生徒の学習状況などの把握手段

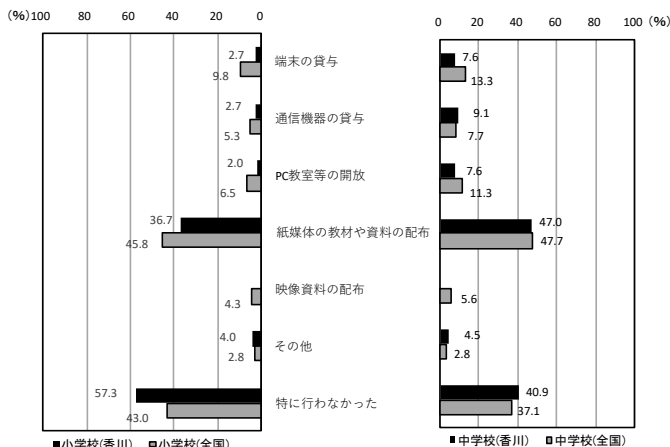
- C3 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、調査対象児童生徒の学習状況や生活状況について、どのような手段で把握していましたか(複数選択可)



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中、ICT環境がない家庭への支援

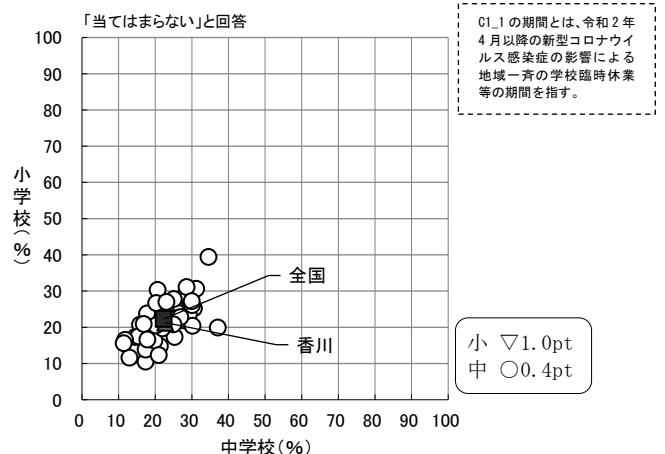
- C4 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、ICT環境がない家庭の児童生徒に対して何らかの支援(配慮)を行っていましたか(複数選択可)



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題①学校の端末の不足

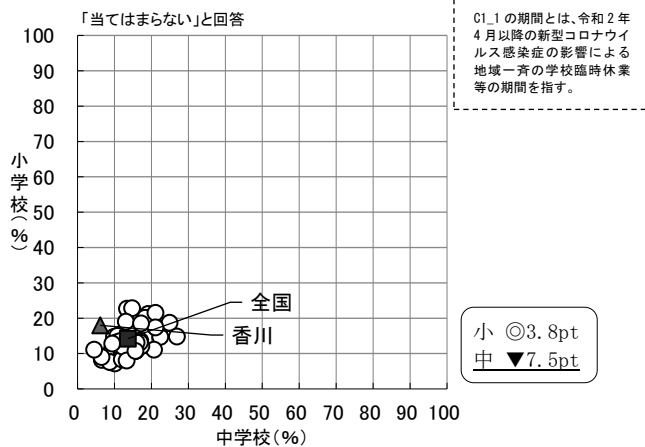
- C5.1 C1.1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ①学校(送信側)のPC・タブレット等の端末が不足していた



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題②学校の周辺機器の不足

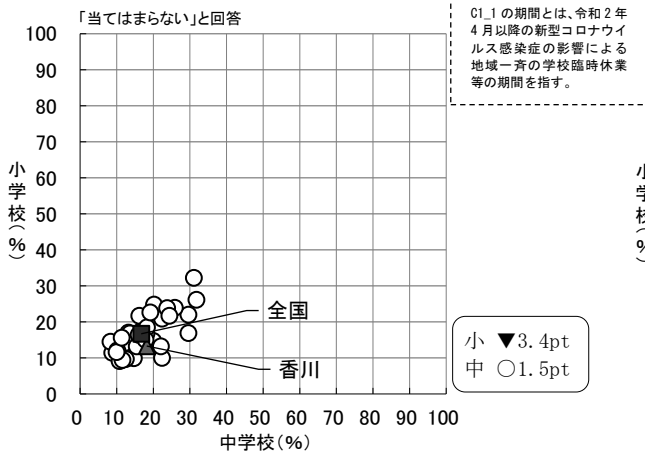
- C5.2 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ②学校の周辺機器(Webカメラやスキャナ等)が不足していた



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題④学校のインターネット接続の通信速度

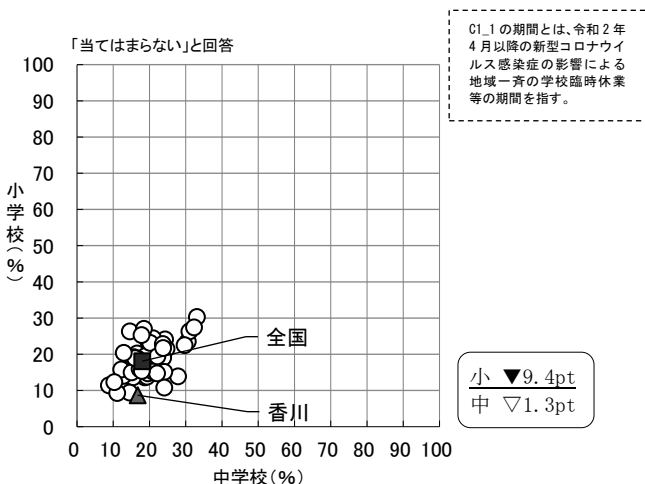
- C5.4 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ④学校のインターネット接続の通信速度が不十分だった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑥教育委員会や学校のシステムが不十分

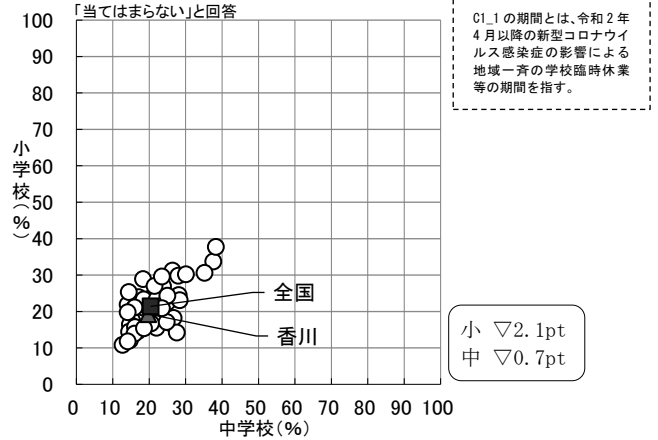
- C5.6 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑥市町村教育委員会や学校のシステム(センターサーバの容量等)が不十分だった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題③学校の通信環境

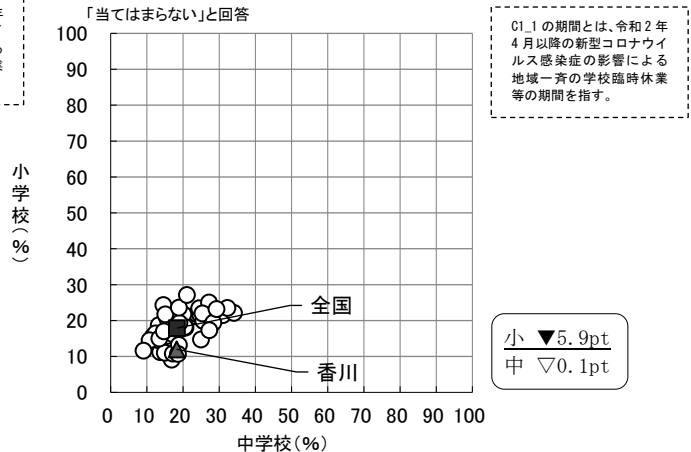
- C5.3 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ③学校の通信環境(無線LAN等)が整っていなかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑤規則等

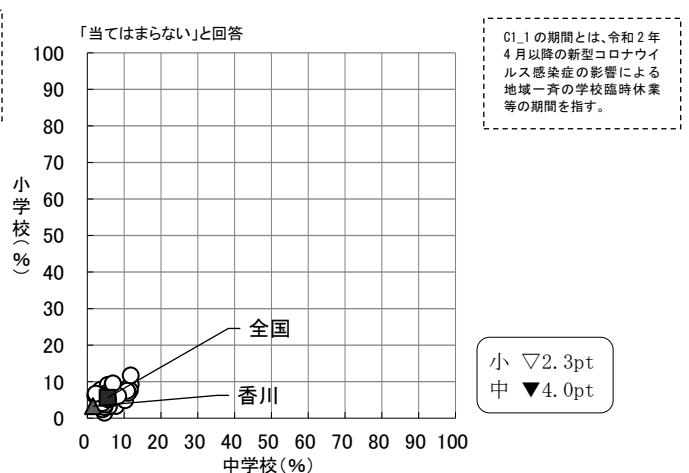
- C5.5 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑤規則等(セキュリティポリシー等)が整っていなかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑦教職員のICT活用スキル

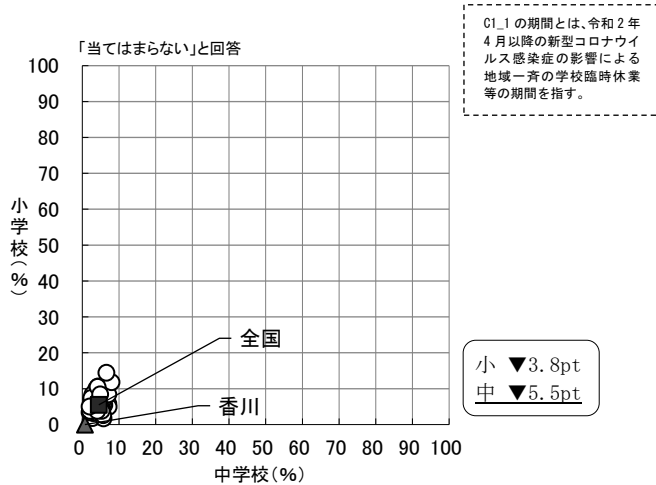
- C5.7 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑦教職員のICT活用スキルが不足していた



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICT活用についての課題⑧家庭の端末

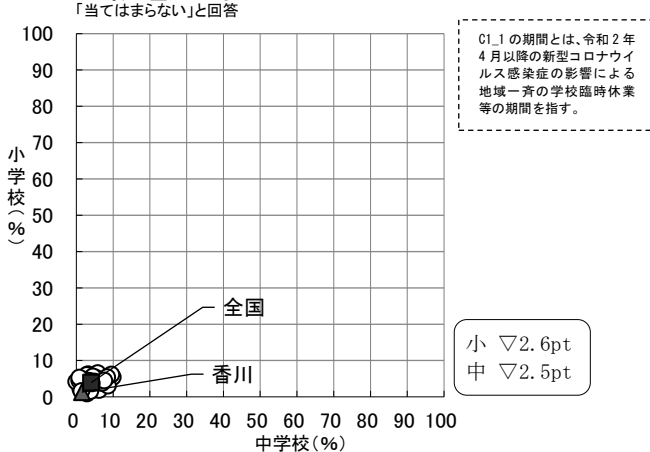
- C5_8 C1_1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑧家庭(受信側)のPC・タブレット等の端末(スマートフォンを含む)が不足していた



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑩家庭の通信環境

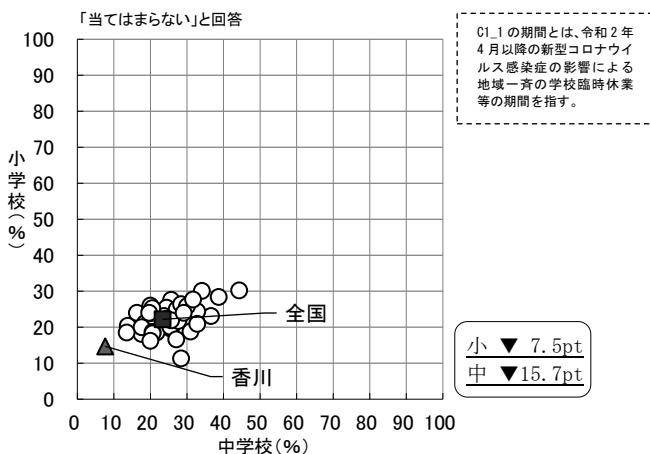
- C5_10 C1_1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑩家庭の通信環境(無線LAN等)が整っていなかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑫保護者からの支援

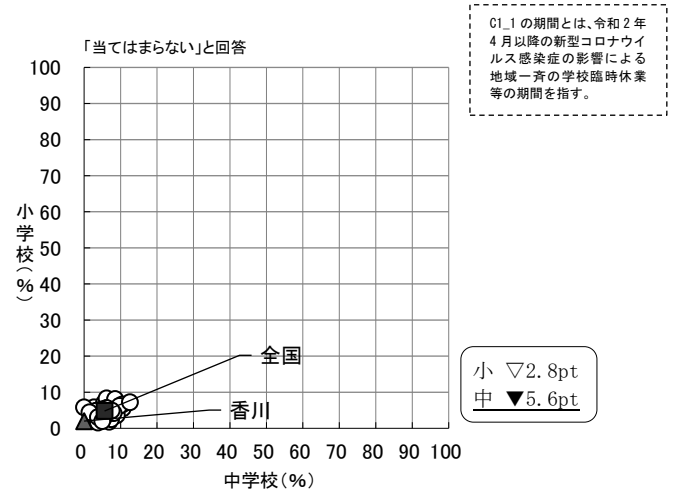
- C5_12 C1_1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑫ICT活用に対して保護者からの支援を得るのが難しかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICT活用についての課題⑨家庭の周辺機器

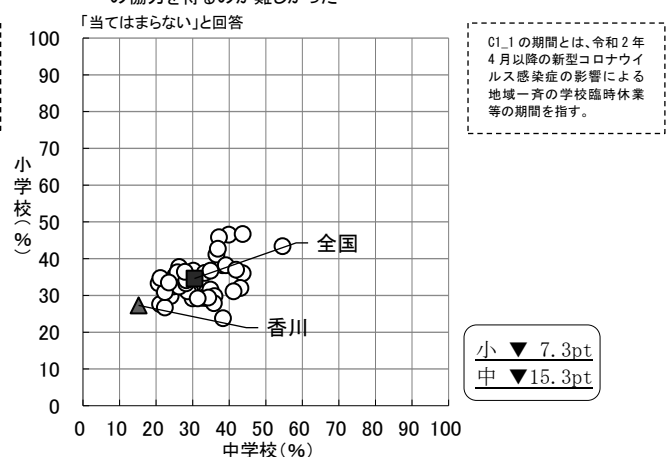
- C5_9 C1_1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑨家庭の周辺機器(Webカメラ等)が不足していた



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑪教職員からの協力

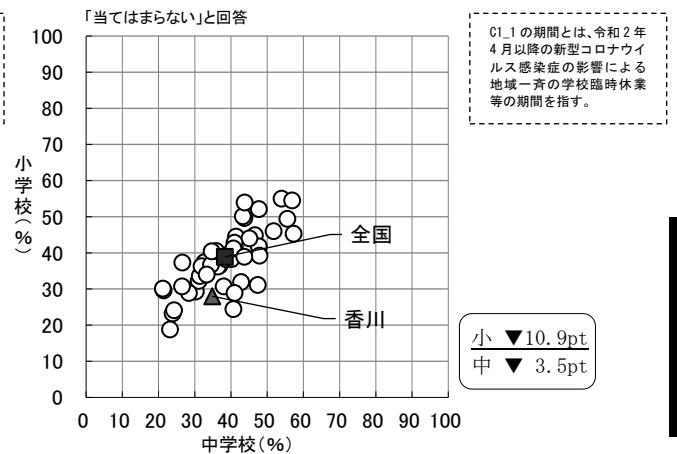
- C5_11 C1_1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑪ICT活用に対して教職員からの協力を得るのが難しかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑬教育委員会の積極性

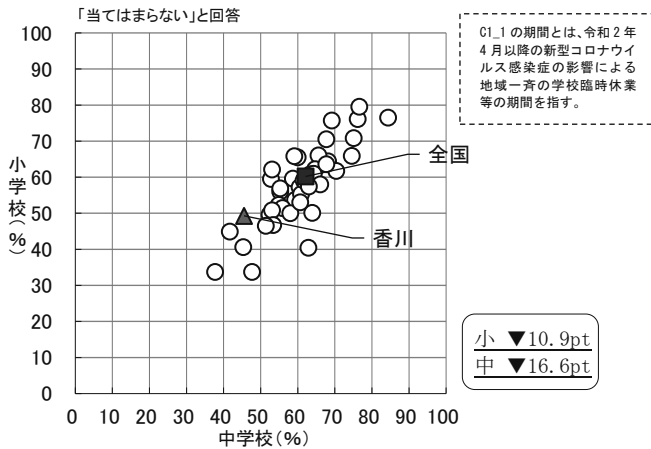
- C5_13 C1_1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑬ICT活用に対して教育委員会が積極的ではなかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑭必要性を感じなかった

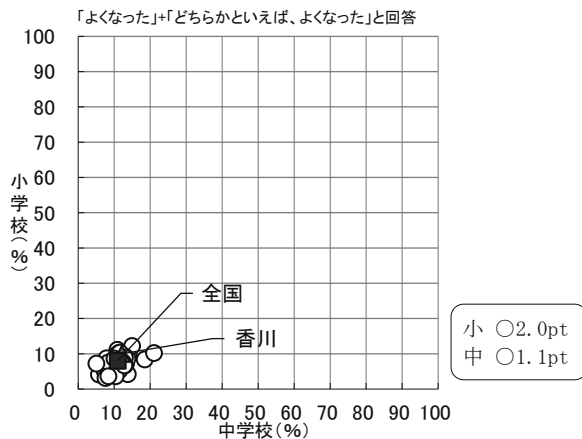
- C5_14 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑭ICT活用に対して教育委員会が積極的ではなかった



【新型コロナウイルス感染症の影響】 ※C6 は、P33に掲載

児童生徒同士の関係における変化

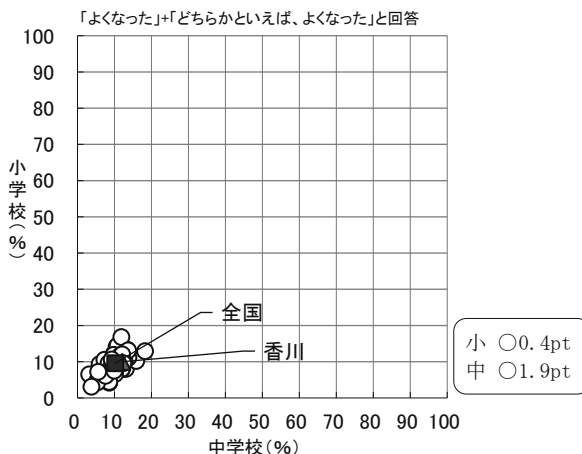
- C7 新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 児童(生徒)同士の関係



【新型コロナウイルス感染症の影響】

教員と保護者の関係における変化

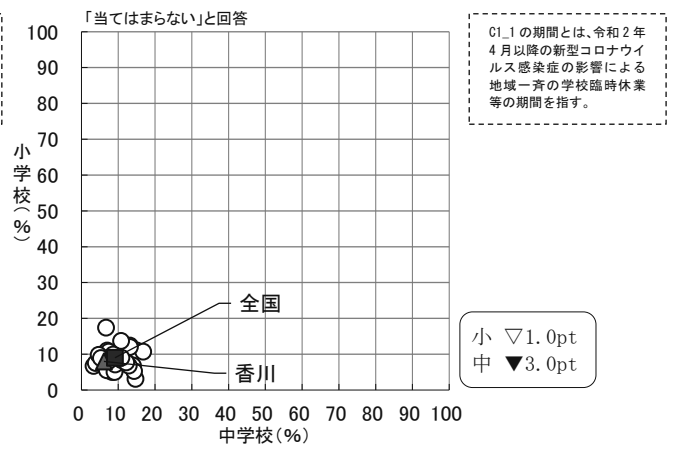
- C9 新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 教員と保護者の関係



【新型コロナウイルス感染症の影響】

家庭学習におけるICTの活用についての課題⑮教材の不足

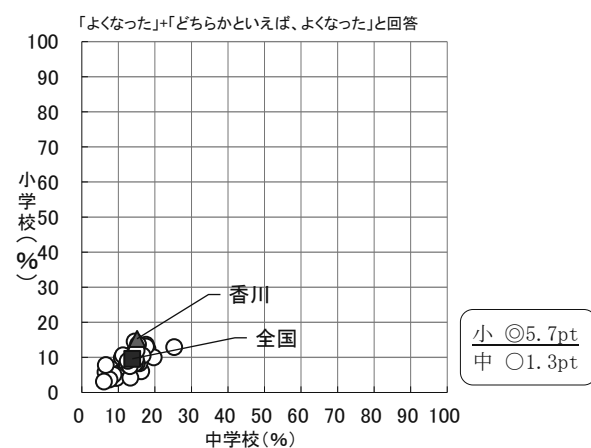
- C5_15 C1.1の期間のうち学校の全部を休業としていた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか ⑮オンラインでの配信やWeb上での学習のための教材が不足していた



【新型コロナウイルス感染症の影響】

児童生徒と教員の間における変化

- C8 新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 児童生徒と教員の間



【新型コロナウイルス感染症の影響】 ※C11 は、P33に掲載

教員の業務量の変化

- C10 新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 教員の業務量

